別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画		
事　項	記　入　欄	備　考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更	
フリガナ 設置者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ　ﾆｲｶﾞﾀｿｳｺﾞｳｶﾞｸｴﾝ 学校法人　新潟総合学園	
フリガナ 大学の名称	ﾆｲｶﾞﾀｲﾘｮｳﾌｸｼﾀﾞｲｶﾞｸ 新潟医療福祉大学	
大学本部の位置	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
大学の目的	教育基本法および学校教育法の精神に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理性を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする。	
新設学部等の目的	健康栄養学科は、「栄養(食)」に関する高度な知識や技術をベースに、総合大学の強みを活かして、「医療・福祉」「学校・行政」「スポーツ」「企業」など、他分野と融合した教育・研究活動を展開している。これにより、病気の予防や治療、健康の維持・増進、アスリートの支援、介護、食品開発などあらゆるフィールドで活躍できる管理栄養士育成を目的としている。 人生100年時代を迎え、社会が多様化、各人の健康課題も多様化する中、国の国民健康づくり運動「健康日本21（第3次）」において、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとして、「誰一人取り残さない健康づくり」や「より実効性をもつ取組の推進」に重点を置くことが明記され、適切な栄養・食生活や食環境改善の重要性が示されている。 このように現在の日本社会において栄養学分野が果たすべき役割・期待が高まっている中で管理栄養士の需要拡大に応じるため、また健康栄養学科の学生募集が継続して順調であることから入学機会を拡大するため、従前の入学定員40名から80名へ増員するものである。 以上のことから、健康栄養学科の入学定員の増員に伴い、大学全体の定員の増加するため、大学の収容定員に係る学則変更を行う。	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	備考
		年	人	年次 人	人			年　月 第　年次		
	リハビリテーション学部									
	理学療法学科	4	120	—	480	学士(理学療法学)	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	平成30年4月 第1年次	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
	作業療法学科	4	50	—	200	学士(作業療法学)	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	平成30年4月 第1年次	同上	
	言語聴覚学科	4	40	—	160	学士(言語聴覚学)	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	平成30年4月 第1年次	同上	
	義肢装具自立支援学科	4	40	—	160	学士(義肢装具自立支援学)	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	平成30年4月 第1年次	同上	
	鍼灸健康学科	4	40	—	160	学士(鍼灸健康学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	令和5年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	医療技術学部									
	臨床技術学科	4	100	—	400	学士(臨床技術学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	平成23年4月 第1年次	同上	
	視機能科学科	4	50	—	200	学士(視機能科学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	平成26年4月 第1年次	同上	
	救急救命学科	4	55	—	220	学士(救急救命学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	平成29年4月 第1年次	同上	
	診療放射線学科	4	90	—	360	学士(診療放射線学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	平成30年4月 第1年次	同上	
	健康科学部									
	健康栄養学科	4	80 (40)	—	320 (160)	学士(健康栄養学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）・家政関係	令和7年4月 第1年次	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
	健康スポーツ学科	4	250	3年次 5	1,010	学士(健康スポーツ学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	平成19年4月 第1年次 平成19年4月 第3年次	同上	
	看護学部									
	看護学科	4	107	3年次 3	434	学士(看護学)	保健衛生学関係（看護学関係）	平成30年4月 第1年次 令和2年4月 第3年次	同上	
	心理・福祉学部									
	社会福祉学科	4	120	3年次 5	490	学士(社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係	平成13年4月 第1年次 平成17年4月 第3年次	同上	
	心理健康学科	4	80	—	320	学士(心理学)	文学関係	令和6年4月 第1年次	同上	
	医療経営管理学部									
	医療情報管理学科	4	80	3年次 5	330	学士(医療情報学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	平成22年4月 第1年次 平成25年4月 第3年次	同上	
	計		1,302 (1,262)	3年次 18	5,244 (5,084)					

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	事業創造大学院大学 情報デザイン学部情報デザイン学科（通信教育課程）（1,000）（令和6年3月認可申請） 令和7年4月　大学名称変更予定　事業創造大学院大学→開志創造大学（令和6年8月事前相談予定）					
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実験・実習	計	
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位

	学部等の名称	基幹教員 教授	准教授	講師	助教	計	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
新設分	リハビリテーション学部　理学療法学科	12 (12)	1 (1)	13 (13)	10 (10)	36 (36)	2 (2)	113 (113)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	12 (12)	1 (1)	13 (13)	10 (10)	36 (36)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	12 (12)	1 (1)	13 (13)	10 (10)	36 (36)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	12 (12)	1 (1)	13 (13)	10 (10)	36 (36)			
	作業療法学科	4 (4)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	12 (12)	0 (0)	96 (96)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	12 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	12 (12)			
	言語聴覚学科	5 (5)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	13 (13)	1 (1)	103 (103)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	13 (13)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (5)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	13 (13)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (5)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	13 (13)			
	義肢装具自立支援学科	4 (4)	1 (1)	6 (6)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	98 (98)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	3 (3)	1 (1)	6 (6)	1 (1)	11 (11)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	小計（a～b）	4 (4)	1 (1)	6 (6)	1 (1)	12 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	1 (1)	6 (6)	1 (1)	12 (12)			

新設分	鍼灸健康学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	97 (97)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)			
	医療技術学部　臨床技術学科	8 (8)	4 (4)	8 (8)	3 (3)	23 (23)	4 (4)	97 (97)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	8 (8)	3 (3)	23 (23)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8 (8)	4 (4)	8 (8)	3 (3)	23 (23)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	8 (8)	4 (4)	8 (8)	3 (3)	23 (23)			
	視機能科学科	6 (6)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	10 (10)	1 (1)	109 (109)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	9 (9)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	小計（a～b）	6 (6)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	10 (10)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (6)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	10 (10)			
	救急救命学科	4 (4)	1 (1)	4 (4)	3 (3)	12 (12)	0 (0)	122 (122)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	1 (1)	4 (4)	3 (3)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (4)	1 (1)	4 (4)	3 (3)	12 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (4)	1 (1)	4 (4)	3 (3)	12 (12)			

新設分	診療放射線学科	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	90 (90)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)			
	健康科学部　健康栄養学科	6 (6)	2 (2)	5 (5)	7 (7)	20 (20)	5 (5)	98 (98)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	2 (2)	5 (5)	7 (7)	20 (20)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　9人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (6)	2 (2)	5 (5)	7 (7)	20 (20)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (6)	2 (2)	5 (5)	7 (7)	20 (20)			
	健康スポーツ学科	15 (15)	14 (14)	15 (15)	8 (8)	52 (52)	0 (0)	100 (100)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	13 (13)	14 (14)	15 (15)	8 (8)	50 (50)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　15人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)			
	小計（a～b）	15 (15)	14 (14)	15 (15)	8 (8)	52 (52)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	15 (15)	14 (14)	15 (15)	8 (8)	52 (52)			
	看護学部　看護学科	10 (10)	4 (4)	8 (8)	13 (13)	35 (35)	7 (7)	117 (117)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	10 (10)	4 (4)	8 (8)	13 (13)	35 (35)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　10人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	10 (10)	4 (4)	8 (8)	13 (13)	35 (35)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	10 (10)	4 (4)	8 (8)	13 (13)	35 (35)			

新設分	心理・福祉学部　社会福祉学科	9 (9)	3 (3)	5 (5)	6 (6)	23 (23)	2 (2)	106 (106)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	5 (5)	6 (6)	20 (20)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　11人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)			
	小計（a～b）	9 (9)	3 (3)	5 (5)	6 (6)	23 (23)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	9 (9)	3 (3)	5 (5)	6 (6)	23 (23)			
	心理健康学科	5 (5)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	12 (12)	0 (0)	67 (20)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	12 (12)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (5)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	12 (12)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (5)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	12 (12)			
	医療経営管理学部　医療情報管理学科	7 (7)	2 (2)	3 (3)	6 (6)	18 (18)	1 (1)	91 (91)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	6 (6)	2 (2)	3 (3)	6 (6)	17 (17)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　11人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (6)	2 (2)	3 (3)	6 (6)	17 (17)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	7 (7)	2 (2)	3 (3)	6 (6)	18 (18)			
	計	104 (104)	45 (45)	84 (84)	71 (71)	304 (304)	23 (23)	— (—)	
既設分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（a，b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合　計		104 (104)	45 (45)	84 (84)	71 (71)	304 (304)	23 (23)	— (—)	

職　　種	専　　属	その他	計	
事務職員	80人 (80)	27人 (27)	107人 (107)	
技術職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
図書館職員	6 (6)	2 (2)	8 (8)	
その他の職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
指導補助者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
計	86 (86)	29 (29)	115 (115)	

校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	156,757㎡	0㎡	0㎡	156,757㎡	
	その他	89,571㎡	0㎡	0㎡	89,571㎡	
	合計	246,328㎡	0㎡	0㎡	246,328㎡	

校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	62,285.99㎡ (　62,285.99㎡)	0㎡ (　　0㎡)	0㎡ (　　0㎡)	62,285.99㎡ (　62,285.99㎡)	

教室・教員研究室	教　　室	216室	教員研究室	279室	大学全体

図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	電子図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	166,520〔12,527〕 (166,520〔12,527〕)	7,442〔196〕 (7,442〔196〕)	8,863〔5,974〕 (8,863〔5,974〕)	7,364〔5,707〕 (7,364〔5,707〕)	235,169 (235,169)	213 (213)	
	計	166,520〔12,527〕 (166,520〔12,527〕)	7,442〔196〕 (7,442〔196〕)	8,863〔5,974〕 (8,863〔5,974〕)	7,364〔5,707〕 (7,364〔5,707〕)	235,169 (235,169)	213 (213)	

スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	大学全体
	36,589.37㎡	0㎡	6,777.32㎡	

経費の見積り及び維持方法の概要		区　分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	経費の見積り	教員１人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	― 千円	― 千円	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)含む。
		共同研究費等		70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	― 千円	― 千円	
		図書購入費	28,500千円	21,000千円	21,000千円	21,000千円	21,000千円	― 千円	― 千円	
		設備購入費	520,000千円	130,000千円	130,000千円	130,000千円	130,000千円	― 千円	― 千円	
	学生１人当り納付金	学部学科		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
		リハビリテーション学部 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 義肢装具自立支援学科 鍼灸健康学科		1,850千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	― 千円	― 千円	
		医療技術学部 臨床技術学科 視機能科学科 救急救命学科		1,850千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	― 千円	― 千円	
		医療技術学部 診療放射線学科		1,950千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	― 千円	― 千円	
		健康科学部 健康栄養学科		1,850千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	― 千円	― 千円	
		健康科学部 健康スポーツ学科		1,500千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	― 千円	― 千円	
		看護学部 看護学科		1,950千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	― 千円	― 千円	
		心理・福祉学部 社会福祉学科 心理健康学科		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	― 千円	― 千円	
		医療経営管理学部 医療情報管理学科		1,330千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	― 千円	― 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、雑収入　等						

既設大学等の状況	大学等の名称	新潟医療福祉大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍			
	リハビリテーション学部						1.02			
	理学療法学科	4	120	—	480	学士（理学療法学）	1.10	平成30年度	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
	作業療法学科	4	50	—	200	学士（作業療法学）	0.95	平成30年度	同上	
	言語聴覚学科	4	40	—	160	学士（言語聴覚学）	0.94	平成30年度	同上	
	義肢装具自立支援学科	4	40	—	160	学士（義肢装具自立支援学）	1.04	平成30年度	同上	
	鍼灸健康学科	4	40	—	80	学士（鍼灸健康学）	0.57	令和5年度	同上	令和5年度開設(40名)
	医療技術学部						1.01			
	臨床技術学科	4	100	—	400	学士（臨床技術学）	1.02	平成23年度	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
	視機能科学科	4	50	—	200	学士（視機能科学）	0.91	平成26年度	同上	
	救急救命学科	4	55	—	220	学士（救急救命学）	1.01	平成29年度	同上	
	診療放射線学科	4	90	—	360	学士（診療放射線学）	1.06	平成30年度	同上	
	健康科学部						1.05			
	健康栄養学科	4	40	—	160	学士（健康栄養学）	1.04	平成19年度	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
	健康スポーツ学科	4	250	3年次 5	1,010	学士（健康スポーツ学）	1.06	平成19年度	同上	
	看護学部						1.00			
	看護学科	4	107	3年次 3	434	学士（看護学）	1.00	平成30年度	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
	心理・福祉学部						0.91			
	社会福祉学科	4	120	3年次 5	490	学士（社会福祉学）	0.91	平成13年度	新潟県新潟市北区島見町1398番地	
	心理健康学科	4	80		80	学士（心理学）	—	令和6年度	同上	令和6年度開設(80名)
	医療経営管理学部						1.11			
	医療情報管理学科	4	80	3年次 5	330	学士（医療情報学）	1.11	平成22年度	新潟県新潟市北区島見町1398番地	

	大学等の名称	新潟医療福祉大学大学院								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍			
	医療福祉学研究科						1.38			
	保健学専攻(M)	2	30	—	60	修士（保健学）	1.50	平成17年度	新潟県新潟市北区島見町1398番地	令和5年度入学定員増(30名)
	健康科学専攻(M)	2	16	—	32	修士（健康科学） 修士（看護学）	1.30	平成19年度	同上	令和5年度入学定員増(16名)
	社会福祉学専攻(M)	2	5	—	10	修士（社会福祉学）	0.40	平成17年度	同上	
	医療情報・経営管理学専攻(M)	2	4	—	8	修士（医療情報・経営管理学）	0.87	平成26年度	同上	
	医療福祉学専攻(D)	3	20	—	50	博士（保健学）	1.62	平成19年度	同上	令和5年度入学定員増(10名)

既設大学等の状況	大学等の名称	事業創造大学院大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	事業創造研究科						1.23			
	事業創造専攻(P)	2	80	—	160	経営管理修士（専門職）	1.23	平成18年度	新潟県新潟市中央区米山3丁目1番46号	
	大学等の名称	新潟食料農業大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	食料産業学部						0.85			
	食料産業学科	4	180	—	720	学士（食料産業学）	0.85	平成30年度	新潟県新潟市北区島見町940番地 新潟県胎内市平根台2416番地	
	大学等の名称	新潟食料農業大学大学院								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	食料産業学研究科						0.66			
	食料産業学専攻(M)	2	6	—	12	修士（食料産業学）	0.66	令和4年度	新潟県新潟市北区島見町940番地 新潟県胎内市平根台2416番地	
	食料産業学専攻(D)	3	2	—	2	博士（食料産業学）	—	令和6年度	同上	令和6年度開設(2名)
附属施設の概要	名　　称：附属鍼灸センター 目　　的：臨床実習施設、一般診療 所 在 地：新潟県新潟市北区島見町1398番地 設置年月：令和5年4月 規 模 等：室面積172.04㎡									

学校法人新潟総合学園　設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
新潟医療福祉大学				**新潟医療福祉大学**				
リハビリテーション学部				リハビリテーション学部				
理学療法学科	120	―	480	理学療法学科	120	―	480	
作業療法学科	50	―	200	作業療法学科	50	―	200	
言語聴覚学科	40	―	160	言語聴覚学科	40	―	160	
義肢装具自立支援学科	40	―	160	義肢装具自立支援学科	40	―	160	
鍼灸健康学科	40	―	160	鍼灸健康学科	40	―	160	
医療技術学部				医療技術学部				
臨床技術学科	100	―	400	臨床技術学科	100	―	400	
視機能科学科	50	―	200	視機能科学科	50	―	200	
救急救命学科	55	―	220	救急救命学科	55	―	220	
診療放射線学科	90	―	360	診療放射線学科	90	―	360	
健康科学部				健康科学部				
健康栄養学科	40	―	160	健康栄養学科	80	―	320	定員変更（40）
健康スポーツ学科	250	3年次 5	1,010	健康スポーツ学科	250	3年次 5	1,010	
看護学部				看護学部				
看護学科	107	3年次 3	434	看護学科	107	3年次 3	434	
心理・福祉学部				心理・福祉学部				
社会福祉学科	120	3年次 5	490	社会福祉学科	120	3年次 5	490	
心理健康学科	80	―	320	心理健康学科	80	―	320	
医療経営管理学部				医療経営管理学部				
医療情報管理学科	80	3年次 5	330	医療情報管理学科	80	3年次 5	330	
計	1,262	3年次 18	5,084	計	1,302	3年次 18	5,244	
新潟医療福祉大学大学院				**新潟医療福祉大学大学院**				
医療福祉学研究科				医療福祉学研究科				
保健学専攻(M)	30	―	60	保健学専攻(M)	30	―	60	
健康科学専攻(M)	16	―	32	健康科学専攻(M)	16	―	32	
社会福祉学専攻(M)	5	―	10	社会福祉学専攻(M)	5	―	10	
医療情報・経営管理学専攻(M)	4	―	8	医療情報・経営管理学専攻(M)	4	―	8	
医療福祉学専攻(D)	20	―	60	医療福祉学専攻(D)	20	―	60	
計	75	―	170	計	75	―	170	
				開志創造大学				名称変更予定
				情報デザイン学部				通信教育の開設（認可申請）
				情報デザイン学科	1,000	―	4,000	
				計	1,000	―	4,000	
事業創造大学院大学				**開志創造大学大学院**				名称変更予定
事業創造研究科				事業創造研究科				
事業創造専攻(P)	80	―	160	事業創造専攻(P)	80	―	160	
計	80	―	160	計	80	―	160	
新潟食料農業大学				**新潟食料農業大学**				
食料産業学部				食料産業学部				
食料産業学科	180	―	720	食料産業学科	180	―	720	
計	180	―	720	計	180	―	720	
新潟食料農業大学大学院				**新潟食料農業大学大学院**				
食料産業学研究科				食料産業学研究科				
食料産業学専攻(M)	6	―	12	食料産業学専攻(M)	6	―	12	
食料産業学専攻(D)	2	―	6	食料産業学専攻(D)	2	―	6	
計	8	―	18	計	8	―	18	

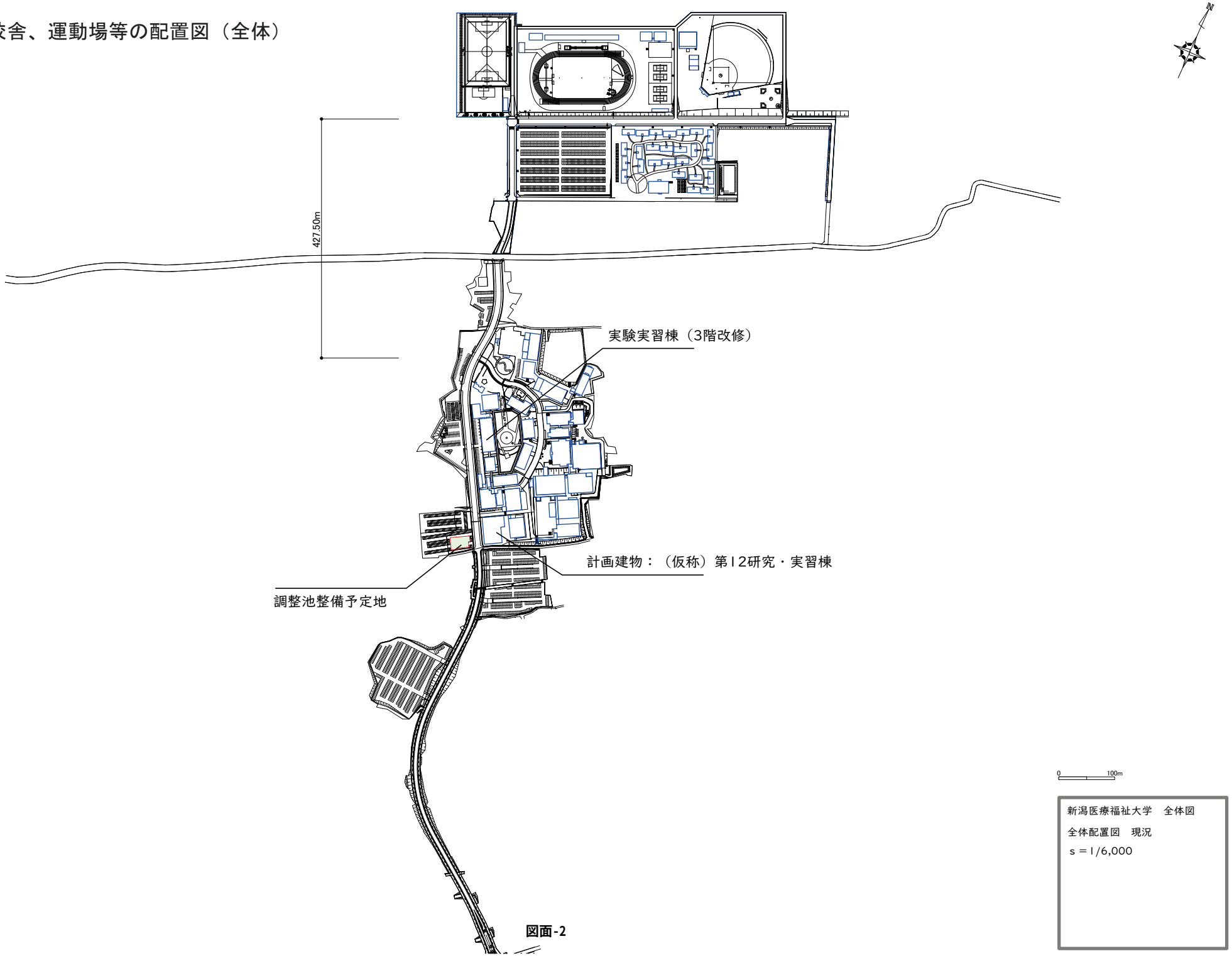
(1) 都道府県内における位置関係の図面

(2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

＜主な交通手段＞

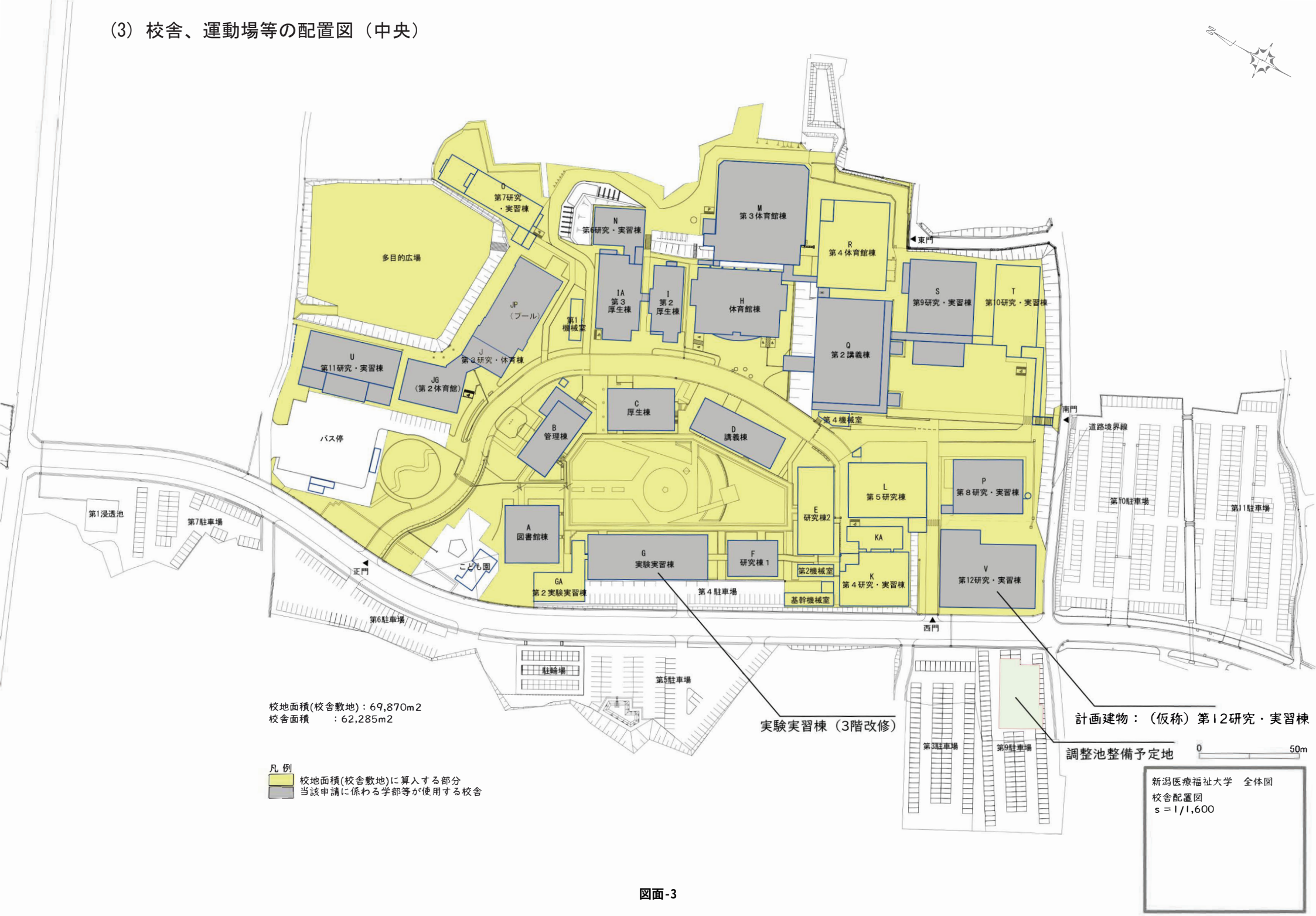
- JR豊栄駅北口よりスクールバス乗車　約20分
- 新潟駅より新潟交通路線バス「新潟医療福祉大学行き」乗車、「新潟医療福祉大学前」下車。
  または「太郎代浜行き」乗車、「新潟医療福祉大学入口」下車、徒歩2分。

(3) 校舎、運動場等の配置図（全体）



図面-2

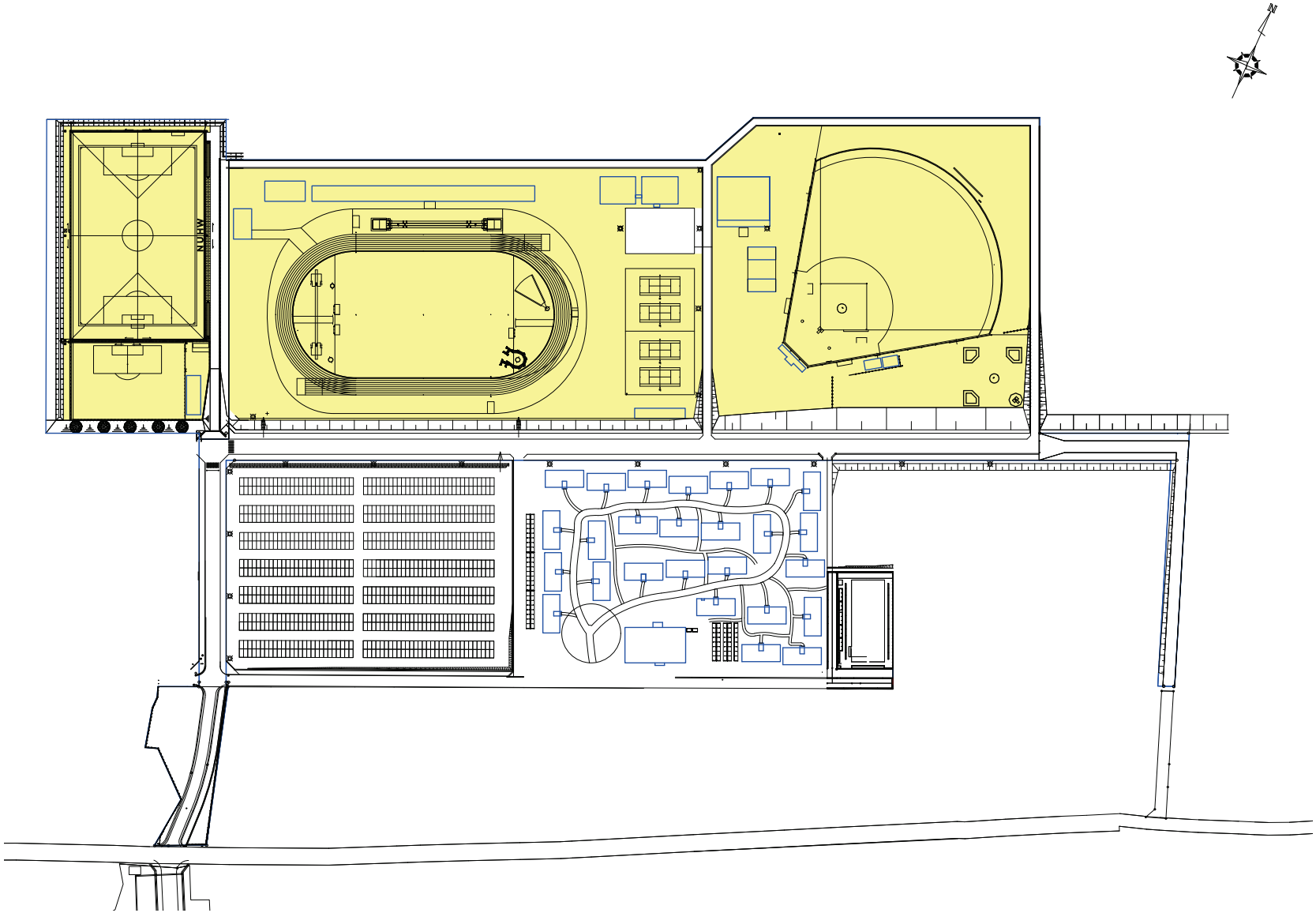
(3) 校舎、運動場等の配置図（中央）



校地面積(校舎敷地)：69,870m2
校舎面積　　：62,285m2

図面-3

(3) 校舎、運動場等の配置図（北側）



凡 例

校地面積に算入する部分

校地面積(校舎敷地)：86,887m2
※運動場用地含む

新潟医療福祉大学学則（案）

第１章　総　則

第１節　目　的

（目　的）

第１条　本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理性を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする。

（名　称）

第２条　本学は新潟医療福祉大学と称する。

（所在地）

第３条　本学は新潟県新潟市北区島見町１３９８番地に置く。

（自己点検・評価）

第４条　本学は、その教育研究の向上を図り、第１条の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表する。

２　前項の点検および評価の結果については本学の職員以外の者による検証を行う。

３　前２項の点検および評価並びに検証に関する事項は、別に定める。

（情報の積極的な提供）

第５条　本学は、本学の教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知できる方法により、積極的に外部に対して情報を提供する。

第２節　組　織

（学　部）

第６条　本学に次の学部を置く。

リハビリテーション学部、医療技術学部、健康科学部、看護学部、心理・福祉学部、医療経営管理学部

２　前項の各学部に置く学科およびその収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	３年次編入学定員	収容定員
リハビリテーション学部	理学療法学科	１２０人	－	４８０人
	作業療法学科	５０人	－	２００人
	言語聴覚学科	４０人	－	１６０人
	義肢装具自立支援学科	４０人	－	１６０人
	鍼灸健康学科	４０人	－	１６０人
医療技術学部	臨床技術学科	１００人	－	４００人
	視機能科学科	５０人	－	２００人
	救急救命学科	５５人	－	２２０人
	診療放射線学科	９０人	－	３６０人
健康科学部	健康栄養学科	８０人	－	３２０人
	健康スポーツ学科	２５０人	５人	１０１０人
看護学部	看護学科	１０７人	３人	４３４人
心理・福祉学部	社会福祉学科	１２０人	５人	４９０人
	心理健康学科	８０人	－	３２０人
医療経営管理学部	医療情報管理学科	８０人	５人	３３０人

３　学部および学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表のとおりとする。

（大学院）

第６条の２　本学に大学院を置く。

２　大学院に関する規則は、別に定める。

（研究所等）

第６条の３　本学に専門学術研究の振興および学内実習の実施等を目的とし、研究所等を置くことができる。

２　研究所等に関する規程は、別に定める。

第３節　職員組織

（職　員）

第７条　本学に次の教職員を置く。

学長、副学長、研究科長、学部長、図書館長、専攻長、学科長、分野長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員、その他必要な職員

２　本学に名誉教授、客員教授、臨床教授および非常勤講師を置くことができる。

３　学長は、本学の校務についての最終決定権を有する。

４　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

５　職員組織に関する事項は、別に定める。

（事務局）

第８条　本学に、事務局を置く。

２　事務局に関する規程は、別に定める。

第４節　総務会および教授会

（総務会）

第９条　本学に、総務会を置く。

２　総務会は、全学的な重要事項についての審議機関であり、学長、副学長、研究科長、学部長、学科長、事務局長および法人を代表する職員をもって組織する。ただし、必要があるときは、その他の教職員を加えることができる。

３　総務会は、次に掲げる全学的な重要事項について審議する。

（１）　教育研究環境の整備に関すること

（２）　学則その他重要な規程の制定・改廃に関すること

（３）　教育職員人事に関すること

（４）　学生の定員に関すること

（５）　学生の生活、身分に関する重要な事項について

（６）　理事会が諮問する事項について

（７）　学長が諮問する事項について

（８）　教育研究に関する全学的な重要事項について

（９）各学部・学科間の調整事項について

(10) その他大学運営に関する重要な事項について

４　その他必要な事項は、別に定める。

（教授会）

第１０条　本学に、教授会を置く。

２　教授会は、全学部は全学部の教授職である基幹教員をもって構成する。ただし、必要があるときは、その他の教職員を加えることができる。

３　教授会は、学長が次に掲げる重要事項について決定を行うに当たり、審議した結果を学長に意見として述べるものとする。

（１）　学生の入学、卒業に関すること

（２）　学位の授与に関すること

（３）　教育・研究の基本方針に関すること

（４）　教育課程および履修方式に関すること

（５）　学生の指導、賞罰および除籍に関すること

４　教授会は、第１０条第３項に規定するもののほか、学長およびその他の教授会が置かれる組織の長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議する。

５　教授会は、前項で審議した事項について、学長等の求めがあった場合、その結果を学長等に意見として述べることができる。

６　その他必要な事項は、別に定める。

第５節　学年、学期および休業日

（学　年）

第１１条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（学　期）
第１２条　学年を次の２学期に分ける。
　前学期　４月１日から９月３０日まで
　後学期　１０月１日から翌年３月３１日まで

（休業日）
第１３条　休業日は次のとおりとする。
（1）　日曜日および土曜日
（2）　国民の祝日に関する法律に定める日
（3）　本学の創立記念日　６月１７日
（4）　夏季休業　７月２２日から９月１日まで
（5）　冬季休業　１２月２４日から翌年１月１３日まで
（6）　春季休業　３月２５日から４月７日まで
２　必要がある場合は、学長は、前項の休業日を変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。
３　学長は、特に必要があると認めるときは、休業日においても臨時の授業日を設けることができる。

第２章　学部通則

第１節　修業年限および在学年限

（修業年限）
第１４条　学部の修業年限は、４年とする。
（最長在学年限）
第１５条　学生は８年を超えて在学することができない。ただし、編入学、転入学、および再入学した学生は、その者の在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第２節　入　学

（入学の時期）
第１６条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、学長が教育上支障がないと認めるときは学年の途中においても、学期の始めとすることができる。
２　転入学および再入学については、学期の始めとすることができる。
（入学資格）
第１７条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
（1）　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
（2）　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
（3）　外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（4）　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（5）　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（6）　文部科学大臣の指定した者
（7）　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
（8）　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの
（入学の出願）
第１８条　本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料および別に定める書類を添えて願い出なければならない。
（入学者の選考）
第１９条　入学者の選考は学力試験、その他の方法によりこれを行う。

（入学手続きおよび入学許可）
第２０条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、身元保証書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。
２　学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
（３年次編入学）
第２０条の２　第６条第２項に定める本学の３年次に編入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
（１）　大学を卒業した者
（２）　大学において、２年以上在学し、６２単位以上の授業科目を修得した者
（３）　学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者
（４）　短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
（５）　専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上であるものに限る）を修了した者
２　前項の規定による入学を志願する者に対する選考その他に関する事項については、別に定める。
（編入学・転入学・再入学）
第２１条　前条に定めるもののほか、次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長は相当年次への入学を許可することができる。
（１）　大学を卒業した者又は退学した者
（２）　短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
（３）　専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者
（４）　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）附則第７条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
２　前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目および単位数の取扱い、並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。
第２１条の２　心理・福祉学部社会福祉学科に係る社会福祉士及び介護福祉士法、および同法施行規則に定める介護福祉士養成課程については、第２０条の２および第２１条の規定は適用しない。

第３節　教育課程および履修方法等

（授業科目）
第２２条　本学の授業科目の区分は、基礎教養科目群、保健医療福祉教養科目群、保健医療福祉連携科目群、専門基礎科目群、専門専攻科目群とする。
（教育内容等の改善のための組織的な研修等）
第２３条　本学は、授業の内容および方法の改善を図るための研修および研究を行う。
２　前項の研修および研究は学長が主管し、適切な組織をもって行う。
３　研修および研究に関する詳細は、別に定める。
（単位計算方法・メディアを利用した授業）
第２４条　授業科目の単位計算方法は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準によるものとする。
（１）　講義については、１５時間をもって１単位とする。
（２）　演習については、３０時間をもって１単位とする。
（３）　実験・実習および実技については、４５時間をもって１単位とする。
（４）　教育上必要があるときは、講義については３０時間の講義、演習については１５時間の演習、実習については３０時間の実習をもって１単位とすることができる。
（５）　卒業論文、卒業研究等の科目は単位を授与することが適切と認められる場合には、単位数を定めることができる。
２　前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

（単位の授与）
第２５条　授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。
２　試験に関する規程は、別に定める。
（履修科目の登録の上限）
第２６条　卒業の要件として履修する科目について、学生が１年間に登録することができる単位数の上限は学科ごとに定め、教授会の議を経て学長が決定する。
２　前項の上限を定める際は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修することができるよう配慮するものとする。
（他大学等における授業科目の履修等）
第２７条　教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。
２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位については、教授会の議を経て学長は６０単位を限度として卒業要件単位として認めることができる。
（大学等以外の教育施設における学修）
第２８条　教育上有益と認めるときは、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
２　前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせ６０単位を超えないものとする。
（第１年次入学者の入学前の既修得単位等の認定）
第２９条　教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修により習得した単位を含む）を、教授会の議を経て学長は本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て学長は単位を与えることができる。
３　前２項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて６０単位を超えないものとする。
（本学以外での履修の許可）
第３０条　本学学生にして、第２７条および第２８条に定める本学以外の教育施設での授業科目の履修を希望する者は、教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。
（本学以外で履修した科目および単位の取り扱い）
第３１条　本学以外で修得した科目および単位の取り扱いに関する詳細は、別に定める。
（成　績）
第３２条　授業科目の試験の成績は、A+・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの５種の評語をもって表し、Ｃ以上を合格とする。
（その他）
第３３条　この節に定めるもののほか、授業科目の種類・単位数および履修方法等の詳細については、別に定める。

第４節　休学・転学・留学および退学

（休　学）
第３４条　疾病その他特別の理由により２ヵ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。
２　疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
（休学期間）
第３５条　休学期間は、１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、学長の許可を得て１年を限度として休学期間を延長することができる。
２　休学期間は、通算して３年を超えることができない。
３　休学期間は、第１４条の在学期間に算入しない。
４　休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。
（転　学）

第３６条　他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

（転　部）
第３７条　本学に学籍を有する者で、本学の他学部に転部を志望する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て学長が許可することがある。
２　その他必要な事項は、別に定める。
（転　科）
第３８条　本学に学籍を有する者で、所属学部内の他学科へ転科を志望する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て学長が許可することがある。
２　その他必要な事項は、別に定める。
（留　学）
第３９条　外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。
２　前項の許可を得て留学した期間は、第１４条に定める在学期間に含めることができる。
３　第２７条に定める他大学における授業科目の履修等の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。
（退　学）
第４０条　退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。
（除　籍）
第４１条　次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。
（１）　授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
（２）　第１５条に定める在学年限を超えた者
（３）　第３５条第２項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
（４）　死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第５節　卒業および学位

（卒　業）
第４２条　本学に在学すべき年数以上在学し以下に定める所定の単位数を修得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

リハビリテーション学部

理学療法学科	基礎教養科目群　７単位以上 保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　７単位以上 専門基礎科目群　４２単位以上　　専門専攻科目群　７２単位以上 合計　１２８単位以上
作業療法学科	基礎教養科目群　７単位以上 保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　７単位以上 専門基礎科目群　３８単位以上　　専門専攻科目群　８０単位以上 合計　１３２単位以上
言語聴覚学科	基礎教養科目群　７単位以上 保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　７単位以上 専門基礎科目群　４６単位以上　　専門専攻科目群　６４単位以上 合計　１２４単位以上
義肢装具自立支援学科	基礎教養科目群　７単位以上 保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　７単位以上 専門基礎科目群　４２単位以上　　専門専攻科目群　７３単位以上 合計　１２９単位以上
鍼灸健康学科	基礎教養科目群　６単位以上 保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位以上 専門基礎科目群　４４単位以上 専門専攻科目群　６６単位以上 合計　１２４単位以上

医療技術学部

臨床技術学科	基礎教養科目群　６単位以上

保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位以上
専門基礎科目群　５２単位以上　　専門専攻科目群　１０３単位以上
合計　１６９単位以上

視機能科学科　基礎教養科目群　６単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位以上
専門基礎科目群　３７単位以上　　専門専攻科目群　７３単位以上
合計　１２４単位以上

救急救命学科　基礎教養科目群　６単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位以上
専門基礎科目群　４３単位以上　　専門専攻科目群　６９単位以上
合計　１２６単位以上

診療放射線学科　基礎教養科目群　６単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位以上
専門基礎科目群　３５単位以上　　専門専攻科目群　７９単位以上
合計　１２８単位以上

健康科学部

健康栄養学科　基礎教養科目群　６単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位以上
専門基礎科目群　４１単位以上　　専門専攻科目群　６９単位以上
合計　１２４単位以上

健康スポーツ学科　基礎教養科目群　７単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　７単位以上
専門基礎科目群　２５単位以上
専門専攻科目群　７６単位以上
上記の条件に加え、専門基礎科目群および専門専攻科目群から１０単位以上
合計　１２５単位以上

看護学部

看護学科　基礎教養科目群　６単位
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位
専門基礎科目群　２７単位
専門専攻科目群　７６単位
上記の条件に加え、全ての科目群の選択科目から７単位以上（上記保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群の卒業要件として履修した選択科目を除く。）
合計　１２４単位以上

心理・福祉学部

社会福祉学科　基礎教養科目群　６単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　８単位以上
専門基礎科目群　６０単位以上　　専門専攻科目群　５１単位以上
合計　１２５単位以上

心理健康学科　基礎教養科目群　１０単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　１４単位以上
専門基礎科目群　４２単位以上
専門専攻科目群　６２単位以上
合計　１２８単位以上

医療経営管理学部

医療情報管理学科　基礎教養科目群　７単位以上
保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群　７単位以上
専門基礎科目群　６５単位以上　　専門専攻科目群　４５単位以上
合計　１２４単位以上

２　学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

（学　位）

第４３条　卒業した者は、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

リハビリテーション学部	学士（理学療法学）、学士（作業療法学）、学士（言語聴覚学）、 学士（義肢装具自立支援学）、学士(鍼灸健康学)
医療技術学部	学士（臨床技術学）、学士（視機能科学）、学士（救急救命学） 学士（診療放射線学）
健康科学部	学士（健康栄養学）、学士（健康スポーツ学）
看護学部	学士（看護学）
心理・福祉学部	学士（社会福祉学）、学士（心理学）
医療経営管理学部	学士（医療情報学）

（資格の取得）
第４４条　本学において取得することができる国家試験受験資格および免許の種類は、別表のとおりとする。

第６節　賞　罰

（表　彰）
第４５条　学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て学長が表彰することができる。
（懲　戒）
第４６条　本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。
２　前項の懲戒の種類は、退学、停学および訓告とする。
３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
（１）　性行不良で改善の見込みがない者
（２）　正当な理由がなくて出席が常でない者
（３）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第７節　厚生施設

（厚生施設）
第４７条　本学に厚生施設を置く。
２　前項の厚生施設の運営等に関する規則は、別に定める。

第８節　研究生、科目等履修生、特別聴講学生および外国人留学生

（研究生）
第４８条　本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、各学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長が研究生として入学を許可することがある。
２　研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
３　研究期間は、１年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。
（科目等履修生）
第４９条　本学の学生以外の者で、本学の一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て学長が科目等履修生として入学を許可することがある。
（特別聴講学生）
第５０条　他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、教授会の議を経て学長が特別聴講学生として入学を許可することがある。
（外国人留学生）
第５１条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て学長が外国人留学生として入学を許可することがある。
２　前項の外国人留学生に対しては、第２１条に掲げるもののほか、日本語科目および日本事情に関する科目を置くことができる。
（規　定）
第５２条　研究生、科目等履修生、特別聴講学生および外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第９節　検定料、入学金、授業料他

（検定料、入学金、授業料他）
第５３条　検定料、入学金、および授業料の額は、別表のとおりとする。
２　次年度以降在学中はスライド制の適用により改訂することができる。スライド制を適用するときの変動率は原則として次のものを基準とする。
授業料については、人事院による「国家公務員の給与に関する勧告」よって示された国家公務員給与の対前年度アップ率に同じく定期昇給のアップ率分を加算したものによる。
施設設備金については消費者物価指数（総務省統計局全国総合）の対前年度アップ率による。

（授業料の納付）
第５４条　授業料は、年額の２分の１ずつを次の２期に分けて納付しなければならない。

区　分	納　期
前期（４月から９月まで）	４月末日まで
後期（１０月から翌年３月まで）	１０月末日まで

（復学等の場合の授業料）
第５５条　前期又は後期の中途において、復学又は入学した者は、復学又は入学した月から当該期末までの授業料を復学又は入学した月に納付しなければならない。
（学年の途中で卒業する場合の授業料）
第５６条　学年の中途で卒業する見込みの者は卒業する見込みの月までの授業料を納付するものとする。
（退学および停学の場合の授業料）
第５７条　前期又は後期の中途で退学し又は除籍された者の該当期分の授業料は徴収する。
２　停学期間中の授業料は徴収する。
（休学の場合の授業料）
第５８条　休学を許可され又は命ぜられた者については、休学した月の翌月（休学する日が月の初日からのときは、その月）から復学した月の前月までの授業料の３分の２を免除する。
（授業料の免除および徴収の猶予）
第５９条　経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認める場合又はその他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料の全部もしくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。
２　授業料の免除および徴収の猶予に関し必要な事項は、別に定める。
（研究生および科目履修生等の授業料等）
第６０条　研究生、科目等履修生および特別聴講学生の検定料および授業料については、別に定める。
（納付した授業料等）
第６１条　納付した検定料、入学金および授業料は返還しない。

第１０節　奨学制度

（奨学制度）
第６２条　奨学のため、諸種制度を設けることができる。
２　制度に関する詳細は、総務会の議を経て理事会が定める。

第１１節　公開講座

（公開講座）
第６３条　社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第１２節　施設利用

（施設利用）
第６４条　本学の施設は、本学の学生および教職員が使用できる。ただし、一般市民に開放することもできる。
２　施設の使用、利用および管理に関する規程は、別に定める。

第３章　改正および細則

（改　正）

第６５条　本学則の改正は、総務会の議を経て学長が決定する。ただし、理事会に留保されている事項の改正は、総務会の議を経て理事会が決定する。
２　改正後の学則および規程等は、法令が定めるところにより個別の同意の如何にかかわらず効力を生じる。
３　本学則の改正は、総務会の議を経て学長が決定する。ただし、理事会に留保されている事項の改正は、総務会の議を経て理事会が決定する。

（学部細則その他）
第６６条　各学部規程ほか、本学則施行についての細則その他必要な事項は、別に定める。

附　則
１．この学則は、平成１３年４月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、平成１７年４月１日から施行する。ただし、第３２条、第４２条、別表（第３３条関係）および別表（第４４条関係）については平成１７年度以降の入学者に適用し、平成１６年度以前の入学者については従前どおりとする。

附　則
１．この学則は、平成１８年４月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、平成１９年４月１日から施行する。ただし、第６条第２項、第４２条、第４３条、別表（第３３条関係）、別表（第４４条）および別表（第５３条）については平成１９年度以降の入学者に適用し、平成１８年度以前の入学者については従前どおりとする。

附　則
１．この学則は、平成２１年４月１日から施行する。
２．平成２０年度以前に入学した者（以下「旧学則適用学生」という。）の教育課程および履修方法等並びに卒業の要件は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
３．前項の場合において、旧学則適用学生が履修しようとする授業科目が当該年度に開講されないときは、当該学生は、別に定めるところにより、改正後の学則に規定する授業科目を履修できるものとし、修得した単位は、改正前の学則に定める授業科目の単位とみなす。

附　則
１．この学則は、平成２２年４月１日から施行する。
２．平成２１年度以前に入学した者（健康科学部に限る）の教育課程および履修方法等は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則
１．この学則は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、平成２４年４月１日から施行する。
２．平成２３年度以前に入学した者（健康科学部看護学科，社会福祉学部社会福祉学科に限る）の教育課程および履修方法は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則
１．この学則は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、平成２６年４月１日から施行する。
２．平成２５年度以前に入学した者の教育課程および履修方法等は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則
１．この学則は、平成２６年７月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、平成２８年４月１日から施行する。
２．平成２７年度以前に入学した者（医療技術学部理学療法学科に限る）の教育課程および履修方法は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３．平成２６年度以降に入学した者（医療技術学部臨床技術学科に限る）の教育課程および履修方法は、この学則の改正後の学則の規定に従う。

附　則
１．この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、平成３０年４月１日から施行する。
２．平成２９年度以前に入学した者の教育課程および履修方法等は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
３．健康科学部看護学科の３年次編入学定員は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、平成３１年度まで継続し実施する。

附　則
１．この学則は、平成３１年４月１日から施行する。
２．平成３０年度以前に入学した者の教育課程および履修方法等は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則
１．この学則は、令和元年８月１日から施行する。

附　則
１．この学則は、令和２年４月１日から施行する。
２．平成３１年度以前に入学した者の教育課程および履修方法等は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則
１．この学則は、令和３年４月１日から施行する。
２．令和２年度以前に入学した者（社会福祉学部社会福祉学科に限る）の教育課程および履修方法は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則
１．この学則は、令和４年４月１日から施行する。
２．令和３年度以前に入学した者の教育課程および履修方法は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則
１．この学則は、令和４年４月１日から施行する。
２．令和３年度以前に入学した者の教育課程（基礎教養科目群、保健医療福祉連携科目群に限る）はこの改正後の学則に従う。
３．令和３年度以前に入学した者の履修方法等並びに卒業の要件は、この学則による改正後の学則の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附　則

１．この学則は、令和５年４月１日から施行する。

２．令和４年度に入学した者の教育課程（健康スポーツ学科の教職科目に限る）は、この改正後の学則に従う。

３．令和４年度以前に入学した者の教育課程および履修方法は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則

１．この学則は、令和６年４月１日から施行する。

２．令和５年度以前に入学した者の教育課程および履修方法等は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則

１．この学則は、令和７年４月１日から施行する。

２．令和６年度以前に入学した者の教育課程および履修方法等は、この学則による改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表（第６条関係）

学部および学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

学部・学科	教育研究上の目的
リハビリテーション学部	リハビリテーション学部は、幅広い教養科目とリハビリテーションに関連する専門基礎科目や専門専攻科目を通して、リハビリテーションの基盤を形成する理学療法学、作業療法学、言語聴覚療法学および義肢装具自立支援学に関する知識・技能や、科学的思考力、医療従事者としての倫理観と責任感、および人間性を涵養する。さらに、様々な問題点を発見し、論理的に解決する力を養うとともに、変化する社会のニーズや科学の進歩に関心をもち続け、生涯を通じて探求心を礎に自らを高めることができる精神を醸成する。これにより、保健・医療・福祉を主とした多職種間で調和のとれたコミュニケーションを図ることができる「優れたQOLサポーター」を育成する。
理学療法学科	理学療法学科は、時代が求める「優れたQOLサポーター」の一翼を担う理学療法士を育成し、社会に貢献することを使命としている。医療、福祉、健康・スポーツなどの領域で高い倫理観、向上心、探求心をもって臨床・研究活動に貢献し、それぞれの領域にて中心的・指導的な役割を果たし、対象者の問題解決に寄与できる人材の育成を図る。さらに、学内外の実習や国際交流等様々な活動を通してこれらの態度、意欲を涵養し、実践的行動力を醸成する。
作業療法学科	作業療法学科は、作業療法士に必要な幅広い教養と専門的知識・技能を有し、作業の意味や価値を人間の生活、心身機能、文化･社会と結びつけて総合的に解釈することにより作業が健康に及ぼす影響を論理的に考察できる能力を育成する。また、医療専門職として人間の尊厳を尊重できる豊かな人間性をもって対象者と良好な関係性を構築し、多職種との連携を深めることができる素養を育む。さらに、生涯を通じて科学や社会の発展に関心をもち続け、作業療法を主体的に探求しようとする使命感や責任感を涵養する。
言語聴覚学科	言語聴覚学科は、言語聴覚障害ならびに摂食嚥下障害のある人をとりまく諸問題を解決するために必要な幅広い教養と専門知識・技能を有する言語聴覚士を育成する。科学的な評価と分析的観察から得られた情報を総合的に解釈し、他の職種との連携を通して適切に判断し行動できる能力を涵養する。また、言語聴覚障害学とその関連領域の進歩に関心をもち自己研鑽を続ける意欲を有し、社会に貢献できる「優れたQOLサポーター」としての人材を養成する。
義肢装具自立支援学科	義肢装具自立支援学科は、義肢装具士に必要な幅広い教養と専門的知識・技能を習得し、義肢装具と福祉用具・機器の役割や必要性を対象者の心身の状態、生活と社会の環境に基づいて解釈し、対象者のQOLに及ぼす影響を論理的に考察でき、具体的に説明できる能力と基本的な製作・調整・適合ができる技術を育成する。さらに、義肢装具と福祉用具・機器の発展に関心をもち続け、探究心と自己研鑽によって社会貢献し続ける使命感と責任感を涵養する。
鍼灸健康学科	鍼灸健康学科は、現代医学の知識を修得し、実習を通じて鍼灸の技術を身に付け、病院、福祉、スポーツ、美容などの医療と健康分野で他の従事者と調和を持って活躍できる優れた鍼師・灸師を育成する。また、鍼灸治療の適否を的確に判断し、適切な対応をとるとともに治療効果を適切な指標を用いて評価し、客観的なデータで記録できる高い倫理観と豊かな感性を具有した臨床的、実証的、理論的、体系的思考力を修得した鍼灸医学の科学的解明に貢献できる人材を育成する。さらに、疾患の治癒や症状の緩和を目指すだけでなく、疾患・障害の予防やアンチエイジングなど人々が健康に生活できる心身の健全な状態を維持、獲得するための鍼灸の知恵と技術を生かせる人材を育成する。
医療技術学部	医療技術学部は、多くの学問領域から構成されている特徴を生かした連携教育や工夫されたカリキュラムなどを通して、科学的思考力とともに専門的な知識・技術、幅広い教養を育み、高い倫理観や豊かな人間性を養うとともに、変化する社会のニーズや科学の進歩に関心をもち続け、生涯を通じて探求心を礎に自らを高めることができるよう支援する。これにより、保健・医療・福祉を主とした多職種間で調和のとれたコミュニケーションを図ることができる「優れたQOLサポーター」を育成する。
臨床技術学科	臨床技術学科は、臨床工学技士と臨床検査技師の二つの国家資格を有し、これまでより踏み込んだ形で幅広い医療業務に携わり、時代とともに進歩する先端医療にも対応しうる臨床技術者を育成する。この実現には、保健・医療・福祉に強い関心を持続させ、修得した確かな知識・技能をもとに論理的な思考や記述ができ、コミュニケーションを重視して、同僚および他の専門職との連携医療を担える能力を育成する。
視機能科学科	視機能科学科は、視能訓練士に必要とされる視覚機能に関する高度な専門知識・技術を習得し、視覚機能に関し論理的に思考し、科学的根拠に基づく的確な判断ができる能力を育む。生涯を通じて専門分野の動向、社会情勢に関心をもち続け、医療の進歩に貢献できるよう自己を高める意欲を培う。さらに、深い学識および豊かな人間性を育み、関連職種との円滑な連携が構築できる人材の育成を図る。
救急救命学科	救急救命学科は、病院前救急救命医療に係る専門的知識・技能を基盤とした科学的考察に基づく総合的な問題解決能力を有する救急救命士を育成する。救急救命士として、健全な人間性と倫理観、強い使命感と奉仕の精神をもち、他の専門職と協働して病院前救急救命医療および災害・防災の分野で地域社会における住民の保健に貢献できる人材を養成する。

	診療放射線学科	診療放射線学科は、診療放射線技師に必要とされる高度な専門知識と技術を習得し、常に進歩する診療放射線技術や医療技術に対応しうる能力を育成する。また、チーム医療の一翼を担う医療専門職として、健全な人間性と倫理観、常に専門性を追求する意欲をもち、他の専門職と協働して地域医療や救急医療に貢献する能力を涵養する。さらに、医療サービス対象者と良好な関係を構築するためのコミュニケーション力、論理的思考力、判断力を身に付け、科学的考察に基づく総合的な問題解決能力を有する人材を養成する。
健康科学部		健康科学部は、幅広い教養と豊かな人間性を育み、専門分野の深い理解をもとに健康課題についての的確な判断力と問題解決能力を醸成する。また、高い技能とコミュニケーション能力とともに、専門的職業人としての使命感と責任感を培い、社会や科学の発展に関心をもち、生涯を通じて探求心を礎に主体的に学習する人材を育成する。これらにより、人の健康づくりを担う「優れたQOLサポーター」の育成を目指す。
	健康栄養学科	健康栄養学科は、健康の保持・増進、疾病の治療・重症化予防、虚弱・介護予防等の対象者に、医療行為である栄養の指導（生体機能に影響を及ぼす食事の内容・タイミング・回数、栄養補給法等を調節し、対象者の栄養代謝や身体機能を制御する）を科学的根拠に基づいて実施できる高度な能力と思いやりの心を有する管理栄養士・栄養士を育成する。さらに、研究心および職業倫理を涵養し、公衆衛生の向上に寄与できる人材の育成を目指す。
	健康スポーツ学科	健康スポーツ学科は、スポーツ・運動を通して幅広い教養と専門的知識・技能を習得し、健康やスポーツの意義や価値を人間の生活、心身機能、文化･社会と結びつけて理解し、スポーツ科学や健康科学を論理的に思考でき、かつ基本的なスポーツや健康づくりを指導できる実践的能力を育成する。さらに、生涯を通じて科学や社会の発展に関心をもち続け、スポーツ・運動そして健康に主体的に関わり探求しようとする使命感や責任感を涵養する。
看護学部		看護学部は、人の多様な価値観を尊重し、人権擁護に基づく行動がとれる倫理的能力や看護者として必要な幅広い教養と豊かな人間性を培い、専門的知識と方法論を用いて課題を解決していくための判断力と問題解決能力を育成する。さらに、保健医療福祉における看護の役割を果たし、連携医療を担える能力を育成するとともに、看護の動向や社会の変化に関心をもち続け、地域･国際社会におけるヒューマンケアリングに基づいた看護を探求しようとする使命感と責任感を涵養する。
	看護学科	
心理・福祉学部		心理・福祉学部は、幅広い教養と豊かな人間性を育み、社会福祉学や心理学、心身の健康に関連する専門的知識・技術をもとに課題を発見して解決する思考力と判断力を養成する。また、人間と社会の諸問題や、福祉社会の構成要素の動向に関心を持ち、探求心を礎に主体的に学び続ける姿勢を育成する。これらにより、人間の多様な生き方や個性を尊重し、多様な人々のウェルビーイングに貢献できる「優れたQOLサポーター」を育成する。
	社会福祉学科	社会福祉学科は、福祉社会の構築に必要な専門的な知識と人間を理解するための幅広い教養、専門的な知識に根ざした思考力と判断力を養成する。また、福祉社会の構成要素の動向に関心をもち、福祉増進のための課題をとらえる意欲と、人間の多様な生き方や個性、自己表現の方法を多角的に理解し、人権と人格を尊重する態度を涵養する。さらに、社会福祉専門職としての問題解決能力と、対象となる個人や集団と良好な関係を築き、同僚や関連職種・機関と連携できる能力を育成する。
	心理健康学科	心理健康学科は、心理学及び心身の健康に関する専門的知識と人間を理解するための幅広い教養、専門的知識を用いて課題を発見し、解決する思考力と判断力を養成する。また、人間と社会の諸問題にたえず関心を寄せ、あくなき探求心と豊かな共感力を有し、積極的なリーダーシップと行動力で、問題解決に取り組むことができる態度を涵養する。さらに、豊かな人間性と倫理観を有し、人類と社会の調和的発展とウェルビーイングに貢献できる能力を育成する。
医療経営管理学部		医療経営管理学部は、医療・経営・情報に関する専門的知識を有し、医療情報管理分野の専門的知識に根ざした思考力・判断力を涵養する。また、社会の変化、医療情報技術の進歩に関心をもち続け生涯を通じて主体的に学び続ける姿勢を養成する。さらに、社会人の一員として、専門的職業人として、礼節・使命感・責任感をもち対象者・同僚・関連職種と良好なコミュニケーションがとれる能力と問題解決能力を有する「優れたQOLサポーター」を育成する。
	医療情報管理学科	

別表（第33条関係）

健康科学部　健康栄養学科

授業科目の名称		配当年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
基礎教養科目群	基礎ゼミ	1	1			
	情報処理Ⅰ	1	1			
	情報処理Ⅱ	1	1			
	情報処理Ⅲ	2		1		
	英語Ⅰ	1	1			
	英語Ⅱ	1	1			
	アカデミック英語Ⅰ	2･3･4		1		
	アカデミック英語Ⅱ	2･3･4		1		
	アカデミック英語Ⅲ	2･3･4		1		
	韓国語Ⅰ	1･2		1		
	中国語Ⅰ	1･2		1		
	スペイン語Ⅰ	1･2		1		
	ドイツ語Ⅰ	1･2		1		
	韓国語Ⅱ	2･3		1		Ⅰを履修していること
	中国語Ⅱ	2･3		1		
	スペイン語Ⅱ	2･3		1		
	ドイツ語Ⅱ	2･3		1		
	日本語表現法Ⅰ	1		1		
	日本語表現法Ⅱ	1		1		
	スポーツ・健康	1	1			
	スポーツ・実践	2･3･4		1		
	哲学	1		1		
	倫理学	1		1		
	ジェンダー論	1		1		
	科学論	1		1		
	情報科学	1		1		
	研究プロジェクト演習Ⅰ	1		1		
	研究プロジェクト演習Ⅱ	2		1		
	研究プロジェクト演習Ⅲ	2		1		
	研究プロジェクト演習Ⅳ	3		1		
	研究プロジェクト演習Ⅴ	3		1		
	研究プロジェクト演習Ⅵ	4		1		
	小計	—	6	26	0	卒業要件：６単位以上
保健医療福祉教養科目群	ボランティアの世界	1		1		
	コミュニケーション学入門	1		1		
	対人コミュニケーション論	1		1		
	心理学の世界	1		1		
	人間を知る	1		1		
	命の倫理	1		1		
	ＱＯＬの世界	1		1		
	こどもの世界	1		1		
	アスリートの世界	1		1		
	臨床医の世界	1		1		
	加齢と身体	1		1		
	食を楽しむ	1		1		
	眼の神秘	1		1		
	義肢装具の世界	1		1		
	新潟学	1		1		
	国際保健の世界	1		1		
	国民の生活と健康を支える仕組み	1		1		
	現代社会と経済	1		1		
	法学Ⅰ	1		1		
	法学Ⅱ	1		1		
	臨床の哲学	1		1		
	臨床技術の世界	1		1		
	留学の魅力	1		1		
	シティズンシップ教育入門	1		1		
	放射線の基礎と人体への影響	1		1		
	新潟水俣病の理解	1		1		
	一次救命処置法	1		1		
	東洋医学的養生	1		1		
	自然人類学概論	1		1		
	データサイエンス概論	1		1		
	アスリートサポートの世界	1		1		
	比較認知科学の世界	1		1		
	アカデミック・ライティング	1		1		
保健医療福祉連携科目群	連携基礎ゼミ	2	1			
	チームアプローチ入門	1		1		２単位以上選択
	保健医療福祉連携学	2･3		1		
	地域連携学	3		1		
	連携総合ゼミ	3・4		1		
	社会連携実践演習Ⅰ	1･2･3･4		1		
	社会連携実践演習Ⅱ	1･2･3･4		1		
	国際交流演習Ⅰ	1･2･3･4		1		
	国際交流演習Ⅱ	1･2･3･4		1		
	小計	—	1	41	0	卒業要件：８単位以上

別表（第33条関係）

健康科学部　健康栄養学科（つづき）

授業科目の名称		配当年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門基礎科目群	健康管理概論	1	1			
	社会福祉総論	1	1			
	公衆衛生学	1	2			
	保健統計学	3	2			
	生化学Ⅰ	1	2			
	生化学Ⅱ	1	2			
	生化学実験	2	2			
	解剖生理学Ⅰ	1	2			
	解剖生理学Ⅱ	1	2			
	解剖生理学実習Ⅰ	1	1			
	解剖生理学実習Ⅱ	1	1			
	運動生理学Ⅰ	2	2			
	医学基礎	1	2			
	臨床医学Ⅰ	2	2			
	調理学	1	2			
	調理学実習Ⅰ	1	1			
	調理学実習Ⅱ	1	1			
	食品学Ⅰ	1	2			
	食品学Ⅱ	1	2			
	食品学実験	2	2			
	食品衛生学	1	2			
	食品衛生学実験	1	1			
	食品加工学	2	2			
	食品加工学実習	2	1			
	基礎実践演習	1	1			
	小計	—	41	0	0	卒業要件：４１単位以上
専門専攻科目群（共通科目）	基礎栄養学	1	2			
	応用栄養学Ⅰ	2	2			
	応用栄養学Ⅱ	2	2			
	応用栄養学Ⅲ	3	2			
	栄養学実習Ⅰ	2	1			
	栄養学実習Ⅱ	2	1			
	栄養教育論Ⅰ	2	2			
	栄養教育論Ⅱ	3	2			
	栄養教育実習Ⅰ	2	1			
	栄養教育実習Ⅱ	3	1			
	カウンセリング技法	3	2			
	臨床栄養学Ⅰ	2	2			
	臨床栄養学Ⅱ	2	2			
	臨床栄養学Ⅲ	3	2			
	臨床栄養学実習Ⅰ	2	1			
	臨床栄養学実習Ⅱ	3	1			
	臨床医学Ⅱ	3	1			
	臨床栄養管理演習	4	1			
	公衆栄養学Ⅰ	2	2			
	公衆栄養学Ⅱ	3	2			
	公衆栄養学実習Ⅰ	3	1			
	献立作成演習	2	1			
	給食経営管理論Ⅰ	2	2			
	給食経営管理論Ⅱ	3	2			
	給食経営管理実習Ⅰ	3	2			
	老年栄養学	3	2			
	総合演習	4	2			
	チームコミュニケーション演習Ⅰ	3	1			
	チームコミュニケーション演習Ⅱ	3	1			
	入門臨地実習（臨地）	2	1			
	臨床栄養学実習Ⅲ（臨地）	3	3			
	介護栄養学実習（臨地）	3	2			
	公衆栄養学実習Ⅱ（臨地）	3		1		どちらか１単位を選択
	給食経営管理実習Ⅱ（臨地）	3		1		
	運動指導論演習	2		1		
	臨床心理学	2		2		
	食生活論	2		2		
	運動生理学Ⅱ	2		1		
	スポーツ栄養学	4		2		
	分野探求型臨地実習（臨地）	4		2		
	研究方法論	3	1			
	健康栄養学特講Ⅰ	3	2			
	健康栄養学特講Ⅱ	4	2			
	健康利用学特講Ⅲ	4	2			
	卒業研究Ⅰ	4	2			
	卒業研究Ⅱ	4	2			
	小計	—	63	12	0	

別表（第33条関係）

健康科学部　健康栄養学科（つづき）

授業科目の名称		配当年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門専攻科目群（栄養教諭）	学校栄養指導論Ⅰ	3		2		栄養教諭コースのみ必修
	学校栄養指導論Ⅱ	3		2		
	教職概論	1		2		
	教育原理	1		2		
	教育心理学Ⅰ	2		1		
	教育心理学Ⅱ	2		1		
	教育社会制度論Ⅰ	2		1		
	教育社会制度論Ⅱ	2		1		
	教育課程論	2		2		
	教育方法・技術	2		2		
	道徳教育指導論Ⅰ	3		1		
	生徒指導論	3		2		
	教育相談	3		2		
	特別活動指導論Ⅰ	3		1		
	特別支援教育論	3		1		
	総合的な学習の時間の指導論	3		1		
	教職実践演習（栄養教諭）	4		2		
	教育実習（栄養教諭）	4		3		
	教職教養演習Ⅰ	2		1		栄養教諭コースのみ選択
	教職教養演習Ⅱ	3		1		栄養教諭コースのみ選択
	小計	—	0	31	0	卒業要件：専門専攻科目群(共通科目・栄養教諭)より69単位以上
合計		—	111	110	0	卒業要件：４年以上在学し，かつ１２４単位以上取得

別表（第４４条関係）

取得することができる国家試験受験資格および免許・資格の種類

学部	学科	免許・資格
リハビリテーション学部	理学療法学科	理学療法士国家試験受験資格
	作業療法学科	作業療法士国家試験受験資格
	言語聴覚学科	言語聴覚士国家試験受験資格
	義肢装具自立支援学科	義肢装具士国家試験受験資格
	鍼灸健康学科	はり師国家試験受験資格 きゅう師国家試験受験資格
医療技術学部	臨床技術学科	臨床工学技士国家試験受験資格 臨床検査技師国家試験受験資格
	視機能科学科	視能訓練士国家試験受験資格
	救急救命学科	救急救命士国家試験受験資格
	診療放射線学科	診療放射線技師国家試験受験資格
健康科学部	健康栄養学科	栄養士免許 管理栄養士国家試験受験資格 栄養教諭一種免許
	健康スポーツ学科	中学校教諭一種免許（保健体育） 高等学校教諭一種免許（保健体育）
看護学部	看護学科	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格 養護教諭一種免許
心理・福祉学部	社会福祉学科	社会福祉士国家試験受験資格 精神保健福祉士国家試験受験資格 介護福祉士国家試験受験資格
	心理健康学科	公認心理師国家試験受験資格

1　理学療法士国家試験受験資格、作業療法士国家試験受験資格を得ようとする者は、理学療法士および作業療法士法並びに同法施行令および理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める単位を修得しなければならない。

2　言語聴覚士国家試験受験資格を得ようとする者は、言語聴覚士法および言語聴覚士学校養成所指定規則に定める単位を修得しなければならない。

3　栄養士の免許証を得ようとする者は、栄養士法並びに同法施行令および同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

4　管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、栄養士法並びに同法施行令および管理栄養士学校指定規則に定める単位を修得しなければならない。

5　社会福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、社会福祉士および介護福祉士法並びに同法施行令および文部科学大臣・厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目および単位を修得しなければならない。

6　精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、精神保健福祉士法並びに同法施行規則および厚生労働大臣の指定する精神障害者の保健および福祉に関する科目および単位を修得し

なければならない。

7　栄養教諭一種免許、養護教諭一種免許、中学校教諭一種免許および高等学校教諭一種免許を得ようとする者は、教育職員免許法および同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

8　看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格および助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、保健師助産師看護師法並びに同法施行令および保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める単位を修得しなければならない。

9　介護福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、社会福祉士および介護福祉士法並びに同法施行規則および社会福祉士介護福祉士学校指定規則に定める単位を修得しなければならない。

10　義肢装具士国家試験受験資格を得ようとする者は、義肢装具士法並びに同法施行規則および義肢装具士学校養成所指定規則に定める単位を修得しなければならない。

11　臨床工学技士国家試験受験資格を得ようとする者は、厚生労働大臣が指定する科目および単位を修得しなければならない。

12　臨床検査技師国家試験受験資格を得ようとする者は、臨床検査技師等に関する法律第２条に規定する検査（生理学的検査を除く）に関する科目で厚生労働大臣が指定する科目および単位を修得しなければならない。

13　視能訓練士国家試験受験資格を得ようとする者は、視能訓練士法並びに同法施行規則および視能訓練士学校養成所指定規則に定める単位を修得しなければならない。

14 救急救命士国家試験受験資格を得ようとする者は、厚生労働大臣が指定する科目および単位を修得しなければならない。

15 診療放射線技師国家試験受験資格を得ようとする者は、診療放射線技師法並びに同法施行令および診療放射線技師学校養成所指定規則に定める単位を修得しなければならない。

16 はり師国家試験受験資格、きゅう師国家試験受験資格を得ようとする者は、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律並びに同法律施行規則およびあん摩マツサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設認定規則に定める単位を修得しなければならない。

17 公認心理師国家試験受験資格を得ようとする者は、文部科学大臣および厚生労働大臣指定の科目を修得し卒業後、養成課程のある大学院等を修了しなければならない。

別表（第５３条関係）

検定料、入学金および授業料

リハビリテーション学部

	理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 義肢装具自立支援学科 鍼灸健康学科
入学検定料	35,000 円
入学金	350,000 円
授業料	1,000,000 円
施設設備金	350,000 円
実験実習料	150,000 円

医療技術学部

	臨床技術学科 視機能科学科 救急救命学科	診療放射線学科
入学検定料	35,000 円	35,000 円
入学金	350,000 円	300,000 円
授業料	1,000,000 円	1,100,000 円
施設設備金	350,000 円	400,000 円
実験実習料	150,000 円	150,000 円

健康科学部

	健康栄養学科	健康スポーツ学科
入学検定料	35,000 円	35,000 円
入学金	350,000 円	250,000 円
授業料	1,000,000 円	850,000 円
施設設備金	350,000 円	350,000 円
実験実習料	150,000 円	50,000 円

看護学部

	看護学科
入学検定料	35,000 円
入学金	300,000 円
授業料	1,100,000 円
施設設備金	300,000 円
実験実習料	250,000 円

心理・福祉学部

	社会福祉学科 心理健康学科
入学検定料	35,000 円
入学金	250,000 円
授業料	830,000 円
施設設備金	280,000 円
実験実習料	40,000 円

医療経営管理学部

	医療情報管理学科
入学検定料	35,000 円
入学金	280,000 円
授業料	800,000 円
施設設備金	200,000 円
実験実習料	50,000 円

ただし、大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料は、20,000 円とする。

学則の変更の趣旨等を記載した書類（本文）

目次

１．学則変更(収容定員変更)の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．学則変更(収容定員変更)の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　１）新潟医療福祉大学の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　２）健康科学部健康栄養学科の学則変更(収容定員変更)の必要性・・・・・・・ 3
　　(1) 社会からの人材需要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
　　(2) 健康栄養学科の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　　(3) 入学志願者ニーズと入学者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

３．学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容・・・・・・・・・・・・・ 11
　１）教育課程について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
　２）教育課程の編成の考え方及び他学科への影響・・・・・・・・・・・・・・・ 12
　　(1) 全学共通科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
　　(2) 学科専門科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
　　(3) ディプロマポリシー及び卒業要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
　　(4) 教育課程上の他学科への影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　３）教育方法及び履修指導方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
　　(1) 教育方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
　　(2) 履修指導方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
　　(3) 他大学における授業科目の履修の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

４．教員組織の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
　１）本学科の教員構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
　　(1) 他学科への影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

５．校舎等施設、設備等の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　１）大学全体としての施設、設備の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　　(1) 第 12 研究・実習棟(V 棟)内の講義室・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　　(2) 第 4 体育館(R 棟)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　　(3) 就職センターの拡充・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
　　(4) 図書館の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
　　(5) 学生食堂・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
　２）学科独自の設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
　３）収容定員増加による施設稼働上の影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

学則の変更の趣旨等を記載した書類

１．学則変更（収容定員変更）の内容

2025 年度（令和 7 年度）から、下記表のとおり、健康科学部健康栄養学科の入学定員を 40 人から 40 人増の 80 人、収容定員を 160 人から 160 人増の 320 人とする。

これに伴い、大学全体の入学定員は 1,262 人から 1,302 人とし、収容定員は 5,084 人から 5,244 人に変更する。

		変更前 （2025 年（令和 7 年）3 月末日）	→	変更後 （2025 年（令和 7 年）4 月 1 日以降）
健康科学部 健康栄養学科	入学定員	４０人		８０人
	編入学定員	―		―
	収容定員	１６０人		３２０人

大学全体	入学定員	１，２６２人	→	１，３０２人
	編入学定員 （3 年次）	（＊）１８人		（＊）１８人
	収容定員	５，０８４人		５，２４４人

（＊）　健康科学部健康スポーツ学科　５人、看護学部看護学科　３人
　　心理・福祉学部社会福祉学科　５人、医療経営管理学部医療情報管理学科　５人

２．学則変更（収容定員変更）の必要性

１）新潟医療福祉大学の特色

新潟医療福祉大学（以下、「本学」）は、2001 年度（平成 13 年度）に設立され、現在 6 学部 15 学科から構成されている。設立の目的は、学則第 1 条に示されており、「教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理観を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする」ことにある。

すなわち、保健・医療・福祉分野の異なる専門職種間の「連携教育」により、「対象者の QOL（生活と人生の質）向上を考え、QOL 向上を考え、QOL 向上のための支援を実践する人材（QOL サポーター）を育成」することを目的に、教職員・学生の社会貢献等により地域社会のニーズに応えることを教育理念とし、各専門領域の横断的連携教育と地域

社会との協働による教育を特色としている。

当初は医療技術学部と社会福祉学部の 2 学部 5 学科でスタートして、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士の育成を行ってきた。その後、2005 年度(平成 17 年度)に健康スポーツ学科を設置し、健康分野の人材育成を開始するとともに、2006 年度(平成 18 年度)に専門職の中核をなす看護師等を育成する看護学科を設置した。また、2005 年度(平成 17 年度)に高度専門職の育成と研究の場として、大学院医療福祉学研究科(修士課程)を設置し、2007 年度(平成 19 年度)には博士後期課程(医療福祉学専攻)を設置した。

さらに、2007 年度(平成 19 年度)には医療技術学部を改組し、健康栄養学科、健康スポーツ学科、看護学科からなる健康科学部を設置し、学科としては全国初となる義肢装具自立支援学科を医療技術学部に設置した。2010 年度(平成 22 年度)には医療の質向上に資する診療情報管理を中心とした事務業務を担う人材を育成するために医療経営管理学部を設置した。2011 年度(平成 23 年度)には全国初となる臨床工学技士・臨床検査技師の 2 つの資格取得を目指す臨床技術学科、2014 年度(平成 26 年度)には視機能科学科、2017 年度(平成 29 年度)には救急救命学科、2018 年度(平成 30 年度)には診療放射線学科を設置した。それに伴い、医療技術学部・健康科学部を改組し、新たにリハビリテーション学部、看護学部を設置した。2023 年度(令和 5 年度)には北海道・東北地方・北信越地方で初となる鍼灸師養成を目的とした鍼灸健康学科を設置した。2024 年度(令和 6 年度)には公認心理師養成を目的とした心理健康学科を開設、それに伴い現在の社会福祉学部から心理・福祉学部へ名称変更し、結果現在の 6 学部 15 学科となっている。

このように、本学は「保健・医療・福祉・スポーツの総合大学」として、保健・医療・福祉の各分野で活躍できる人材を育成することにより、地域社会への貢献に対して各方面から期待されている。

２）健康科学部健康栄養学科の学則変更(収容定員変更)の必要性

（１）社会からの人材需要

本学の基本理念である「優れた QOL サポーターの育成」に基づき、本学のさらなる拡大発展を目指し、また高齢化に伴う地域の医療、介護分野及びスポーツ人口増に対するアスリートサポートなど、地域社会への貢献として収容定員を増加するものである。

① 管理栄養士養成に係る社会的要請

現在我が国では、国民の健康増進を目的として、医療制度や介護保険制度の改正、食育基本法の制定等健康づくりの施策が着々と進められ、これら健康行政の推進において管理栄養士の果たすべき役割を明確にするため、2002 年(平成 14 年)4 月に改正栄養士法が施行された。

新潟県では、特定健康診査・特定保健指導に関するデータ対象者による、メタボリッ

クシンドロームの該当者は、2021 年度(令和 3 年度)時点で、男性 32.2%、女性 11.5%、予備軍は男性 16.8%、女性 6.5%となっている。県内の推定数は、2017 年度(平成 29 年度)時点で、該当者が約 15 万 7 千人と増加傾向にあり、予備軍は約 10 万 7 千人となっている。このような現況の中で、新潟県は 2001 年(平成 13 年)3 月に平均寿命・健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指した新潟県健康づくり指針「健康にいがた 21」を策定し、県民一人一人が、健康づくりに取り組み「すこやかで、いきがいに満ちた生活を送ることができる社会」の実現を目指すことを基本理念に県民の主体的な健康づくりを推進している。この施策での栄養・食生活分野の活動促進、また、2008 年(平成 20 年)度に施行された「高齢者の医療の確保に関する法律」で義務付けられた「特定検診・特定保健指導」による生活習慣病の発症と進行の防止において、新潟県における管理栄養士の養成は急務となっている。

② 医療分野における管理栄養士の養成

我が国において現在、医学の進歩、高齢化の進行等に加えて患者の社会的・心理的な観点及び生活への十分な配慮も求められている。「チーム医療の推進に関する検討会報告書」から医師や看護師の許容量を超えた医療が求められる中、チーム医療の推進は必須である。チーム医療を推進する目的は、専門職種の積極的な活用、多職種間協働を図ること等により医療の質を高めるとともに、効率的な医療サービスを提供することにある。医療の質的な改善を図るためには、①コミュニケーション ②情報の共有化 ③チームマネジメントの 3 つの視点が重要であり、効率的な医療サービスを提供するためには、①情報の共有 ②業務の標準化 が必要である。チームアプローチの質を向上するためには、互いに他職種を尊重し、明確な目標に向かってそれぞれの見地から評価を行い、専門的技術を効率良く提供することが重要である。患者の高齢化や生活習慣病の有病者の増加に伴い、患者の栄養状態を改善・維持し、免疫力低下の防止や治療効果及び QOL の向上等を推進する観点から、傷病者に対する栄養管理・栄養指導や栄養状態の評価・判定等の専門家として医療現場において果たし得る役割は大きなものとなっている。多様な疾患における治療において、チーム医療を横断的に学び、他職種連携の手法に精通した管理栄養士の養成は大学としての責務と考える。

③ 福祉分野における管理栄養士の養成

また、厚生労働省 介護給付金分科会(第 176 回)によると、介護サービスの利用者は、ここ 20 年で 3.3 倍に増加しており、また要介護認定者数も、ここ 19 年の間に全体で 3.2 倍に増加している。介護サービスの対象者が増えたことにより、栄養改善への取り組みも重視されており、2018 年度(平成 30 年度)の介護報酬改定でも「栄養スクリーニング加算」「低栄養リスク改善加算」が新設された。要介護者への支援を行うことと同時に、要介護者を減らす取り組みも必要になる。今後、高齢者の「社会参加促進」「運

動機能向上」「口腔機能向上」「認知機能低下予防」とともに「低栄養予防」の取り組みも必要であると考えられている。

④ 健康・スポーツ分野における管理栄養士の養成

さらに、我が国では、スポーツ基本法に基づき、「スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する」ことを目指してきた。その集大成が 2021 年(令和 3 年)に開催された東京オリンピック（TOKYO2020）であると考える。TOKYO2020 を目指し、第 2 期スポーツ基本計画では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な参画を通じてより多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合う「スポーツ文化」の確立を目指してきた。一方、TOKYO2020 後、新たなステージへと進み、第 3 期スポーツ基本計画において、この「スポーツ文化」の成熟を目指すことが謳われている。そのなかでも、「ささえる」という観点から、人々が行うスポーツを支える人材として、人による支援に加え、スポーツ・サイエンスやトレーニング方法の研究成果等の様々な科学的データや知見が、選手たちを支えていると述べられている。この「人々が行うスポーツを支える人材」の育成、「スポーツ・サイエンスやトレーニング方法の研究成果等の様々な科学的データや知見」の発信を担うのが TOKYO2020 後の大学の役割である。殊に、スポーツによる健康づくり、コンディショニングの方法、栄養・休息の取り方については、スポーツ分野及びスポーツ栄養学分野が発信し続けなければならないものと考える。さらに、第 2 期スポーツ基本計画（2017 年(平成 29 年)3 月）において、スポーツを通じた女性活躍促進が、今後のスポーツ政策のうち重要な施策の柱の一つとして位置付けられた。これに伴い、女性のスポーツ参加しやすい環境が整えられ、スポーツに参加する女性が急増すると考えられる。一方、女性のスポーツ参画にあたっては、「ささえる」側の充実も必要とされている。特に、成長期の女性においては、その女性という性への理解も含め、スポーツ・サイエンスと栄養学が発揮できるものは大きい。その意味から、栄養学的な観点から女性のスポーツ参画をスポーツ・サイエンス、スポーツ栄養学の観点から「ささえる」人材の育成は管理栄養士養成課程を持つ大学として急務であると考える。スポーツを「する」人の数が激増するなか、スポーツを「ささえる」人に対する社会的需要も必然的に急増しているものと思われる。殊に、スポーツ栄養学分野を学ぶ人材の育成に対する社会からの需要は、潜在的ではあるものの、急増しているものと考える。

上述のとおり、現在の日本社会において様々な世代における栄養課題がみられ、栄養学分野が果たすべき役割・期待が高まっている中、管理栄養士を含む本学の健康栄養学科で養成する人材の必要性も高まっており、本学科の定員増を行う意義は、極めて大きいと考えられる。

（２）健康栄養学科の特色

本学科は、「栄養(食)」に関する高度な知識や技術をベースに、総合大学の強みを活かして、「医療・福祉」「学校・行政」「スポーツ」「企業」など、他分野と融合した教育・研究活動を展開している。これにより、病気の予防や治療、健康の維持・増進、アスリートの支援、介護、食品開発などあらゆるフィールドで活躍できる管理栄養士を養成している。そのため、本学科の卒業生は以下のような多様な場で活躍することが可能であり、本学としては、卒業生を広く行きわたらせるために量的な拡大をはかる必要があると考えている。

① 「チーム医療」で活躍できる管理栄養士の養成

我が国の医療は非常に厳しい状況に直面しており、医学の進歩、高齢化の進行等に加えて患者の社会的・心理的な観点及び生活への十分な配慮も求められており、医師や看護師等の許容量を超えた医療が求められる中、チーム医療の推進は必須である。チーム医療を推進する目的は、専門職種の積極的な活用、多職種間協働を図ること等により医療の質を高めるとともに、効率的な医療サービスを提供することにある。医療の質的な改善を図るためには、①コミュニケーション、②情報の共有化、③チームマネジメントの 3 つの視点が重要であり、効率的な医療サービスを提供するためには、①情報の共有、②業務の標準化が必要である。

チームアプローチの質を向上するためには、互いに他職種を尊重し、明確な目標に向かってそれぞれの見地から評価を行い、専門的技術を効率良く提供することが重要である。(出典：チーム医療推進方策検討ワーキンググループ「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」)。患者の高齢化や生活習慣病の有病者の増加に伴い、患者の栄養状態を改善・維持し、免疫力低下の防止や治療効果及び QOL の向上等を推進する観点から、傷病者に対する栄養管理・栄養指導や栄養状態の評価・判定等の専門家として医療現場において果たし得る役割は大きなものとなっている。

また、医療分野における重点課題として、各職種がそれぞれの専門性を十分に発揮することやチーム医療の推進等が求められ、近年の診療報酬改定において、管理栄養士の専門性が期待される改定が見受けられる。一方、医療機関に勤務する管理栄養士の業務の割合として、過去に比べて入院患者の栄養管理の比重が大きくなっている。

また、診療報酬の検討において、入院患者の栄養管理をさらに充実させ、医療安全の強化、医師・看護師の負担を軽減するため「病棟配置型」の管理栄養士が望ましいと議論されている。特定機能病院で患者 80 人に対して管理栄養士 1 人を配置している病院よりも、患者 40 人に対して管理栄養士 1 人を配置している病院の方が、在院日数が短縮したという報告等があったことから、特定機能病院での入院栄養管理体制加算が新設された経緯がある。

入院栄養管理体制加算は特定機能病院入院基本料を算定している患者が対象である

が、当該病棟において、専従の常勤の管理栄養士が 1 名以上配置されていることと明記されており、管理栄養士の病棟配置を評価するものである。病棟に配置された管理栄養士は、入院前の情報収集、入退院支援部門との連携から、入院後は栄養スクリーニングをはじめとする栄養管理全般を一手に引き受け、医師、看護師等と連携して栄養管理を行っていくことが期待されている。

そのため、多様な疾患における治療において、チーム医療を横断的に学び、多職種連携の手法に精通した管理栄養士の養成は大学としての責務であると考え、本学では学科の枠を越えて学ぶ「連携教育」を導入し、「チーム医療」を実践的に学べる環境が整備されている。また、講義で学んだことを実際の現場で体験し、QOL サポーターに必要とされる実践的なスキルを磨くために、関連医療福祉施設をはじめとした多数の実習施設を整備している。医学系科目、臨地実習を多く配置し手厚く学生指導を行う体制を整備することによって、本学科における「チーム医療」教育の質の向上が期待できる。

② 「福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士の養成

我が国の高齢化は急速に進んでいる。介護サービスの利用者はここ 20 年で 3.3 倍に、要介護認定者数はここ 19 年の間で 3.0 倍に増加している。介護サービスの対象者が増えたことにより、栄養改善の取り組みも重視されており、2018 年度(平成 30 年度)の介護報酬改定でも「栄養スクリーニング加算」や「低栄養リスク改善加算」が新設されている。要介護者は高率に低栄養であることが報告されており栄養管理に関する支援は喫緊の課題である。栄養改善とともに、高齢者の「社会参加促進」「運動機能向上」「口腔機能向上」「認知機能低下予防」の取り組みも必要である。市町村レベルにおいても、高齢者に対する個別的支援や通いの場等の日常生活圏域に管理栄養士を配置することが求められている。今後、介護・福祉分野において栄養学に精通した管理栄養士の需要は大いに高まると考えている。介護分野に精通した栄養分野の人材育成は大学としての責務である。

本学科では、医療と一体的に福祉・介護分野に必要な実践能力を養うため、学内実習や演習において手厚く学生指導を行う体制を整備する。

③ アスリートを栄養サポートできる管理栄養士の養成

我が国では、スポーツ基本法に基づき、「スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する」ことを目指してきた。近年、スポーツ基本計画において、「スポーツ文化」の成熟を目指すことが謳われている。そのなかでも、「ささえる」という観点から、人々が行うスポーツを支える人材として、人による支援に加え、スポーツ・サイエンスやトレーニング方法の研究成果等の様々な科学的データや知見が、選手たちを支えている。この「人々が行うスポーツを支える人材」の育成、「スポーツ・サイエンスやトレーニング方法の研究成果等の様々な科学的

データや知見」の発信を担うのが大学の役割である。殊に、スポーツによる健康づくり、コンディショニングの方法、栄養・休息の取り方については、スポーツ分野及びスポーツ栄養学分野が発信し続けなければならないものと考える。スポーツ栄養学分野を学ぶ人材の育成に対する社会からの需要は、潜在的ではあるものの、国民のスポーツ実施率に関する文部科学省のデータ（2022 年度(令和 4 年度)「スポーツの実施状況等に関する世論調査」）では、成人女性のスポーツ実施率（週 1 回以上）は 1991 年(平成 3 年)段階では 26.7%であったが（男性 29.1%)、新型コロナウイルス感染症流行前の 2020 年(令和 2 年)段階では 58.3%（男性 61.8%）とスポーツ人口は劇的な上昇を示しており、スポーツ人口増と比例し、ニーズは急増している。

また、競技者、監督、コーチ、トレーナー、競技団体などのスポーツの現場から、競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高めるための栄養教育や食環境の整備等にいたるまで、栄養サポートに対するニーズは高まっており、これらは日本代表といったトップアスリートからジュニア層、健康増進を目的としたスポーツ愛好家まで多様な層で求められている。様々な対象への栄養教育や食環境の整備には、管理栄養士としての知識や技術の他、他職種との連携や理解が重要となる。

特にチームや団体内においてはチーム医療と同様、監督、コーチ、トレーナー、医・科学の各専門分野のスタッフ（スポーツドクター、運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学など）と連携し、栄養面からの専門的なサポートを行うことが必要で

あるが、これらの現場のニーズに的確に応えることのできるスポーツ栄養の専門家として公認スポーツ栄養士という資格がある。公認スポーツ栄養士の登録者数は、2017（平成 29）年時点で 253 名であったが、2023（令和 5）年時点では 464 名と 6 年で 1.8 倍まで増加している一方、新潟県においては 14 名に留まっている状況である。前述のとおり、スポーツ栄養学を学ぶ人材の需要は急増していることが推察されるため、スポーツ栄養を学部から専門的に学ぶ管理栄養士の養成は意義のあるものであると考える（出典：公益社団法人日本栄養士会 HP 及び日本スポーツ栄養学会 HP)。

そこで、本学科では、地域やスポーツ現場において必要な実践能力を養うため、学内実習や演習において手厚く学生指導を行う体制を整備する。

また、下記の活動については、学部生も関わり栄養サポートの実践活動の場となっている。これまで、学部生は教員の指導下において、バレーボール部をはじめとする強化部選手に対する栄養セミナーおよび女性アスリート検診における食事調査を行ってきた。今後、さらなる体制を整備する。また、アルビレックスとの連携によるアスリートサポートについて、現在、本学は株式会社アルビレックス新潟、新潟リハビリテーション病院との三者連携協定を結んでおり、本学科は栄養面で連携している。具体的なサポート内容は、栄養セミナー、食事内容のサポート、定期的な体組成計測、食事調査によるモニタリング、睡眠調査等である。

（本学内でのアスリートサポート）

・アスリート栄養相談室の整備によるアスリート栄養相談の充実を図る
・栄養・食事セミナーの定期的な実施
・アスリートが喫食する本学食堂との連携を図る
・睡眠調査のフィードバック

④ 食品開発など、地域で活躍する管理栄養士の養成

国では健康寿命の延伸を目指し、「健康無関心層」にも働きかけることができる食環境づくりを重視している。そのため、「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書」を策定し、その中で食環境づくりを、健康の保持増進に関する視点を軸としつつ、事業者等が行う地球環境、自然環境等に配慮した取組にも焦点を当てながら、持続可能な開発目標（以下「SDGs」という。）の達成にも資するものと位置付けている。特に、我が国が注力して取り組むべき主な栄養課題として、「食塩（ナトリウム）の過剰摂取」、「若年女性のやせ」及び「経済格差に伴う栄養格差」をあげ、それらの課題を解決するために、産学官等連携のもと、食品関連事業者（食品製造・販売事業者）、飲食店やスーパー等と連携して、健康面に配慮した食品やメニュー等の開発・提供等の積極的に推進することが示されている。

例えば、減塩の取組として、「味の素グループの先端技術を駆使した減塩の取組」、「株式会社ファミリーマートの「こっそり減塩」の取組」などがあるが、新潟県内でも、多数の減塩商品の開発・販売をしている一正蒲鉾（「スマートライフプロジェクト」の厚生労働大臣最優秀賞受賞，2019 年）や、新潟県の「からだよろこぶデリ」事業に参加するスーパーマーケット（原信・ウオロク・キューピット等）、日本栄養改善学会認定の「スマートミール」に参加する飲食店や給食施設等も増えつつあるが、まだ十分な件数とはいえない。その理由のひとつとして、基準となるエネルギーや栄養素を満たし、かつ、おいしく、消費者の嗜好を満たす商品等を開発できる人材が不足していることがあげられる。また、今後は、健康志向の高まりによるトクホ、栄養機能食品、機能性表示食品等の特殊食品への需要も一層高まることが予想される。そうした健康面に配慮した食品やメニューの開発・普及が国の健康づくりの主流となる勢いがあり、健康日本 21（第 3 次）の目標にも「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブの推進」が全都道府県の 47 都道府県に設定されている。

特に新潟県においては、「主食・主菜・副菜が揃った食事」をする者の割合は新潟県と全国とを比較すると低いことも確認できる。

今後、このような国の栄養政策や社会的需要に応えるため、科学的な根拠、食品分析、マーケティング、地域連携等に関する専門的な知識や技術を有する管理栄養士の養成は大きく期待されている分野のひとつである。

また、近年、スーパーマーケット、調剤薬局及びドラッグストアにおいて管理栄養士の活躍がみられる。これらの分野における管理栄養士配置の規定はないが、栄養に関す

る知見を実践現場において活用できる専門職として期待されている。

スーパーマーケットの多くは、地域密着型の戦略をとり、ローカルスーパーだけでなく、大手チェーンでも店舗ごとに地域色を取り入れた食品や総菜の品揃えを行っている。また健康志向に合わせた減塩総菜などに取り組んでいるスーパーも多い。このような専門的知識を必要とする商品開発には管理栄養士の知識や情報が期待されている。実際の活躍事例として、埼玉県のローカルスーパーの社員紹介では、食品管理室チーフ（管理栄養士）の紹介があり、「管理栄養士ならではの商品開発」とまさに今後の管理栄養士の活躍が分かる内容となっている。

調剤薬局、ドラッグストアでは、店舗数の拡大も顕著であり、経産省調査によると、2022 年度(令和 4 年度)の市場規模は前年比 5.5%増である。地方によっては、薬剤師不足であり、健康相談など管理栄養士がカバーしている。また、近年は地域住民に対する啓発、教育など、健康維持・増進に寄与する管理栄養士の関わりが期待されており、ライフステージの栄養管理に精通した管理栄養士の養成は大学としての責務であると考えている。これまで、学部生は教員とともに企業との連携による健康弁当の商品化および地域住民の低栄養予教育を行ってきた。今後、学内実習や演習において学生指導を行う体制を整備する。

（３）入学志願者ニーズと入学者の状況

健康栄養学科における過去 5 年間の志願者実数は、2019（平成 31）年度が 259 名、2020（令和 2）年度が 224 名、2021（令和 3）年度が 300 名、2022（令和 4）年度が 265 名、2023（令和 5）年度が 230 名であり、平均志願者実数は 256 名である。

また、本学科の定員増にあたり、アンケート調査「健康科学部　健康栄養学科　入学定員増に関するニーズ調査」を 2023（令和 5）年 8 月 5 日(土)～2023（令和 5）年 12 月 20 日(月)の期間で実施し、合計 11,725 名の回答を得た。

調査の結果、「学校種（大学）×設置者（私立）×興味のある学問分野（本学科が対象となる食物学・栄養学等）×本学科を第一志望で受験する×合格した場合入学する」のクロス集計の回答者は 81 名（入学定員 80 名の 101.3%）であった。なお、そのほかの結果については以下の表のとおりである。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員が増員された場合、受験を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

Q6. Q5で①～③(受験する)を選択した方に質問です。新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科(入学定員増を構想中)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

上段:% 下段:件数(名)		入学意向			
		入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	入学意向あり・合計
受験意向	第一志望	0.7 81	0.02 2	0.02 2	0.7 83
	第二志望	0.1 16	0.5 55	0.01 1	0.6 71
	第三志望以降	0.1 9	1.4 162	0.1 13	1.5 171
	受験意向あり・合計	0.9 106	1.9 219	0.1 16	2.8 325
受験しない		4.6 543			

※%の母数は、回答者全体(11,725名)

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験・入学意向

今回高校 2 年生向けにアンケートを行ったのは「高校 2 年生の夏～秋」の時期であるが、この時点ですでに本学を第一志望と回答しているのが入学定員 80 名の 101.3%にあたる 81 名である。2023(令和 5)年度の健康栄養学科入学者に対するアンケートによると、「第一志望を決定した時期」が「高校 2 年生の冬以降」としたのが 7 割以上という結果を踏まえると、今後の広報活動・学生確保に向けた取組によって、第一志望者は十分に増えることが想定できる。

上述の結果から見ても、入学定員 80 名は十分に満たすことができると考える。

〔資料１：既設学科等の入学定員の充足状況(直近 5 年間)〕

〔資料２：2023 年度(令和 5 年度)健康栄養学科入学者に対するアンケート〕

３．学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

１）教育課程について

2025 年度(令和 7 年度)からの定員増に合わせ、教育効果を考慮しつつ 80 名の学生に対して最新知識や技術が教授できるように教育課程の一部を見直す。担当教員増員による教育課程の見直しにより、学生がより様々な選択肢を取れ、また国家試験対策のさらなる充実が図れるような教育課程となるが、以下のように現行の内容と同等以上の内容が担保されていると考える。

また、本学科教育課程は管理栄養士養成施設指定規則で定める教育内容を満たしている。

２）教育課程の編成の考え方及び他学科への影響

本学の教育課程は、すべての学科が基礎教養科目群、保健医療福祉基礎科目群、保健医療福祉連携科目群、専門基礎科目群、専門専攻科目群の５つの科目群から構成されている。そのうち前者３群は全学共通に履修する科目で、後者２群は学科特有の科目である。以下、本学科の教育課程の編成について、詳細に述べる。

（１）全学共通科目

①　基礎教養科目群

基礎教養科目群では、大学人として身につけるべき必要な情報処理能力、日本語能力、外国語能力、健康体育（スポーツ）に関する科目を配置している。その他学生の安全に対するセーフティーネットとしても働くように、またアドバイザー教員との関係を築くことができるように「基礎ゼミ」を設けている。

②　保健医療福祉教養科目群

保健医療福祉教養科目群は、QOL（生活の質や健康の質など）の基本について考える能力を全学共通科目として学ぶ。関連するカテゴリーでは、ボランティア、コミュニケーション、心理、人間、QOL という本学が特徴として取り揃えてきたテーマを教授することで幅広く豊かな人間形成を図るほか、食、命、加齢などを含み、より臨床などの現場に即した内容を展開していく。さらに、国際、制度や法律のテーマなども取扱い、個々人を取り巻く社会の実際についても知識を深める。

③ 保健医療福祉連携科目群

保健医療福祉連携科目群は、医療福祉関連専門職者として様々な専門知識を修得する上でベースとなる基礎能力を身につけ、専門職種間の相互理解を促す。また、連携教育を行う上で連続する継続的な教育課程とし、到達目標を明確にすることを心がけている。

（２）学科専門科目

学科専門科目については、本学科が管理栄養士の養成を目的としていることから、管理栄養士国家試験受験資格に対応する科目編成としており、栄養士法施行規則第九条別表第二および管理栄養士学校指定規則第二条第一号別表第一にそれぞれ対応している。

〔資料３：教育課程等の概要〕〔資料４：教育課程と指定規則との対比表〕

① 専門基礎科目群

専門基礎科目群は、栄養士法施行規則で定められている専門基礎分野の教育内容（「社会

生活と健康」4 単位、「人体の構造と機能」8 単位、「食品と衛生」6 単位、これらの実験実習 4 単位、計 22 単位）を踏まえた教育課程を編成している。また同時に、管理栄養士学校指定規則で定められている専門基礎分野の教育内容（「社会環境と健康」6 単位、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」14 単位、「食べ物と健康」8 単位、これらの実験又は実習 10 単位、計 38 単位）を踏まえた教育課程を編成している。なお、この課程の教育内容は、栄養士の資格および管理栄養士国家試験受験資格を得るために必要なものとなっている。

専門基礎科目で学習する科目は、栄養士法施行規則に即し、「社会生活と健康」では、公衆衛生学 2 単位、健康管理概論 1 単位、社会福祉総論 1 単位により「栄養や食の観点から健康増進・疾病予防の重要性について理解し、専門職としての使命感や責任感を培うと共に養士が活躍するために理解すべき社会的な役割や社会制度、栄養情報について科学的な視点を持って論理的に判断する力」を学習する。

「人体の構造と機能」では、生化学 6 単位、解剖生理学 6 単位において、「栄養と健康との関連性を理解するために必要となる基礎的な知識（人体の構造、生体内代謝および調節機能）、栄養素の消化・吸収、各栄養素のはたらき、エネルギー代謝」を学習する。

「食品と衛生」では、食品学 6 単位、食品衛生学 3 単位、食品加工学 3 単位により「安全でおいしく、利用者に対して適切な食事を提供する際に必要な実践的知識（食品成分表、各食材の特徴、調理・加工法、安全性、食中毒）」を学習する。

「給食の運営」では、調理学 4 単位により「安全でおいしく、対象者に対して適切な食事を提供するための実践的な調理の知識や技術」を学習する。

また、管理栄養士学校指定規則に即して、「社会・環境と健康」では、「社会生活と健康」の科目に加えて、保健統計学 2 単位を基に「管理栄養士が担う栄養管理に必要な、健康のとらえ方、社会的背景や制度、疾病の基本を理解する。また、栄養学の専門的知識および技術を統合し、課題に対して必要な情報を収集・選択し、科学的視点を持って論理的に判断し、栄養管理に活用できる力」を学習する。

「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」では、「人体の構造と機能」の科目に加えて、運動生理学 2 単位、医学系科目 4 単位により、「人体の構造と機能を学んだ上で、さらに、活動時の体内における代謝の仕組みや、疾病の原因や病態、症状、症候等を学習し、ライフステージ別または疾病と栄養管理の実践に繋げることができる力」を学習する。

「食べ物と健康」は、「食品と衛生」および「給食の運営」と同じく食品学、調理学、食品衛生学、および食品加工学の 12 単位を配置しており、これらの科目から「良質で安全な栄養・食事管理の実践に繋げるために、食品に含まれる成分の性質、所在、機能、食品成分表における食品の分類法・分析法、食品の汚染と防止法、各食材料の調理性および加熱調理操作・非加熱調理操作、おいしさ、日本の食文化」を学習する。

以上の管理栄養士学校指定規則で定められている科目は全て必修科目として配置している。1年次から3年次にかけて段階的に配置され、充分な時間をかけて学習することができる編成となっている。

① 専門専攻科目群

専門専攻科目群は、専門基礎科目群と同様に栄養士法施行規則で定められている教育内容（「栄養と健康」8単位、「栄養の指導」6単位、「給食の運営」4単位、これらの実験実習10単位、計28単位）を踏まえた教育課程を編成している。具体的には、「栄養と健康」では、栄養学5単位、臨床栄養学8単位、「栄養の指導」では、栄養教育論6単位、公衆栄養学2単位、「給食の運営」では、給食経営管理論6単位を配置している。これらの単位の中には「栄養と健康の実験又は実習」として3単位、「栄養の指導の実験又は実習」として2単位、「給食の運営の学内実習」として1単位が含まれている。さらに、給食の運営に関わる郊外実習として臨床栄養学実習Ⅲのうち1単位を配置している。また、管理栄養士学校指定規則で定められている教育内容（「基礎栄養学」2単位、「応用栄養学」6単位、「栄養教育論」6単位、「臨床栄養学」8単位、「公衆栄養学」4単位、「給食経営管理論」4単位、これらの実験実習8単位、「総合演習」2単位、計40単位）を踏まえた教育課程も編成しており、各教育内容には「基礎栄養学」3単位、「応用栄養学」7単位、「栄養教育論」8単位、「臨床栄養学」10単位、「公衆栄養学」5単位、「給食経営管理論」6単位、「総合演習」2単位、計41単位をそれぞれ配置している。さらに、臨地実習として4単位が修得すべき単位となっており、「臨床栄養学実習Ⅲ」3単位（給食の運営として1単位含む）を必修とし、「公衆栄養学実習Ⅱ」1単位、「給食経営管理実習Ⅱ」1単位のいずれかを選択するよう配置している。

これに加えて、本学では独自科目として1年次から2年次にかけて管理栄養士の導入教育として「基礎実践演習」、「入門臨地実習」を配置するとともに、2年次から3年次にかけて、地域包括ケアに対応できる人材を育成するため、介護分野での施設内の栄養管理に加えて生活の場での多職種連携による総合的な支援方法を学ぶ「老年栄養学」、「介護栄養学実習（臨地）」、また、臨地実習の統合を図るために「チームコミュニケーション演習」、さらには、3年次に卒業研究の意義や位置づけを実践的に学ぶ「研究方法論」、4年次には、卒業研究（4単位）、国家試験にむけてさらに知識を深める「健康栄養学特講」を必修科目として配置している。

さらに選択科目としては、管理栄養士の多様で幅広い活躍分野に対し、興味関心のある分野について探求を深めることができるよう、対象者に寄り添う力を培う「臨床心理学」、実践スポーツ栄養学を学ぶための「スポーツ栄養学」、健康増進にむけた運動指導方法について学び、運動プログラムの作成力を養う「運動指導論演習」、食生活全般を学ぶ「食生活論」、自らの興味関心がある分野について現場で実践的に探究を深める「分野探求型臨地実習」を本学独自科目として配置した。また、栄養教諭を目指す学生のた

め、教育職員免許法施行規則第 10 条で定められた教育内容を踏まえ、「栄養に関わる教育に関する科目（必要単位数 4 単位)」として「学校栄養指導論」4 単位、「教育の基礎的理解に関する科目（必要単位数 8 単位)」として「教育原理」2 単位、「教職概論」2 単位、「教育社会制度論」2 単位、「教育心理学」2 単位、「特別支援教育論」1 単位、「教育課程論」2 単位、「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談に関する科目（必要単位数 6 単位)」として「道徳教育指導論」1 単位、「特別活動指導論」1 単位、「総合的な学習の時間の指導論」1 単位、「教育方法・技術」2 単位、「生徒指導論」2 単位、「教育相談」2 単位、「教育実践に関する科目」として「教育実習（栄養教諭)」3 単位、「教職実践演習（栄養教諭)」2 単位を配置した。

これらにより、従前と同様に大学での学習を通じて修得した専門的知識・技能を基盤とした科学的考察に基づく総合的な判断能力と問題解決能力を有する管理栄養士を育成する。

（３）ディプロマポリシー及び卒業要件

本学では建学の精神である「優れた QOL サポーターの育成」のもと、これらに求められる資質・能力を 5 項目あげ、その英語の頭文字をとって「STEPS」と定義している。本学科のディプロマポリシーにおいても「STEPS」に基づいたポリシーを作成しており、その内容は以下のとおりである。

〈本学科のディプロマポリシー〉

Science&Art 科学的知識と技術を活用する力	持続可能な社会を食と栄養から支える専門家として、専門領域に関する確かな知識と共に、保健・医療・福祉・スポーツ分野への教養を活かしながら、技術を発揮する力を身につけている。
Teamwork&Leadership チームワークとリーダーシップ	多職種間連携の技能を活かし、多様な背景を持つ他者と良好なコミュニケーションを図りながら、チーム共通の目標に向けて主体的に行動することができる。
Empowerment 対象者を支援する力	豊かな人間性と高潔な倫理観を有し、多様な背景を持つ対象者の QOL を理解し共感することで、食や栄養に関する専門的な支援を行うことができる。
Problem-solving 問題を解決する力	食と栄養における課題を正確に特定した上で、他の専門領域の知見も活かしながら、科学的な手法を用いてこれを分析・考察し、論理的に課題解決に取り組むことができる。
Self-realization 自己実現意欲	自らの目標を達成するために、健康の維持・増進、病気の予防・治療、介護における栄養に関する課題を理解し、生涯にわたり

	学び続ける探求心を持つとともに、国際化・情報化に対応し自らの可能性を拓げることができる。

本学科の教育課程は、全学共通科目である基礎教養科目群、保健医療福祉基礎科目群、保健医療福祉連携科目群と学科専門科目である専門基礎科目群、専門専攻科目群から構成されている。卒業にあたっては、各科目群の最低取得単位数を修得することが必要である。卒業のために必要な科目数、履修単位等については次表のとおりである。

健康栄養学科の卒業要件

科目群	履修科目/単位数
基礎教養科目群	必修 6 科目/6 単位 計 6 科目以上/6 単位以上
保健医療福祉教養科目群 保健医療福祉連携科目群	必修 1 科目/1 単位 選択 7 科目以上/7 単位以上 計 8 科目以上/8 単位以上
専門基礎科目群	必修 25 科目/41 単位 計 25 科目/41 単位
専門専攻科目群	必修 38 科目/63 単位 選択 6 科目以上/6 単位以上 計 44 科目以上/66 単位以上
合計	必修 70 科目/111 単位 選択 13 科目以上/13 単位以上 計 83 科目以上/124 単位以上

（４）教育課程上の他学科への影響

①　全学共通科目（基礎教養科目群、保健医療福祉教養科目群、保健医療福祉連携科目群）

定員を増加しても全学共通科目の教育課程の変更はなく、授業科目ごとに履修者の定員管理を厳格に行っているため、必要に応じてクラス増を行うことで従来と同等の内容が担保される。

②　専門基礎科目群及び専門専攻科目群

専門基礎科目群及び専門専攻科目群は、原則として本学科単独での開講となるため、他学科の教育課程に影響を及ぼすことなく、教育課程も従来と同等の内容が担保される。

３）教育方法及び履修指導方法

（１）教育方法

①　授業形態・内容に応じたクラスサイズ

知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態をとり、技術や技能の習得を目的とする教育内容については、演習・実習形式の授業形態をとる。そのため、授業形態に則した教育目的を効果的かつ確実に達成するため、講義科目については１学年１クラスとして授業を開講し、実習・演習科目についても原則１学年１クラスとして授業を開講するが、試薬等を使用する授業については安全面を考慮し２クラスで授業を実施する。１クラスあたりの学生数も増加するが、定員増加に向けて教室等の施設や教員の声がすべての学生に届くようにマイクやスピーカー等の備品の整備を行う。また、すべての学生に授業内容の番所が見えるようにプロジェクターやスクリーン等も整備する。さらに授業の開講時には、適切な授業体制であるか否かを確認するために、自己点検をするとともに、従来通り大学全体で２回(前期・後期)授業評価アンケートを実施するとともに、学科内で個別に中間評価を実施する予定である。これにより、現行の教育効果は定員増加後も担保される。

なお、全学共通科目の一部において、授業形態や授業効果等を考慮し、複数クラスとして開講する。具体的には、「英語Ⅰ・Ⅱ」については、学生の能力別のクラス編成とする。(1 クラス 30 人以内。）その他の外国語科目（選択科目）についても、同様のクラスサイズとする。現行は、2 クラス編成で開講しているが定員増後は 4 クラス編成のクラスサイズとする。「スポーツ・健康」は安全面を考慮し、学生を 1 クラス 35 人程度のクラス編成とし、演習形式で実施する。「スポーツ・実践」についても同様のクラスサイズとし、4 クラス編成のクラスサイズとする。いずれの科目においても、クラスサイズに合わせた担当教員や非常勤講師の増員を計画しており、過度に教員の負担が増えることはない。

必修科目である「基礎ゼミ」は、1 クラス 5〜6 人とし、学科の基幹教員が各ゼミを担当する。また本学全 15 学科の学生の混成による「連携基礎ゼミ」については、担当教員数は十分であり、従来どおり 1 クラス 5〜6 人とする。

②　入学前教育の実施

本学では、総合型選抜及び推薦入試により合格した入学予定者を対象とし、入学前教育を実施している。対象者には入学手続書類とともに課題を同封し、期限までに提出を義務づける。

具体的な実施内容は、基礎科目強化のための学科指定科目のドリル配布、e ラーニングを活用したスタディスキルの修得に加え、スクーリングの実施により入学前の動機づけを図る。また、学習支援センターと連携し、入学前学習セミナー(高等学校での未履修科目等への対応)や大学講義体験セミナーを実施しており、一部セミナーは一般

入試による入学決定者も対象に受講を募っている。定員増後も継続して上記のような教育を行っていく予定であり、基幹教員の増員を計画していることもあり、これに対応する基幹教員数は十分に揃っており従来通りの教育を実施可能である。

③「基礎ゼミ」の実施

「基礎ゼミ」（１年次前期）は大学生活のスタートにあたり、担当の基幹教員がアドバイザーとなり、様々な相談ができる体制を取っている。「基礎ゼミ」の授業内容は、学生によるゼミ活動が中心となるが、これから専門分野を学習するために必要な基礎的な知識や技術として、コミュニケーションスキルやスタディスキル、レポートの作成法やプレゼンテーション技術、図書館における情報検索のオリエンテーションについて学ぶ。さらに、大学入学時点からキャリアデザインの形成、国家試験受験への意識づけについても行う。基幹教員の増員を計画していることもあり、基礎ゼミの担当教員数は定員増後も十分であり、従来通りの質を担保しながら実施可能である。

④　教育課程を通じた規律性の醸成

栄養士として必要とされる専門知識と技術を修得し、常に進歩する現代医学や医療技術に対応しうる能力を有し、健全な人間性と倫理観、常に専門性を追求する意欲を持ち、他の専門職と協働して地域医療や介護・福祉医療に貢献する能力が求められている。

したがって、授業の開始・終了時や日常の学生・教員間の挨拶を励行するとともに、演習・実習の授業において、他者と協同する学修活動を通じ、チームとしての規律性や連帯感の意義を醸成する。学生数は増加するが、１人１人の学生に目を配り質を保ちながら継続していく。

⑤　他学科への影響等

上記①～④で述べたことを踏まえ、他学科への教育方法の影響は次のとおりである。

ア）全学共通科目については、他学科においても上記①で述べたクラスサイズを踏襲している。したがって、本学科においても全学共通科目の教育方法は同等以上に保たれる。

イ）上記②・③は、本学で既に実施されており、学科の基幹教員の活用と充分な職員体制により、従来の方法を踏襲可能としている。

ウ）保健医療福祉教養科目群（計 33 科目：各 1 単位）は、従来の教育課程から変更は生じない。

エ）専門基礎科目群及び専門専攻科目群については、すべて本学科の単独開講である。これは、クラスサイズの肥大化を避け、学生一人ひとりが理解しやすい授業環境

を重視したための方策である。

上記ア）～エ）で述べたことから、本学科の収容定員増により、他学科に影響を及ぼすような教育方法の変更が生じることはない。また、他学科と同等以上の教育方法が保たれる。

（２）履修指導方法

①　オリエンテーションの実施

収容定員増後も、変更前と同様に入学時にオリエンテーションを実施し、科目の履修登録方法、シラバスの活用方法、CAP 制等について指導する。また、各学年末にも新年度の履修等についてオリエンテーションを実施し、指導する。

②　アドバイザー制

基礎ゼミを担当する担当基幹教員がアドバイザーとなり、「大学での学習」「将来の目標」「友人や先生との人間関係」等、新入生が抱く様々な不安に対し１年間を通じて相談に応じ、充実した大学生活を送ることができるように支えていく。本アドバイザー制は、すべての学科に共通の支援体制として導入している。基礎ゼミは学科の基幹教員全員が担当を行う科目であり定員増に合わせて教員を増員することにより定員増加後も現行のアドバイザー制の機能を担保しながら対応することは十分可能と考える。

③　学年担任制

本学科では「基礎ゼミ」（１年次前期）の担当教員及び卒業研究ゼミ（4 年次以降）担当教員と併せ、学年担任制を導入している。定員が 40 名から 80 名に増加することに合わせ、現行は各学年 2 名の教員が担当しているが各学年 4 名の教員で対応していく。定員増に合わせた教員の増員により十分対応可能と考える。学科ゼミを開講しない期間（1 年次後期～3 年次後期）の指導・支援体制を補完するとともに、1 年次から卒業時まで当該学年の担任が責任を持ち、一貫して学生指導・支援を行う体制とする。

④　履修モデルの提示

本学科では、履修モデル及びカリキュラムマップを作成し、学生の履修指導の際に活用する。3 モデル作成し、学生に提示し、学年開始時のオリエンテーションにて活用する。

〔資料５：履修モデル〕

⑤　オフィス・アワー

各基幹教員は学生からの学修・進路相談等に応対できるように、週１回以上、オフィス・アワーを設定する。設定されたオフィス・アワーにおいては、学生はいつでも基幹教員の研究室を訪問することができる。全学科共通の指導・支援体制として導入している。

⑥　他学科への影響等

上記①～⑤で述べたことを踏まえ、本学科の設置による他学科への履修指導方法の影響は次のとおりである。

ア）上記①～⑤は、すべて従前の健康科学部において、既に取り組まれている方法であり、学科の基幹教員と充分な職員体制により、従来の方法を踏襲する。

イ）上記③については、各学科において運用方法の差異はあるものの、アドバイザー制との併用により、強固な履修指導方法体制であると考える。

上記 ア）イ）で述べたことから、本学科の収容定員増により、他学科に影響を及ぼすような履修指導方法の変更が生じることはない。また、他学科と同等以上の教育方法が保たれる。

（３）他大学における授業科目の履修の考え方

教育上有益と認められるときは、本学入学前に他の大学（又は短期大学）において履修した授業科目について既に修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。また、同じく教育上有益と認められるときは、他の大学（又は短期大学）との協議に基づき、当該他大学（又は短期大学）の授業科目を履修させることができる。この場合、履修した授業科目について修得した単位については、60 単位を限度として卒業要件単位として認める。

４．教員組織の変更内容

１）本学科の教員構成

健康栄養学科の変更後(収容定員 320 人)における大学設置基準別表第１(第 13 条関係)で定める必要教員数は、基幹教員 12 人以上(教授 6 人以上)である。

2023 年度(令和 5 年度)は基幹教員数 16 人(うち教授 6 人)指導体制を構築していたが、入学定員を 40 人から 80 人に増員する 2025 年度(令和 7 年度)から完成年度の 2028 年度(令和 9 年度)までに、4 人増員の基幹教員 20 人(教授 6 人、准教授 2 人、講師 5 人、助教 7 人)、同様に現行より 4 人増員の助手 5 人で指導体制を構築する。

収容定員の ST 比は、2023 年度(令和 5 年度)10.0 人に比べ収容定員増後は、16.0 人となり 6.0 人増えるが、助手については現行より 4 人増員を行う計画であり、また収

容定員の増加に合わせて教育課程の見直しを行うことによって、現行の教育水準を維持しながら十分指導できる体制を構築可能と考える。

大学設置基準別表第１を８人上回る基幹教員を配置しており、入学定員を増加しても継続して細やかな専門教育・指導ができると考えられ、これまでと同等の質が担保できる。

健康科学部健康栄養学科基幹教員

教員組織 職位	入学定員４０名 教員組織	入学定員８０名 教員組織
教　授	6	6
准教授	2	2
講　師	4	5
助　教	4	7
基幹教員数	16	20
助　手	1	5

（１）他学科への影響

本学科の収容定員増加により他学科の教員組織に与える影響については、下記のとおりである。

ア）学科の収容定員増加に伴い、看護学部看護学科から本学科へ基幹教員１名が異動するが、看護学部看護学科の授業担当及び学科運営を行うにあたり、後任については、新たに教員の公募を行う計画であり、残留する基幹教員のみで支障はない。

イ）基礎教養科目群の必修科目である「英語Ⅰ・Ⅱ」「スポーツ・健康」については、先述のとおり、1 クラス 30 人以内、35 人以内の編成を原則としているので、健康栄養学科の入学定員 80 人への変更に伴い、2 クラスから 4 クラス編成に変更を行う。それに伴い兼担・兼任教員の増員を行う計画であり支障は生じない。

ウ）保健医療福祉教養科目群（計 33 科目：各１単位）は、従来の教育課程から変更は生じない。

エ）専門基礎科目群及び専門専攻科目群については、すべて本学科の単独開講である。一部の科目については、本学科以外に所属する兼担教員が担当するが、コマ数は増加せず、教育・研究に支障は生じない。

一方、それ以外の専門基礎科目群及び専門専攻科目群の科目については、本学科の基幹教員又は兼任教員が担当するため、他学科への教員の負担は生じない。

上記ア）～エ）で述べたことから、本学科が収容定員増加された後においても従来と同等以上の教員組織が維持される。

５．校舎等施設、設備等の整備計画

１）大学全体としての施設、設備の整備

本学は新潟市北区に所在し、周囲は農地等に接する森閑とした地域に、246,328 ㎡の校地を有している。キャンパス周辺に商業施設等がないことから、後述のように学内の学習環境の充実を図るとともに、学生の休息利用を含めた空地にも充分な面積を確保している。

運動施設としては、体育館 4 棟（1,709.43 ㎡、630.00 ㎡、2,630.51、1,807.38 ㎡）、温水プール(25m×6 コース)が整備済みであり、これらを全学科で共用している他、第 4 種公認の全天候型 400mトラック陸上競技グラウンド、硬式野球グラウンド、及び人工芝テニスコート 4 面、トレーニングセンター３室、屋内投てき練習場が整備されている。

また、2015 年度(平成 27 年度)に、新校舎を建築した旧グラウンドの代替として、隣接地を多目的広場(4,762.00 ㎡)として整備し、授業及びクラブ・サークル等の学生の厚生活動のために利用している。2017 年度(平成 29 年度)に供用開始となった第 9 研究・実習棟(S 棟)2 階は厚生施設(学生食堂)を配置している。座席数は約 700 席となっており、本学科の開設等による学生数の増加に対応するべく、学生の学習スペースとしても充分に活用できるように、LAN 環境を整備し、インターネットによる文献検索や情報収集を行うことができる場所とする。従来は、昼食時間帯や定期試験時期等のピーク時を中心に、厚生施設が混み合うことが目立っていたが、新たな厚生施設の稼働により、既存の厚生施設と併せ、分散した利用が期待される。

大学設置基準に定める必要施設は既存校舎において整備されており、健康栄養学科にあたっては、既存の G 棟 3 階の一部と新棟の第 12 研究・実習棟(V 棟)の 1 階 2 階 3 階の一部を健康栄養学科の専用フロアとなる計画をしている。今回の収容定員の増加に備え、大学全体として既設・新設含め施設の整備を進めている。

（１）第１２研究・実習棟（V 棟）内の講義室

後述する、健康栄養学科の学科専用施設となる第 12 研究・実習棟(V 棟)の 4 階に、大学全体で共用する講義室(357 名規模 1 室、255 名規模 1 室)、多目的室(84 名規模 1 室)を設置する。既設の講義棟と併せて講義科目や演習科目での使用を中心に収容定員の増加に対応可能としている。

（２）第４体育館（R 棟）

第 4 体育館(R 棟)は基礎教養科目群の「スポーツ・健康」や「スポーツ・実践」を

始めとする利用に対応しており、今回の収容定員の増加に伴うクラス数の増加に対応できるようにしている。

（３）就職センターの拡充

本学の就職センターには、キャリア開発室の専任職員として現在７名が常駐している。また、各学科の就職センター運営委員とキャリア開発室が一体で就職支援にあたり、学生一人ひとりの就職活動及び内定状況の情報を共有し、活動が遅れている学生に対しては、就職センター運営委員及び卒業研究ゼミの担当教員が個別に支援している。

開室時間内であれば、学生は専任職員にいつでも相談ができる体制であるが、大学全体の収容定員の増加に伴い、施設・設備が手狭になったことから、2016 年度(平成 28 年度)に同一校舎内の別室に移転し、センター機能を拡充した。

また、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、必要に応じて対面での支援に加え、オンラインを活用した支援を充実させ、学生のニーズに伴った相談支援業務を構築した。

（４）図書館の整備計画

本学図書館は閲覧席を主として３階フロアに配置し、館内全体で 394 席確保されており、収容定員増加にも十分対応できる座席数となっている。２階フロアは主として書架が配置されている。１階フロアにはラーニングコモンズと学習支援センターの機能が付加されており、図書館の様々な情報資源を棟内に居ながら活用できる学習環境となっており、学生の研究活動等に資する施設・設備となっている。

蔵書は、166,520 冊（内、電子図書 7,442 冊)、学術雑誌 8,863 種（内、電子ジャーナル 7,364 種）を有しており、それらは、データベース化されており、OPAC(オンライン蔵書目録)から学内図書及び電子ジャーナル等の検索が可能であるとともに、図書検索用パソコンや学生個人パソコンの使用スペースも確保されている。また、他の図書館が所蔵する図書を取り寄せることも可能である。平日は午前 8 時 45 分から午後 10 時まで、土曜日は午前９時から午後５時を開館時間としているが、定期試験及び国家試験等の開催時期に合わせ、日曜日、祝祭日も開館している。なお、本学図書館は、全国組織としての日本図書館協会（大学図書館部会)、私立大学図書館協会、JUSTICE（大学図書館コンソーシアム連合）に加盟しており、全国の大学を始めとした図書館とネットワークを組んでいる。

（５）学生食堂

大学全体では、現在４つの学生食堂が設置されており、座席数 2,270 席が確保されている。中でも、第９研究・実習棟(S 棟)２階に配置してある学生食堂には、座席数

636 席が確保されており、学生の学習スペースとしても十分に活用できるように、LAN 環境を整備し、インターネットによる文献検索や情報収集を行うことができる場所となっている。他 3 つの学生食堂と分散した利用がされており、今回の収容定員増加にも十分対応できる施設数となっている。

２）学科独自の設備

大学敷地内に新たに 4 階建の第 12 研究・実習棟(V 棟)を建築し、1 階、2 階、3 階の一部が健康栄養学科の専用施設なる計画となっている。また既設の専用スペースである G 棟 3 階を改修し今回の収容定員増に対応した施設を整備する計画となっている。

第 12 研究・実習棟(V 棟)1・2・3 階は、実習フロアとなっており、1 階は 307.84 ㎡のうち 18.09 ㎡が専用となり、栄養相談室 1 室(18.90 ㎡)を設置する。2 階は 1056.80 ㎡のうち 725.65 ㎡が専用となる。臨床栄養実習室 1 室(202.80 ㎡)、栄養教育実習室 1 室(202.80 ㎡)、栄養ケアセミナールーム 1 室(178.52 ㎡)等を設置する。この他に、官能評価室、合同研究室等を設置する。3 階は、1181.50 ㎡のうち 855.14 ㎡が専用となり、調理実習室 1 室(292.06 ㎡)、実習食堂 1 室(129.61 ㎡)、食品加工実習室 1 室(130.91 ㎡)等を設置する。この他に、調理学研究室、更衣室等を設置する。G 棟 3 階についても、1347.25 ㎡のうち 1277.25 ㎡が専用となり、理科学実験室 1 室(150.00 ㎡)、微生物学実験室 1 室(150.00 ㎡)、食品衛生学研究室 1 室(75.00 ㎡)を配置しており、その他にも研究室、大学院生室等を配置する。

上述の通り、管理栄養士養成を行う教育にとって必要な実践的で効果的な実習教育を実施するための充実した環境を構築することになっており、実験・実習を行うにあたって変更後の収容定員に対して十分な規模を整備していると判断できる。そのため定員増を行っても今までと同等の教育効果を十分担保できる。

３）収容定員増加による施設稼働上の影響

① 全学共通科目

ア）記述のとおり、「英語Ⅰ・Ⅱ」は、本学科 1 学年 2 クラス編成から 4 クラス編成とするため、小講義室の数が 2 室増加するが、(U 棟) (V 棟) の稼働により、講義室の不足が生じることはない。

イ)「情報処理Ⅰ・Ⅱ」は、オンデマンド形式によるメディア授業にて実施する。インターネット接続環境に不安がある者や機器の故障等によってオンライン授業の受講が困難な者については、本学図書館及び会議室等学修に適した場所での受講を推奨するが、原則は自宅等において授業を受講するため、講義室等が不足することはない。

ウ)「スポーツ・健康」は、学内の体育館、グラウンド等の運動施設で行う。既存の運動施設により十分対応可能であり、本学科開設による授業の実施に支障はない。

エ）保健医療福祉教養科目群の各科目は、ほとんどの科目においてメディア授業に

て実施する。既述の通り、原則は自宅等において授業を受講するため、講義室等が不足することはない。対面で実施を行う科目においても 2023 年度(令和 5 年度)に新棟(U 棟)の建設、2025 年度(令和 7 年度)にも新たに新棟(V 棟)を建設予定であり、講義室も増設する計画であるためより一層施設に余裕ができるため既存の講義室および新たに増設予定の講義室で十分対応可能である。

②　専門基礎科目群及び専門専攻科目群

ア）講義及び演習形式の科目は第 12 研究棟・実習棟(V 棟)や第 2 講義棟(Q 棟)を中心に実施することとする。2023 年度(令和 5 年度)の状況では、他の 14 学科の授業時間割においても支障はなかったが、第 12 研究棟・実習棟(V 棟)の供用開始により、いっそう講義室の余裕が生じることとなり、施設・設備の使用に支障が出ることはない。

イ）実習科目について、本学科専用である、実験実習棟(G 棟)3 階及び第 12 研究・実習棟(V 棟)内の各実習室で授業を行うため、他学科への影響は生じない。

ウ）実験科目である「食品学実験」は理化学実験室で授業を行い、「食品衛生学実験」は微生物学実験室で授業を行う。授業の実施において教育上必要な備品はそれぞれの実験室に備わっており、適切に授業を実施するために 1 クラスを 40 人とした 2 クラスで授業を実施する予定である。これにより教育研究を適切に実施することが可能である。

〔資料６－１：完成年度の健康栄養学科時間割案(令和 10 年度前期)〕〔資料６－２：完成年度の健康栄養学科時間割案(令和 10 年度後期)〕

上記①～②で述べたことから、今回の収容定員の増加によっても、施設稼働上の影響はなく、全学でこれまでと同等以上の教育の質を担保できる施設・設備内容となっている。

学則の変更の趣旨等を記載した書類（資料）

目次

資料１　既設学科等の入学定員の充足状況(直近 5 年間)・・・・・・・・・・ 2

資料２　2023 年度(令和 5 年度)健康栄養学科入学者に対するアンケート・16

資料３　教育課程等の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

資料４　教育課程と指定規則との対比表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

資料５　履修モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

資料６－１　完成年度の健康栄養学科時間割案(令和 10 年度前期)・・・・・・27

資料６－２　完成年度の健康栄養学科時間割案(令和 10 年度後期)・・・・・・28

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		33人	35人	35人	37人	37人	35人
	延べ人数	志願者数	155人	271人	191人	228人	200人	209人
		受験者数	153人	270人	185人	226人	200人	207人
		合格者数	47人	60人	67人	72人	83人	66人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	19人	17人	22人	24人	18人
	実人数	志願者数	155人	271人	191人	228人	200人	209人
		受験者数	153人	270人	185人	226人	200人	207人
		合格者数	47人	60人	67人	72人	83人	66人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	19人	17人	22人	24人	18人
	入学者数		41人	41人	50人	50人	59人	48人
学校推薦型選抜	募集人数		24人	24人	24人	24人	24人	24人
	延べ人数	志願者数	59人	72人	58人	70人	47人	61人
		受験者数	59人	72人	58人	69人	47人	61人
		合格者数	28人	43人	37人	42人	36人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	5人	6人	5人	4人
	実人数	志願者数	59人	72人	58人	70人	47人	61人
		受験者数	59人	72人	58人	69人	47人	61人
		合格者数	28人	43人	37人	42人	36人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	5人	6人	5人	4人
	入学者数		28人	38人	32人	36人	31人	33人
一般選抜	募集人数		48人	47人	47人	45人	45人	46人
	延べ人数	志願者数	317人	309人	228人	286人	168人	262人
		受験者数	304人	298人	221人	280人	164人	253人
		合格者数	103人	127人	83人	133人	85人	106人
		うち追加合格者数	14人	44人	21人	63人	0人	28人
		辞退者数	51人	89人	52人	97人	50人	68人
	実人数	志願者数	216人	207人	172人	201人	115人	182人
		受験者数	206人	198人	167人	195人	111人	175人
		合格者数	103人	127人	83人	133人	85人	106人
		うち追加合格者数	14人	44人	21人	63人	0人	28人
		辞退者数	51人	89人	31人	97人	50人	64人
	入学者数		52人	38人	52人	36人	35人	43人
共通テスト利用入試	募集人数		13人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		受験者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		合格者数	63人	82人	53人	82人	93人	75人
		うち追加合格者数	5人	22人	6人	36人	8人	15人
		辞退者数	49人	64人	48人	74人	76人	62人
	実人数	志願者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		受験者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		合格者数	63人	82人	53人	82人	93人	75人
		うち追加合格者数	5人	22人	6人	36人	8人	15人
		辞退者数	49人	64人	48人	74人	76人	62人
	入学者数		14人	18人	5人	8人	17人	12人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人	2人	0人	1人
		受験者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人	2人	0人	1人
		受験者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	1人	1人	0人	0人
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	689人	782人	632人	751人	537人	678人
		受験者数	674人	770人	619人	741人	533人	667人
		合格者数	241人	312人	241人	330人	297人	284人
		うち追加合格者数	19人	66人	27人	99人	8人	44人
		辞退者数	106人	177人	122人	199人	155人	152人
	実人数	志願者数	588人	680人	576人	666人	484人	599人
		受験者数	576人	670人	565人	656人	480人	589人
		合格者数	241人	312人	241人	330人	297人	284人
		うち追加合格者数	19人	66人	27人	99人	8人	44人
		辞退者数	106人	177人	101人	199人	155人	148人
	入学者数		135人	135人	140人	131人	142人	137人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.13	1.13	1.17	1.09	1.18	1.14
歩留率	0.56	0.43	0.58	0.40	0.48	0.49

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		12人	13人	15人	15人	15人	14人
	延べ人数	志願者数	31人	42人	29人	47人	42人	38人
		受験者数	31人	40人	27人	46人	42人	37人
		合格者数	13人	23人	20人	30人	31人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	13人	9人	13人	12人	10人
	実人数	志願者数	31人	42人	29人	47人	42人	38人
		受験者数	31人	40人	27人	46人	42人	37人
		合格者数	13人	23人	20人	30人	31人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	13人	9人	13人	12人	10人
	入学者数		9人	10人	11人	17人	19人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		14人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		受験者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		合格者数	15人	17人	18人	20人	16人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	2人	4人	2人
	実人数	志願者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		受験者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		合格者数	15人	17人	18人	20人	16人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	2人	4人	2人
	入学者数		15人	17人	16人	18人	12人	16人
一般選抜	募集人数		19人	19人	17人	17人	17人	18人
	延べ人数	志願者数	358人	351人	261人	250人	174人	279人
		受験者数	355人	336人	256人	244人	169人	272人
		合格者数	91人	110人	114人	53人	45人	83人
		うち追加合格者数	41人	57人	40人	6人	0人	29人
		辞退者数	70人	93人	94人	44人	33人	67人
	実人数	志願者数	247人	239人	193人	196人	103人	196人
		受験者数	245人	234人	189人	192人	99人	192人
		合格者数	91人	110人	114人	53人	45人	83人
		うち追加合格者数	41人	57人	40人	6人	0人	29人
		辞退者数	70人	93人	94人	44人	33人	67人
	入学者数		21人	17人	20人	9人	12人	16人
共通テスト利用入試	募集人数		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		受験者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		合格者数	51人	36人	57人	34人	36人	43人
		うち追加合格者数	31人	11人	19人	0人	0人	12人
		辞退者数	47人	30人	53人	27人	33人	38人
	実人数	志願者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		受験者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		合格者数	51人	36人	57人	34人	36人	43人
		うち追加合格者数	31人	11人	19人	0人	0人	12人
		辞退者数	47人	30人	53人	27人	33人	38人
	入学者数		4人	6人	4人	7人	3人	5人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	461人	454人	369人	388人	269人	388人
		受験者数	458人	437人	362人	381人	264人	380人
		合格者数	170人	186人	209人	137人	128人	166人
		うち追加合格者数	72人	68人	59人	6人	0人	41人
		辞退者数	121人	136人	158人	86人	82人	117人
	実人数	志願者数	350人	342人	301人	334人	198人	305人
		受験者数	348人	335人	295人	329人	194人	300人
		合格者数	170人	186人	209人	137人	128人	166人
		うち追加合格者数	72人	68人	59人	6人	0人	41人
		辞退者数	121人	136人	158人	86人	82人	117人
	入学者数		49人	50人	51人	51人	46人	49人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50
入学定員充足率	0.98	1.00	1.02	1.02	0.92	0.99
歩留率	0.29	0.27	0.24	0.37	0.36	0.31

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　言語聴覚学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		7人	11人	11人	11人	11人	10人
	延べ人数	志願者数	25人	53人	31人	34人	30人	35人
		受験者数	24人	51人	31人	30人	30人	33人
		合格者数	12人	18人	14人	19人	20人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	3人	6人	4人	4人
	実人数	志願者数	25人	53人	31人	34人	30人	35人
		受験者数	24人	51人	31人	30人	30人	33人
		合格者数	12人	18人	14人	19人	20人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	3人	6人	4人	4人
	入学者数		12人	13人	11人	13人	16人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		13人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	15人	22人	19人	13人	6人	15人
		受験者数	15人	22人	19人	12人	6人	15人
		合格者数	14人	19人	17人	12人	6人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	15人	22人	19人	13人	6人	15人
		受験者数	15人	22人	19人	12人	6人	15人
		合格者数	14人	19人	17人	12人	6人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		13人	19人	17人	12人	6人	13人
一般選抜	募集人数		14人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	93人	91人	87人	85人	48人	81人
		受験者数	90人	91人	86人	82人	47人	79人
		合格者数	34人	18人	31人	35人	13人	26人
		うち追加合格者数	3人	0人	4人	1人	0人	2人
		辞退者数	18人	7人	22人	23人	10人	16人
	実人数	志願者数	68人	68人	61人	63人	33人	59人
		受験者数	62人	68人	60人	60人	32人	56人
		合格者数	34人	18人	31人	35人	13人	26人
		うち追加合格者数	3人	0人	4人	1人	0人	2人
		辞退者数	18人	7人	22人	23人	10人	16人
	入学者数		16人	11人	9人	12人	3人	10人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		受験者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		合格者数	28人	22人	19人	25人	18人	22人
		うち追加合格者数	2人	0人	5人	0人	0人	1人
		辞退者数	26人	20人	16人	19人	15人	19人
	実人数	志願者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		受験者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		合格者数	28人	22人	19人	25人	18人	22人
		うち追加合格者数	2人	0人	5人	0人	0人	1人
		辞退者数	26人	20人	16人	19人	15人	19人
	入学者数		2人	2人	3人	6人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	163人	197人	162人	157人	103人	156人
		受験者数	159人	195人	161人	149人	102人	153人
		合格者数	88人	77人	81人	91人	57人	79人
		うち追加合格者数	5人	0人	9人	1人	0人	3人
		辞退者数	45人	32人	41人	48人	29人	39人
	実人数	志願者数	138人	174人	136人	135人	88人	134人
		受験者数	131人	172人	135人	127人	87人	130人
		合格者数	88人	77人	81人	91人	57人	79人
		うち追加合格者数	5人	0人	9人	1人	0人	3人
		辞退者数	45人	32人	41人	48人	29人	39人
	入学者数		43人	45人	40人	43人	28人	40人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.08	1.13	1.00	1.08	0.70	1.00
歩留率	0.49	0.58	0.49	0.47	0.49	0.51

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　義肢装具自立支援学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	23人	47人	54人	47人	42人	43人
		受験者数	23人	45人	53人	47人	36人	41人
		合格者数	19人	31人	32人	39人	34人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	11人	11人	16人	15人	11人
	実人数	志願者数	23人	47人	54人	47人	42人	43人
		受験者数	23人	45人	53人	47人	36人	41人
		合格者数	19人	31人	32人	39人	34人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	11人	11人	16人	15人	11人
	入学者数		18人	20人	21人	23人	19人	20人
学校推薦型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	9人	10人	17人	13人	12人	12人
		受験者数	9人	10人	16人	13人	12人	12人
		合格者数	9人	9人	14人	13人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	9人	10人	17人	13人	12人	12人
		受験者数	9人	10人	16人	13人	12人	12人
		合格者数	9人	9人	14人	13人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		9人	9人	14人	13人	11人	11人
一般選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	55人	78人	62人	46人	27人	54人
		受験者数	54人	78人	61人	45人	26人	53人
		合格者数	29人	29人	34人	26人	11人	26人
		うち追加合格者数	1人	0人	20人	0人	0人	4人
		辞退者数	18人	14人	27人	15人	7人	16人
	実人数	志願者数	41人	57人	43人	34人	19人	39人
		受験者数	40人	57人	42人	33人	18人	38人
		合格者数	29人	29人	34人	26人	11人	26人
		うち追加合格者数	1人	0人	20人	0人	0人	4人
		辞退者数	18人	14人	27人	15人	7人	16人
	入学者数		11人	15人	7人	11人	4人	10人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		受験者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		合格者数	16人	14人	21人	13人	8人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	6人	0人	0人	1人
		辞退者数	15人	13人	18人	12人	6人	13人
	実人数	志願者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		受験者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		合格者数	16人	14人	21人	13人	8人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	6人	0人	0人	1人
		辞退者数	15人	13人	18人	12人	6人	13人
	入学者数		1人	1人	3人	1人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	104人	158人	154人	119人	89人	125人
		受験者数	103人	156人	151人	118人	82人	122人
		合格者数	73人	83人	101人	91人	65人	83人
		うち追加合格者数	1人	0人	26人	0人	0人	5人
		辞退者数	34人	38人	56人	43人	29人	40人
	実人数	志願者数	90人	137人	135人	107人	81人	110人
		受験者数	89人	135人	132人	106人	74人	107人
		合格者数	73人	83人	101人	91人	65人	83人
		うち追加合格者数	1人	0人	26人	0人	0人	5人
		辞退者数	34人	38人	56人	43人	29人	40人
	入学者数		39人	45人	45人	48人	36人	43人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	0.98	1.13	1.13	1.20	0.90	1.07
歩留率	0.53	0.54	0.45	0.53	0.55	0.52

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　鍼灸健康学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		－	－	－	－	13人	13人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	28人	28人
		受験者数	－	－	－	－	28人	28人
		合格者数	－	－	－	－	28人	28人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	13人	13人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	28人	28人
		受験者数	－	－	－	－	28人	28人
		合格者数	－	－	－	－	28人	28人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	13人	13人
	入学者数		－	－	－	－	15人	15人
学校推薦型選抜	募集人数		－	－	－	－	12人	12人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	7人	7人
		受験者数	－	－	－	－	7人	7人
		合格者数	－	－	－	－	7人	7人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	2人	2人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	7人	7人
		受験者数	－	－	－	－	7人	7人
		合格者数	－	－	－	－	7人	7人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	2人	2人
	入学者数		－	－	－	－	5人	5人
一般選抜	募集人数		－	－	－	－	10人	10人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	7人	7人
		受験者数	－	－	－	－	7人	7人
		合格者数	－	－	－	－	4人	4人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	4人	4人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	5人	5人
		受験者数	－	－	－	－	5人	5人
		合格者数	－	－	－	－	4人	4人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	4人	4人
	入学者数		－	－	－	－	0人	0人
共通テスト利用入試	募集人数		－	－	－	－	4人	4人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	8人	8人
		受験者数	－	－	－	－	8人	8人
		合格者数	－	－	－	－	8人	8人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	5人	5人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	8人	8人
		受験者数	－	－	－	－	8人	8人
		合格者数	－	－	－	－	8人	8人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	5人	5人
	入学者数		－	－	－	－	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		－	－	－	－	1人	1人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	1人	1人
		受験者数	－	－	－	－	1人	1人
		合格者数	－	－	－	－	1人	1人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	1人	1人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	1人	1人
		受験者数	－	－	－	－	1人	1人
		合格者数	－	－	－	－	1人	1人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	1人	1人
	入学者数		－	－	－	－	0人	0人
合計	募集人数		－	－	－	－	40人	40人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	51人	51人
		受験者数	－	－	－	－	51人	51人
		合格者数	－	－	－	－	48人	48人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	25人	25人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	49人	49人
		受験者数	－	－	－	－	49人	49人
		合格者数	－	－	－	－	48人	48人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	25人	25人
	入学者数		－	－	－	－	23人	23人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	－	－	－	－	40人	40
入学定員充足率	－	－	－	－	0.58	0.58
歩留率	－	－	－	－	0.48	0.48

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　臨床技術学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	53人	120人	131人	111人	84人	100人
		受験者数	52人	120人	131人	107人	83人	99人
		合格者数	23人	37人	46人	43人	49人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	12人	15人	15人	20人	13人
	実人数	志願者数	53人	120人	131人	111人	84人	100人
		受験者数	52人	120人	131人	107人	83人	99人
		合格者数	23人	37人	46人	43人	49人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	12人	15人	15人	20人	13人
	入学者数		18人	25人	31人	28人	29人	26人
学校推薦型選抜	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	39人	37人	56人	46人	34人	42人
		受験者数	39人	37人	56人	46人	33人	42人
		合格者数	32人	30人	37人	38人	30人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	3人	4人	1人	2人
	実人数	志願者数	39人	37人	56人	46人	34人	42人
		受験者数	39人	37人	56人	46人	33人	42人
		合格者数	32人	30人	37人	38人	30人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	3人	4人	1人	2人
	入学者数		32人	28人	34人	34人	29人	31人
一般選抜	募集人数		49人	49人	49人	49人	49人	49人
	延べ人数	志願者数	333人	274人	280人	235人	142人	253人
		受験者数	313人	262人	276人	227人	139人	243人
		合格者数	150人	97人	130人	77人	95人	110人
		うち追加合格者数	71人	0人	60人	0人	4人	27人
		辞退者数	105人	57人	103人	47人	56人	74人
	実人数	志願者数	238人	181人	211人	179人	103人	182人
		受験者数	224人	172人	207人	171人	100人	175人
		合格者数	150人	97人	130人	77人	95人	110人
		うち追加合格者数	71人	0人	60人	0人	4人	27人
		辞退者数	105人	57人	103人	47人	56人	74人
	入学者数		45人	40人	27人	30人	39人	36人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	151人	121人	164人	129人	101人	133人
		受験者数	150人	121人	164人	128人	101人	133人
		合格者数	65人	63人	84人	81人	82人	75人
		うち追加合格者数	33人	5人	52人	0人	6人	19人
		辞退者数	60人	56人	73人	69人	70人	66人
	実人数	志願者数	151人	121人	164人	129人	101人	133人
		受験者数	150人	121人	164人	128人	101人	133人
		合格者数	65人	63人	84人	81人	82人	75人
		うち追加合格者数	33人	5人	52人	0人	6人	19人
		辞退者数	60人	56人	73人	69人	70人	66人
	入学者数		5人	7人	11人	12人	12人	9人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	576人	552人	631人	521人	361人	528人
		受験者数	554人	540人	627人	508人	356人	517人
		合格者数	270人	227人	297人	239人	256人	258人
		うち追加合格者数	104人	5人	112人	0人	10人	46人
		辞退者数	170人	127人	194人	135人	147人	155人
	実人数	志願者数	481人	459人	562人	465人	322人	458人
		受験者数	465人	450人	558人	452人	317人	448人
		合格者数	270人	227人	297人	239人	256人	258人
		うち追加合格者数	104人	5人	112人	0人	10人	46人
		辞退者数	170人	127人	194人	135人	147人	155人
	入学者数		100人	100人	103人	104人	109人	103人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	1.00	1.00	1.03	1.04	1.09	1.03
歩留率	0.37	0.44	0.35	0.44	0.43	0.40

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　視機能科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	17人	41人	42人	22人	27人	30人
		受験者数	14人	38人	42人	22人	23人	28人
		合格者数	13人	25人	36人	19人	23人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	7人	16人	9人	11人	9人
	実人数	志願者数	17人	41人	42人	22人	27人	30人
		受験者数	14人	38人	42人	22人	23人	28人
		合格者数	13人	25人	36人	19人	23人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	7人	16人	9人	11人	9人
	入学者数		12人	18人	20人	10人	12人	14人
学校推薦型選抜	募集人数		16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		受験者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		合格者数	16人	22人	18人	18人	15人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		受験者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		合格者数	16人	22人	18人	18人	15人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		16人	21人	18人	18人	14人	17人
一般選抜	募集人数		12人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	165人	133人	121人	120人	88人	125人
		受験者数	165人	130人	117人	117人	87人	123人
		合格者数	74人	65人	54人	54人	26人	55人
		うち追加合格者数	14人	27人	35人	0人	0人	15人
		辞退者数	56人	54人	47人	34人	16人	41人
	実人数	志願者数	118人	98人	83人	91人	59人	90人
		受験者数	118人	95人	79人	88人	58人	88人
		合格者数	74人	65人	54人	54人	26人	55人
		うち追加合格者数	14人	27人	35人	0人	0人	15人
		辞退者数	56人	54人	47人	34人	16人	41人
	入学者数		18人	11人	7人	20人	10人	13人
共通テスト利用入試	募集人数		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	33人	21人	26人	23人	13人	23人
		受験者数	33人	21人	26人	23人	12人	23人
		合格者数	31人	20人	25人	23人	12人	22人
		うち追加合格者数	14人	3人	5人	0人	0人	4人
		辞退者数	29人	18人	19人	20人	12人	20人
	実人数	志願者数	33人	21人	26人	23人	13人	23人
		受験者数	33人	21人	26人	23人	12人	23人
		合格者数	31人	20人	25人	23人	12人	22人
		うち追加合格者数	14人	3人	5人	0人	0人	4人
		辞退者数	29人	18人	19人	20人	12人	20人
	入学者数		2人	2人	6人	3人	0人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	231人	217人	209人	183人	143人	197人
		受験者数	228人	211人	205人	180人	137人	192人
		合格者数	134人	132人	133人	114人	76人	118人
		うち追加合格者数	28人	30人	40人	0人	0人	20人
		辞退者数	86人	80人	82人	63人	40人	70人
	実人数	志願者数	184人	182人	171人	154人	114人	161人
		受験者数	181人	176人	167人	151人	108人	157人
		合格者数	134人	132人	133人	114人	76人	118人
		うち追加合格者数	28人	30人	40人	0人	0人	20人
		辞退者数	86人	80人	82人	63人	40人	70人
	入学者数		48人	52人	51人	51人	36人	48人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50
入学定員充足率	0.96	1.04	1.02	1.02	0.72	0.95
歩留率	0.36	0.39	0.38	0.45	0.47	0.41

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　救急救命学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		19人	19人	19人	19人	19人	19人
	延べ人数	志願者数	57人	91人	77人	105人	126人	91人
		受験者数	55人	90人	72人	105人	122人	89人
		合格者数	21人	26人	25人	29人	34人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	8人	8人	6人	10人	7人
	実人数	志願者数	57人	91人	77人	105人	126人	91人
		受験者数	55人	90人	72人	105人	122人	89人
		合格者数	21人	26人	25人	29人	34人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	8人	8人	6人	10人	7人
	入学者数		18人	18人	17人	23人	24人	20人
学校推薦型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	31人	33人	45人	54人	43人	41人
		受験者数	30人	22人	44人	54人	43人	39人
		合格者数	25人	27人	26人	30人	28人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	31人	33人	45人	54人	43人	41人
		受験者数	30人	22人	44人	54人	43人	39人
		合格者数	25人	27人	26人	30人	28人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	2人	0人	1人
	入学者数		25人	26人	25人	28人	28人	26人
一般選抜	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	143人	160人	169人	179人	107人	152人
		受験者数	139人	160人	161人	172人	101人	147人
		合格者数	39人	24人	49人	9人	15人	27人
		うち追加合格者数	16人	10人	31人	0人	0人	11人
		辞退者数	27人	15人	43人	5人	11人	20人
	実人数	志願者数	106人	120人	128人	128人	76人	112人
		受験者数	102人	120人	120人	121人	70人	107人
		合格者数	39人	24人	49人	9人	15人	27人
		うち追加合格者数	16人	10人	31人	0人	0人	11人
		辞退者数	27人	15人	43人	5人	11人	20人
	入学者数		12人	9人	6人	4人	4人	7人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	30人	28人	34人	48人	27人	33人
		受験者数	29人	28人	34人	48人	27人	33人
		合格者数	9人	13人	32人	8人	12人	15人
		うち追加合格者数	0人	4人	15人	0人	0人	4人
		辞退者数	9人	11人	26人	3人	9人	12人
	実人数	志願者数	30人	28人	34人	48人	27人	33人
		受験者数	29人	28人	34人	48人	27人	33人
		合格者数	9人	13人	32人	8人	12人	15人
		うち追加合格者数	0人	4人	15人	0人	0人	4人
		辞退者数	9人	11人	26人	3人	9人	12人
	入学者数		0人	2人	6人	5人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		55人	55人	55人	55人	55人	55人
	延べ人数	志願者数	261人	312人	325人	386人	303人	317人
		受験者数	253人	300人	311人	379人	293人	307人
		合格者数	94人	90人	132人	76人	89人	96人
		うち追加合格者数	16人	14人	46人	0人	0人	15人
		辞退者数	39人	35人	78人	16人	30人	40人
	実人数	志願者数	224人	272人	284人	335人	272人	277人
		受験者数	216人	260人	270人	328人	262人	267人
		合格者数	94人	90人	132人	76人	89人	96人
		うち追加合格者数	16人	14人	46人	0人	0人	15人
		辞退者数	39人	35人	78人	16人	30人	40人
	入学者数		55人	55人	54人	60人	59人	57人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	55人	55人	55人	55人	55人	55
入学定員充足率	1.00	1.00	0.98	1.09	1.07	1.03
歩留率	0.59	0.61	0.41	0.79	0.66	0.61

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　診療放射線学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		21人	21人	21人	21人	21人	21人
	延べ人数	志願者数	61人	152人	156人	82人	94人	109人
		受験者数	61人	152人	155人	80人	94人	108人
		合格者数	25人	29人	40人	41人	53人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	9人	15人	15人	19人	13人
	実人数	志願者数	61人	152人	156人	82人	94人	109人
		受験者数	61人	152人	155人	80人	94人	108人
		合格者数	25人	29人	40人	41人	53人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	9人	15人	15人	19人	13人
	入学者数		20人	20人	25人	26人	34人	25人
学校推薦型選抜	募集人数		16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数	26人	49人	44人	28人	35人	36人
		受験者数	26人	49人	43人	28人	35人	36人
		合格者数	19人	27人	31人	24人	26人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	6人	4人	6人	4人
	実人数	志願者数	26人	49人	44人	28人	35人	36人
		受験者数	26人	49人	43人	28人	35人	36人
		合格者数	19人	27人	31人	24人	26人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	6人	4人	6人	4人
	入学者数		18人	25人	25人	20人	20人	22人
一般選抜	募集人数		43人	43人	43人	43人	43人	43人
	延べ人数	志願者数	241人	362人	343人	265人	261人	294人
		受験者数	229人	356人	332人	255人	254人	285人
		合格者数	93人	96人	74人	80人	68人	82人
		うち追加合格者数	15人	13人	15人	0人	0人	9人
		辞退者数	51人	61人	45人	48人	42人	49人
	実人数	志願者数	167人	244人	240人	193人	180人	205人
		受験者数	158人	240人	229人	183人	173人	197人
		合格者数	93人	96人	74人	80人	68人	82人
		うち追加合格者数	15人	13人	15人	0人	0人	9人
		辞退者数	51人	61人	45人	48人	42人	49人
	入学者数		42人	35人	29人	32人	26人	33人
共通テスト利用入試	募集人数		8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		受験者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		合格者数	74人	78人	73人	65人	89人	76人
		うち追加合格者数	24人	26人	18人	0人	0人	14人
		辞退者数	64人	68人	58人	52人	69人	62人
	実人数	志願者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		受験者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		合格者数	74人	78人	73人	65人	89人	76人
		うち追加合格者数	24人	26人	18人	0人	0人	14人
		辞退者数	64人	68人	58人	52人	69人	62人
	入学者数		10人	10人	15人	13人	20人	14人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人
合計	募集人数		90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	志願者数	447人	706人	730人	541人	550人	595人
		受験者数	435人	700人	717人	529人	543人	585人
		合格者数	211人	230人	219人	210人	236人	221人
		うち追加合格者数	39人	39人	33人	0人	0人	22人
		辞退者数	121人	140人	124人	119人	136人	128人
	実人数	志願者数	373人	588人	627人	469人	469人	505人
		受験者数	364人	584人	614人	457人	462人	496人
		合格者数	211人	230人	219人	210人	236人	221人
		うち追加合格者数	39人	39人	33人	0人	0人	22人
		辞退者数	121人	140人	124人	119人	136人	128人
	入学者数		90人	90人	95人	91人	100人	93人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90
入学定員充足率	1.00	1.00	1.06	1.01	1.11	1.04
歩留率	0.43	0.39	0.43	0.43	0.42	0.42

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　健康科学部　健康栄養学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		8人	8人	13人	13人	13人	11人
	延べ人数	志願者数	46人	39人	83人	69人	83人	64人
		受験者数	46人	39人	82人	69人	83人	64人
		合格者数	18人	20人	22人	24人	24人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	9人	8人	7人	7人	7人
	実人数	志願者数	46人	39人	83人	69人	83人	64人
		受験者数	46人	39人	82人	69人	83人	64人
		合格者数	18人	20人	22人	24人	24人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	9人	8人	7人	7人	7人
	入学者数		16人	11人	14人	17人	17人	15人
学校推薦型選抜	募集人数		10人	10人	12人	12人	12人	11人
	延べ人数	志願者数	21人	13人	25人	20人	21人	20人
		受験者数	21人	13人	24人	20人	21人	20人
		合格者数	12人	11人	17人	18人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	0人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	21人	13人	25人	20人	21人	20人
		受験者数	21人	13人	24人	20人	21人	20人
		合格者数	12人	11人	17人	18人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	0人	3人	2人	2人
	入学者数		9人	10人	17人	15人	16人	13人
一般選抜	募集人数		17人	17人	12人	12人	12人	14人
	延べ人数	志願者数	205人	182人	190人	170人	111人	172人
		受験者数	196人	177人	184人	165人	108人	166人
		合格者数	43人	80人	18人	21人	16人	36人
		うち追加合格者数	15人	44人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	28人	61人	8人	12人	8人	23人
	実人数	志願者数	150人	127人	135人	128人	83人	125人
		受験者数	142人	124人	129人	123人	80人	120人
		合格者数	43人	80人	18人	21人	16人	36人
		うち追加合格者数	15人	44人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	28人	61人	8人	12人	8人	23人
	入学者数		15人	19人	10人	9人	8人	12人
共通テスト利用入試	募集人数		4人	4人	2人	2人	2人	3人
	延べ人数	志願者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		受験者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		合格者数	20人	39人	11人	15人	17人	20人
		うち追加合格者数	12人	15人	0人	0人	0人	5人
		辞退者数	17人	36人	8人	12人	14人	17人
	実人数	志願者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		受験者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		合格者数	20人	39人	11人	15人	17人	20人
		うち追加合格者数	12人	15人	0人	0人	0人	5人
		辞退者数	17人	36人	8人	12人	14人	17人
	入学者数		3人	3人	3人	3人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	314人	279人	355人	307人	258人	303人
		受験者数	305人	274人	347人	302人	255人	297人
		合格者数	93人	150人	68人	78人	75人	93人
		うち追加合格者数	27人	59人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	50人	107人	24人	34人	31人	49人
	実人数	志願者数	259人	224人	300人	265人	230人	256人
		受験者数	251人	221人	292人	260人	227人	250人
		合格者数	93人	150人	68人	78人	75人	93人
		うち追加合格者数	27人	59人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	50人	107人	24人	34人	31人	49人
	入学者数		43人	43人	44人	44人	44人	44人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.08	1.08	1.10	1.10	1.10	1.09
歩留率	0.46	0.29	0.65	0.56	0.59	0.51

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　健康科学部　健康スポーツ学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		102人	102人	145人	145人	145人	128人
	延べ人数	志願者数	184人	224人	293人	283人	272人	251人
		受験者数	181人	216人	291人	274人	271人	247人
		合格者数	159人	174人	226人	237人	262人	212人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	20人	36人	43人	52人	31人
	実人数	志願者数	184人	224人	293人	283人	272人	251人
		受験者数	181人	216人	291人	274人	271人	247人
		合格者数	159人	174人	226人	237人	262人	212人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	20人	36人	43人	52人	31人
	入学者数		154人	154人	190人	194人	210人	180人
学校推薦型選抜	募集人数		38人	38人	35人	35人	35人	36人
	延べ人数	志願者数	46人	37人	39人	39人	52人	43人
		受験者数	46人	37人	39人	37人	52人	42人
		合格者数	44人	35人	37人	33人	51人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	46人	37人	39人	39人	52人	43人
		受験者数	46人	37人	39人	37人	52人	42人
		合格者数	44人	35人	37人	33人	51人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	2人	1人	1人
	入学者数		42人	33人	37人	31人	50人	39人
一般選抜	募集人数		45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	184人	151人	195人	141人	152人	165人
		受験者数	177人	147人	191人	138人	152人	161人
		合格者数	36人	62人	90人	82人	54人	65人
		うち追加合格者数	5人	15人	14人	0人	0人	7人
		辞退者数	14人	34人	70人	56人	27人	40人
	実人数	志願者数	139人	110人	135人	108人	110人	120人
		受験者数	134人	106人	131人	105人	110人	117人
		合格者数	36人	62人	90人	82人	54人	65人
		うち追加合格者数	5人	15人	14人	0人	0人	7人
		辞退者数	14人	34人	70人	56人	27人	40人
	入学者数		22人	28人	20人	26人	27人	25人
共通テスト利用入試	募集人数		13人	13人	23人	23人	23人	19人
	延べ人数	志願者数	82人	58人	73人	76人	86人	75人
		受験者数	82人	58人	72人	76人	86人	75人
		合格者数	31人	55人	69人	76人	53人	57人
		うち追加合格者数	17人	32人	8人	0人	0人	11人
		辞退者数	28人	51人	58人	69人	48人	51人
	実人数	志願者数	82人	58人	73人	76人	86人	75人
		受験者数	82人	58人	72人	76人	86人	75人
		合格者数	31人	55人	69人	76人	53人	57人
		うち追加合格者数	17人	32人	8人	0人	0人	11人
		辞退者数	28人	51人	58人	69人	48人	51人
	入学者数		3人	4人	11人	7人	5人	6人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	1人	0人	0人
合計	募集人数		200人	200人	250人	250人	250人	230人
	延べ人数	志願者数	496人	470人	600人	540人	562人	534人
		受験者数	486人	458人	593人	526人	561人	525人
		合格者数	270人	326人	422人	429人	420人	373人
		うち追加合格者数	22人	47人	22人	0人	0人	18人
		辞退者数	49人	107人	164人	170人	128人	124人
	実人数	志願者数	451人	429人	540人	507人	520人	489人
		受験者数	443人	417人	533人	493人	519人	481人
		合格者数	270人	326人	422人	429人	420人	373人
		うち追加合格者数	22人	47人	22人	0人	0人	18人
		辞退者数	49人	107人	164人	170人	128人	124人
	入学者数		221人	219人	258人	259人	292人	250人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	200人	200人	250人	250人	250人	230
入学定員充足率	1.11	1.10	1.03	1.04	1.17	1.09
歩留率	0.82	0.67	0.61	0.60	0.70	0.68

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　看護学部　看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		20人	23人	28人	30人	30人	26人
	延べ人数	志願者数	88人	144人	140人	185人	115人	134人
		受験者数	88人	142人	138人	183人	114人	133人
		合格者数	28人	39人	53人	64人	84人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	11人	11人	18人	32人	16人
	実人数	志願者数	88人	144人	140人	185人	115人	134人
		受験者数	88人	142人	138人	183人	114人	133人
		合格者数	28人	39人	53人	64人	84人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	11人	11人	18人	32人	16人
	入学者数		20人	28人	42人	46人	52人	38人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	25人	25人	25人	26人
	延べ人数	志願者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		受験者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		合格者数	29人	27人	31人	30人	18人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	5人	2人	4人	3人
	実人数	志願者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		受験者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		合格者数	29人	27人	31人	30人	18人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	5人	2人	4人	3人
	入学者数		28人	24人	26人	28人	14人	24人
一般選抜	募集人数		48人	47人	46人	44人	44人	46人
	延べ人数	志願者数	454人	439人	428人	334人	274人	386人
		受験者数	435人	422人	404人	322人	260人	369人
		合格者数	197人	224人	170人	124人	173人	178人
		うち追加合格者数	74人	85人	52人	0人	66人	55人
		辞退者数	141人	178人	137人	86人	157人	140人
	実人数	志願者数	315人	290人	299人	240人	191人	267人
		受験者数	299人	275人	283人	228人	187人	254人
		合格者数	197人	224人	170人	124人	173人	178人
		うち追加合格者数	74人	85人	52人	0人	66人	55人
		辞退者数	141人	178人	137人	86人	157人	140人
	入学者数		56人	46人	33人	38人	16人	38人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	8人	6人	6人	6人	7人
	延べ人数	志願者数	176人	143人	173人	168人	185人	169人
		受験者数	176人	143人	172人	167人	184人	168人
		合格者数	100人	114人	116人	111人	173人	123人
		うち追加合格者数	58人	30人	46人	0人	87人	44人
		辞退者数	97人	105人	106人	96人	157人	112人
	実人数	志願者数	176人	143人	173人	168人	185人	169人
		受験者数	176人	143人	172人	167人	184人	168人
		合格者数	100人	114人	116人	111人	173人	123人
		うち追加合格者数	58人	30人	46人	0人	87人	44人
		辞退者数	97人	105人	106人	96人	157人	112人
	入学者数		3人	9人	10人	15人	16人	11人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	1人	0人
合計	募集人数		107人	107人	107人	107人	107人	107人
	延べ人数	志願者数	753人	754人	781人	724人	594人	721人
		受験者数	734人	735人	754人	709人	578人	702人
		合格者数	354人	404人	370人	329人	449人	381人
		うち追加合格者数	132人	115人	98人	0人	153人	100人
		辞退者数	247人	297人	259人	202人	350人	271人
	実人数	志願者数	614人	605人	652人	630人	511人	602人
		受験者数	598人	588人	633人	615人	505人	588人
		合格者数	354人	404人	370人	329人	449人	381人
		うち追加合格者数	132人	115人	98人	0人	153人	100人
		辞退者数	247人	297人	259人	202人	350人	271人
	入学者数		107人	107人	111人	127人	99人	110人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	107人	107人	107人	107人	107人	107
入学定員充足率	1.00	1.00	1.04	1.19	0.93	1.03
歩留率	0.30	0.26	0.30	0.39	0.22	0.29

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　心理・福祉学部　社会福祉学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		28人	28人	33人	33人	33人	31人
	延べ人数	志願者数	48人	84人	28人	44人	46人	50人
		受験者数	41人	74人	27人	40人	44人	45人
		合格者数	39人	62人	27人	39人	43人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	24人	13人	18人	19人	15人
	実人数	志願者数	48人	84人	28人	44人	46人	50人
		受験者数	41人	74人	27人	40人	44人	45人
		合格者数	39人	62人	27人	39人	43人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	24人	13人	18人	19人	15人
	入学者数		38人	38人	14人	21人	24人	27人
学校推薦型選抜	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	60人	59人	63人	54人	39人	55人
		受験者数	60人	59人	63人	54人	38人	55人
		合格者数	58人	58人	63人	54人	38人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	60人	59人	63人	54人	39人	55人
		受験者数	60人	59人	63人	54人	38人	55人
		合格者数	58人	58人	63人	54人	38人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	0人	0人	1人
	入学者数		57人	56人	62人	54人	38人	53人
一般選抜	募集人数		38人	38人	36人	36人	36人	37人
	延べ人数	志願者数	225人	198人	155人	180人	110人	174人
		受験者数	222人	197人	147人	177人	105人	170人
		合格者数	100人	87人	75人	104人	55人	84人
		うち追加合格者数	43人	42人	2人	0人	0人	17人
		辞退者数	76人	68人	45人	71人	39人	60人
	実人数	志願者数	171人	142人	110人	132人	85人	128人
		受験者数	168人	141人	102人	129人	80人	124人
		合格者数	100人	87人	75人	104人	55人	84人
		うち追加合格者数	43人	42人	2人	0人	0人	17人
		辞退者数	76人	68人	45人	71人	39人	60人
	入学者数		24人	19人	30人	33人	16人	24人
共通テスト利用入試	募集人数		12人	12人	9人	9人	9人	10人
	延べ人数	志願者数	114人	80人	61人	98人	101人	91人
		受験者数	114人	79人	61人	98人	100人	90人
		合格者数	84人	78人	59人	96人	100人	83人
		うち追加合格者数	32人	51人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	73人	66人	54人	80人	87人	72人
	実人数	志願者数	114人	80人	61人	98人	101人	91人
		受験者数	114人	79人	61人	98人	100人	90人
		合格者数	84人	78人	59人	96人	100人	83人
		うち追加合格者数	32人	51人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	73人	66人	54人	80人	87人	72人
	入学者数		11人	12人	5人	16人	13人	11人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	447人	421人	308人	376人	296人	370人
		受験者数	437人	409人	299人	369人	287人	360人
		合格者数	281人	285人	225人	293人	236人	264人
		うち追加合格者数	75人	93人	2人	0人	0人	34人
		辞退者数	151人	160人	114人	169人	145人	148人
	実人数	志願者数	393人	365人	263人	328人	271人	324人
		受験者数	383人	353人	254人	321人	262人	315人
		合格者数	281人	285人	225人	293人	236人	264人
		うち追加合格者数	75人	93人	2人	0人	0人	34人
		辞退者数	151人	160人	114人	169人	145人	148人
	入学者数		130人	125人	111人	124人	91人	116人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.08	1.04	0.93	1.03	0.76	0.97
歩留率	0.46	0.44	0.49	0.42	0.39	0.44

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　資料１

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療経営管理学部　医療情報管理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		19人	19人	19人	19人	19人	19人
	延べ人数	志願者数	23人	56人	28人	62人	50人	44人
		受験者数	19人	52人	26人	58人	45人	40人
		合格者数	19人	37人	22人	52人	44人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	15人	8人	22人	20人	13人
	実人数	志願者数	23人	56人	28人	62人	50人	44人
		受験者数	19人	52人	26人	58人	45人	40人
		合格者数	19人	37人	22人	52人	44人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	15人	8人	22人	20人	13人
	入学者数		17人	22人	14人	30人	24人	21人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	27人	27人	27人	27人
	延べ人数	志願者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		受験者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		合格者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		受験者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		合格者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	2人	1人	1人
	入学者数		35人	41人	47人	48人	40人	42人
一般選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	132人	174人	151人	178人	92人	145人
		受験者数	128人	169人	148人	174人	90人	142人
		合格者数	67人	74人	75人	26人	43人	57人
		うち追加合格者数	15人	37人	20人	0人	1人	15人
		辞退者数	43人	57人	61人	15人	25人	40人
	実人数	志願者数	103人	126人	109人	139人	69人	109人
		受験者数	100人	122人	106人	135人	67人	106人
		合格者数	67人	74人	75人	26人	43人	57人
		うち追加合格者数	15人	37人	20人	0人	1人	15人
		辞退者数	43人	57人	61人	15人	25人	40人
	入学者数		24人	17人	14人	11人	18人	17人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	61人	44人	65人	77人	52人	60人
		受験者数	60人	44人	63人	77人	52人	59人
		合格者数	59人	39人	63人	36人	52人	50人
		うち追加合格者数	16人	7人	27人	0人	0人	10人
		辞退者数	46人	33人	54人	28人	42人	41人
	実人数	志願者数	61人	44人	65人	77人	52人	60人
		受験者数	60人	44人	63人	77人	52人	59人
		合格者数	59人	39人	63人	36人	52人	50人
		うち追加合格者数	16人	7人	27人	0人	0人	10人
		辞退者数	46人	33人	54人	28人	42人	41人
	入学者数		13人	6人	9人	8人	10人	9人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	251人	315人	292人	367人	235人	292人
		受験者数	242人	306人	285人	359人	228人	284人
		合格者数	180人	191人	208人	164人	180人	185人
		うち追加合格者数	31人	44人	47人	0人	1人	25人
		辞退者数	91人	105人	124人	67人	88人	95人
	実人数	志願者数	222人	267人	250人	328人	212人	256人
		受験者数	214人	259人	243人	320人	205人	248人
		合格者数	180人	191人	208人	164人	180人	185人
		うち追加合格者数	31人	44人	47人	0人	1人	25人
		辞退者数	91人	105人	124人	67人	88人	95人
	入学者数		89人	86人	84人	97人	92人	90人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入学定員充足率	1.11	1.08	1.05	1.21	1.15	1.12
歩留率	0.49	0.45	0.40	0.59	0.51	0.49

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

資料２：2023（令和5）年度健康栄養学科入学者に対するアンケート

1. 本学健康栄養学科の志望度について

本学の志望度	第一志望	第二志望	第三志望以下	こだわりなし	未回答	合計
回答数	38	3	0	2	1	44
割　合	86.4%	6.8%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%

2. 志望大学決定時期について

決定時期	高1の春	高1の夏	高1の秋	高1の冬	高2の春	高2の夏	高2の秋	高2の冬	高3の春	高3の夏	高3の秋	高3の冬	未回答	合計
回答数	0	1	0	1	1	4	4	5	11	11	1	4	1	44
割　合	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	9.1%	9.1%	11.4%	25.0%	25.0%	2.3%	9.1%	2.3%	100.0%

25.0%　　75.0%

3. 第一志望と回答した学生が志望大学を決定した時期について

決定時期	高1の春	高1の夏	高1の秋	高1の冬	高2の春	高2の夏	高2の秋	高2の冬	高3の春	高3の夏	高3の秋	高3の冬	合計
回答数	0	1	0	1	1	4	4	5	10	10	1	1	38
割　合	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	10.5%	10.5%	13.2%	26.3%	26.3%	2.6%	2.6%	100.0%

28.9%　　71.1%

資料３

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（健康科学部健康栄養学科等）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
基礎教養科目群	基礎ゼミ	1前	○	1				○		5	2	5	7			
	情報処理Ⅰ	1前		1				○							2	メディア標準外
	情報処理Ⅱ	1後		1				○							2	メディア標準外
	情報処理Ⅲ	2前			1			○							2	
	英語Ⅰ	1前		1				○							2	
	英語Ⅱ	1後		1				○							2	
	アカデミック英語Ⅰ	2・3・4前			1			○							2	
	アカデミック英語Ⅱ	2・3・4後			1			○							2	
	アカデミック英語Ⅲ	2・3・4後			1			○							2	標準外
	韓国語Ⅰ	1・2後			1			○							2	
	中国語Ⅰ	1・2後			1			○							2	
	スペイン語Ⅰ	1・2後			1			○							1	
	ドイツ語Ⅰ	1・2後			1			○							1	
	韓国語Ⅱ	2・3前			1			○							1	
	中国語Ⅱ	2・3前			1			○							1	
	スペイン語Ⅱ	2・3前			1			○							1	
	ドイツ語Ⅱ	2・3前			1			○							1	
	日本語表現法Ⅰ	1後			1		○						2			
	日本語表現法Ⅱ	1後			1		○						2			
	スポーツ・健康	1前		1				○							4	
	スポーツ・実践	2・3・4前・後			1			○							1	
	哲学	1前			1		○								1	メディア標準外
	倫理学	1後			1		○								1	メディア標準外
	ジェンダー論	1前			1		○								1	メディア標準外
	科学論	1後			1		○								1	メディア標準外
	情報科学	1後			1		○								1	メディア標準外
	研究プロジェクト演習Ⅰ	1後			1			○							1	標準外
	研究プロジェクト演習Ⅱ	2前			1			○							1	標準外
	研究プロジェクト演習Ⅲ	2後			1			○							1	標準外
	研究プロジェクト演習Ⅳ	3前			1			○							1	標準外
	研究プロジェクト演習Ⅴ	3後			1			○							1	標準外
	研究プロジェクト演習Ⅵ	4前			1			○							1	標準外
	小計（32科目）	－	－	6	26	0	－			5	2	5	7	0	22	

保健医療福祉教養科目群	ボランティアの世界	1前			1		○								1	メディア 標準外
	コミュニケーション学入門	1前			1		○								1	メディア 標準外
	対人コミュニケーション論	1後			1		○								1	メディア 標準外
	心理学の世界	1後			1		○								1	メディア 標準外
	人間を知る	1前			1		○								1	メディア
	命の倫理	1後			1		○								1	メディア 標準外
	QOLの世界	1後			1		○								1	メディア
	こどもの世界	1後			1		○								1	メディア 標準外
	アスリートの世界	1前			1		○								1	メディア 標準外
	臨床医の世界	1後			1		○								1	
	加齢と身体	1後			1		○								4	メディア オムニバス 標準外
	食を楽しむ	1前			1		○						4			メディア オムニバス 標準外
	眼の神秘	1前			1		○								1	メディア 標準外
	義肢装具の世界	1後			1		○								5	メディア
	新潟学	1後			1		○								1	メディア
	国際保健の世界	1後			1		○								3	メディア 共同 標準外
	国民の生活と健康を支える仕組み	1前			1		○								1	メディア
	現代社会と経済	1前			1		○								1	メディア
	法学Ⅰ	1後			1		○								1	メディア 標準外
	法学Ⅱ	1後			1		○								1	メディア 標準外
	臨床の哲学	1前			1		○								7	メディア オムニバス 標準外
	臨床技術の世界	1前			1		○								7	メディア オムニバス 標準外
	留学の魅力	1前			1		○								8	メディア オムニバス 標準外
	シティズンシップ教育入門	1後			1		○								7	オムニバス
	放射線の基礎と人体への影響	1前			1		○								1	メディア 標準外
	新潟水俣病の理解	1前			1		○								1	メディア 標準外
	一次救命処置法	1前			1		○								1	
	東洋医学的養生	1前			1		○								1	
	自然人類学概論	1後			1		○								1	メディア 標準外
	データサイエンス概論	1後			1		○								1	メディア 標準外
	アスリートサポートの世界	1後			1		○								1	メディア 標準外
	比較認知科学の世界	1前			1		○								1	メディア 標準外
	アカデミック・ライティング	1後			1		○								1	メディア 標準外
	小計（33科目）	―	―	0	33	0	―			0	0	0	4	0	55	
保健医療福祉連携科目群	連携基礎ゼミ	2後	○	1				○		5	2	5	7			
	チームアプローチ入門	1後			1		○			1					10	メディア オムニバス 共同(一部) 標準外
	保健医療福祉連携学	2・3前			1		○								4	メディア オムニバス 標準外
	地域連携学	3前			1		○								2	オムニバス 標準外
	連携総合ゼミ	3後・4前			1			○							1	標準外
	社会連携実践演習Ⅰ	1・2・3・4前			1			○							4	オムニバス 標準外
	社会連携実践演習Ⅱ	1・2・3・4後			1			○							4	オムニバス 標準外
	国際交流演習Ⅰ	1・2・3・4前			1			○							1	標準外
	国際交流演習Ⅱ	1・2・3・4後			1			○							1	標準外
	小計（9科目）	―	―	1	8	0	―			5	2	5	7	0	20	

専門基礎科目群	健康管理概論	1前	○	1			○					1				
	社会福祉総論	1前	○	1			○								1	
	公衆衛生学	1後	○	2			○			1						
	保健統計学	3後	○	2			○			1						
	生化学Ⅰ	1前	○	2			○			1						
	生化学Ⅱ	1後	○	2			○			1						
	生化学実験	2前	○	2					○	1			1			共同
	解剖生理学Ⅰ	1前	○	2			○			1						
	解剖生理学Ⅱ	1後	○	2			○			1						
	解剖生理学実習Ⅰ	1前	○	1					○	1			1	1		共同
	解剖生理学実習Ⅱ	1後	○	1					○	1				1		
	運動生理学Ⅰ	2前	○	2			○			1						
	医学基礎	1後	○	2			○			1						
	臨床医学Ⅰ	2前	○	2			○								1	
	調理学	1前	○	2			○				1					
	調理学実習Ⅰ	1前	○	1					○		1		1	1		共同
	調理学実習Ⅱ	1後	○	1					○		1		1	2		共同
	食品学Ⅰ	1前	○	2			○				1					
	食品学Ⅱ	1後	○	2			○				1					
	食品学実験	2後	○	2					○		1			1		
	食品衛生学	1前	○	2			○								1	
	食品衛生学実験	1後	○	1					○	1			1			共同
	食品加工学	2前	○	2			○				1					
	食品加工学実習	2前	○	1					○		1		1	1		共同
	基礎実践演習	1前		1				○		1		1				共同
	小計（25科目）	－		41	0	0	－			4	2	1	5	3	3	

専門専攻科目群（共通科目）	基礎栄養学	1後	○	2			○			1						
	応用栄養学Ⅰ	2前	○	2			○					1				
	応用栄養学Ⅱ	2後	○	2			○			1		1				オムニバス
	応用栄養学Ⅲ	3前	○	2			○			1						
	栄養学実習Ⅰ	2前	○	1					○	1			1	1		共同
	栄養学実習Ⅱ	2後	○	1					○	1		1	1	1		オムニバス 共同
	栄養教育論Ⅰ	2後	○	2			○					1				
	栄養教育論Ⅱ	3前	○	2			○					1				
	栄養教育実習Ⅰ	2後	○	1					○			1		2		
	栄養教育実習Ⅱ	3前	○	1					○			1	1	1		共同
	カウンセリング技法	3前	○	2			○								1	
	臨床栄養学Ⅰ	2前	○	2			○					1				
	臨床栄養学Ⅱ	2後	○	2			○					1				
	臨床栄養学Ⅲ	3前	○	2			○			1						
	臨床栄養学実習Ⅰ	2後	○	1					○			1	1	1		共同
	臨床栄養学実習Ⅱ	3前	○	1					○	1			1	1		共同
	臨床医学Ⅱ	3前	○	1			○			1						標準外
	臨床栄養管理演習	4前	○	1				○		1				1		
	公衆栄養学Ⅰ	2後	○	2			○			1						
	公衆栄養学Ⅱ	3前	○	2			○			1						
	公衆栄養学実習Ⅰ	3前	○	1					○	1			1	1		共同
	献立作成演習	2前		1				○				1	1	1		共同
	給食経営管理論Ⅰ	2後	○	2			○					1				
	給食経営管理論Ⅱ	3前	○	2			○					1				
	給食経営管理実習Ⅰ	3前	○	2					○			2	1	1		共同
	老年栄養学	3前		2			○					1				
	総合演習	4前	○	2				○		2		1	2			オムニバス 共同
	チームコミュニケーション演習Ⅰ	3前		1				○		2	1	3				共同 標準外
	チームコミュニケーション演習Ⅱ	3後		1				○		2	1	3				共同 標準外
	入門臨地実習（臨地）	2後	○	1					○	1		1				共同 標準外
	臨床栄養学実習Ⅲ（臨地）	3後	○	3					○	1		1				共同 標準外
	介護栄養学実習（臨地）	3後	○	2					○		1	1				共同 標準外
	公衆栄養学実習Ⅱ（臨地）	3後	○		1				○	1						標準外
	給食経営管理実習Ⅱ（臨地）	3後	○		1				○			1				標準外
	運動指導論演習	2前			1			○							1	
	臨床心理学	2前			2		○								1	
	食生活論	2前			2		○						1			
	運動生理学Ⅱ	2後			1		○			1						
	スポーツ栄養学	4前			2		○			1						
	分野探求型臨地実習（臨地）	4前			2				○			1	1			共同 標準外
	研究方法論	3後		1			○			1						
	健康栄養学特講Ⅰ	3後		2			○			5	2	4				共同
	健康栄養学特講Ⅱ	4前		2			○			5	2	4				共同
	健康栄養学特講Ⅲ	4後		2			○			5	2	4				共同
	卒業研究Ⅰ	4前	○	2				○		5	2	5				
	卒業研究Ⅱ	4後	○	2				○		5	2	5				
	小計（46科目）	―	―	63	12	0	―			6	2	5	4	4	3	

専門専攻科目群（栄養教諭）	学校栄養指導論Ⅰ	3後			2		○						1		1	共同
	学校栄養指導論Ⅱ	3後			2		○						1		1	共同
	教職概論	1前			2		○								2	共同
	教育原理	1後			2		○								1	
	教育心理学Ⅰ	2前			1		○								1	
	教育心理学Ⅱ	2前			1		○								1	
	教育社会制度論Ⅰ	2前			1		○								1	
	教育社会制度論Ⅱ	2前			1		○								1	
	教育課程論	2後			2		○								1	
	教育方法・技術	2後			2		○								1	
	道徳教育指導論Ⅰ	3前			1		○								1	標準外
	生徒指導論	3前			2		○								1	
	教育相談	3前			2		○								1	
	特別活動指導論Ⅰ	3前			1		○								1	
	特別支援教育論	3前			1		○								1	
	総合的な学習の時間の指導論	3前			1		○								3	オムニバス
	教職実践演習(栄養教諭)	4後			2			○					1		1	共同
	教育実習(栄養教諭)	4前			3				○				1		1	共同
	教職教養演習Ⅰ	2後			1			○							4	オムニバス
	教職教養演習Ⅱ	3前			1			○							4	オムニバス
	小計（20科目）	－		0	31	0	－			0	0	0	1	0	9	－
合計（163科目）		－	－	111	110	0	－			6	2	5	7	5	98	－

学位又は称号	学士(健康栄養学)	学位又は学科の分野	家政関係 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
基礎教養科目群から必修を含め6単位以上、保健医療福祉教養科目群及び保健医療福祉連携科目群から必修1単位を含め8単位以上、専門基礎科目群から必修41単位以上、専門専攻科目群（共通科目・栄養教諭）から必修63単位含め、69単位以上、あわせて124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：50単位(年間)(学外実習、基礎実践演習はこれに含まない)栄養教諭コースの1、2年次のみ上限55単位とする。）	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業の標準時間	９０分

資料４

栄養士法施行規則				本学開設科目					
教育内容	単位数			科目群	授業科目名	配当年次	単位数		
	講義演習	実験実習	計				講義演習	実験実習	計
社会生活と健康	4	4	22	専門基礎	公衆衛生学	1	2		4
					健康管理概論	1	1		
					社会福祉総論	1	1		
人体の構造と機能	8				生化学Ⅰ	1	2		12
					生化学Ⅱ	1	2		
					生化学実験	2		2	
					解剖生理学Ⅰ	1	2		
					解剖生理学Ⅱ	1	2		
					解剖生理学実習Ⅰ	1		1	
					解剖生理学実習Ⅱ	1		1	
食品と衛生	6				食品学Ⅰ	1	2		12
					食品学Ⅱ	1	2		
					食品学実験	2		2	
					食品衛生学	1	2		
					食品衛生学実験	1		1	
					食品加工学	2	2		
					食品加工学実習	2		1	
栄養と健康	8	10	28	専門専攻	基礎栄養学	1	2		13
					応用栄養学Ⅰ	2	2		
					栄養学実習Ⅰ	2		1	
					臨床栄養学Ⅰ	2	2		
					臨床栄養学Ⅱ	2	2		
					臨床栄養学実習Ⅰ	2		1	
					臨床栄養学実習Ⅱ	3		1	
					臨床栄養学実習Ⅲ（臨地、給食の運営１単位を含む）	3		３単位のうち２単位分	
栄養の指導	6				栄養教育論Ⅰ	2	2		8
					栄養教育論Ⅱ	3	2		
					栄養教育実習Ⅰ	2		1	
					栄養教育実習Ⅱ	3		1	
					公衆栄養学Ⅰ	2	2		
給食の運営	4				給食経営管理論Ⅰ	2	2		11
					給食経営管理論Ⅱ	3	2		
					給食経営管理実習Ⅰ	2		2	
					臨床栄養学実習Ⅲ（臨地、給食の運営１単位を含む）	3		３単位のうち1単位分	
				専門基礎	調理学	1	2		
					調理学実習Ⅰ	1		1	
					調理学実習Ⅱ	1		1	
合計	36	14	50	合計			40	20	60

資料４

管理栄養士学校指定規則					本学開設科目					
分野	教育内容	単位数			科目群	授業科目名	配当年次	単位数		
		講義演習	実験実習	計				講義演習	実験実習	計
専門基礎	社会・環境と健康	6	10	38	専門基礎					6
						公衆衛生学	1	2		
						健康管理概論	1	1		
						社会福祉総論	1	1		
						保健統計学	3	2		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14				生化学Ⅰ	1	2		18
						生化学Ⅱ	1	2		
						生化学実験	2		2	
						解剖生理学Ⅰ	1	2		
						解剖生理学Ⅱ	1	2		
						解剖生理学実習Ⅰ	1		1	
						解剖生理学実習Ⅱ	1		1	
						運動生理学Ⅰ	2	2		
						医学基礎	1	2		
						臨床医学Ⅰ	2	2		
	食べ物と健康	8				調理学	1	2		16
						調理学実習Ⅰ	1		1	
						調理学実習Ⅱ	1		1	
						食品学Ⅰ	1	2		
						食品学Ⅱ	1	2		
						食品学実験	2		2	
						食品衛生学	1	2		
						食品衛生学実験	1		1	
						食品加工学	2	2		
						食品加工学実習	2		1	

管理栄養士学校指定規則					本学開設科目					
分野	教育内容	単位数			科目群	授業科目名	配当年次	単位数		
		講義演習	実験実習	計				講義演習	実験実習	計
専門	基礎栄養学	2	8	40	専門専攻	基礎栄養学	1	2		3
						栄養学実習Ⅰ	2		1	
	応用栄養学	6				応用栄養学Ⅰ	2	2		7
						応用栄養学Ⅱ	2	2		
						応用栄養学Ⅲ	3	2		
						栄養学実習Ⅱ	2		1	
	栄養教育論	6				栄養教育論Ⅰ	2	2		8
						栄養教育論Ⅱ	3	2		
						栄養教育実習Ⅰ	2		1	
						栄養教育実習Ⅱ	3		1	
						カウンセリング技法	3	2		
	臨床栄養学	8				臨床栄養学Ⅰ	2	2		10
						臨床栄養学Ⅱ	2	2		
						臨床栄養学Ⅲ	3	2		
						臨床栄養学実習Ⅰ	2		1	
						臨床栄養学実習Ⅱ	3		1	
						臨床医学Ⅱ	3	1		
						臨床栄養管理演習	4	1		
	公衆栄養学	4				公衆栄養学Ⅰ	2	2		5
						公衆栄養学Ⅱ	3	2		
						公衆栄養学実習Ⅰ	3		1	
	給食経営管理論	4				給食経営管理論Ⅰ	2	2		8
						給食経営管理論Ⅱ	3	2		
						給食経営管理実習Ⅰ	2		2	
	総合演習	2	-			総合演習	4	2		2
専門	臨地実習	-	4	4	専門専攻	臨床栄養学実習Ⅲ（臨地）	3		3	4
						公衆栄養学実習Ⅱ（臨地）＊選択必修	3		1	
						給食経営管理実習Ⅱ（臨地）＊選択必修	3		1	
合計		60	22	82	合計			62	24	87

〔資料5〕　履修モデル：病院等の医療機関や福祉施設で管理栄養士としての業務に就くことを希望する者に対する履修科目選択例

養成する人材像　①科学的知識を基に論理的に思考・判断し発信できる
②対象者に共感し、個人や集団に対応する解決策を提案できる
③多職種と連携しながら自らが向上していく

◎：必修科目　●：選択必修科目　○：選択科目　△：自由科目

		1年次						2年次						3年次						4年次					
		前期			後期			前期			後期			前期			後期			前期			後期		
		授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数
基礎教養科目群	必修 6単位 選択 0単位以上	◎ 基礎ゼミ	②③	1	◎ 情報処理Ⅱ	①	1																		
		◎ 情報処理Ⅰ	①	1	◎ 英語Ⅱ	①	1																		
		◎ 英語Ⅰ	①	1																					
		◎ スポーツ・健康	①②	1																					
保健医療福祉教養科目群	必修 1単位 選択 7単位以上	○ コミュニケーション学入門	①	1	○ QOLの世界	①	1																		
		○ 臨床技術の世界	①	1	○ 加齢と身体	①	1																		
					○ 命の倫理	①	1																		
保健医療福祉連携科目群					○ チームアプローチ入門	②③	1				◎ 連携基礎ゼミ	③	1				○ 連携総合ゼミ	③	1						
専門基礎科目群	必修 41単位	◎ 健康管理概論	①	1	◎ 公衆衛生学	①	2	◎ 生化学実験	①	2	◎ 食品学実験	①	2				◎ 保健統計学	①	2						
		◎ 社会福祉総論	①	1	◎ 生化学Ⅱ	①	2	◎ 運動生理学Ⅰ	①	2															
		◎ 生化学Ⅰ	①	2	◎ 解剖生理学Ⅱ	①	2	◎ 臨床医学Ⅰ	①	2															
		◎ 解剖生理学Ⅰ	①	2	◎ 解剖生理学実習Ⅱ	①	1	◎ 食品加工学	①	2															
		◎ 解剖生理学実習Ⅰ	①	1	◎ 医学基礎	①	2	◎ 食品加工学実習	①	1															
		◎ 調理学	①	2	◎ 調理学実習Ⅱ	①	1																		
		◎ 調理学実習Ⅰ	①	1	◎ 食品学Ⅱ	①	2																		
		◎ 食品学Ⅰ	①	2	◎ 食品衛生学実験	①	1																		
		◎ 食品衛生学	①	2																					
		◎ 基礎実践演習	①②③	1																					
専門専攻科目群	必修 63単位 選択必修 1単位 選択 5単位以上				◎ 基礎栄養学	①	2	◎ 応用栄養学Ⅰ	①	2	◎ 応用栄養学Ⅱ	①②	2	◎ 応用栄養学Ⅲ	①②	2	◎ チームコミュニケーション演習Ⅱ	①②③	1	◎ 臨床栄養管理演習	①②	1	◎ 健康栄養学特講Ⅲ	①②	2
								◎ 栄養学実習Ⅰ	①	1	◎ 栄養学実習Ⅱ	①②③	1	◎ 栄養教育論Ⅱ	①②	1	◎ 臨床栄養学実習Ⅲ(臨地)	①②③	3	◎ 総合演習	①②③	2	◎ 卒業研究Ⅱ	①②③	2
								◎ 臨床栄養学Ⅰ	①②	2	◎ 栄養教育論Ⅰ	①②	2	◎ 栄養教育実習Ⅱ	①②③	2	◎ 介護栄養学実習(臨地)	①②③	2	◎ 健康栄養学特講Ⅱ	①②	2			
								◎ 献立作成演習	①②	1	◎ 栄養教育実習Ⅰ	①②③	1	◎ カウンセリング技法	①②	1	◎ 研究方法論	①	1	◎ 卒業研究Ⅰ	①②③	2			
								○ 臨床心理学	①	2	◎ 臨床栄養学Ⅱ	①②	2	◎ 臨床栄養学Ⅲ	①②	2	◎ 健康栄養学特講Ⅰ	①②	2	○ 分野探求型臨地実習(臨地)	①②③	2			
								○ 食生活論	①	2	◎ 臨床栄養学実習Ⅰ	①②③	1	◎ 臨床栄養学実習Ⅱ	①②③	1	● 給食経営管理実習Ⅱ(臨地)	①②③	1						
											◎ 公衆栄養学Ⅰ	①②	2	◎ 臨床医学Ⅱ	①	1										
											◎ 給食経営管理論Ⅰ	①②	2	◎ 公衆栄養学Ⅱ	①②③	2										
											◎ 入門臨地実習(臨地)	②③	1	◎ 公衆栄養学実習Ⅰ	①②③	1										
														◎ 給食経営管理論Ⅱ	①②	2										
														◎ 給食経営管理実習Ⅰ	①②	2										
														◎ 老年栄養学	①②	2										
														◎ チームコミュニケーション演習Ⅰ	①②③	1										
学期修得単位数　計				21			21			19			17			21			13			9			4

＜卒業要件＞
必修　111単位
選択必修　1単位
選択　12単位
合計　124単位以上

1年次修得単位数　計	42
2年次修得単位数　計	36
3年次修得単位数　計	34
4年次修得単位数　計	13
本モデルの修得単位数　合計	125

〔資料5〕　　履修モデル：スポーツ栄養を学びスポーツ施設で管理栄養士として業務に就くことを希望する者に対する履修科目選択例

養成する人材像　①科学的知識を基に論理的に思考・判断し発信できる
②対象者に共感し、個人や集団に対応する解決策を提案できる
③多職種と連携しながら自らが向上していく

◎：必修科目　●：選択必修科目　○：選択科目　△：自由科目

		1年次						2年次						3年次						4年次					
		前期			後期			前期			後期			前期			後期			前期			後期		
		授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数
基礎教養科目群	必修 6単位 選択 0単位以上	◎ 基礎ゼミ	②③	1	◎ 情報処理Ⅱ	①	1																		
		◎ 情報処理Ⅰ	①	1	◎ 英語Ⅱ	①	1																		
		◎ 英語Ⅰ	①	1																					
		◎ スポーツ・健康	①②	1																					
保健医療福祉教養科目群	必修 1単位 選択 7単位以上	○ コミュニケーション学入門	①	1	○ QOLの世界	①	1																		
		○ アスリートの世界	①	1	○ 加齢と身体	①	1																		
		○ 東洋医学的養生	①	1																					
保健医療福祉連携科目群					○ チームアプローチ入門	②③	1				◎ 連携基礎ゼミ	③	1				○ 連携総合ゼミ	③	1						
専門基礎科目群	必修 41単位	◎ 健康管理概論	①	1	◎ 公衆衛生学	①	2	◎ 生化学実験	①	2	◎ 食品学実験	①	2				◎ 保健統計学	①	2						
		◎ 社会福祉総論	①	1	◎ 生化学Ⅱ	①	2	◎ 運動生理学Ⅰ	①	2															
		◎ 生化学Ⅰ	①	2	◎ 解剖生理学Ⅱ	①	2	◎ 臨床医学Ⅰ	①	2															
		◎ 解剖生理学Ⅰ	①	2	◎ 解剖生理学実習Ⅱ	①	1	◎ 食品加工学	①	2															
		◎ 解剖生理学実習Ⅰ	①	1	◎ 医学基礎	①	2	◎ 食品加工学実習	①	1															
		◎ 調理学	①	2	◎ 調理学実習Ⅱ	①	1																		
		◎ 調理学実習Ⅰ	①	1	◎ 食品学Ⅱ	①	2																		
		◎ 食品学Ⅰ	①	2	◎ 食品衛生学実験	①	1																		
		◎ 食品衛生学	①	2																					
		◎ 基礎実践演習	①・②・③	1																					
専門専攻科目群	必修 63単位 選択必修 1単位 選択 5単位以上				◎ 基礎栄養学	①	2	◎ 応用栄養学Ⅰ	①	2	◎ 応用栄養学Ⅱ	①②	2	◎ 応用栄養学Ⅲ	①②	2	◎ チームコミュニケーション演習Ⅱ	①②③	1	◎ 臨床栄養管理演習	①②	1	◎ 健康栄養学特講Ⅲ	①②	2
								◎ 栄養学実習Ⅰ	①・②	1	◎ 栄養学実習Ⅱ	①・②・③	1	◎ 栄養教育論Ⅱ	①②	2	◎ 臨床栄養学実習Ⅲ(臨地)	①②③	3	◎ 総合演習	①②③	2	◎ 卒業研究Ⅱ	①②③	2
								◎ 臨床栄養学Ⅰ	①・②	2	◎ 栄養教育論Ⅰ	①②	2	◎ 栄養教育実習Ⅱ	①②③	1	◎ 介護栄養学実習(臨地)	①②③	2	◎ 健康栄養学特講Ⅱ	①②	2			
								◎ 献立作成演習	①②	1	◎ 栄養教育実習Ⅰ	①②③	1	◎ カウンセリング技法	①②	2	◎ 研究方法論	①	1	◎ 卒業研究Ⅰ	①・②・③	2			
								○ 運動指導論演習	①②	1	◎ 臨床栄養学Ⅱ	①②	2	◎ 臨床栄養学Ⅲ	①②②	2	◎ 健康栄養学特講Ⅰ	①②	2	○ スポーツ栄養学	①②③	2			
								○ 臨床心理学	①	2	◎ 臨床栄養学実習Ⅰ	①②③	1	◎ 臨床栄養学実習Ⅱ	①②③	1	● 公衆栄養学実習Ⅱ(臨地)	①②③	1							
											◎ 公衆栄養学Ⅰ	①②	2	◎ 臨床医学Ⅱ	①	1										
											◎ 給食経営管理論Ⅰ	①②	2	◎ 公衆栄養学Ⅱ	①②③	2										
											◎ 入門臨地実習(臨地)	②③	1	◎ 公衆栄養学実習Ⅰ	①②③	1										
											○ 運動生理学Ⅱ	①	1	◎ 給食経営管理論Ⅱ	①②	2										
														◎ 給食経営管理実習Ⅰ	①②	2										
														◎ 老年栄養学	①②	2										
														◎ チームコミュニケーション演習Ⅰ	①②③	1										
学期修得単位数　計				22			20			18			18			21			13			9			4

＜卒業要件＞
必修　111単位
選択必修　1単位
選択　12単位
合計　124単位以上

1年次修得単位数　計	42
2年次修得単位数　計	36
3年次修得単位数　計	34
4年次修得単位数　計	13
本モデルの修得単位数　合計	125

〔資料5〕　履修モデル：食品開発など、スーパーマーケットやドラッグストアで管理栄養士としての業務に就くことを希望する者に対する履修科目選択例

養成する人材像　①科学的知識を基に論理的に思考・判断し発信できる
②対象者に共感し、個人や集団に対応する解決策を提案できる
③多職種と連携しながら自らが向上していく

◎：必修科目　●：選択必修科目　○：選択科目　△：自由科目

		1年次						2年次						3年次						4年次					
		前期			後期			前期			後期			前期			後期			前期			後期		
		授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数	授業科目名	養成する人材像	単位数
基礎教養科目群	必修 6単位 選択 0単位以上	◎ 基礎ゼミ ◎ 情報処理Ⅰ ◎ 英語Ⅰ ◎ スポーツ・健康	②③ ① ① ①②	1 1 1 1	◎ 情報処理Ⅱ ◎ 英語Ⅱ	① ①	1 1																		
保健医療福祉教養科目群	必修 1単位 選択 7単位以上	○ コミュニケーション学入門 ○ 国民の生活と健康を支える仕組み ○ 現代社会と経済	① ① ①	1 1 1	○ QOLの世界 ○ 加齢と身体	① ①	1 1																		
保健医療福祉連携科目群					○ チームアプローチ入門	②③	1				◎ 連携基礎ゼミ	③	1				○ 連携総合ゼミ	③	1						
専門基礎科目群	必修 41単位	◎ 健康管理概論 ◎ 社会福祉総論 ◎ 生化学Ⅰ ◎ 解剖生理学Ⅰ ◎ 解剖生理学実習Ⅰ ◎ 調理学 ◎ 調理学実習Ⅰ ◎ 食品学Ⅰ ◎ 食品衛生学 ◎ 基礎実践演習	① ① ① ① ① ① ① ① ① ①②③	1 1 2 2 1 2 1 2 2 1	◎ 公衆衛生学 ◎ 生化学Ⅱ ◎ 解剖生理学Ⅱ ◎ 解剖生理学実習Ⅱ ◎ 医学基礎 ◎ 調理学実習Ⅱ ◎ 食品学Ⅱ ◎ 食品衛生学実験	① ① ① ① ① ① ① ①	2 2 2 1 2 1 2 1	◎ 生化学実験 ◎ 運動生理学Ⅰ ◎ 臨床医学Ⅰ ◎ 食品加工学 ◎ 食品加工学実習	① ① ① ① ①	2 2 2 2 1	◎ 食品学実験	①	2				◎ 保健統計学	①	2						
専門専攻科目群	必修 63単位 選択必修 1単位 選択 5単位以上				◎ 基礎栄養学	①	2	◎ 応用栄養学Ⅰ ◎ 栄養学実習Ⅰ ◎ 臨床栄養学Ⅰ ◎ 献立作成演習 ○ 臨床心理学 ○ 食生活論	① ① ①② ①② ① ①	2 1 2 1 2 2	◎ 応用栄養学Ⅱ ◎ 栄養学実習Ⅱ ◎ 栄養教育論Ⅰ ◎ 栄養教育実習Ⅰ ◎ 臨床栄養学Ⅱ ◎ 臨床栄養学実習Ⅰ ◎ 公衆栄養学Ⅰ ◎ 給食経営管理論Ⅰ ◎ 入門臨地実習(臨地)	①② ①②③ ①② ①②③ ①② ①②③ ①② ①② ②③	2 1 2 1 2 1 2 2 1	◎ 応用栄養学Ⅲ ◎ 栄養教育論Ⅱ ◎ 栄養教育実習Ⅱ ◎ カウンセリング技法 ◎ 臨床栄養学Ⅲ ◎ 臨床栄養学実習Ⅱ ◎ 臨床医学Ⅱ ◎ 公衆栄養学Ⅱ ◎ 公衆栄養学実習Ⅰ ◎ 給食経営管理論Ⅱ ◎ 給食経営管理実習Ⅰ ◎ 老年栄養学 ◎ チームコミュニケーション演習Ⅰ	①② ①② ①②③ ①② ①② ①②③ ① ①②③ ①②③ ①② ①② ①② ①②③	2 2 1 2 2 1 1 2 1 2 2 2 1	◎ チームコミュニケーション演習Ⅱ ◎ 臨床栄養学実習Ⅲ(臨地) ◎ 介護栄養学実習(臨地) ◎ 研究方法論 ◎ 健康栄養学特講Ⅰ ● 給食経営管理実習Ⅱ(臨地)	①②③ ①②③ ①②③ ① ①② ①②③	1 3 2 1 2 1	◎ 臨床栄養管理演習 ◎ 総合演習 ◎ 健康栄養学特講Ⅱ ◎ 卒業研究Ⅰ ○ 分野探求型臨地実習(臨地)	①② ①②③ ①② ①②③ ①②③	1 2 2 2 2	◎ 健康栄養学特講Ⅲ ◎ 卒業研究Ⅱ	①② ①②③	2 2
	学期修得単位数　計			22			20			19			17			21			13			9			4
		1年次修得単位数　計		42				2年次修得単位数　計		36				3年次修得単位数　計		34				4年次修得単位数　計		13			

＜卒業要件＞
必修　111単位
選択必修　1単位
選択　12単位
合計　124単位以上

本モデルの修得単位数　合計　125

資料６－１

2028年度　健康栄養学科　＜前期＞　時間割　※1～4年生新カリキュラム

	学年	1限		2限		3限		4限		5限	
月	1年	スポーツ・健康 （ 森下義隆・越中恵一 ）	対面 第4体育館	スポーツ・健康 （　山本悦史・越智元太　）	対面 第4体育館	解剖生理学Ⅰ （澁谷顕一）	対面 Q101	解剖生理学実習Ⅰ （澁谷顕一・西川優・増田 紘之）	対面 Q321	解剖生理学実習Ⅰ （澁谷顕一・西川優・増田 紘之）	対面 Q322
				(a)(b)一次救命処置法 （大松健太郎）	対面 Q103						
				教職概論 （佐藤裕紀・吉田重和）	対面 Q203						
	2年	アカデミック英語Ⅰ （豊田典子）	対面 D203	情報処理Ⅲ(寺島・近藤)	対面 D402	(a) 食品加工学実習 （山﨑貴子・塩沢浩太・瀬賀結華）	対面 食品加工実習室, 調理実習室	(a) 食品加工学実習 （山﨑貴子・塩沢浩太・瀬賀結華）	対面 食品加工実習室, 調理実習室	(a) 食品加工学実習 （山﨑貴子・塩沢浩太・瀬賀結華）	対面 食品加工実習室, 調理実習室
		韓国語Ⅱ（黄仁祚）	対面 Q108								
		中国語Ⅱ（斯日古楞）	対面 Q107			(b) 献立作成演習 （星野芙美・納富智子・布川輝峰）	対面 臨床栄養実習室	(b) 献立作成演習 （星野芙美・納富智子・布川輝峰）	対面 臨床栄養実習室	(b) 献立作成演習 （星野芙美・納富智子・布川輝）	対面 臨床栄養実習室
		スペイン語Ⅱ （パトリシア・カルデロン）	対面 Q106								
	3年	アカデミック英語Ⅰ （豊田典子）	対面 D203	栄養教育論Ⅱ （中村純子）	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナー ルーム	栄養教育実習Ⅱ （中村純子・金子美咲・永桶久美子）	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナー ルーム	栄養教育実習Ⅱ （中村純子・金子美咲・永桶久美子）	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナー ルーム	教職教養演習Ⅱ （杵渕洋美ほか）	対面 Q104
		韓国語Ⅱ（黄仁祚）	対面 Q108								
		中国語Ⅱ（斯日古楞）	対面 Q107								
		スペイン語Ⅱ （パトリシア・カルデロン）	対面 Q106								
		生徒指導論 （上田純平）	対面 Q103								
	4年	アカデミック英語Ⅰ （豊田典子）	対面 D203	総合演習 （鈴木・永井・片山・森・青木）	対面 臨床栄養実習室	教育実習（栄養教諭） （片山直幸・森泉哲也(非)）	対面 D202	教育実習（栄養教諭） （片山直幸・森泉哲也(非)）	対面 D202	教育実習（栄養教諭） （片山直幸・森泉哲也(非)）	対面 D202
		総合演習 （鈴木・永井・片山・森・青木）	対面 臨床栄養実習室								
火	1年	(a)社会福祉総論 （齋藤洋(非)）	対面 Q103			調理学実習Ⅰ （岩森大・宮本真菜・瀬賀結華）	対面 食品加工実習室, 調理実習室	調理学実習Ⅰ （岩森大・宮本真菜・瀬賀結華）	対面 食品加工実習室, 調理実習室		
		(b)健康管理概論 （中村純子）	対面 Q103								
	2年	臨床医学Ⅰ （齋藤泰晴(非)）	対面 V棟4階講義室1	(a)教育心理学Ⅰ （上田純平）	対面 Q201	スポーツ・実践 （各担当教員）	対面 各施設	栄養学実習Ⅰ （稲葉洋美・金子美咲・永桶久美子）	対面 Q321	栄養学実習Ⅰ （稲葉洋美・金子美咲・永桶久美子）	対面 Q321
				(a)教育社会制度論Ⅰ （吉田重和）	対面 Q202						
				(b)教育心理学Ⅱ （上田純平）	対面 Q201						
				(b)教育社会制度論Ⅱ （吉田重和）	対面 Q202						
	3年	老年栄養学 （森博康）	対面 Q101	ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ技法 （石本豪）	対面 V棟4階講義室1	(a) 総合的な学習の時間の指導論 （脇野哲郎ほか）	対面 IA401	臨床栄養学実習Ⅱ （永井徹・納富智子・布川輝峰）	対面 臨床栄養実習室	臨床栄養学実習Ⅱ （永井徹・納富智子・布川輝峰）	対面 臨床栄養実習室
						(b)特別支援教育論 （大竹嘉則）	対面 IA401				
						スポーツ・実践 （各担当教員）	対面 各施設				
	4年	健康栄養学特講Ⅱ （各教員）			対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナー ルーム	スポーツ・実践 （各担当教員）	対面 各施設				
水	1年	食品学I （山﨑貴子）	対面 Q101	調理学 （岩森大）	対面 Q101	基礎ゼミ	対面 各研究室				
	2年			運動生理学Ⅰ （澁谷顕一）	対面 Q102	運動指導論演習 （石川光希(非)）	対面 第2体育館	食生活論 （片山直幸）	対面 Q102		
						ドイツ語Ⅱ （Roland）	対面 D203				
	3年	(a)応用栄養学Ⅲ （稲葉洋美）	対面 V棟4階講義室1	(a)応用栄養学Ⅲ （稲葉洋美）	対面 V棟4階講義室1	臨床栄養学Ⅲ （永井徹）	対面 V棟4階講義室1				
				(b) 特別活動指導論Ⅰ （佐藤裕紀）	対面 D401	ドイツ語Ⅱ （Roland）	対面 D203				
	4年	総合演習 （鈴木・永井・片山・森・青木）	対面 Q321	総合演習 （鈴木・永井・片山・森・青木）	対面 Q322						
木	1年	食品衛生学 （城斗志夫(非)）	対面 V棟4階講義室1			(a)基礎実践演習 （稲葉洋美・森博康）	臨床栄養実習室	(a)基礎実践演習 （稲葉洋美・森博康）	臨床栄養実習室		
										(b)現代社会と経済 （伊藤亮司）	メディア
										(b)人間を知る （斎藤忠雄）	メディア
	2年	臨床心理学 （片山さゆ(非)）	対面 Q103	食品加工学 （山﨑貴子）	対面 Q102	生化学実験 （田村典子・青木海）	対面 微生物学実験室	生化学実験 （田村典子・青木海）	対面 微生物学実験室	生化学実験 （田村典子・青木海）	対面 微生物学実験室
		アカデミック英語Ⅰ（今井理恵）	対面 Q104								
	3年	アカデミック英語Ⅰ（今井理恵）	対面 Q104	給食経営管理実習Ⅰ （星野芙美・竹内瑞樹・金子美咲・永桶久美子）	対面 給食経営管理実習室, 実習食堂, 栄養教育実習室 栄養ケアセミナー ルーム	給食経営管理実習Ⅰ （星野芙美・竹内瑞樹・金子美咲・永桶久美子）	対面 給食経営管理実習室, 実習食堂, 栄養教育実習室 栄養ケアセミナー ルーム	給食経営管理実習Ⅰ （星野芙美・竹内瑞樹・金子美咲・永桶久美子）	対面 給食経営管理実習室, 実習食堂, 栄養教育実習室 栄養ケアセミナー ルーム	給食経営管理実習Ⅰ （星野芙美・竹内瑞樹・金子美咲・永桶久美子）	対面 給食経営管理実習室, 実習食堂, 栄養教育実習室 栄養ケアセミナー ルーム
	4年	卒業研究Ⅰ （健康栄養学科教員）	対面 各研究室等	卒業研究Ⅰ （健康栄養学科教員）	対面 各研究室等						
		アカデミック英語Ⅰ（今井理恵）	対面 Q104								
金	1年	生化学Ⅰ （田村典子）	対面 Q103	英語Ⅰ （木伏あづさ）	対面 Q106	(b) 国民の生活と健康を支える仕組み(河野聖夫)	メディア	英語Ⅰ （木伏あづさ）	対面 Q106		
				英語Ⅰ （山内ダーリーン）	対面 P107	(b) 東洋医学的養生(粕谷大智)	対面 U101	英語Ⅰ （山内ダーリーン）	対面 P107		
	2年	応用栄養学Ⅰ （森博康）	対面 V棟4階講義室1	臨床栄養学Ⅰ （竹内瑞希）	対面 V棟4階講義室1	生化学実験 （田村典子・青木海）	対面 微生物学実験室	生化学実験 （田村典子・青木海）	対面 微生物学実験室	生化学実験 （田村典子・青木海）	対面 微生物学実験室
	3年	公衆栄養学Ⅱ （鈴木一恵）	対面 Q102	教育相談 （石本豪）	対面 D401	給食経営管理論Ⅱ （星野芙美）	対面 Q104	公衆栄養学実習Ⅰ （鈴木一恵・宮本真菜・石井穂乃香）	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナー ルーム	公衆栄養学実習Ⅰ （鈴木一恵・宮本真菜・石井穂乃香）	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナー ルーム
	4年	臨床栄養管理演習 （永井徹・布川輝峰）	対面 臨床栄養実習室	臨床栄養管理演習 （永井徹・布川輝峰）	対面 臨床栄養実習室	ｽﾎﾟｰﾂ栄養学 （稲葉洋美）	対面 V棟4階講義室1				

※以下の科目は集中講義(オンデマンド含む)で実施するため、上記表中には含まず。

情報処理Ⅰ、哲学、ジェンダー論、研究プロジェクト演習Ⅱ、研究プロジェクト演習Ⅳ、研究プロジェクト演習Ⅵ、ボランティアの世界、コミュニケーション学入門、アスリートの世界、食を楽しむ、眼の神秘、臨床の哲学、臨床技術の世界、留学の魅力、放射線の基礎と人体への影響、新潟水俣病の理解、比較認知科学の世界、臨床医学Ⅱ、チームコミュニケーション演習Ⅰ、連携総合ゼミ、保健医療福祉連携学、地域連携学社会連携実践演習Ⅰ、国際交流演習Ⅰ、分野探求型臨地実習(臨地)、道徳教育指導論Ⅰ

資料６－２

2028年度　健康栄養学科　＜後期＞　時間割　※1～4年生新カリキュラム

	学年	1限		2限		3限		4限		5限		6限
月	1年	韓国語Ⅰ(権英秀)	対面 Q104	韓国語Ⅰ(権英秀)	対面 Q104							
		韓国語Ⅰ(黄仁祚)	対面 Q108	韓国語Ⅰ(黄仁祚)	対面 Q108							
		中国語Ⅰ(斯日古楞)	対面 Q107	中国語Ⅰ(斯日古楞)	対面 Q107							
		スペイン語Ⅰ(ﾊﾞﾄﾘｼｱ・ｶﾙﾃﾞﾛﾝ)	対面 Q106	中国語Ⅰ(肖航)	対面 U206							
		ドイツ語Ⅰ(山田容子)	対面 Q105	スペイン語Ⅰ(ﾊﾞﾄﾘｼｱ・ｶﾙﾃﾞﾛﾝ)	対面 Q106	解剖生理学Ⅱ (澁谷顕一)	対面 Q103大講義室	解剖生理学実習Ⅱ (澁谷顕一・西川優)	対面 理化学実験室	解剖生理学実習Ⅱ (澁谷顕一・西川優)	対面 理化学実験室	
				ドイツ語Ⅰ(山田容子)	対面 Q105			(a)食品衛生学実験 (田村典子・青木海)	対面 微生物学実験室	(a)食品衛生学実験 (田村典子・青木海)	対面 微生物学実験室	
				教育原理 (吉田重和)	対面 Q201							
	2年	臨床栄養学実習Ⅰ (竹内瑞樹・石井穂乃香・納富智子)	対面 臨床栄養実習室, 調理実習室	臨床栄養学実習Ⅰ (竹内瑞樹・石井穂乃香・納富智子)	対面 臨床栄養実習室, 調理実習室	栄養教育論Ⅰ (中村純子)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム	栄養教育実習Ⅰ (中村純子・布川輝峰・永桶久美子)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム	栄養教育実習Ⅰ (中村純子・布川輝峰・永桶久美子)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム	
		韓国語Ⅰ(権英秀)	対面 Q104	韓国語Ⅰ(権英秀)	対面 Q104							
		韓国語Ⅰ(黄仁祚)	対面 Q108	韓国語Ⅰ(黄仁祚)	対面 Q108							
		中国語Ⅰ(斯日古楞)	対面 Q107	中国語Ⅰ(斯日古楞)	対面 Q107							
		スペイン語Ⅰ(ﾊﾞﾄﾘｼｱ・ｶﾙﾃﾞﾛﾝ)	対面 Q106	スペイン語Ⅰ(ﾊﾞﾄﾘｼｱ・ｶﾙﾃﾞﾛﾝ)	対面 Q106							
		ドイツ語Ⅰ(山田容子)	対面 Q105	ドイツ語Ⅰ(山田容子)	対面 Q105							
		アカデミック英語Ⅱ(豊田典子)	対面 U206									
	3年	(a)学校栄養指導論Ⅰ (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 D203	(a)学校栄養指導論Ⅰ (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 D203							
		(b)学校栄養指導論Ⅱ (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 D203	(b)学校栄養指導論Ⅱ (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 D203							
		アカデミック英語Ⅱ(豊田典子)	対面 U206									
	4年	アカデミック英語Ⅱ(豊田典子)	対面 U206									
火	1年	(a)(b)新潟学 (池田哲夫)	メディア	(a)日本語表現法I (増田紘之・宮本真菜)	対面 Q104	医学基礎 (馬場広子)	対面 V棟4階講義室1	(a)食品衛生学実験 (田村典子・青木海)	対面 微生物学実験室	(a)シティズンシップ教育入門 (佐藤裕紀ほか)	メディア	
				(b)日本語表現法Ⅱ (増田紘之・宮本真菜)	対面 Q104					(b) QOLの世界(能登真一)	メディア	
	2年	臨床栄養学Ⅱ (竹内瑞樹)	対面 V棟4階講義室1	応用栄養学Ⅱ (稲葉洋美・森博康)	対面 V棟4階講義室1	教育方法・技術 (杵渕洋美)	対面 U101	食品学実験 (山﨑貴子・塩沢浩太)	対面 理化学実験室	食品学実験 (山﨑貴子・塩沢浩太)	対面 理化学実験室	教職教養演習Ⅰ (杵渕洋美ほか) 対面 U207
						食品学実験 (山﨑貴子・塩沢浩太)	対面 理化学実験室					
	3年					保健統計学 (澁谷顕一)	対面 Q103	保健統計学 (澁谷顕一)	対面 Q103	保健統計学 (澁谷顕一)	対面 Q103	
	4年											
水	1年	食品学Ⅱ (山﨑貴子)	対面 V棟4階講義室1	基礎栄養学 (稲葉洋美)	対面 Q102	生化学Ⅱ (田村典子)	対面 Q102	(a)食品衛生学実験 (田村典子・青木海)	対面 微生物学実験室	(a)食品衛生学実験 (田村典子・青木海)	対面 微生物学実験室	
								(b)義肢装具の世界(須田裕紀ほか)	メディア			
	2年	教育課程論 (杵渕洋美)	対面 U101			連携基礎ゼミ (健康栄養学科教員)	対面 各研究室					
	3年	健康栄養学特講Ⅰ (各教員)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム	健康栄養学特講Ⅰ (各教員)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム							
	4年	教職実践演習 (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 Q106	教職実践演習 (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 Q106							
木	1年			公衆衛生学 (馬場広子)	対面 Q101	(a)食品衛生学実験 (田村典子・青木海)	対面 微生物学実験室	解剖生理学実習Ⅱ (澁谷顕一・西川優)	対面 理化学実験室	解剖生理学実習Ⅱ (澁谷顕一・西川優)	対面 理化学実験室	
	2年	アカデミック英語Ⅱ (今井理恵)	対面 U206	スポーツ・実践	対面 (各施設)	給食経営管理論Ⅰ (星野芙美)	対面 V棟4階講義室1	栄養学実習Ⅱ (稲葉洋美・森博康・金子美咲・瀬賀結華)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム	栄養学実習Ⅱ (稲葉洋美・森博康・金子美咲・瀬賀結華)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム	
	3年	(a)学校栄養指導論Ⅰ (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 D203	(a)学校栄養指導論Ⅰ (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 D203							
		(b)学校栄養指導論Ⅱ (片山直幸・森泉哲也(非))	対面 D203	(b)学校栄養指導論Ⅱ (片山直幸・(非)森泉哲也)	対面 D203							
		アカデミック英語Ⅱ (今井理恵)	対面 U206	スポーツ・実践	対面 (各施設)							
	4年	卒業研究Ⅱ (健康栄養学科教員)	対面 各研究室	卒業研究Ⅱ (健康栄養学科教員)	対面 各研究室							
		アカデミック英語Ⅱ (今井理恵)	対面 U206	スポーツ・実践	対面 (各施設)							
金	1年	英語Ⅱ (木伏あづさ)	対面 Q106	英語Ⅱ (木伏あづさ)	対面 Q106			調理学実習Ⅱ (岩森大・宮本真菜・西川優・石井穂乃香)	対面 食品加工実習室, 調理実習室	調理学実習Ⅱ (岩森大・宮本真菜・西川優・石井穂乃香)	対面 食品加工実習室, 調理実習室	
		英語Ⅱ (山内ダーリーン)	対面 P107	英語Ⅱ (山内ダーリーン)	対面 P107	(b)臨床医の世界 (今村徹)	対面 Q203					
	2年	(a)運動生理学Ⅱ (澁谷顕一)	対面 V棟4階講義室1	公衆栄養学Ⅰ (鈴木一恵)	対面 V棟4階講義室1	食品学実験 (山﨑貴子・塩沢浩太)	対面 理化学実験室	食品学実験 (山﨑貴子・塩沢浩太)	対面 理化学実験室	食品学実験 (山﨑貴子・塩沢浩太)	対面 理化学実験室	
	3年	研究方法論 (稲葉洋美)	対面 Q103	研究方法論 (稲葉洋美)	対面 Q103							
	4年	健康栄養学特講Ⅲ (各教員)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム	健康栄養学特講Ⅲ (各教員)	対面 栄養教育実習室, 栄養ケアセミナールーム							

※以下の科目は集中講義(オンデマンド含む)で実施するため、上記表中には含まず。

情報処理Ⅱ、アカデミック英語Ⅲ、倫理学、科学論、情報科学、研究プロジェクト演習Ⅰ、研究プロジェクト演習Ⅲ、研究プロジェクト演習Ⅴ、対人コミュニケーション論、心理学の世界、命の倫理、こどもの世界、加齢と身体、国際保健の世界、法学Ⅰ、法学Ⅱ、自然人類学概論、データサイエンス概論、アスリートサポートの世界、アカデミック・ライティング、連携総合ゼミ、チームアプローチ入門、社会連携実践演習Ⅱ、国際交流演習Ⅱ、チームコミュニケーション演習Ⅱ、入門臨地実習(臨地)、臨床栄養学実習Ⅲ(臨地)、介護栄養学実習(臨地)、公衆栄養学実習Ⅱ(臨地)、給食経営管理実習Ⅱ(臨地)

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

（１）新設組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
①　新設組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
②　新設組織の特色　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
（２）人材需要の社会的な動向等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
①　新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析　・・・・　４
②　中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析　・　１２
③　新設組織の主な学生募集地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
④　既設組織の定員充足の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
（３）学生確保の見通し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
①　学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果　・・・・・・・・・・　１６
②　競合校の状況分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
③　先行事例分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８
④　学生確保に関するアンケート調査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８
⑤ 人材需要に関するアンケート調査等　・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
（４）新設組織の定員設定の理由　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５

学生の確保の見通し等を記載した書類

（１）新設組織の概要

①　新設組織の概要

新設組織	入学定員	収容定員	所在地
新潟医療福祉大学 健康科学部　健康栄養学科	80 名	320 名	新潟県新潟市北区島見町 1398 番地

②　新設組織の特色

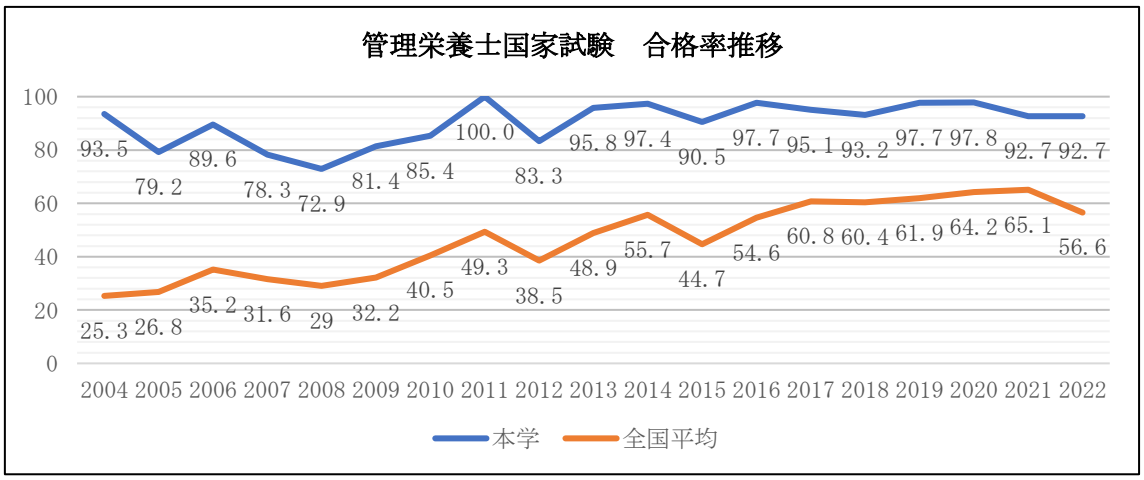
本学は全国でも数少ない「看護・医療・リハビリ・栄養・スポーツ・福祉・医療 IT の計 7 分野の医療系専門職人材を養成する総合大学」として、異なる専門職種間の「連携教育」を通じて、「対象者の QOL（生活と人生の質）向上を考え、QOL 向上のため支援を実践する人材（優れた QOL サポーター）育成」を理念としながら、「保健・医療・福祉・スポーツ」分野の人材育成のための教育研究活動を行っている大学である。

2001（平成 13）年 4 月の新潟医療福祉大学の開学と同時に設置された健康栄養学科は「時代が求める QOL サポーター」の一翼を担う管理栄養士を養成し、社会に貢献することを使命としている。医療分野に限らず、様々な領域で高い倫理観、向上心、探究心をもって栄養課題解決に貢献し、それぞれの領域にて中心的・指導的な役割を果たし、対象者の QOL 向上に寄与できる人材の養成に努めている。

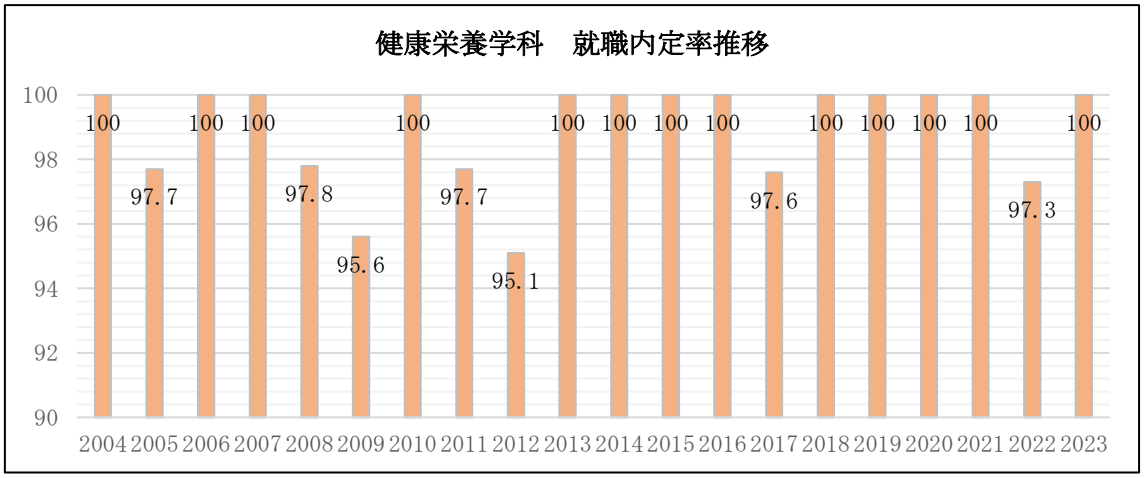
具体的には、学内外の実習や地域交流等様々な活動を通してこれらの態度、意欲を涵養し、実践的行動力を醸成することを教育研究上の目的として、栄養課題の解決に貢献できる管理栄養士を育成する。この実現には、①卒業研究などの研究を通じて科学的知識を基に論理的に思考・判断し発信できること、②対象者に共感し、個人や集団に対応する解決策を提案できること、③多職種と連携しながら自らが向上していくことが必要であることから、幅広い教養と豊かな人間性を涵養しつつ人材育成を行っている。

＜養成する人物像＞
基本方針 1：科学的知識を基に論理的に思考・判断し発信できる管理栄養士
基本方針 2：対象者に共感し個人や集団に対応する解決策を提案できる管理栄養士
基本方針 3：多職種と連携しながら自らが向上していく管理栄養士

全国でも数少ない医療系総合大学という環境を活かし、連携教育を通じて対象者に共感する姿勢及び専門知識を実践的に学んでいるため、学科設置以来、管理栄養士国家試験の合格率は全国平均を大幅に上回る結果を残しており、且つ高い就職実績を維持している。なお、本学科の学位の分野は保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）及び家政関係であり、学位に付記する専攻分野は健康栄養学である。



健康栄養学科　管理栄養士国家試験　合格率推移



健康栄養学科　就職内定率推移

本学科の特色として、次の 4 分野で活躍できる管理栄養士養成に重点を置いている。

○　医療分野

「医療系科目」を数多く配置し、総合大学のメリットを活かして医療系学科の学生とともに「チーム医療」の一員として活躍できる管理栄養士を養成

○　福祉・介護分野

急速に進む高齢化社会において、医療・福祉・介護に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成

○　スポーツ分野

プロスポーツ選手も排出している本学の強化指定クラブや、本学とも関連の深いプロスポーツチーム等と連携し、アスリートを栄養サポートできる管理栄養士を養成

○　食品・商品開発分野

健康の維持・増進に大切な食品開発、ライフステージや疾病・疾患に合わせた商品開発を担う管理栄養士を養成

（２）人材需要の社会的な動向等

①　新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

ア　管理栄養士の人材需要動向

我が国では、国民の健康増進を目的として、医療制度や介護保険制度の改正、食育基本法の制定等健康づくりの施策が着々と進められ、これら健康行政の推進において管理栄養士の果たすべき役割を明確にするため、2002（平成 14）年 4 月に改正栄養士法が施行された。

また、国の次期国民健康づくり運動「健康日本 21（第 3 次）」（2024 年度～2035 年度）がスタートする。人生 100 年時代を迎え、社会が多様化、各人の健康課題も多様化する中、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとして、「誰一人取り残さない健康づくり」や「より実効性をもつ取組の推進」に重点を置くこと、新たな視点として、「女性の健康」「自然に健康になれる環境づくり」「他計画や施策との連携」等を取り入れることが明記されている。その中で「栄養・食生活分野」は、こども達の健やかな成長や人々が健康で幸福な生活を送るために必要な営みであること、多くの生活習慣病（NCDs）の予防・重症化予防、やせや低栄養等の予防を通じた生活機能の維持・向上の観点から重要であること、さらに個人の行動と健康状態の改善を促すための適切な栄養・食生活やそのための食事を支える食環境改善の重要性が示されている。新たな「栄養・食生活に関する目標」については、前計画（健康日本 21（第 2 次））の最終評価が目標未達成のため、引き続き目標設定された項目も多い。例えば、目標未達成の項目として、「20～60 歳代男性の肥満者の割合は悪化」、「20 歳代女性のやせの者の割合は変化なし」、「野菜摂取量の平均値は変化なし」、「果物摂取量 100ｇ未満の者の割合は悪化」等があげられる。このように国民的な栄養・食生活の課題は必ずしも改善されておらず、その目標達成には保健・医療・福祉・介護・教育等、あらゆる職域の管理栄養士が地域内で連携して、優先的な健康・栄養課題を共有したうえで、子供、成人、高齢者、在宅療養者、障がい者等を対象に、シームレスな栄養・食生活支援体制を整備していく必要がある。

しかし、管理栄養士の配置は十分ではない。健康増進法において特定給食施設（1 回 100 食以上、1 日 250 食以上の特定多数人に継続的に給食提供する施設）のうち特別な栄養管理を必要とする施設は管理栄養士・栄養士を配置しなければならないとされているが、これに該当する病院、介護老人保健施設のうち管理栄養士を配置している施設の割合は 100％に近い一方、これらの施設を対象から除外すると現状値は 70.8％である。「健康日本 21（第 3 次）」ではその配置率 75％を目標としており、そのことにより、今後、児童福祉施設や学校でのさらなる食育の充実や、事業所における社食を含めた食環境の改善による従業員の健康づくりはもとより、健康経営の側面からの取組も期待されている。

新潟県においても、2001（平成 13）年 3 月に平均寿命・健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指した新潟県健康づくり指針「健康にいがた 21」を策定し、県民一人一人

が、健康づくりに取り組み「すこやかで、いきがいに満ちた生活を送ることができる社会」の実現を目指すことを基本理念に県民の主体的な健康づくりを推進している（出典：新潟県「健康にいがた 21（第 3 次）」）。この施策での栄養・食生活分野の活動促進、また、2008（平成 20）年度に施行された「高齢者の医療の確保に関する法律」で義務付けられた「特定検診・特定保健指導」による生活習慣病の発症と進行の防止において、新潟県における管理栄養士の養成は急務となっている。

このように管理栄養士が国民・県民の健康づくりに果たす役割は大きいものの、未だ目標達成できていない現状から、本学で目指す、「あらゆる職域で活躍する管理栄養士」を養成することは、「健康日本 21（第 3 次）」で重点とする「誰一人取り残さない健康づくり」、「より実効性をもつ取組の推進」に貢献するものであり、それが本学の果たす社会的な責務と考える。

〔資料 1：健康・栄養施策の動向～健康日本 21（第三次）の策定について～〕

イ　本学科が重点を置く分野別の管理栄養士の人材需要動向

Ａ　医療分野

我が国の医療は非常に厳しい状況に直面しており、医学の進歩、高齢化の進行等に加えて患者の社会的・心理的な観点及び生活への十分な配慮も求められており、医師や看護師等の許容量を超えた医療が求められる中、チーム医療の推進は必須である。

チーム医療を推進する目的は、専門職種の積極的な活用、多職種間協働を図ること等により医療の質を高めるとともに、効率的な医療サービスを提供することにある。医療の質的な改善を図るためには、①コミュニケーション、②情報の共有化、③チームマネジメントの 3 つの視点が重要であり、効率的な医療サービスを提供するためには、①情報の共有、②業務の標準化が必要である。チームアプローチの質を向上するためには、互いに他職種を尊重し、明確な目標に向かってそれぞれの見地から評価を行い、専門的技術を効率良く提供することが重要である（出典：チーム医療推進方策検討ワーキンググループ「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」）。

患者の高齢化や生活習慣病の有病者の増加に伴い、患者の栄養状態を改善・維持し、免疫力低下の防止や治療効果及び QOL の向上等を推進する観点から、傷病者に対する栄養管理・栄養指導や栄養状態の評価・判定等の専門家として医療現場において果たし得る役割は大きくなっている（出典：厚生労働省「チーム医療の推進について」）。

そのため多様な疾患における治療において、チーム医療を横断的に学び、多職種連携の手法に精通した管理栄養士の養成が求められている。

また、医療分野における重点課題として、各職種がそれぞれの専門性を十分に発揮することやチーム医療の推進等が求められ、近年の診療報酬改定において、管理栄養士の専門性が期待される改定が見受けられる。一方、医療機関に勤務する管理栄養士の業務の割合として、過去に比べて入院患者の栄養管理の比重が大きくなっている。

さらに、診療報酬の検討において、入院患者の栄養管理をさらに充実させ、医療安

全の強化、医師・看護師の負担を軽減するため「病棟配置型」の管理栄養士が望ましいと議論されている。厚生労働省保険局医療課によると、特定機能病院で患者 80 人に対して管理栄養士 1 人を配置している病院よりも、患者 40 人に対して管理栄養士 1 人を配置している病院の方が、在院日数が短縮したという報告等があったことから、特定機能病院での入院栄養管理体制加算が新設された経緯がある。入院栄養管理体制加算は特定機能病院入院基本料を算定している患者が対象であるが、当該病棟において、専従の常勤の管理栄養士が 1 名以上配置されていることと明記されており、管理栄養士の病棟配置を評価するものである。病棟に配置された管理栄養士は、入院前の情報収集、入退院支援部門との連携から、入院後は栄養スクリーニングをはじめとする栄養管理全般を一手に引き受け、医師、看護師等と連携して栄養管理を行っていくことが期待されている（出典：厚生労働省保険局医療課「令和 4 年度診療報酬改定の概要（栄養関係）」）。このように、医療現場では近年の診療報酬改定に対応できる管理栄養士が求められている。

加えて、医療法に基づく医療機能情報提供制度に関する告示が、2023（令和 5）年 5 月 1 日に改正された。同制度では、病院等の管理者は、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 6 条の 3 第 1 項の規定に基づき、患者が病院等の選択を適切に行うために必要な情報として厚生労働省令で定める事項を都道府県知事に報告しなければならないこととなった。この報告事項の一つに人員配置があり、これまで医療従事者の職種として管理栄養士が規定されていなかったところ、本改正により、「病院、診療所、歯科診療所及び助産所における、人員配置を報告することとされている。人員配置について報告することとされる医療従事者の職種については、厚生労働大臣が定めることとされており、当該医療従事者の職種については医療情報告示第 18 条において規定しているところ、管理栄養士及び栄養士を追加することとする。」（出典：厚生労働省「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について」）のとおり、管理栄養士が追加され、病院・診療所及び歯科診療所の管理栄養士は報告対象となった。これにより、管理栄養士の就業実態がより正確に把握されることとなり、且つ国民に対して病院等における医療従事者としての管理栄養士が認知されるとともに、人員配置について広く情報提供がなされることが期待される。

また、そのほかにも、良質且つ安全な医療提供を確保するため、医療機関には必要な人員や設備を配置することが求められ（医療法第 21 条第 1 項）、詳細（基準）は医療法施行規則で定められている。今般、「栄養士」の人員配置基準について見直しが行われ、良質な栄養管理を目的として、「今般、規則第 19 条第 2 項第 4 号を改正し、「栄養士 病床数百以上の病院にあつては、一」とあるのを、「栄養士又は管理栄養士 病床数百以上の病院にあつては、一」に改める。」（出典：厚生労働省「医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について」）のとおり、現行の「栄養士：病床数 100 以上の病院で 1」から 2024（令和 6）年 4 月以降は「栄養士又は管理栄養士：病床数 100 以上の病院で 1」へと変更となる。

Ｂ　福祉・介護分野

厚生労働省の社会保障審議会（介護給付費分科会）によると、2000（平成 12）年～2019（平成 31）年の 19 年の間に、介護サービスの利用者は 3.3 倍に、要介護認定者数は 3.0 倍に増加している。介護サービスの対象者が増えたことにより、栄養改善の取り組みも重視されており、2018（平成 30）年度の介護報酬改定でも「栄養スクリーニング加算」や「低栄養リスク改善加算」が新設されている。要介護者への支援を行うことはもちろん、それと同時に要介護者を減らす取り組みも必要である。要介護者を減らすことは国民の生活の質を向上させるだけでなく介護医療費軽減にもつながるため、今後、高齢者の「社会参加促進」「運動機能向上」「口腔機能向上」「認知機能低下予防」とともに「低栄養予防」の取り組みも必要であると考えられている。一方、市町村レベルにおいても、高齢者に対する個別的支援や通いの場等への関与等を行うため、日常生活圏域に保健師、管理栄養士、歯科衛生士等を配置することが求められる（出典：厚生労働省社会保障審議会（介護給付費分科会）第 176 回「介護分野をめぐる状況について」）。そのため、福祉・介護分野においても栄養学に精通した管理栄養士の需要は大いに高まる。よって福祉・介護分野における新たな栄養支援を構築するうえで、福祉・介護分野に精通した栄養分野の人材育成は大学としての責務であると考える。

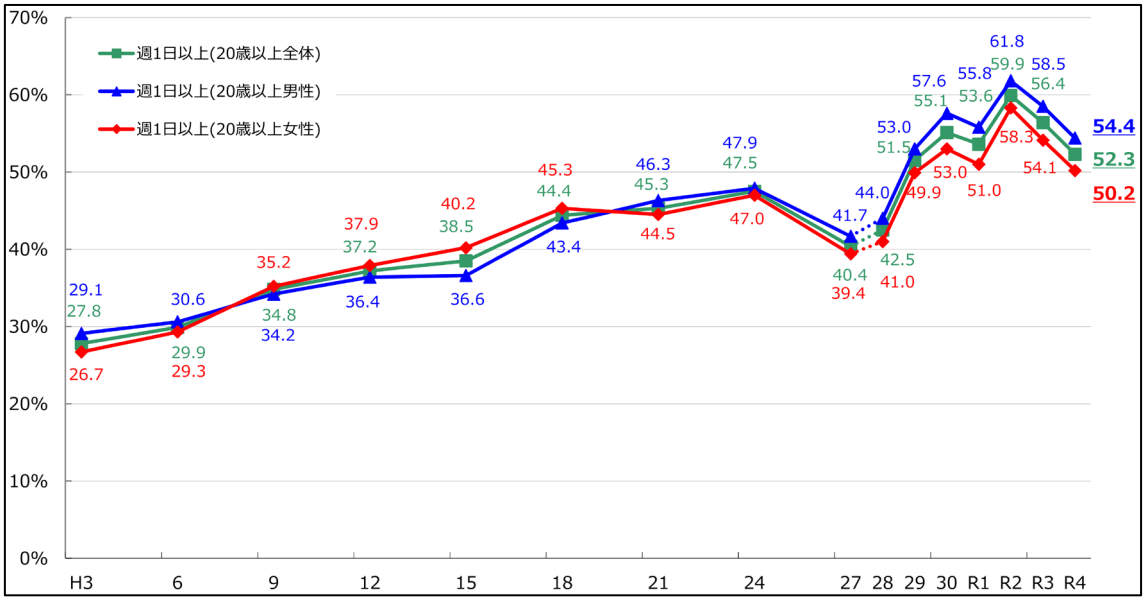
また、厚生労働省老健局老人保健課によると、令和 3 年度介護報酬改定により、口腔、栄養の取組の連携・強化について示されているほか、多職種連携における管理栄養士関与の強化についても示され、専門職として果たす役割についてこれまで以上に期待されている。栄養ケア・マネジメントの取り組みを一層強化する観点から、従来行ってきた栄養マネジメント加算は基本サービスに含むものとして廃止され、必要なサービスを提供していない場合には減算の対象となり、必要とされる栄養ケアを当たり前に提供できる体制が求められている。さらに、栄養マネジメント強化加算が新設されたことから、従来「栄養士 1 名以上配置」のところ、「栄養士又は管理栄養士を 1 名以上配置」となり、福祉・介護施設における管理栄養士の需要は確実に増加することが示されている（出典：厚生労働省老健局老人保健課「令和 3 年度介護報酬改定の概要（栄養関連）」）。

その他、口腔・栄養スクリーニング加算、栄養アセスメント加算、栄養管理体制加算など、新設された加算や単位数の増加も示され、管理栄養士に求められる役割も明確に示されている。介護報酬改定から 3 年の経過措置を経ようとする現在、対象者にとって適切な栄養ケアやサービスの提供を目指す福祉・介護分野において、管理栄養士の果たすべき役割は今後一層必要性が高まると考えられる。

Ｃ　スポーツ分野

国民のスポーツ実施率に関する文部科学省のデータ（スポーツ庁：令和 4 年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」）では、成人女性のスポーツ実施率（週 1 回

以上）は 1991（平成 3）年段階では 26.7%であったが（男性 29.1%）、新型コロナウイルス感染症流行前の 2020（令和）2 年段階では 58.3%（男性 61.8%）と劇的な上昇を示している。



スポーツ庁「令和 4 年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」
20 歳以上のスポーツ実施率の推移

我が国では、スポーツ基本法に基づき、「スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する」ことを目指してきた。その集大成が 2021（令和 3）年に開催された東京オリンピック（以下、TOKYO2020）であると考える。TOKYO2020 を目指し、第 2 期スポーツ基本計画では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な参画を通じて、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合う「スポーツ文化」の確立を目指してきた。一方、TOKYO2020 後、新たなステージへと進み、第 3 期スポーツ基本計画において、この「スポーツ文化」の成熟を目指すことが謳われている。そのなかでも、「ささえる」という観点から、人々が行うスポーツを支える人材として、人による支援に加え、スポーツ・サイエンスやトレーニング方法の研究成果等の様々な科学的データや知見が、選手たちを支えていると述べられている。この「人々が行うスポーツを支える人材」の育成、「スポーツ・サイエンスやトレーニング方法の研究成果等の様々な科学的データや知見」の発信を担うのが TOKYO2020 後の大学の役割である。特にスポーツによる健康づくり、コンディショニングの方法、栄養・休息の取り方については、スポーツ分野及びスポーツ栄養学分野が発信し続けなければならないものと考える。さらに、第 2 期スポーツ基本計画において、スポーツを通じた女性活躍促進が、今後のスポーツ政策のうち重要な施策の柱の一つとして位置付けられた。これに伴い、女性がスポーツに参加しやすい環境が整えられ、スポーツに参加する女性が急増すると考

えられる。一方、女性のスポーツ参画にあたっては、「ささえる」側の充実も必要とされている。特に、成長期の女性においては、その女性という性への理解も含め、スポーツ・サイエンスと栄養学が発揮できるものは大きい。その意味から、栄養学的な観点から女性のスポーツ参画をスポーツ・サイエンス、スポーツ栄養学の観点から「ささえる」人材の育成は管理栄養士養成課程を持つ大学として急務であると考える。スポーツを「する」人の数が激増するなか、スポーツを「ささえる」人に対する社会的需要も必然的に急増しているものと考える。殊に、スポーツ栄養学分野を学ぶ人材の育成に対する社会からの需要は、潜在的ではあるものの、急増しているものと考える。

また、競技者、監督、コーチ、トレーナー、競技団体などのスポーツの現場から、競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高めるための栄養教育や食環境の整備等にいたるまで、栄養サポートに対するニーズは高まっており、これらは日本代表といったトップアスリートからジュニア層、健康増進を目的としたスポーツ愛好家まで多様な層で求められている。様々な対象への栄養教育や食環境の整備には、管理栄養士としての知識や技術の他、他職種との連携や理解が重要となる。

特にチームや団体内においてはチーム医療と同様、監督、コーチ、トレーナー、医・科学の各専門分野のスタッフ（スポーツドクター、運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学など）と連携し、栄養面からの専門的なサポートを行うことが必要であるが、これらの現場のニーズに的確に応えることのできるスポーツ栄養の専門家として公認スポーツ栄養士という資格がある。公認スポーツ栄養士の登録者数は、2017（平成 29）年時点で 253 名であったが、2023（令和 5）年時点では 464 名と 6 年で 1.8 倍まで増加している一方、新潟県においては 14 名に留まっている状況である。前述のとおり、スポーツ栄養学を学ぶ人材の需要は急増していることが推察されるため、スポーツ栄養を学部から専門的に学ぶ管理栄養士の養成は意義のあるものであると考える（出典：公益社団法人日本栄養士会 HP 及び日本スポーツ栄養学会 HP）。

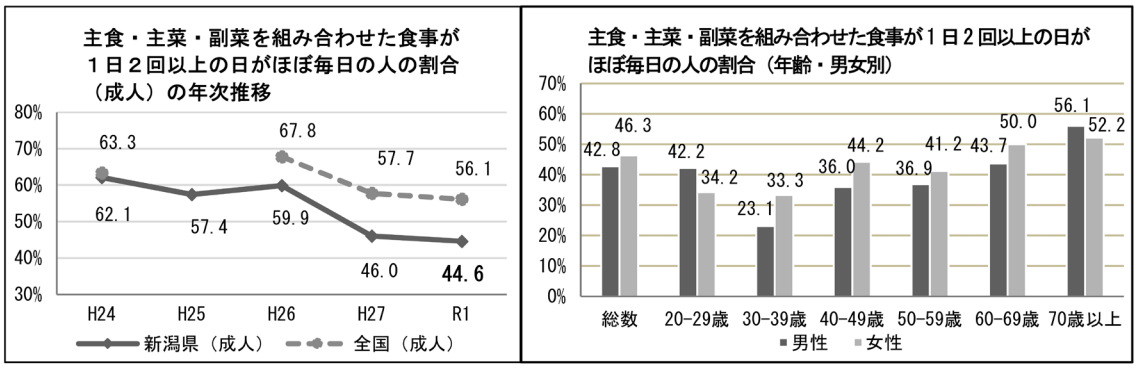
Ｄ　食品・商品開発分野

国は健康寿命の延伸を目指し、「健康無関心層」にも働きかけることができる食環境づくりを重視している。そのため、「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書」を策定し、その中で食環境づくりを、健康の保持増進に関する視点を軸としつつ、事業者等が行う地球環境、自然環境等に配慮した取組にも焦点を当てながら、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも資するものと位置付けている。特に、我が国が注力して取り組むべき主な栄養課題として、「食塩（ナトリウム）の過剰摂取」、「若年女性のやせ」及び「経済格差に伴う栄養格差」をあげ、それらの課題を解決するために、産学官等連携のもと、食品関連事業者（食品製造・販売事業者）、飲食店やスーパー等と連携して、健康面に配慮した食品やメニュー等の開発・提供等の積極的に推進することが示されている（出典：厚生労働省健康局健康

課栄養指導室「2021 年 6 月 23 日自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書」)。

例えば、減塩の取組として、「味の素グループの先端技術を駆使した減塩の取組」、「株式会社ファミリーマートの「こっそり減塩」の取組」などがあるが、新潟県内でも、多数の減塩商品の開発・販売をしている一正蒲鉾（「スマートライフプロジェクト」の厚生労働大臣最優秀賞受賞，2019 年）や、新潟県の「からだよろこぶデリ」事業に参加するスーパーマーケット（原信・ウオロク・キューピット等)、日本栄養改善学会認定の「スマートミール」に参加する飲食店や給食施設等も増えつつあるが、まだ十分な件数とはいえない。その理由のひとつとして、基準となるエネルギーや栄養素を満たし、且つおいしく、消費者の嗜好を満たす商品等を開発できる人材が不足していることがあげられる。また、今後は、健康志向の高まりによるトクホ、栄養機能食品、機能性表示食品等の特殊食品への需要も一層高まることが予想される。そうした健康面に配慮した食品やメニューの開発・普及が国の健康づくりの主流となる勢いがあり、「健康日本 21（第 3 次)」の目標にも「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブの推進」が全 47 都道府県に設定されている。

特に新潟県においては、「主食・主菜・副菜が揃った食事」をする者の割合は全国と比較すると低いことも確認できる。



健康にいがた 21（第 3 次)「主食・主菜・副菜が揃った食事」をする者の割合

今後、このような国の栄養政策や社会的需要に応えるため、科学的な根拠、食品分析、マーケティング、地域連携等に関する専門的な知識や技術を有する管理栄養士の養成は大きく期待されている分野のひとつである。

なお、管理栄養士としては、流通業の中でもスーパーマーケットでの需要が見込まれる。スーパーマーケットの多くは地域密着型の戦略をとり、ローカルスーパーだけでなく、大手チェーンでも店舗ごとに地域色を取り入れた食品や総菜の品揃えを行っており、且つ健康志向に合わせた減塩総菜などに取り組んでいるスーパーも多い。このような専門的知識を必要とする商品開発には管理栄養士の知識や情報が期待される。実際の活躍事例として、埼玉県のローカルスーパーの食品管理室チーフ（管理栄養士取得）の紹介では、「管理栄養士ならではの商品開発」とまさに今後の管理栄養

士の活躍が分かる内容となっている一方、「養成学校に通い始めた当初は、スーパーマーケットにも管理栄養士の活躍の場があるとは気づきませんでした。」とあるように管理栄養士の進路先は、医療や福祉現場という固定概念が活躍の場を広げられない現実もあるため、このような潜在的な需要もまだまだあると考えられる（出典：株式会社ベルクインタビューhttps://recruit.belc.jp/employment/interview/rs.html）。

さらに現在、全国各地において、加工食品の国産原料回帰の加速化、農林水産物の生産側と食品加工等の実需者側のミスマッチの解消、消費行動の変化等に対応する新たなビジネス展開の推進が急務となっている。農林水産省では、2021（令和3）年度から新たに都道府県が行う地域の食と農の事業者が参画するプラットフォームの形成、持続可能なビジネスモデルの創出について支援する「ローカルフードプロジェクト（LFP）推進事業」を開始した。地域によっては実際に管理栄養士が参画している例も見受けられる。このように地域の課題解決並びに地域経済の持続的発展のためには、その地域の生産者や企業と連携できる管理栄養士も重要であると考える。

農林水産省大臣官房　新事業・食品産業部　地域職能連携プロジェクト推進委託事業
ローカルフードプロジェクト［LEP］令和3年度取組事例集

ウ　地域的な人材需要動向

これまでの説明のとおり、管理栄養士の需要は今後ますます高まると思われる一方で、その養成校・養成数については地域によってバラツキがある。

2023（令和5）年10月1日現在、日本海側最大規模である人口212.6万人を抱える新潟県内にある管理栄養士養成校は3校（2大学及び1専門学校）あり、その総入学定員は120名で人口10万人あたりの入学定員は5.6名である。同じような状況の

地域として、本学科の入学者数が多い山形県・福島県・長野県が挙げられる。山形県は人口 102.7 万人に対して 1 大学あり、総入学定員は 42 名で人口 10 万人あたりの入学定員は 4.1 名である。福島県は人口 176.6 万人に対して 1 大学あり、総入学定員は 80 名で人口 10 万人あたりの入学定員は 4.5 名である。長野県は人口 200.5 万人に対して 2 大学あり、総入学定員は 100 名で人口 10 万人あたりの入学定員は 5.0 名である。なお、富山県においては養成校が 0 校である。

一方、同じ日本海側で新潟県に次いで大きな経済圏を有する石川県は人口 110.9 万人に対して 2 大学あり、総入学定員は 145 名で人口 10 万人あたりの入学定員は 13.1 名。群馬県では人口 190.0 万人に対して 3 大学あり、総入学定員は 240 名で人口 10 万人あたりの入学定員は 12.6 名。さらに、太平洋側で新潟県とほぼ同規模の人口を抱え、東北地方最大の経済圏を有する宮城県は人口 226.3 万人に対して 4 大学あり、総入学定員は 300 名で人口 10 万人あたりの入学定員は 13.3 名となる。

本学科が学生募集地域として想定している新潟県・山形県・福島県・長野県・富山県は、その他の地域と比べて管理栄養士養成校の定員数が不足していることが明白である。

〔資料 2：新潟県及び近隣県の人口及び管理栄養士養成校数〕

先述の管理栄養士の人材需要動向を踏まえると、本学科の定員増によって、新潟県を中心に、より多くの管理栄養士を養成し、社会や地域のニーズに寄与できるものと考える。

②　中長期的な１８歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

全国の 18 歳人口は、2022（令和 4）時点では 112.1 万人であるが、2025（令和 7）年度には 109.1 万人にまで減少、その後さらに減少が続き、2034（令和 16）年には 100.6 万人まで減少することが予測されている。そのような状況の中、新潟県における 18 歳人口は、2025（令和 7）年から 2034（令和 16）年の 10 年間で 2,578 人、13.7%減少すると予測されており、同時期の全国における減少率 7.8%を 5.9 ポイント上回る見込みとなっている。2029（令和 11）年度に一時的に微増となるものの、2034（令和 16）年度までは減少傾向が続く予測である。

他方、全国の大学進学率は、2013（平成 25）年度 47.4%から 2022（令和 4）年度 55.3%と 10 年間で 7.9 ポイント上昇し、緩やかであるものの確実に増加している。また、新潟県の大学進学者数は、2013（平成 25）年度 8,691 人から 2022（令和 4）年度 8,316 人（375 人減）となった一方、進学率は、2013 年（平成 25）年度 40.2%から 2022（令和 4）年度 47.2%で 7.0 ポイント上昇している。

過去 5 年間の 2018（平成 30）年度～2022（令和 4）年度の平均値で見ると、新潟県の大学進学者数は 8,200 人で大学進学率は 44.3%となっている。本学科への入学者が多く、主な学生募集地域としている近隣県では、山形県が同 3,852 人で 40.2%、福島県が同 6,615 人で 40.7%、長野県が同 7,741 人で 42.3%、富山県が同 4,158 人で

46.5%となっている。また、男女別に 2011（平成 23）年度～2021（令和 3）年度の大学進学率を見ると、18 歳男子の進学率は 2011（平成 23）年度 56.0%から 2021（令和 3）年度 58.1%と 2.1 ポイントの上昇に留まるのに対して、18 歳女子の進学率は 2011（平成 23）年度 45.8%から 2021（令和 3）年度 51.7%と 5.9 ポイント上昇しており、18 歳女子の進学率は今後も上昇が続くと見ている。なお、本学科の過去の男女別入学者数を見る限り、およそ 9 割が女子である。

年度	男子	女子	合計
2019（平成 31）	6 名（14.0%）	37 名（86.0%）	43 名（100.0%）
2020（令和 2）	1 名（2.3%）	42 名（97.7%）	43 名（100.0%）
2021（令和 3）	5 名（11.4%）	39 名（88.6%）	44 名（100.0%）
2022（令和 4）	4 名（9.1%）	40 名（90.9%）	44 名（100.0%）
2023（令和 5）	6 名（13.6%）	38 名（86.4%）	44 名（100.0%）
5 年間平均	4.4 名（10.1%）	39.2 名（89.9%）	43.6 名（100.0%）

健康栄養学科　過去 5 年間の男女別入学者数

2023（令和 5）年度学校基本調査によると、全国の大学進学率は前年度比 1.1 ポイント増の 57.7%と 8 年連続で過去最高を更新している。少子化の状況は続くものの、大学進学率が微増傾向にあり、近隣県でも同様の傾向が見られることから、少なくとも今後 10 年程度は大学進学者数の微減が継続する程度の見通しである。18 歳人口減少の影響は少なくないものの、開設以来すべての年度において入学定員を充足している本学科としては、「地域に選ばれる大学」として、従来通り管理栄養士の魅力と本学の価値を訴求し、且つ教育研究成果を上げることで入学定員 80 人の充足は十分可能であると判断している。

〔資料 3：リクルート進学総研マーケットリポート 2022　Vol.106 全国版〕
〔資料 4：リクルート進学総研マーケットリポート 2022　Vol.111 甲信越版〕
〔資料 5：新潟県及び近隣県における大学への現役進学者数及び進学率〕
〔資料 6：4 年制大学への進学率と 18 歳人口の推移〕

③　新設組織の主な学生募集地域

はじめに（２）①のウ及び（２）②に示したとおり、本学科では新潟県・山形県・福島県・長野県・富山県を主な学生募集地域と設定している。

2023（令和 5）年度令和学校基本調査のデータ（出身高校の所在地県別入学者数）では、新潟県へ入学者数の上位 5 都道府県及び構成比は、新潟県がおよそ半数（55.8%）を占めており、福島県（4.9%）・山形県（4.7%）・長野県（4.6%）・秋田県（3.1%）となっている。その後は、富山県（2.8%）・群馬県（2.5%）・栃木県（2.2%）・宮城県（2.2）・石川県（1.5%）と続いている。一方、本学科への過去 5 年間の入学者数

の上位5都道府県及び構成比は、新潟県がおよそ8割（78.0%）を占めており、福島県（3.2%）・山形県（2.8%）・長野県（2.8%）・富山県（2.3%）と続いている。本学科への過去5年間の入学者数は学校基本調査のデータ（出身高校の所在地県別入学者数）とほぼ同一の都道府県が並んでいるため、主な学生募集地域として設定している新潟県・山形県・福島県・長野県・富山県は妥当だと言える。

なお、入学定員を80名にした場合の都道府県別の入学者数については、過去5年間の都道府県別の入学者の構成比から算出し、新潟県（62名）・福島県（3名）・山形県（2名）・長野県（2名）・富山県（2名）・その他（9名）を見込んでいる。

新設組織が置かれる都道府県の入学定員充足状況について、日本私立学校振興・共済事業団の資料では新潟県単体の数値が不明確であったため本学にて独自に調査を行った結果、新潟県内の大学の入学定員充足率は2021（令和3）年度が99.11%、2022（令和4）年度が99.42%、2023（令和5）年度が97.47%、3年間の平均が98.66%であり、概ね充足していることが確認できる。一方、全国の学問分野（系統区分）の入学定員充足状況では、保健系学部は概ね充足しているものの、家政学は2023（令和5）年度において9割を切っている。

学問分野では定員未充足の状況にあるものの、本学単体での過去3年間の入学定員充足率では、2021（令和3）年度が103.94%、2022（令和4）年度が107.71%、2023（令和5）年度が101.27%と充足している状況が続いているため、今後はこれまで以上に教育研究活動及び広報活動を通じて魅力を発信し、充足状況を維持することに努める。

〔資料7：新設組織が置かれる都道府県への入学状況〕
〔資料8：過去5年間の健康栄養学科における入学者数〕
〔資料9：2021（令和3）年度～2023（令和5）年度 県内大学入学定員充足率〕

④　既設組織の定員充足の状況

2019（平成31）年度～2023（令和5）年度の過去5年間における既存学部・学科の定員充足の状況は次のとおりである。

リハビリテーション学部理学療法学科は、入学定員120名に対して実志願者数平均599人、実受験者数平均589人、実合格者数平均284人、入学者数平均137名であり、平均入学定員充足率は1.14倍である。

リハビリテーション学部作業療法学科は、入学定員50名に対して実志願者数平均305人、実受験者数平均300人、実合格者数平均166人、入学者数平均49名であり、平均入学定員充足率は0.99倍である。

リハビリテーション学部言語聴覚学科は、入学定員40名に対して実志願者数平均134人、実受験者数平均130人、実合格者数平均79人、入学者数平均40名であり、平均入学定員充足率は1.00倍である。

リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科は、入学定員40名に対して実志願

者数平均 110 人、実受験者数平均 107 人、実合格者数平均 83 人、入学者数平均 43 名であり、平均入学定員充足率は 1.07 倍である。

リハビリテーション学部鍼灸健康学科は、入学定員 40 名に対して実志願者数平均 49 人、実受験者数平均 49 人、実合格者数平均 48 人、入学者数平均 23 名であり、平均入学定員充足率は 0.58 倍である。

医療技術学部臨床技術学科は、入学定員 100 名に対して実志願者数平均 458 人、実受験者数平均 448 人、実合格者数平均 258 人、入学者数平均 103 名であり、平均入学定員充足率は 1.03 倍である。

医療技術学部視機能科学科は、入学定員 50 名に対して実志願者数平均 161 人、実受験者数平均 157 人、実合格者数平均 118 人、入学者数平均 48 名であり、平均入学定員充足率は 0.95 倍である。

医療技術学部救急救命学科は、入学定員 55 名に対して実志願者数平均 277 人、実受験者数平均 267 人、実合格者数平均 96 人、入学者数平均 57 名であり、平均入学定員充足率は 1.03 倍である。

医療技術学部診療放射線学科は、入学定員 90 名に対して実志願者数平均 505 人、実受験者数平均 496 人、実合格者数平均 221 人、入学者数平均 93 名であり、平均入学定員充足率は 1.04 倍である。

健康科学部健康栄養学科は、入学定員 40 名に対して実志願者数平均 256 人、実受験者数平均 250 人、実合格者数平均 93 人、入学者数平均 44 名であり、平均入学定員充足率は 1.09 倍である。

健康科学部健康スポーツ学科は、入学定員 230 名（R3 年度に 200 名から 250 名へ定員増）に対して実志願者数平均 489 人、実受験者数平均 481 人、実合格者数平均 373 人、入学者数平均 250 名であり、平均入学定員充足率は 1.09 倍である。

看護学部看護学科は、入学定員 107 名に対して実志願者数平均 602 人、実受験者数平均 588 人、実合格者数平均 381 人、入学者数平均 110 名であり、平均入学定員充足率は 1.03 倍である。

心理・福祉学部社会福祉学科は、入学定員 120 名に対して実志願者数平均 324 人、実受験者数平均 315 人、実合格者数平均 264 人、入学者数平均 116 名であり、平均入学定員充足率は 0.97 倍である。

医療経営管理学部医療情報学科は、入学定員 80 名に対して実志願者数平均 256 人、実受験者数平均 248 人、実合格者数平均 185 人、入学者数平均 90 名であり、平均入学定員充足率は 1.12 倍である。

2019（平成 31）年度～2023（令和 5）年度の過去 5 年間の平均入学定員が充足したのは 14 学科中 10 学科、0.95～0.99 倍と僅かに充足に至らなかった学科は 3 学科、0.7 倍未満となった学科は 1 学科であったが、大学全体で見ると 1.01 倍であった。

2023（令和 5）年度入試において、開設 1 年目のリハビリテーション学部鍼灸健康学科は入学定員 40 名に対し入学者数が 23 名、入学定員充足率（＝収容定員充足率）

57.5%という結果であった。定員未充足の要因として、以下の3点が挙げられる。

【要因①：職業に対する認知不足】

高校生が医療系の専門職を目指す場合、自身が過去にお世話になったことがある専門職や職業内容をイメージできる専門職を目指す傾向にあり、日常生活において認知が図られていない鍼灸師が目指す職業の選択肢に上がらなかったことが考えられる。

【要因②：大学進学により鍼灸師を目指すニーズ不足】

北海道・東北・北陸・北関東エリアにおいて、はり師・きゅう師の取得を目指せる大学がなく、大学で鍼灸師を目指す土壌がなかったことが考えられる。

【要因③：進路多様層の獲得不足】

2023（令和5）年度の入学者23名のうち、偏差値45未満の進路多様校からの入学は7名（30.4%）にとどまり、鍼灸師を目指す専門学校希望者の獲得ができなかったことが考えられる。

健康栄養学科で目指す管理栄養士は、高校生への認知が十分に図られている職業であるほか、管理栄養士の国家資格取得を目指すうえでは大学へ進学するルートが一般的であり、入学者の獲得において進路多様層はメインターゲットとならない。

以上の点から、鍼灸健康学科の定員未充足における要因は、健康栄養学科に該当しないと考えられる。健康栄養学科の過去5年間の志願者実数の平均は256名であり、入学定員80名と設定した場合においても志願倍率は3.2倍となり、入学者を確保できることが想定される。

なお、2024（令和6）年度入試において、鍼灸健康学科は年内に実施された専願制入試（総合型選抜や学校推薦型選抜）の入学手続き者確定時点（2024（令和6）年1月）で入学手続き者を43名確保しており、2023（令和5）年度入試における入学者23名を超え、且つ入学定員充足率1.08倍という結果を出している。また、年明けに実施される一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の状況によっては、さらなる入学者の確保が見込まれる。

このように本学は開学以来、一部未充足となる年度や学部・学科があるものの、全体的には順調に入学者を確保している。これまで本学が培ってきた入試広報活動における学生募集ノウハウに加え、本学の医療系総合大学のブランドイメージが定員増後の本学科にも好影響を与えると考える。

〔資料10：既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）〕

（３）学生確保の見通し

①　学生確保に向けた具体的な取組状況と見込まれる効果

ア　既設組織における取組とその目標

2022（令和4）年度、2023（令和5）年度において実施した既設組織の主な取組としてオープンキャンパス及び資料請求がある。それぞれの内容は次のとおりであり、取組の成果として入学者の確保に結びついている。

Ａ　オープンキャンパス

WEB 型のオープンキャンパスでは、学科紹介・施設紹介・模擬授業・個別相談等のプログラムを中心に、2022（令和 4）年度入試・2023（令和 5）年度入試向けに、どちらの年度も年間 11 回実施した。

2022（令和 4）年度入試向けの WEB 型のオープンキャンパスでは、参加目標 220 人に対して参加者総数は 316 人（達成率 143.6%）、うち受験対象者数は 188 人（受験対象者率 59.5%）、うち受験者数は 83 人（受験率 44.1%）で、うち入学者数は 38 人（入学率 20.2%）であった。

2023（令和 5）年度入試向けの WEB 型のオープンキャンパスでは、参加目標 220 人に対して参加者総数は 237 人（達成率 107.7%）、うち受験対象者数は 139 人（受験対象者率 58.6%）、うち受験者数は 64 人（受験率 46.0%）、うち入学者数は 38 人（入学率 27.3%）であった。

2022（令和 4）年度と 2023（令和 5）年度の実施結果から、受験対象者率の平均は 59.1%、受験率の平均は 45%、入学率の平均は 23.8%であった。

Ｂ　資料請求

2022（令和 4）年度入試・2023（令和 5）年度入試向けに、どちらの年度も本学ホームページ及び進学業者雑誌・WEB サイト等を通じて資料請求を実施した。

2022（令和 4）年度入試向けの資料請求では、請求目標 1,000 人に対して参加者総数は 1,579 人（達成率 157.9%）、うち受験対象者数は 929 人（受験対象者率 58.8%）、うち受験者数は 92 人（受験率 9.9%）で、うち入学者数は 40 人（入学率 4.3%）であった。

2023（令和 5）年度入試向けの資料請求では、請求目標 1,000 人に対して参加者総数は 914 人（達成率 91.4%）、うち受験対象者数は 541 人（受験対象者率 57.5%）、うち受験者数は 43 人（受験率 7.9%）で、うち入学者数は 20 人（入学率 3.7%）であった。

2022（令和 4）年度と 2023（令和 5）年度の結果から、受験対象者率の平均は 58.2%、受験率の平均は 8.9%、入学率の平均は 4.0%であった。

〔資料 11：既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績〕

イ　新設組織における取組とその目標

本学では、広報委員会及び委員会メンバーによる各部会（オープンキャンパス部会、来学・出張講義部会、情報発信部会）において、事務局入試広報部と各学科が協議のうえ全学的な広報活動方針やオープンキャンパス等の実施内容を決定し、教職協働で一丸となって学生募集活動に取り組み、学生確保に努めている。

健康栄養学科の定員増については、2023（令和 5）年 8 月より「構想中」として広報を開始し、オープンキャンパスでの告知や学科特色リーフレットの作成、高校生向けの媒体への掲載などにより周知を図っている。特に本学科の特色である①医療・福

祉・介護分野で活躍する管理栄養士を養成、②食品開発を担う管理栄養士の養成、③スポーツ選手をサポートする管理栄養士の養成について、現高校2年生や保護者、高校の進路指導教員など、各ステークホルダーに対して訴求していく。

とりわけ、「スポーツ栄養」分野においては、強化指定クラブのアスリートとの連携や、学部から大学院まで一貫して学べる教育環境について特色立てて広報することにより、新潟県内や隣県だけでなく、遠方エリアからの志願者獲得や、スポーツ分野に興味がある層からの志願者獲得など、新たな希望者層の開拓に繋がる効果が期待できる。健康栄養学科が学科単独で新入生に対して各入学年度の4月または5月に実施した受験状況を確認するアンケート調査によると、本学を選んだ理由として「スポーツ栄養が学べるから」と回答した学生が一定数存在している。このように、志願者・希望者の獲得にとどまらず、実際に「スポーツ栄養」を求める学生が毎年入学しており、その人数も増加傾向にある。

実施年度	対象者数 (入学者数)	回答者数 (回答率)	「スポーツ栄養が学べるから」 と回答した学生
2021(令和3)	44名	43名(97.7%)	1名(2.3%)
2022(令和4)	44名	43名(97.7%)	5名(11.6%)
2023(令和5)	44名	42名(95.5%)	5名(11.9%)

健康栄養学科　新入生アンケート「本学を選んだ理由」

高校生に対しては、直接訴求する機会として、来場型のオープンキャンパスを年7回（3月、5月、6月、7月、8月×2、10月）開催し、本学科の特色を体験的に理解してもらう。また、遠方に住んでいるなどの理由で来学できない高校生・保護者に対しては、WEB型のオープンキャンパスを毎月（1～2週間）開催し、定員増についての認知拡大とともに、教育特色や実習施設の紹介、在学生からのメッセージなど、学科の特色・魅力を伝える動画配信をすることで、全国の高校生に対して特色の浸透を図っていく。

進路ガイダンスの依頼数については、2020（令和2）年度673件、2021（令和3）年度717件、2022（令和4）年度760件と年々増加傾向にあり、2023（令和5）年度についてもさらに増加することが予測される。その中で、本学は新潟県内において2大学しかない管理栄養士養成大学の一つであることから、県内高校から依頼される食・栄養分野の進路ガイダンスや出張講義を担う機会が多い。さらに、13種目（水泳部・陸上競技部・男子サッカー部・女子サッカー部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部・男子バレー部・女子バレー部・ダンス部・硬式野球部・女子硬式野球部・卓球部・テニス部）を強化クラブとして指定し、トップアスリートを育成している大学でもあることから、「スポーツ栄養」分野の教育・研究活動を強みとし

ており、県外からも同分野での講義依頼が多く寄せられている。以上のような機会を通して、他大学との差別化を図っていく。

高校教員に対しては、年に5回程度の高校訪問を通して、入試やイベント情報の提供を行っている。また、高校教員を対象としたオープンキャンパスを開催することにより、本学の教育や目指せる専門職について理解を深めてもらう機会を提供している。その中で、高校現場から本学に対する期待として、生徒の職業理解不足や職種選択のミスマッチを防ぐための進路指導がある。これに対し本学では、高大連携プログラムとして、資格・職種の違いを理解する実習体験や、医療現場を理解する「チーム医療体験会」を実施している。これにより、本学科を目指す高校生に対しても、管理栄養士の資格や職業の理解とともに、本学の特色である学科の枠を越えた融合的な学び（栄養×医療、栄養×スポーツ）について理解を深めてもらうことで、安定した入学者の確保に繋げていく。なお、2023（令和5）年度の本学入学者（全14学科対象）に対するアンケート（2023（令和5）年5月下旬実施）において、「受験の決め手になったこと」として、1位「国家資格・各種資格が取れること」(584名)、2位「入試制度が自分に合っていたこと」(398名)、3位「就職率が高いこと」(391名)、4位「連携教育でチーム医療が学べること」(324名)、5位「大学や学科の設備や施設が充実していること」(307名）という結果であった。2023（令和5）年度入学者1,197名のうち、およそ4人に1人が「連携教育でチーム医療を学べること」が受験の決め手となったと回答していることも、「チーム医療体験会」を実施している理由の一つである。

上記の各施策の実行により、本学のオープンキャンパス参加及び資料請求の促進を図る。その方針及び戦略、取組、目標については次のとおりである。

方針・戦略	保健・医療・福祉・スポーツの総合大学で、「15学科がワンキャンパスで学ぶ」という他大学にはない本学独自の教育環境の中で管理栄養士を目指すことができるという点を訴求する。 そのうえで、食と栄養に関する幅広い学びが可能という学科の特色について訴求を行っていく。
取　　組	○オープンキャンパス（来場型・WEB型のハイブリッドで年間11回） ○資料請求
集　　客	ホームページ及び進学業者雑誌・WEBサイト等を通じたPR、 資料請求者へのDM、進路相談会・高校訪問での案内、WEB広告、 高校教員対象イベント、出張講義　等
目　　標	○オープンキャンパス 参加者等総数330人（過去2年間の目標の1.5倍と設定） 受験対象者数195人（受験対象者率の平均59.1%より算出） ○資料請求 参加者等総数1,500人（過去2年間の目標の1.5倍と設定） 受験対象者数873人（受験対象者率の平均58.2%より算出）

〔資料12：健康栄養学科定員増　年間学生募集広報計画〕

ウ　当該取組の実績に基づく、新設組織での入学者の見込み数

Ａ「オープンキャンパス参加者からの入学者の見込数」は以下のとおり。

受験対象者数 195 人から受験率の平均 45%より受験者見込数 87.8 人と算出。

受験対象者数 195 人から入学率の平均 23.8%より入学者見込数 46.4 人と算出。

Ｂ「資料請求者からの入学者の見込数」は以下のとおり。

受験対象者数 873 人から受験率の平均 8.9%より受験者見込数 77.7 人と算出。

受験対象者数 873 人から入学率の平均 4.0%より入学者見込数 34.9 人と算出。

Ａ・Ｂそれぞれで算出した入学者見込数は 46.4 人＋34.9 人＝81.3 人となり、イで示した取組を実行することにより、入学定員 80 名を超える見込みである。

② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア　競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

Ａ　競合校の選定理由

先述のとおり、入学者のおよそ 8 割が新潟県内の高校出身者であることから、当然ながら競合校としても新潟県内に設置されている大学となる。新潟県内において、管理栄養士養成校に認定されている大学は新潟県新潟市東区に位置する新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科のみである。よって、本学の競合校は新潟県立大学とする。本学と新潟県立大学の比較については以下のとおりである。

	新潟医療福祉大学 健康科学部　健康栄養学科	新潟県立大学 人間生活学部　健康栄養学科
設置形態	私立大学（学校法人）	公立大学（県）
定員規模	現行 40 名→定員増後 80 名	40 名
学問分野	保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く） 及び家政関係	家政関係
学　　位	学士（健康栄養学）	学士（栄養学）
所 在 地	新潟県新潟市北区	新潟県新潟市東区
取得可能な資格	管理栄養士国家試験受験資格 栄養士免許／栄養教諭一種免許 NR・サプリメントアドバイザー	管理栄養士国家試験受験資格 栄養士免許／栄養教諭一種免許

設置形態こそ私立大学（学校法人）と公立大学（県）という大きな違いはあるものの、現行の定員規模・学問分野並びに学位・所在地・取得可能な資格はいずれも類似するものである。

なお、2020（令和 2）年度～2022（令和 4）年度に実施された WEB オープンキャンパスにて健康栄養学科に参加した高校生のうち、本学以外で受験を考えていると回答

した大学は、新潟県立大学が圧倒的であったことも考慮すると、受験を考えているということは学力層も近いことが推察される。

年度	順位	大学名	人数
2020（令和 2）	1 位	新潟県立大学	19 名
	2 位	高崎健康福祉大学	13 名
	3 位	山形県立米沢栄養大学	8 名
	4 位	長野県立大学	6 名
	5 位	宮城学院女子大学	4 名
2021（令和 3）	1 位	新潟県立大学	22 名
	2 位	高崎健康福祉大学	10 名
	2 位	山形県立米沢栄養大学	10 名
	4 位	金沢学院大学	9 名
	5 位	松本大学	7 名
2022（令和 4）	1 位	新潟県立大学	15 名
	2 位	長野県立大学	4 名
	2 位	郡山女子大学	4 名
	2 位	桐生大学	4 名
	5 位	高崎健康福祉大学	3 名

2020（令和 2）～2022（令和 4）年度 WEB オープンキャンパスアンケート

以上の理由により、新潟県立大学を競合校とする。

B　競合校との比較分析

○　教育内容と方法

医療分野の多様な疾患治療において、管理栄養士はチーム医療を支える一員であり、重要な役割を担っている。一方、要支援・要介護高齢者に対して栄養管理を行うためには、身体機能、口腔機能に関する評価や理解が必要である。

競合校である新潟県立大学の人間生活学部は健康栄養学科の他、幼稚園教諭一種や保育士、社会福祉士を目指す子ども学科があり、その他の学部は国際地域学部、国際経済学部など人文社会系であり本学のような医療分野とは異なる分野の学びが可能な大学である。

一方、本学は、連携教育科目が充実しており、ワンキャンパスで他の医療系学部・学科の学生らと共にチーム医療を横断的に学ぶことができ、医学系科目を多く配置していることから多職種連携に精通できる教育環境がある。

さらに、医療と一体的に福祉・介護分野に必要な実践能力を養うため、実習や演習を配置している。競合校では臨地実習を管理栄養士養成施設における指定単位（4 単位）設けているが、本学科では管理栄養士学校指定規則における指定単位の 2 倍の臨地実習を可能としている。具体的には、3 年次の臨地実習 6 単位うち、病院等の臨床現場において 3 単位の実習を行った後に、特別養護老人ホーム等の介護施設において 2 単位の実習を行う。残る 1 単位については、「公衆栄養」又は「給食経営管理」における実習を選択する。4 年次には臨地実習として分野探求型臨地実習を選択することが可能である。この実習は特定分野での可能性を探求するため、研究課題を設定したうえで実習先を選択することになる。3 年次の臨地実習 6 単位を履修したうえで 4 年次の分野探求型臨地実習を履修することで臨地実習は計 8 単位となり、管理栄養士養成施設における指定単位（4 単位）の 2 倍の臨地実習時間となる。

医療系の学部・学科を多く持ちチーム医療に必要な多職種連携を学べる体制や、臨地実習の手厚い配置は、競合校にはない本学科の優位性であり、管理栄養士国家試験の高い合格率にも繋がっているものと考える。

○　入試（競合校の受験時期、入学手続時期の関係）

入試に関わる大きな相違点として、対象の選抜方法の数である。2024（令和 6）年度入試時点で、本学の健康栄養学科が実施している選抜方法は 9 種類（総合型選抜 A 方式（主体性重視型）、総合型選抜 B 方式（基礎教養重視型）、総合型選抜 D 方式（基礎学力重視型）、学校推薦型選抜（公募制）前期日程、学校推薦型選抜（指定校制）、社会人等特別選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期日程）、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程））あるのに対して、競合校の健康栄養学科が実施している選抜区分は 6 種類（学校推薦型選抜、海外帰国生特別選抜、外国人留学生特別選抜、一般選抜 A 日程、一般選抜 B 日程、一般選抜 C 日程）に留まる。

なお、本学の健康栄養学科においては、2025（令和 7）年度入試より、総合型選抜 C 方式（スポーツ重視型）前期日程、総合型選抜 E 方式（キャリアビジョン重視型）（仮称）、大学入学共通テスト利用選抜（後期日程）の 3 種類を追加し、全 12 種類の入学者選抜を実施する予定である。

文部科学省が多様な選抜を推奨していること、また受験生にとっても選択の幅が広がるという観点で、より多くの選抜方法を実施している本学を選択する受験生がいると考えられる。特に本学では多面的な評価がなされる総合型選抜を実施しているが、競合校では実施されていないため、総合型選抜を希望する受験者に対して優位性があると考える。

また、本学の最初の試験が 9 月中旬であるのに対し、競合校は 11 月中旬と 2 か月ほど遅めのスタートである。当然ながら入学手続の時期も本学のほうが早いため、早めに合格を勝ち取りたい受験者から選択される可能性が高いのは本学である。さらに、競合校のメインは年明けに実施される一般選抜であるが、競合校の一般選抜の試

験会場は最大2会場（新潟・東京）である一方、本学の一般選抜の試験会場は最大8会場（新潟・東京・郡山・高崎・長野・富山・鶴岡・仙台）と東日本各地で実施している。

このように、選抜方法や選抜スケジュール等において、高校生が受験しやすい環境を整えているため、定員充足はもちろん、多様な入学者を確保できると考えている。

〔資料13：本学及び競合校の選抜区分とスケジュール〕

○　学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容

先述のとおり、設置形態が私立大学（学校法人）と公立大学（県）という大きな違いがあるため、学生納付金においては、本学は不利である。初年度納入額は本学が1,850,000円であるのに対し、新潟県立大学は県内出身者が817,800円、県外出身者でも1,099,800円と、本学の4割～6割程度である。そのため、本学で日本学生支援機構の奨学金や国の高等教育修学支援制度、大学独自の奨学金を利用している学生も多い。

なお、競合校にはない本学独自の支援として、「新潟医療福祉大学特待生制度」を設けている。これは「一般選抜（前期日程）」及び「特待生選抜試験」の受験者が対象で、対象試験で得点上位の者を、A特待生（最大で4年間の授業料を全額免除）又はB特待生（1年次の授業料を全額免除）として入学させるものである。このように大学独自の支援も行っている。

〔資料14：競合校並びに学生募集地域の他大学における学生納付金一覧〕

○　就職支援の内容

競合校では、キャリア支援センターを設置し常駐職員を配置のうえ学生自らが主体的に卒業後の進路選択・決定ができるよう、支援体制を整備している。また、就職相談を始めとして、学生に対する就業体験（インターンシップ）や地域のボランティア活動の奨励、資格試験対策講座等の企画の立案、提供を行っている。

本学においても、常駐職員を配置した就職センターによる就職指導プログラムのもと、全学を挙げた組織的な就職支援体制を構築し、学生一人ひとりの就職活動をサポートするため、学生の希望に応じた個別指導を徹底している。さらに、企業の人事担当者や就職アドバイザーによるセミナーを実施し、就職活動に向けた心構えを身に着けて、面接試験や筆記試験対策なども行っている。また、3年生又は4年生に対して、一般企業就職向けと医療職向けに区分のうえ、様々なイベントを毎月実施しており、学生は自身の進路希望に合わせて参加している。実施形態は対面による説明会のみならず、オンラインでも行っている。

ここまではいずれも同じような支援であるが、競合校と本学との差別化を図っている点として、業種別学内説明会がある。競合校でも就職ガイダンスや合同企業説明会を行っているが、本学では業種別に説明会を行っている。具体的には、医療業界職種

研究会、福祉施設求人説明会及び医療福祉施設求人説明会などの医療福祉に関連する研究会・説明会のイベントで、毎年、本学学生の採用を希望する機関・施設が多数参加し、就職に向けた貴重な情報収集の場となっている。これらの活動を通して、例年、高い就職実績を維持している。

○　取得できる資格

先述のとおり、取得可能な資格として、本学・競合校ともに、管理栄養士国家試験受験資格、栄養士免許、栄養教諭一種免許があり、これについては差異がない。しかし本学においては、NR・サプリメントアドバイザーの取得も可能である。

NR・サプリメントアドバイザーは、厚生労働省通知のガイドラインにより設けられた資格である。保健機能食品やサプリメントについて消費者に正しい情報を提供し、消費者が適切な選択ができるようアドバイスできる人材として、日本臨床栄養協会が2002（平成 14）年から認定している。「NR」は Nutrition Representative の略であり、栄養情報担当者と呼ばれている。一般の消費者に対し保健機能食品やサプリメントについて、専門的観点から個々人の栄養状態を評価し、適切にアドバイスを行う資格であり、資格所得者の 6 割が管理栄養士と薬剤師が占めている。

NR・サプリメントアドバイザーは、薬剤師やサプリメントを扱う職業とともに、正しい栄養情報を広く伝えていくアドバイザリースタッフとして、健康の維持・増進に貢献したいと考える人が取得する。資格取得者の職業の場として、以下の就職先が挙げられる。

・保健機能食品等が販売されている店舗・薬局・ドラッグストアや通販会社
・保健機能食品等の製造・販売会社のお客様相談室
・保健所、保健センター、病院・診療所等の保健・医療機関
・消費者センター等の消費者相談機関
・地域における食生活改善活動の場
・スポーツクラブ、高齢者施設　など

本学では 2002（平成 14）年の資格認定開始年度より、管理栄養士養成校では数少ない認定校として継続している。資格取得希望者は厚生労働省のガイドラインに100％対応した内容の通信教育を受講後、年 1 回の認定試験に合格することにより日本臨床栄養協会に認定される。特徴として、大学 3 年次の冬に取得（受験）可能であるため、直後に控える就職選択の幅を広げる大きな機会となっている。さらに、栄養学の知識を基にした資格であるため管理栄養士国家試験への勉学にも繋がっている。

〔資料 15：NR・サプリメントアドバイザー2023 受験案内〕

○　その他

そのほかの強みとして本学の優れた研究力がある。本学は全国でも数少ない「看護・医療・リハビリ・栄養・スポーツ・福祉・医療 IT の総合大学」である。その医療系

総合大学の強みを活かした教育・研究環境によって多彩な先端教育を展開している。2023（令和 5）年 12 月、2023（令和 5）年度科学研究費の配分について文部科学省から公表され、その中で本学は、「スポーツ科学、体育、健康科学、及びその関連分野」において、過去 5 年間の新規採択累計数が 104 件（健康栄養学科教員は 6 件）となり、全国第 4 位（私立大学 2 位）となった。首都圏の大学若しくは国立大学が並ぶ中、地方の私立大学である本学が上位にランクインすることができた。この研究力は競合校にはない本学の強みと言える。

59.スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野

順位	機関種別名	機関名	新規採択累計数（件）	配分額（直接経費）（千円）	応募件数累計数（件）
1	国立大学	筑波大学	182.0	430,200	583.0
2	私立大学	順天堂大学	159.0	294,100	387.0
3	国立大学	東京大学	110.0	306,800	226.0
4	私立大学	新潟医療福祉大学	104.0	228,900	262.0
5	私立大学	早稲田大学	90.0	198,300	214.0
6	国立大学	京都大学	85.0	237,600	171.0
7	国立大学	名古屋大学	78.0	225,400	156.0
8	国立大学	東北大学	74.0	154,800	155.0
8	国立大学	広島大学	74.0	159,000	191.0
10	国立大学	大阪大学	70.0	167,100	162.0

2023（令和 5）年度科学研究費採択件数（過去 5 年間の新規採択の累計数）

採択年	研究種目	研究者名	研究課題名
2019（平成 31）	基盤研究（C）	岩森　大	とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究
2020（令和 2）	若手研究	渡辺優奈	妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量の関係解明～鉄代謝調節因子「ヘプシジン」に着目して～
2021（令和 3）	基盤研究（C）	増田紘之	代謝伝達物質としての乳酸から見えてきた、活動筋－交感神経フィードバック神経回路
2021（令和 3）	基盤研究（C）	永井　徹	サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究
2022（令和 4）	基盤研究（C）	川上心也	個体のエネルギー摂取不足は卵子の発育に影響するのか？
2023（令和 5）	基盤研究（C）	星野芙美	小学生のやせ願望・やせ行動の要因解明と教育プログラムの構築

科学研究費採択件数 103 件に含まれる健康栄養学科教員の研究内容

また本学では、全 13 種目（水泳部・陸上競技部・男子サッカー部・女子サッカー部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部・男子バレー部・女子バレー部・ダンス部・硬式野球部・女子硬式野球部・卓球部・テニス部）を強化クラブとして指定し、トップアスリート及び指導者の育成に取り組んでいる。医療系総合大学のメリットを活かし、トレーナーやリハビリスタッフ、栄養指導を行う専門スタッフを

配置するなど、各選手を複数のスタッフでサポートする体制を整えている。健康栄養学科においては、強化指定クラブとの連携を通じて、スポーツ栄養を実践的に学ぶというメリットもある。

さらに、2021（令和 3）年 3 月にＪリーグに所属しているアルビレックス新潟、日本女子プロサッカーリーグ WE リーグに所属しているアルビレックス新潟レディース、新潟県内医療機関の新潟リハビリテーション病院と本学の間で連携協定を締結している。プロスポーツチーム及び医療機関と本学の連携によって、教育・研究の発展はもとより、地域スポーツへの貢献を目的としている。このような連携を通して学ぶ環境は、競合校はもとより、全国的にもかなり稀有な事例と考える。

スポーツに関する教育・研究は学部だけのことではない。2023（令和 5）年 4 月に本学大学院修士課程に「スポーツ栄養学コース」を新設した。これにより、学部から大学院まで一貫して「スポーツ栄養」を学ぶことができる環境を実現している。

学部での学びと専門性を大学院でさらに深化し、スポーツ現場での多職種連携をより高度に実践する人材を養成している点については、競合校では実現しえないことである。

以上について両大学の特色・強みの相違点を明確に訴求していくことで、しっかりと本学の魅力を伝え、志願者・入学者の確保に繋げていく考えである。

イ　競合校の入学志願動向等

本学と競合校における過去 3 年間の入学志願状況等の比較によると、競合校は入学定員 40 名に対し、平均延べ志願者数は 289 名、平均延べ受験者数は 239 名、平均合格者数は 69 名、平均入学者数は 43 名、平均入学定員充足率は 1.07 倍と堅調に推移している。なお、本学は入学定員 40 名に対し、平均延べ志願者数は 307 名、平均延べ受験者数は 301 名、平均合格者数は 74 名、平均入学者数は 44 名、平均入学定員充足率は 1.10 倍といずれの数値も競合校を上回っており、本学科が定員増した場合でも学生を確保できるだけの志願者数があると見込んでいる。

なお、新潟県南魚沼市にある北里大学保健衛生専門学院が 2024（令和 6）年以降、管理栄養科（管理栄養士養成課程）の学生募集を停止したことに伴い、今後、本学並びに競合校の志願者も増加することが推察される。

また、新潟県立大学以外の大学として、本学が学生募集地域としている山形県・福島県・長野県・富山県（富山県のみ養成大学なし）のエリアで考えると、管理栄養士養成施設として、公立大学が 2 校（山形県立米沢栄養大学・長野県立大学）、私立大学が 2 校（郡山女子大学・松本大学）ある。過去 3 年間のデータを見てみると、山形県立米沢大学の健康栄養学科は入学定員 42 名に対し平均志願者数は 145 名で平均入学定員充足率は 1.06 倍、長野県立大学の食健康学科は入学定員 30 名に対し平均志願者数は 159 名で平均入学定員充足率は 1.04 倍、郡山女子大学の食物栄養学科は入学定員 80 名に対し平均志願者数 98 名で平均入学定員充足率は 0.84 倍、松本大学の健

康栄養学科は入学定員 70 名に対し平均志願者数 163 名で平均入学定員充足率は 1.08 倍である。過去 3 年間の平均入学定員充足率では、郡山女子大学のみ未充足（0.84 倍）であるものの、そのほかは 1.04 倍～1.08 倍で推移しており、安定しているのが確認できる。

先述のとおり、本学ならではの教育研究上の魅力を訴求し、差別化を図ってくことで学生確保に努める所存である。特に本学ならではの特色として、「チーム医療」を軸とした多職種連携について他学科学生と一緒に実践的に学ぶ環境があること、また、13 ある強化指定クラブにおける全国トップレベルの実績やアルビレックス新潟との連携等「スポーツ」分野の強みを持っていること、そしてこれらを併せ持つ大学は競合校や学生募集地域に設定している地方の中で数少ないユニーク性となっており、実際に既存学科の学生募集実績及び就職実績において、これらの強みを地域社会から評価していただいた結果として、入学定員充足率や就職率ともに非常に高い水準を維持している。

本学健康栄養学科においても、大学独自の特色・魅力・強みをしっかりと訴求することで、充分に学生を確保できると考えている。

〔資料 16：2021（令和 3）～2023（令和 5）年度本学及び競合校の入学志願状況等〕
〔資料 17：競合校並びに学生募集地域の他大学における入試状況〕

ウ　新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

競合校とする新潟県立大学は先述のとおり、定員充足しているため、記載なし。

エ　学生納付金等の金額設定の理由

本学科の学生納付金については、入学金 350,000 円、授業料 1,000,000 円、施設設備金 350,000 円、実験実習料 150,000 円としており、初年度の学生納付金の合計は 1,850,000 円（2 年次以降は 1,500,000 円）である。これは 2001（平成 13）年の開学（学科設置）から 20 年以上、同一の金額としている。

学生納付金の設定の考え方は、学科運営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、施設設備の維持を含む学科としての永続性を考慮して設定している。また、本納付金は本学において、健康栄養学科を除く 14 学科のうち 8 学科と同額であり、本学内の学費設定のバランスも踏まえた金額としている。

学生募集地域で初年度納入額が最も高額な大学は本学であり、競合校としている新潟県立大学よりも 750,200 円～1,032,200 円高い設定である。設置形態が私立大学（学校法人）と公立大学（県）のため明らかに大きな差が生じている。また、本学が学生募集地域に設定しているエリアの私立大学では、郡山女子大学（福島県）の初年度納入額が 1,373,000 円、松本大学（長野県）の初年度納入額は 1,500,000 円と、本学が最も高額となっている。

他大学と比較すると本学は高額であるが、先述のとおり「医療系総合大学」としての充実した連携教育やスポーツ分野での多職種連携といった多様な教育機会の提供、高い国家資格取得率と就職実績、さらには近年大きく伸びている研究力を踏まえた大学院進学の魅力等、これまでの実績が一定の評価を得ている。事実、これまでの健康栄養学科の志願状況や定員充足状況からも把握できる。なお、定員増後の施設設備については、既存の施設を改修し、且つ健康栄養学科の多くの実習施設等が入る建物をあらたに建築予定である。

以上から、他大学に比べると高額なものの、従来の実績や競合校に対する優位性、さらには今後の予定も踏まえ、妥当な金額設定であると考える。

〔資料 14：競合校並びに学生募集地域の他大学における学生納付金一覧〕（再掲）

③　先行事例分析

該当なし

④　学生確保に関するアンケート調査

本学科の定員増にあたり、調査対象を以下のア・イの分類でアンケート調査「健康科学部　健康栄養学科　入学定員増に関するニーズ調査」を 2023（令和 5）年 8 月 5 日（土）～2023（令和 5）年 12 月 25 日（月）の期間で実施し、合計 11,725 名の回答を得た。

ア　主な学生募集地域である新潟県・山形県・福島県・長野県・富山県にある高校のうち、これまで本学科への出願や入学の実績があった高等学校に在籍している 2 年生に対する調査（回答数 11,654 名）

イ　2023（令和 5）年度に実施された健康栄養学科のオープンキャンパス参加者を中心に実施。併せて、資料請求者、進学説明会や出張講義の参加者のうち、本学科に興味があると回答した高校 2 年生（都道府県の制限なし）に対する調査（回答数 71 名）

※アの調査期間は 2023（令和 5）年 9 月 7 日（木）～2023（令和 5）年 11 月 6 日（月）、イの調査期間は 2023（令和 5）年 8 月 5 日（土）～2023（令和 5）年 12 月 25 日（月）であり、重複してアンケートに回答していないかを聞く質問を設け、「同じアンケートに回答したことがある」と回答した人は集計から除外しているため、各調査回答者の重複はない。

なお、調査票とともに学部学科等の名称、設置の理念、養成する人材像、アドミッション・ポリシー、設置場所、アクセス、学生納付金、競合校の他、本学科の特色や取得可能な資格等を記載した設置構想資料も配布し、回答者には内容を理解していただいた後に回答していただく形式とした。

また、本調査の実施においては株式会社進研アドを調査実施機関として業務委託し、当該機関と連携のうえ、調査票の送付・回収及び調査を実施のうえ分析した。

〔資料 18：留め置き調査の対象高等学校一覧〕
〔資料 19：調査に用いた調査票様式（高校生対象調査）〕
〔資料 20：調査回答者に提示した資料〕

調査の結果、「学校種（大学）×設置者（私立）×興味のある学問分野（本学科が対象となる食物学・栄養学等）×本学科を第一志望で受験する×合格した場合入学する」のクロス集計の回答者は 81 名（入学定員 80 名の 101.3%）であった。そのほかの結果については以下の表のとおりである。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員が増員された場合、受験を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

Q6. Q5で①～③(受験する)を選択した方に質問です。新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

上段：% 下段：件数（名）		入学意向			
		入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	入学意向あり・合計
受験意向	第一志望	0.7 81	0.02 2	0.02 2	0.7 83
	第二志望	0.1 16	0.5 55	0.01 1	0.6 71
	第三志望以降	0.1 9	1.4 162	0.1 13	1.5 171
	受験意向あり・合計	0.9 106	1.9 219	0.1 16	2.8 325
受験しない		4.6 543			

※%の母数は、回答者全体(11,725名)

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験・入学意向

上表のとおり、他の志望校の状況を考慮しない場合の志望度別入学希望者数は、第一志望受験者が 83 名、第二志望受験者が 71 名、第三志望以降受験者が 171 名であった。また、入学志望順位を考慮しない場合の合格状況別入学志望者は、「合格した場合に入学する」と回答したのは 106 名、「他の志望校が不合格の場合に入学する」（併願志望者）と回答したのは 219 名であった。最大で合計 325 名（入学定員 80 名の 4.1 倍）となった。アンケート調査の結果、現状でも「第一志望で受験し、合格した場合は入学する」と回答した人数は 81 名であり、入学定員 80 名を超えているが、今後の広報活動・学生確保に向けた取組を通して、学科の魅力・特色を訴求することで、第一志望者及び受験者の増加並びに併願志望者を第一志望にしていくことで、入学定員 80 名の充足が可能と考えている。

参考までに現状との比較として、2023（令和 5）年度の本学科の入学者アンケート（2023（令和 5）年 5 月下旬実施）によると、本学科が第一志望だったと回答とした学生は 44 名中 38 名(86.4%)、第二志望だったと回答した学生は 44 名中 3 名(6.8%)、

こだわりなし・未回答が 3 名（6.8%）であった。定員増後も第一志望者および第二志望者が 2023（令和 5）年度入学者と同等の割合の場合、第一志望者（86.4%）は入学定員 80 名のうち 69.1 名、第二志望者（6.8%）は入学定員 80 名のうち 5.4 名となる。今回の調査において、志望順位別の回答者は表に記載のとおり第一志望受験者が 81 名、第二志望受験者 16 名であったため、今回のアンケート結果は現状の第一志望者・第二志望者のどちらも上回る結果であることが確認できる。

また同入学者アンケートにおいて、「本学健康栄養学科の志望度」と「志望校の決定時期」をクロス集計した場合、「第一志望を決定した時期」は高校 2 年生の秋以前が 3 割弱となっている。今回高校 2 年生向けにアンケートを行ったのは「高校 2 年生の夏～秋」の時期であるが、この時点ですでに本学を第一志望と回答しているのが入学定員 80 名の 101.3%にあたる 81 名である。「第一志望を決定した時期」が「高校 2 年生の冬以降」としたのが 7 割以上という結果を踏まえると、今後の広報活動・学生確保に向けた取組によって、第一志望者は十分に増えることが想定できる。

なにより、本学科における過去 5 年間の志願者実数は、2019（平成 31）年度が 259 名、2020（令和 2）年度が 224 名、2021（令和 3）年度が 300 名、2022（令和 4）年度が 265 名、2023（令和 5）年度が 230 名であり、平均志願者実数は 256 名である。従来の結果から見ても、入学定員 80 名は十分に満たすことができると考える。

〔資料 10：既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）〕（再掲）

〔資料 21：2023（令和 5）年度健康栄養学科入学者に対するアンケート〕

また「健康栄養学科」の特色に対する魅力度の 4 項目で、「私立大学に進学したい」且つ興味のある学問分野を「本学科が対象となる食物学・栄養学等」と回答した 891 名のうち、最も学科の特色として魅力が高い項目は、『C．プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している』で 816 名（91.6%）であった。管理栄養士の養成校は多数あるものの、本学のようにスポーツに恵まれた環境でスポーツ栄養を学ぶことができる養成校は少ないため、このような結果になったと推察される。

なお、2 位は『A．本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している』で 804 名（90.2%）、3 位は『B．病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している』で 783 名（87.9%）、4 位は『D．健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している』で 780 名（87.5%）であり、いずれの項目においても高い興味を示された結果であった。また、以下の表は、志望順位×入学意向別「健康栄養学科の特色に対する魅力度」であるが、健康栄養学科に入学意向を示している多くの高校 2 年生が、志望度に関わらず健康栄養学科の特色に

魅力を感じていることが見て取れる。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

Q4. 新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

特色A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している

特色B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している

特色C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している

特色D. 健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している

上段：% 下段：件数（名）	標本数	特色A	特色B	特色C	特色D
ターゲット層	891	90.2 804	87.9 783	91.6 816	87.5 780
第一志望者	81	91.4 74	90.1 73	96.3 78	90.1 73
第二志望者	16	100.0 16	100.0 16	93.8 15	93.8 15
第三志望者以降	9	88.9 8	100.0 9	100.0 9	88.9 8
入学する・合計	106	92.5 98	92.5 98	96.2 102	90.6 96

※第一志望者、第二志望者、第三志望者以降：
ターゲット層（大学進学希望×私立×関連学問分野興味あり）該当者のうち、
新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」を各志望順位で「受験する」かつ「入学する」と回答した人

※%は魅力度（＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値）

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

このように、本学の学びを魅力に感じる高校生も多いため、入学定員 80 名の確保は十分に可能性があると考える。

〔資料 22：入学定員増に関するニーズ調査結果報告書【高校生対象調査】〕

⑤　人材需要に関するアンケート調査等

健康栄養学科の卒業生の主な進路と想定される企業及び団体等として、これまでの本学科卒業生の内定先や本学科へ求人が寄せられた企業・団体（一般企業、行政機関、医療機関、福祉施設、給食施設等）を中心に 700 の企業・団体に対して、2023（令和 5）年 9 月 6 日（水）～2023（令和 5）年 10 月 13 日（金）にかけて採用意向調査を実施し、224 企業・団体（回収率 32.0%）から回答していただいた。なお、株式会社進研アドを調査実施機関とし、調査票の送付・回収及び調査を実施のうえ分析した。

なお、本学科は「健康栄養学科」と称しているが、管理栄養士養成の学科であり、「学則の変更の趣旨等を記載した書類」に記載のとおり、「栄養（食）」に関する高度

な知識や技術をベースに、総合大学の強みを活かして、「医療・福祉」「学校・行政」「スポーツ」「企業」など、他分野と融合した教育・研究活動を展開している。これにより、病気の予防や治療、健康の維持・増進、アスリートの支援、介護、食品開発などあらゆるフィールドで活躍できる管理栄養士を養成しており、そのために養成する人物像として、以下の基本方針を掲げている。

基本方針 1：科学的知識を基に論理的に思考・判断し発信できる管理栄養士
基本方針 2：対象者に共感し個人や集団に対応する解決策を提案できる管理栄養士
基本方針 3：多職種と連携しながら自らが向上していく管理栄養士

そのうえで、次の 4 分野で活躍できる管理栄養士の養成に重点をおいている。

〇医療分野：「医療系科目」を数多く配置し、総合大学のメリットを活かして医療系学科の学生とともに「チーム医療」の一員として活躍できる管理栄養士を養成
〇福祉・介護分野：急速に進む高齢化社会において、医療・福祉・介護に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成
〇スポーツ分野：プロスポーツ選手も輩出している本学の強化指定クラブや、本学とも関連の深いプロスポーツチーム等と連携し、アスリートを栄養サポートできる管理栄養士を養成
〇食品・商品開発分野：健康の維持・増進に大切な食品開発、ライフステージや疾病・疾患に合わせた商品開発を担う管理栄養士を養成

なお、2001（平成13）年の開設以来、一貫して学生全員が管理栄養士を目指しており、当然ながら管理栄養士養成施設として指定されているため、指定の科目を履修することで卒業と同時に管理栄養士国家試験の受験資格を得ることができる（管理栄養士国家試験受験資格取得に必要な本学開設科目はすべて必修科目である）。言い換えれば、卒業生は全員、管理栄養士国家試験の受験資格を得ているため、原則、本学科の卒業生＝本学科が養成している管理栄養士である。

以上のようなことから、当該アンケート調査は、本学科における管理栄養士である卒業生の採用ニーズを把握するための調査と位置付けており、調査時に配付したリーフレットにおいても「管理栄養士を養成する学科」であることを明記している。当該アンケート調査はリーフレットを見たうえでの回答を前提としており、「本学の卒業生を採用したいか」という質問は、先の説明のとおり、「本学科が養成している管理栄養士を採用したいか」と同義であると言える。

また、当該アンケート調査を依頼した企業・団体は、「本学科卒業生の内定先や本学科へ求人が寄せられた企業・団体が中心」であるため、管理栄養士である本学科卒業生の採用実績や採用意向（企業・団体側が求めた実績）を有する企業・団体が多くを占めている。

〔資料 20：調査回答者に提示した資料〕（再掲）
〔資料 23：調査に用いた調査票様式（企業対象調査）〕

調査の結果、回答いただいた 224 の企業・団体のうち 90.6%にあたる 203 の企業・団体より本学科卒業生（＝本学科が養成する管理栄養士）の採用の意向があり、その毎年の採用想定人数を合算すると 332 名という結果であった。332 名という人数は入学定員 80 名の 4.2 倍に相当する。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向

Q10.貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）では、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	採用したいと思う	採用したいと思わない	無回答
全体	224	90.6 203	8.0 18	1.3 3

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

Q11.Q10で「1．採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（あてはまる番号1つに○）

	標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上		年間の採用想定人数を示した企業数・計および採用想定人数・計（※）
全体	203	%	51.7%	18.7%	10.8%	0.0%	3.4%	2.5%		
		企業数	105	38	22	0	7	5	⇒	177
		名	105	76	66	0	35	50		332

※%の母数は、「健康科学部　健康栄養学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（203企業）

※ 毎年の採用想定人数・計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

業種別では、採用想定人数・合計が最も多かった「フードサービス事業」の採用意向は、100.0%（22 企業中、22 企業）。採用想定人数の合計は 92 名。第 2 位の「医療」の採用意向は、95.2%（84 企業中、80 企業）。採用想定人数の合計は 88 名であり、「フードサービス事業」または「医療」だけでも入学定員 80 名を上回る採用意向が

あった。第3位が「福祉」で採用意向は89.1%（55企業中、49企業）。採用想定人数の合計は71名。第4位が「食品製造業」で採用意向は90.0%（10企業中、9企業）。採用想定人数の合計は18名。第5位が「保育所・幼稚園」で81.3%（16企業中、13企業）。採用想定人数の合計は17名。このように、医療・福祉現場だけでなく、一般企業や保育所・幼稚園など、多くの業種で採用意向がみられることから、幅広い分野において本学科に対する期待がうかがえる。

なお、本年度の採用を「増やす」予定の企業からの採用意向は、94.3%（70企業中、66企業）。採用想定人数の合計は132名で予定している入学定員数を1.7倍上回っている。本年度の採用が「昨年度並み」予定の企業からの採用意向は93.0%（129企業中、120企業）。採用想定人数の合計は188名で予定している入学定員数を2.4倍上回っている。また、本学科が社会的に「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は92.8%（207企業中、192企業）。採用想定人数の合計は321名で予定している入学定員数を4.0倍上回っている。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

＜属性別＞

上段：% 下段：件数（企業）		標本数	採用 したいと思う	採用想定 人数・合計
全体		224	90.6 203	332名
業種別	医療	84	95.2 80	88名
	福祉	55	89.1 49	71名
	公務	24	70.8 17	11名
	食品製造業	10	90.0 9	18名
	派遣業・業務委託・アウトソーシング	1	100.0 1	3名
	保育所・幼稚園	16	81.3 13	17名
	フードサービス事業	22	100.0 22	92名
	サービス業	3	100.0 3	13名
	飲食店・宿泊業	2	100.0 2	4名
	卸売・小売業	6	100.0 6	14名
	その他	1	100.0 1	1名
本年度の採用予定数別	増やす	70	94.3 66	132名
	昨年度並み	129	93.0 120	188名
	減らす	10	60.0 6	4名
	未定	15	73.3 11	8名
社会的必要性別	必要だと思う	207	92.8 192	321名
	必要だと思わない	12	58.3 7	9名

※ 採用想定人数・合計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数

「今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいと考えているか」の問いに対し管理栄養士の養成に関わる「食物学（管理栄養士養成課程、健康栄養学、食健康科学など）」を選択した企業での採用意向は99.3%（135 企業中、134 企業）で、その採用想定人数の合計は 250 名（入学定員 80 名の 3.1 倍）だった。「管理栄養士養成課程」のみを抽出することは不可能であるが、「管理栄養士養成課程」「健康

栄養学」「食健康科学」の 3 分野で按分しても、1 分野あたり 83.3 名となり本学科が養成する管理栄養士の需要が入学定員 80 名を上回ることが確認できる。このことから十分、本学科が養成する管理栄養士の需要を確認できる。

また、本学科の特色となる学びである「その他栄養学（健康スポーツ栄養学、運動栄養学など)」を選択した企業・団体での採用意向は、100.0%（28 企業中、28企業）で、採用想定人数の合計は 54 名。さらに「保健（栄養学、臨床栄養学、保健栄養学など)」を選択した企業・団体での採用意向は、94.7%（57 企業中、54 企業）で、その採用想定人数の合計は 90 名であった。学問分野では「管理栄養士養成課程」が含まれる「食物学」が中心となるが、本学科は前述のとおり、医療分野、福祉・介護分野、スポーツ分野で活躍できる管理栄養士を養成していることから、上記 3 分野すべてが本学科で養成する管理栄養士に該当すると考える。その場合は、250 名＋54 名＋90 名＝394 名（入学定員 80 名の 4.9 倍）となり、本学科が養成する管理栄養士としての需要を確認できる。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜学問分野別＞

※新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

＜採用したい学問分野別＞

上段：% 下段：件数（企業）		標本数	採用 したいと思う	採用想定 人数・合計（※1）
全体	全体	224	90.6 203	332名
	食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）	135	99.3 134	250名
	その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）	28	100.0 28	54名
	保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）	57	94.7 54	90名
	保健（医学，歯学，薬学，看護学など）	87	88.5 77	85名
	家政学，被服学，住居学，児童学	18	94.4 17	21名
	理学・工学（数学，化学，物理工学など）	11	90.9 10	9名
	農学（農学，林学，水産学など）	10	100.0 10	12名
	人文科学（文学，史学，哲学など）	9	100.0 9	7名
	社会科学（法学，商学，社会学など）	29	96.6 28	27名
	その他	20	85.0 17	30名
	学んだ学問分野にはこだわらない	46	84.8 39	53名

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する
採用意向／採用想定人数（学問分野別）

本学科の特色に対する魅力度（「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値）は、4 項目中 3 項目で 7 割を超える。最も魅力度が高いのは、『Ｂ．病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している』で 95.5%である。同項目は「とても魅力を感じる」の割合も 55.8%で最も高い。次いで、『Ａ．本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している』が 92.4%と続く。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

Q8. 新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」には、以下のような特色があります。
貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

特色A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している

特色B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している

特色C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している

特色D. 健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	魅力度（※）	無回答
特色A	224	41.1	51.3	6.7	0.9	92.4	0.0
		92	115	15	2	207	0
特色B	224	55.8	39.7	4.0	0.4	95.5	0.0
		125	89	9	1	214	0
特色C	224	12.1	45.1	36.6	6.3	57.1	0.0
		27	101	82	14	128	0
特色D	224	21.9	48.7	25.0	4.0	70.5	0.4
		49	109	56	9	158	1

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度（全体）

アンケート調査に用いたリーフレットに記載の本学科の 4 つの特色は以下のとおり。

○『A．本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している』

○『B．病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している』

○『C．プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している』

○『D．健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している』

回答者のうち、採用意向企業に限定した場合も本学科の特色に対する魅力度は、4 項目中 3 項目で 7 割を超える。最も魅力度が高いのは、全体と同じく『B．病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必

要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している』で 96.1%である。同項目は「とても魅力を感じる」の割合も 60.6%最も高く、全体でのスコアと比べてもより高い割合となっている。次いで、『A．本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している』が 94.6%と続く。

＜採用意向企業ベース＞

特色A	203	45.3 92	49.3 100	4.9 10	0.5 1	94.6 192	0.0 0
特色B	203	60.6 123	35.5 72	3.9 8	0.0 0	96.1 195	0.0 0
特色C	203	13.3 27	45.8 93	35.5 72	5.4 11	59.1 120	0.0 0
特色D	203	24.1 49	49.3 100	23.6 48	2.5 5	73.4 149	0.5 1

※%の母数は、採用意向企業（203企業）

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度（採用意向企業）

管理栄養士の養成に関わる学問分野「食物学（管理栄養士養成課程、健康栄養学、食健康科学など）」を学んだ人物を「採用したい」、且つ「管理栄養士を養成することを明記した本学科の特色」4 項目すべてに対して「魅力を感じる」（とても魅力を感じる又はある程度魅力を感じる）と回答した「管理栄養士へのニーズが高い企業のみに限定」して、採用意向と採用想定人数の合計を確認した結果、該当したのは78企業であった。そのうち採用意向は 98.7%（78 企業中、77 企業）で、採用想定人数の合計は 155 名（入学定員80名の1.9倍）であった。管理栄養士へのニーズが高い企業・団体に限定した場合でも、入学定員 80 名の 2 倍近い採用想定人数が見られた。

さらに、特色 4 項目すべてに対して「魅力を感じる」且つ「その他栄養学（健康スポーツ栄養学、運動栄養学など）」を学んだ人物を採用したい企業・団体の採用意向は100.0%（18 企業中、18 企業）で採用想定人数の合計は 36名であった。同じく「保健（栄養学、臨床栄養学、保健栄養学など）」での採用意向は 96.6%（29 企業中、28 企業）で採用想定人数の合計は 49 名であった。

繰り返しになるが、本学科は前述のとおり、医療分野、福祉・介護分野、スポーツ分野で活躍できる管理栄養士を養成していることから、上記の 3 分野すべてが本学科で養成する管理栄養士に該当すると考えた場合、155 名＋36名＋49 ＝240 名（入学定員80名の3.0 倍）となり、管理栄養士へのニーズが高い企業のみに限定した場合でも、本学科で養成する管理栄養士の需要が高いと言える。

上記のとおり、第三者機関による調査にて本学科の関連する「学問分野」あるいは「特色に対する魅力度」について改めてクロス集計したところ、十分な採用意向を得ており、本学科が養成する「管理栄養士」としての需要が収容定員増加後の入学定員 80 名を上

回るため、人材需要の動向に整合した入学定員と言える。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜学問分野別＞

※新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

＜【「健康科学部 健康栄養学科」の特色4項目すべてに魅力を感じた企業のみ】採用したい学問分野別＞

上段：% 下段：件数（企業）		標本数	採用したいと思う	採用想定人数・合計（※1）
特色すべてに魅力を感じた企業のみ（※2）	全体	121	94.2 114	203名
	食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）	78	98.7 77	155名
	その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）	18	100.0 18	36名
	保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）	29	96.6 28	49名
	保健（医学，歯学，薬学，看護学など）	36	94.4 34	41名
	家政学，被服学，住居学，児童学	7	100.0 7	10名
	理学・工学（数学，化学，物理工学など）	6	100.0 6	7名
	農学（農学，林学，水産学など）	9	100.0 9	12名
	人文科学（文学，史学，哲学など）	5	100.0 5	5名
	社会科学（法学，商学，社会学など）	13	100.0 13	15名
	その他	13	92.3 12	22名
	学んだ学問分野にはこだわらない	29	86.2 25	33名

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する
採用意向／採用想定人数（学問分野別）
「健康科学部　健康栄養学科」の特色４項目すべてに魅力を感じた企業のみ

こうした中で、本学科の社会的必要性については、全体の 92.4%にあたる 207 企業・団体が「必要だと思う」と回答している。また前述のとおり、そのうち 192 企業・団体で合計 321 人、入学定員 80 名の 4.0 倍以上の採用意向を示している。この点からも本学科の社会的必要性について高く評価している企業・団体からの採用意向は強いと考える。

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）は、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	必要だと思う	必要だと思わない	無回答
全体	224	92.4 207	5.4 12	2.2 5

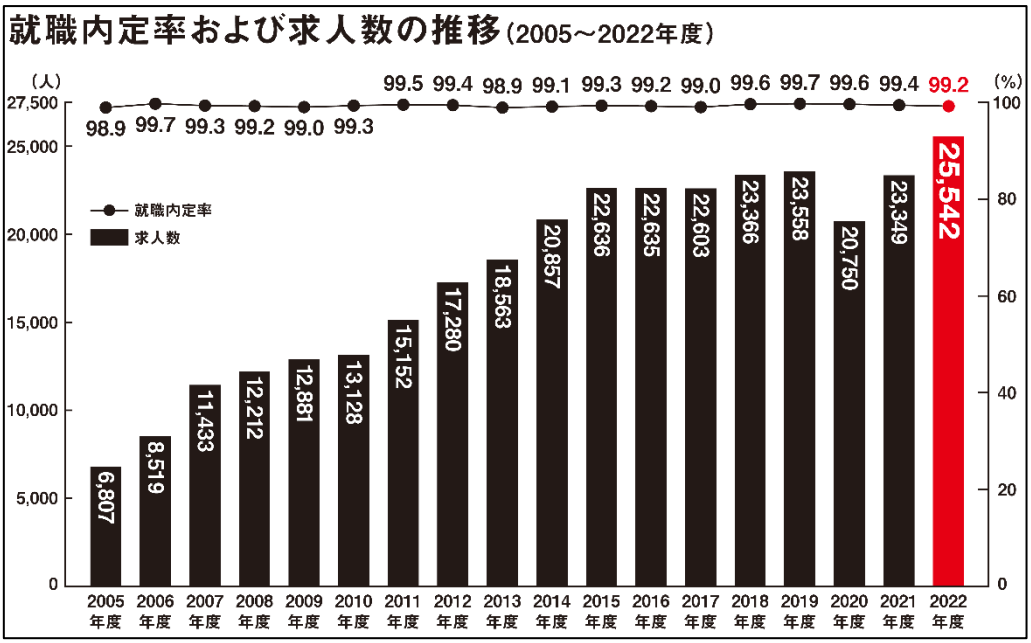
新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の社会的必要性

〔資料 24：入学定員増に関するニーズ調査結果報告書【企業対象調査】〕
〔資料 25：学問分野別採用意向分析資料〕

前述の本学科の社会的必要性と採用意向の裏付けとなる実績に関して、本学は「保健・医療・福祉・スポーツの総合大学」を標榜し、各学科の教員が医療系専門職の国家試験受験資格をはじめとする各種資格取得の支援に重点を置くとともに、「優れたQOL サポーターの育成」を目指すという教育研究上の目的のもと、他学科（他職種）との連携教育も特色としている。このような特色化した大学教育により、関連職種への理解と高いコミュニケーション力は、病院などの医療機関や福祉施設をはじめ、あらゆる現場から高い評価を受けている。

なお、過去 5 年間での本学卒業生全体の就職内定率は、2018（平成 30）年度 99.6%、2019（平成 31）年度 99.7%、2020（令和 2）年度 99.6%、2021（令和 3）年度 99.4%、2022（令和 4）年度 99.2%と堅調に推移している。

また、過去 5 年間の本学全体に寄せられた求人数は、2018（平成 30）年度 23,366 名、2019（平成 31）年度 23,558 名、2020（令和 2）年度 20,750 名、2021（令和 3）年度 23,349 名、2022（令和 4）年度 25,542 名とコロナ禍のピーク時は一時的に減少したものの、直近では過去最高の求人数が寄せられている。



新潟医療福祉大学　就職内定率及び求人数の推移（2005～2022 年度）

一方、過去 5 年間の健康栄養学科の就職内定率は、2018（平成 30）年度 100.0%、2019（平成 31）年度 100.0%、2020（令和 2）年度 100.0%、2021（令和 3）年度 97.3%、2022（令和 4）年度 100.0%と堅調に推移している。2022（令和 4）年度卒業生の施設別就職内定状況（2023（令和 5）年 3 月 31 日現在）は、一般企業 23%、社会福祉施設・老司福祉施設・児童福祉施設 20%、公務・大学・団体・組合 18%、医療福祉サービス企業 16%、病院・診療所・クリニック 13%、委託給食企業 10%、と大学での学びを活かした幅広いフィールドで活躍している。なお、本学科の特徴の一つであるスポーツ栄養を学び、スポーツ分野で活躍している卒業生の多くは「委託給食企業」へ就職のうえ、スポーツ選手が所属する企業や団体に派遣されている。そのためスポーツ分野は「委託給食企業」に分類されている。

企業の新卒採用意欲は依然として高い傾向にあり、これは実学を重視している本学学生が専門職として就職先企業等に貢献してきた実績からと推察される。結果として、開学以来、高い就職内定率を維持している。このような高い就職実績は、国家試験受験資格をはじめとする各種資格取得への支援は勿論のこと、学生一人ひとりの希望や適性に応じて、本学のキャリア支援室と各学科基幹教員が一体となり、毎年度、就職支援にあたっていることが高い就職内定率として表れているものと評価する。

以上のことから、本学科は入学定員 80 名以上の就職先を確保できる見通しである。

なお、本学はこれを確実に実現するために、学生一人ひとりの進路希望を早期から把握し、教育課程内外で進路に向き合う意識を醸成していく。また、学生一人ひとりの学力、学習の到達度、個性、適性等を学年担当とゼミ担当教員が互いに情報共有しながら、適切に就職指導・支援を行っていくとともに、本学事務局キャリア開発室と学科の就職センター運営委員が連携した体制とする。

そのほか、本学科が養成する「管理栄養士」としての社会的需要を示す客観的なデータとして、過去 5 年間に本学科に寄せられた管理栄養士の求人者数の推移を見ると、2019（平成 31）年度837 名、2020（令和 2）年度 735 名、2021（令和 3）年度 778 名、2022（令和 4）年度 893 名、2023（令和 5）年度 814 名である。過去 5 年間の平均では約 811 名の求人者数となり、且つ全国 45 の都道府県から多くの求人が寄せられている。この約 811 名の求人者数は、入学定員 80 名に増員された場合でも 10.1 倍に相当する。そのため過年度の実績から見ても、入学定員 80 名を大きく上回る需要があることが確認できる。

2001（平成 13）年の学科開設以降、全国的に管理栄養士養成施設が新設され、多くの管理栄養士が輩出されているが、その状況においても、本学科は、例年多数の求人をいただき、且つ採用いただいている。これはすなわち、本学の教育・研究・指導が高く評価されている証左であり、それこそが本学科が養成する管理栄養士への高い社会的需要を示す根拠に他ならないと考える。

業種	2019(平成31)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度		2022(令和4)年度		2023(令和5)年度		過去5年平均	
	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数
派遣業・業務委託・ｱｳﾄｿｰｼﾝｸﾞ	275	42	280	45	262	38	337	46	287	46	288.2	43.4
医療・病院	205	129	163	107	204	119	251	146	255	152	215.6	130.6
福祉・介護	214	98	228	115	170	102	185	85	141	51	187.6	90.2
保育所・幼稚園	71	16	10	7	74	20	40	12	95	15	58	14
公務員	31	19	22	14	22	17	29	24	24	17	25.6	18.2
飲食・宿泊業	10	1	6	2	18	5	13	5			9.4	2.6
卸売・小売業	8	3	16	4	3	2	3	2	7	2	7.4	2.6
食品製造					14	2	10	1			12	1.5
サービス業	3	2	10	1					1	1	2.8	0.8
その他	20	2			11	3	25	5	4	2	12	2.4
総計	837	312	735	295	778	308	893	326	814	286	811.4	305.4

本学科に寄せられた管理栄養士の求人者数（業種別）の推移

	2019(平成31)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度		2022(令和4)年度		2023(令和5)年度	
	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数	求人者数	求人件数
北海道	10	1	4	1	3	2	4	3	2	2
青森県	3	3	11	4	5	2	1	1	5	4
岩手県	35	6	20	5	6	3	2	2	4	3
宮城県	18	9	33	16	4	3	1	1	9	5
秋田県	8	5	6	4	2	1	7	5	12	4
山形県	7	6	7	7	7	6	6	4	17	11
福島県	72	32	52	31	48	31	46	20	31	13
茨城県	6	2	3	2	6	3	13	5	3	2
栃木県	12	6	22	5	13	4	17	6	16	7
群馬県	4	4	16	10	20	12	27	14	8	6
埼玉県	58	17	19	10	35	17	23	10	37	13
神奈川県	37	17	52	16	18	10	52	18	27	10
東京都	251	47	239	51	306	54	311	55	351	55
千葉県	28	13	11	9	24	13	23	15	14	11
新潟県	73	33	37	22	74	28	92	40	101	35
長野県	29	17	38	10	30	13	48	17	23	15
山梨県	1	1	2	2	4	2	2	2	3	2
富山県	16	11	29	11	26	9	25	9	35	12
福井県	4	3	7	5	10	6	16	10	1	1
石川県	8	5	5	5	9	7	4	4	4	3
岐阜県			1	1	2	2	1	1		
静岡県	16	9	44	25	22	12	14	13	23	11
愛知県	15	11	7	7	22	10	19	9	9	9
三重県	2	2	2	2	10	9	1	1	3	3
京都府	6	6	4	4	9	9	9	8	14	12
大阪府	45	18	36	8	14	14	47	15	37	17
奈良県	2	2	1	1	2	2	22	4	2	2
和歌山県	2	1	1	1	2	1	1	1		
兵庫県	30	7	6	3	12	3	14	6	2	2
滋賀県	7	3			4	3	3	3	4	3
岡山県	2	2			1	1	5	4	3	3
広島県	1	1	3	3	3	3	5	4	1	1
山口県	11	2	2	2	4	4	4	4	2	1
島根県			3	3	1	1				
鳥取県	2	2	4	4	1	1			2	2
徳島県	1	1					3	2		
高知県	6	3	5	2	5	2	1	1	2	2
香川県			1	1	1	1	1	1		
愛媛県			1	1			2	2	4	1
福岡県	4	1			2	2	6	2	1	1
佐賀県							3	1		
長崎県	1	1								
熊本県					10	1	11	2		
鹿児島県	1	1					1	1	1	1
沖縄県	3	1	1	1	1	1			1	1
総計	837	312	735	295	778	308	893	326	814	286

本学科に寄せられた管理栄養士の求人者数（都道府県別）の推移

（４）新設組織の定員設定の理由

これまで述べてきたように、本学の置かれた環境、栄養に関する社会情勢、本学の志願状況・入学状況及び充足状況、企業・団体等からの需要等を踏まえ、本学科の入学定員を現行の 40 名から 80 名へ増員する。この定員設定の主たる根拠は次の 4 点である。

1 点目は、管理栄養士の需要拡大である。人生 100年時代を迎え、社会が多様化、各人の健康課題も多様化する中、国の国民健康づくり運動「健康日本21（第3次）」において、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとして、「誰一人取り残さない健康づくり」や「より実効性をもつ取組の推進」に重点を置くことが明記され、適切な栄養・食生活や食環境改善の重要性が示されている。新潟県においても同様で、2001（平成13）年3月に「健康にいがた21」を策定し、県民一人一人が、健康づくりに取り組み「すこやかで、いきがいに満ちた生活を送ることができる社会」の実現を目指すことを基本理念に県民の主体的な健康づくりを推進しており、本施策での栄養・食生活分野の活動促進等において、新潟県における管理栄養士の養成は急務となっている。このように現在の日本社会において栄養学分野が果たすべき役割・期待が高まっている中で管理栄養士の需要拡大に対応すべく、現行の定員40名から80名するものである。特に本学が重点をおく 4 分野（医療分野、福祉・介護分野、スポーツ分野、食品・商品開発分野）においても今後ますます需要が拡大される見込みであるため、80 名は適切な人数と言える。

次に 2 点目として、本学及び競合校の定員充足状況と、現時点での本学の第一志望者数、本学の実志願者数にある。競合校（新潟県立大学）は入学定員 40 名に対し平均志願者数は 289 名、平均定員充足率は 1.07 倍と堅調に推移しており、本学の健康栄養学科が定員増した場合でも学生を確保できるだけの志願者数があると見込んでいる。なお、競合校以外の大学として、本学が主な学生募集地域としている山形県・福島県・長野県・富山県（富山県のみ養成大学なし）にある管理栄養士養成大学の多くは平均定員充足率1.04 倍～1.08倍で推移しており安定しているのが確認できる。また、ニーズ調査（高校 2 年生向けアンケート）においても、現時点で本学を第一志望で受験（合格したら入学する）と回答した高校 2 年生が 81 名（入学定員 80 名の 101.3%）いること、さらに、本学の過去 5 年間の平均志願者実数は 256 名であり、今後の広報活動や学生確保に向けた取り組みを通じて、この数はさらに増えることが予想されるため、入学定員 80 名は妥当と言える。

そして 3 点目として、出口の需要である。ニーズ調査（企業・団体向けアンケート）が示すように本学科の卒業生（＝本学科が養成する管理栄養士）に関する採用意向について 203 企業・団体より回答をいただき、採用想定人数の合計は 332 名（入学定員80名の 4.2 倍）と回答を得ている。なお管理栄養士の養成に関わる「食物学（管理栄養士養成課程、健康栄養学、食健康科学など）」を選択した企業での採用意向は99.3%（135企業中、134 企業）で、その採用想定人数の合計は 250名（入学定員 80 名の 3.1 倍）だった。「管理栄養士養成課程」「健康栄養学」「食健康科学」の 3 分野で按分しても、1

分野あたり 83.3 名となり、本学科が養成する管理栄養士の需要が入学定員 80 名を上回ることが確認できる。また、管理栄養士を養成することを明記した本学科の特色 4 項目すべてに対して「魅力を感じる」（とても魅力を感じる又はある程度魅力を感じる）と回答した、「管理栄養士へのニーズが高い企業のみに限定」して、採用意向と採用想定人数の合計を確認した結果、該当したのは 78 企業であった。そのうち採用意向は 98.7%（78 企業中、77 企業）で、採用想定人数の合計は 155 名（入学定員 80 名の 1.9 倍）であった。

さらに、2019（平成 31）～2023（令和 5）年度に本学科に寄せられた管理栄養士の求人者数を見ると、過去 5 年間の平均では約 811 名（入学定員 80 名の 10.1 倍）の求人者数となり、全国 45 の都道府県から求人が寄せられている。このように全国から例年多数の求人をいただき、且つ採用いただいている実績を積み重ねている。これはすなわち、本学の教育・研究・指導が高く評価されている証左であり、それこそが本学科が養成する管理栄養士への高い社会的需要を示す根拠に他ならないと考える。このことも定員設定 80 名の理由である。

最後に 4 点目として、教員数である。本学科の教員数は定員増初年度から 25 名を予定しており、本学科の教育内容の性格（連携教育、臨地実習科目の充実度等）を踏まえ、80名であれば十分な指導体制を構築できると判断した。なお、近隣県に立地する入学定員80名の管理栄養士養成大学の教員数と比較しても、本学科の教員数が一番多い設定となっているため、学生一人ひとりにより手厚い教育が可能であると考える。

以上が入学定員 80 名とする理由である。

〔資料 26：入学定員 80 名程度の近隣他大学の教員数〕

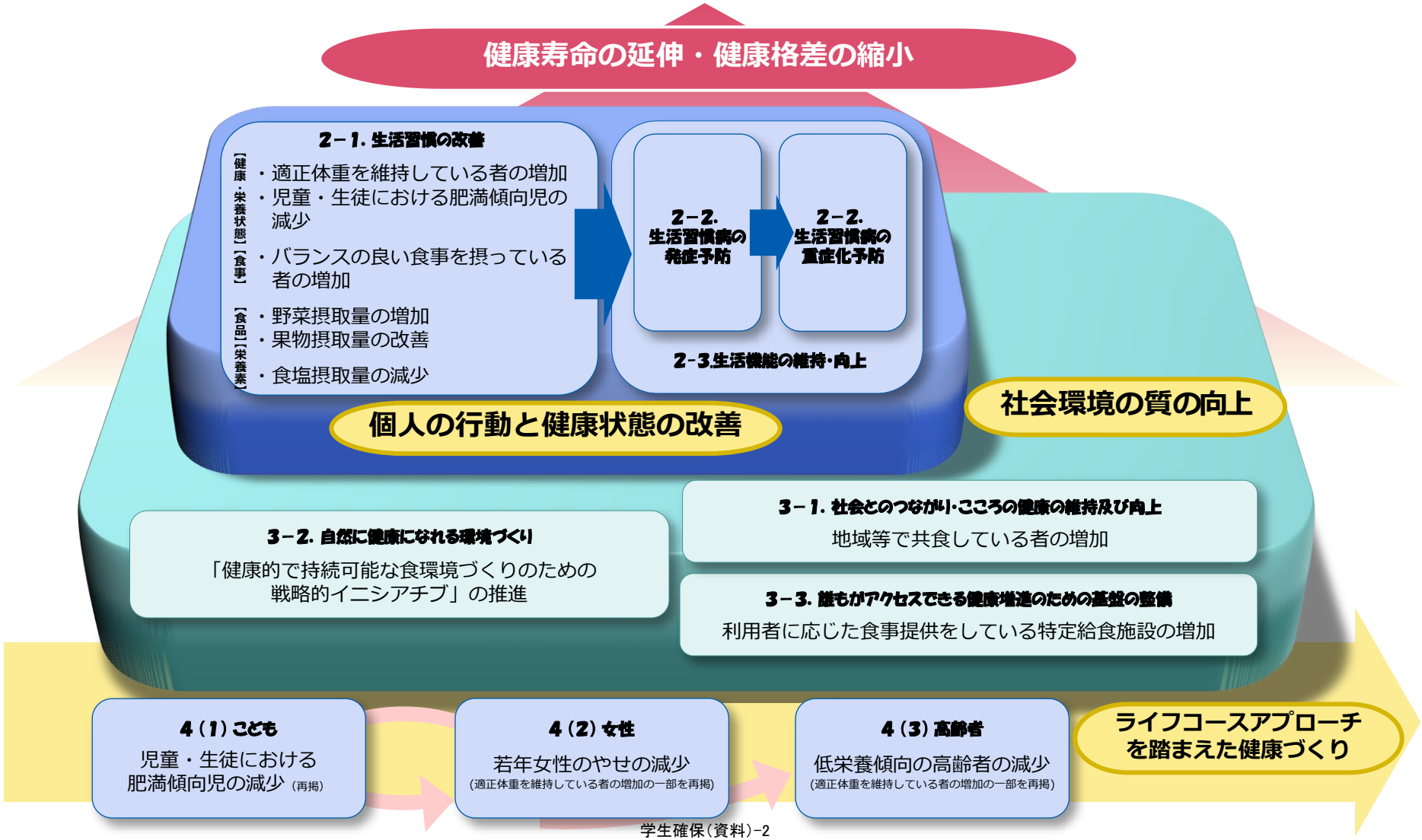
学生の確保の見通し等を記載した書類　添付資料

目次

資料１　健康・栄養施策の動向～健康日本２１（第三次）の策定について～　・・・・・・・・　２
資料２　新潟県及び近隣県の人口及び管理栄養士養成校数　・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
資料３　リクルート進学総研マーケットリポート２０２２Ｖｏｌ．１０６全国版　・・・・・　６
資料４　リクルート進学総研マーケットリポート２０２２Ｖｏｌ．１１１甲信越版　・・・・　８
資料５　新潟県及び近隣県における大学への現役進学者数及び進学率　・・・・・・・・・・・　１０
資料６　４年生大学への進学率と１８歳人口の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
資料７　新設組織が置かれる都道府県への入学状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
資料８　過去５年間の健康栄養学科における入学者数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
資料９　２０２１（令和３）～２０２３（令和５）年度県内大学入学定員充足率　・・・・・　１４
資料１０　既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
資料１１　既設学科等の学生募集のためのＰＲ活動の過去の実績　・・・・・・・・・・・・・・　２９
資料１２　健康栄養学科年間学生募集広報計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
資料１３　本学および競合校の選抜区分とスケジュール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
資料１４　競合校並びに学生募集地域の他大学における学生納付金一覧　・・・・・・・・・・・　３２
資料１５　ＮＲ・サプリメントアドバイザー２０２３受験案内　・・・・・・・・・・・・・・・　３３
資料１６　２０２１（令和３）～２０２３（令和５）年度本学及び競合校の入学志願状況等　・　３５
資料１７　競合校並びに学生募集地域の他大学における入試状況　・・・・・・・・・・・・・・　３６
資料１８　留め置き調査の対象高等学校一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
資料１９　調査に用いた調査票様式（高校生対象調査）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８
資料２０　調査回答者に提示した資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０
資料２１　２０２３（令和５）年度健康栄養学科入学者に対するアンケート　・・・・・・・・・　４２
資料２２　入学定員増に関するニーズ調査結果報告書【高校生対象調査】　・・・・・・・・・・　４３
資料２３　調査に用いた調査票様式（企業対象調査）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５８
資料２４　入学定員増に関するニーズ調査結果報告書【企業対象調査】　・・・・・・・・・・・　６０
資料２５　学問分野別採用意向分析資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７６
資料２６　入学定員８０名程度の近隣他大学の教員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７８

健康日本21（第三次）の概念図と栄養・食生活に関連する目標

栄養・食生活は、生命の維持に加え、こども達が健やかに成長し、また人々が健康で幸福 な生活を送るために欠くことのできない営みである。また、多くの生活習慣病（ＮＣＤｓ） の予防・重症化予防のほか、やせや低栄養等の予防を通じた生活機能の維持・向上の観点からも重要である。さらに、個人の行動と健康状態の改善を促すための適切な栄養・食生活やそのための食事を支える食環境の改善を進めていくことも重要である。



誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

- 健康づくりを行うに当たっては、保健・医療・福祉等へのアクセスが確保されていることに加え、様々な基盤を整えることが重要である。
- 近年、自治体のみならず企業や民間団体といった多様な主体による健康づくりが広まっており、そうした取組をさらに推進していくことが必要である。
- 個人の健康づくりを後押しするには、科学的根拠に基づく健康に関する情報を入手・活用できる基盤構築に取り組むとともに、周知啓発の取組を推進していく ことが求められる。

利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加

＜背景＞

・職場で提供される食事や栄養管理の改善により、野菜や果物の摂取量の増加、食事の改善、肥満などの健康状態の改善に寄与することが報告されている。

・給食施設は、全国で約9.4万施設存在し、このうち健康増進法に基づく特定給食施設は約5.1万施設に上る。これらの施設で提供される食事の量及び質の改善等が図られ、利用者の健康の維持・増進に寄与することが求められる。

・「健康経営」の考え方が広がり、職域で健康づくりに取り組む機運が高まっており、職場で提供される食事を含めた食環境の改善は、従業員の健康づくりだけでなく、経営面からも重要である。

＜目標値の考え方＞

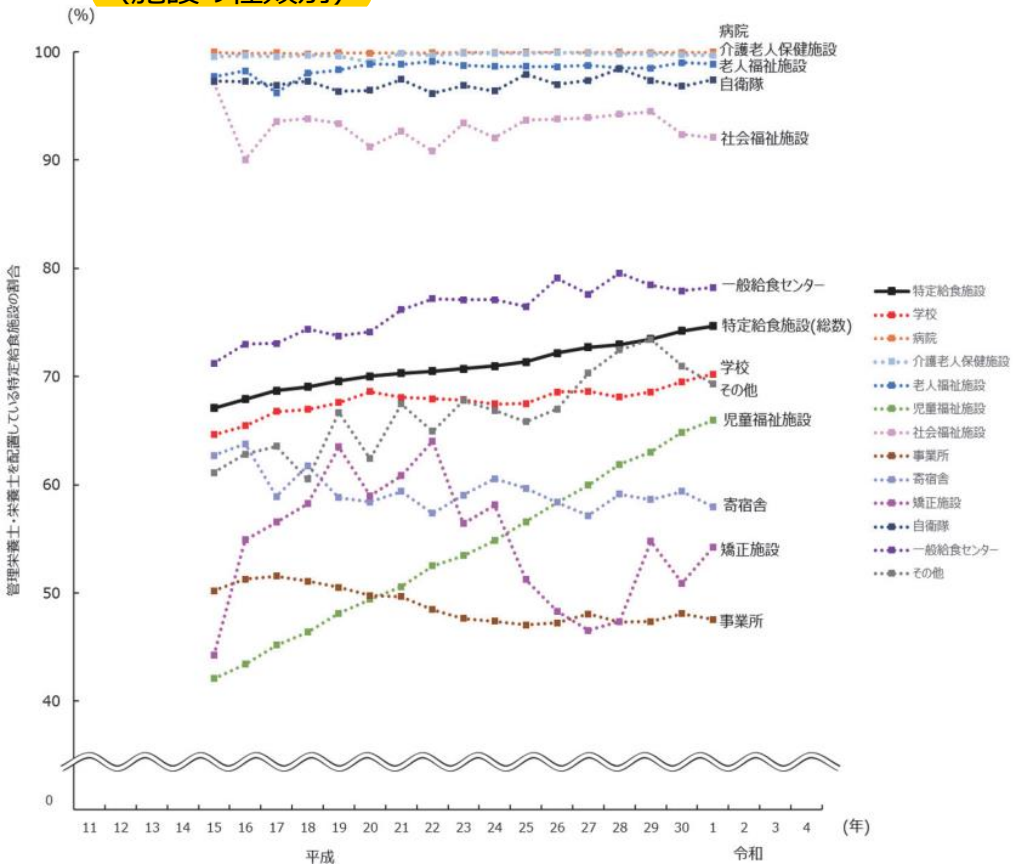
・健康増進法において、特定給食施設のうち特別な栄養管理を必要とする施設は管理栄養士を配置しなければならないとされているが、これに該当する病院、介護老人保健施設のうち 管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合は100%に近いため、これらの施設は対象から除外すると、現状値は70.8%。

・健康増進法の施行（平成15年）から令和３年までの推移を踏まえると、令和14年の推計値は約77%。

・これまでの配置状況を踏まえた今後の実行可能性の観点から、指標を管理栄養士・栄養士を配置している施設（病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く。）の割合とした。

⇒目標値を75%とした

図　管理栄養士･栄養士を配置している特定給食施設の割合（施設の種類別）



出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

多様な主体・多分野連携について

（１）多様な主体による連携及び協力

誰一人取り残さない健康づくりを効果的に展開するためには、行政だけでなく、地域の関係者や民間部門の協力が必要である。保健、医療、福祉の関係機関及び関係団体並びに大学等の研究機関、企業、教育機関、ＮＰＯ、ＮＧＯ、住民組織等の関係者が連携し、効果的な取組を行うことが望ましい。地方公共団体は、これらの関係者間の意思疎通を図りつつ、協力を促していくことが望ましい。

（２）関係する行政分野との連携

健康増進の取組を推進するには、国と地方公共団体のいずれにおいても、様々な分野との連携が必要である。医療、食育、産業保健、母子保健、生活保護、生活困窮者自立支援、精神保健、介護保険、医療保険等の取組に加え、教育、スポーツ、農林水産、経済・産業、まちづくり、建築・住宅等の分野における取組と積極的に連携することが必要である。

（３）人材の育成等

健康増進の取組には、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、管理栄養士等の様々な専門職が携わっており、国及び地方公共団体は、これらの人材の確保及び資質の向上に努めるものとする。また、これらの人材が自己研鑽に励むことができるような環境整備を行う。加えて、これらの人材の連携（多職種連携）が進むよう支援を行う。 上記に加え、医療・公衆衛生分野のみならず、福祉分野をはじめとする様々な専門職、食生活改善推進員、運動普及推進員、禁煙普及員等の住民組織、健康スポーツ医や健康運動指導士との連携を通じた健康づくりに努める。

資料2：新潟県及び近隣県の人口及び管理栄養士養成校数

出所：各県および各大学のホームページ等での公表情報をもとに新潟医療福祉大学にて作成

所在地	人口 2023（令和5）年10月1日現在	総入学定員	入学定員 （人口10万人対）	大学名	学部学科	入学定員
新潟県	2,126,276人	120名	5.6名	新潟医療福祉大学	健康科学部 健康栄養学科	40名
				新潟県立大学	人間生活学部 健康栄養学科	40名
				北陸食育フードカレッジ （専門学校）	管理栄養士科学科	40名
宮城県	2,263,552人	300名	13.3名	宮城学院女子大学	生活科学部 食品栄養学科	100名
				仙台白百合女子大学	人間学部 健康栄養学科	80名
				尚絅学院大学	健康栄養学群 健康栄養学類	80名
				東北生活文化大学	家政学部 家政学科	40名
山形県	1,026,228人	42名	4.1名	山形県立米沢栄養大学	健康栄養学部 健康栄養学科	42名
福島県	1,766,912人	80名	4.5名	郡山女子大学	家政学部 食物栄養学科	80名
群馬県	1,900,840人	240名	12.6名	高崎健康福祉大学	健康福祉学部 健康栄養学科	80名
				桐生大学	医療保健学部 栄養学科	60名
				東洋大学	食環境科学部 健康栄養学科	100名
長野県	2,005,274人	100名	5.0名	松本大学	人間健康学部 健康栄養学科	70名
				長野県立大学	健康発達学部 食健康学科	30名
石川県	1,109,574人	145名	13.1名	金沢学院大学	栄養学部 栄養学科	80名
				北陸学院大学	健康科学部 栄養学科	65名

18歳人口予測（全体：全国：2022～2034年）

資料3

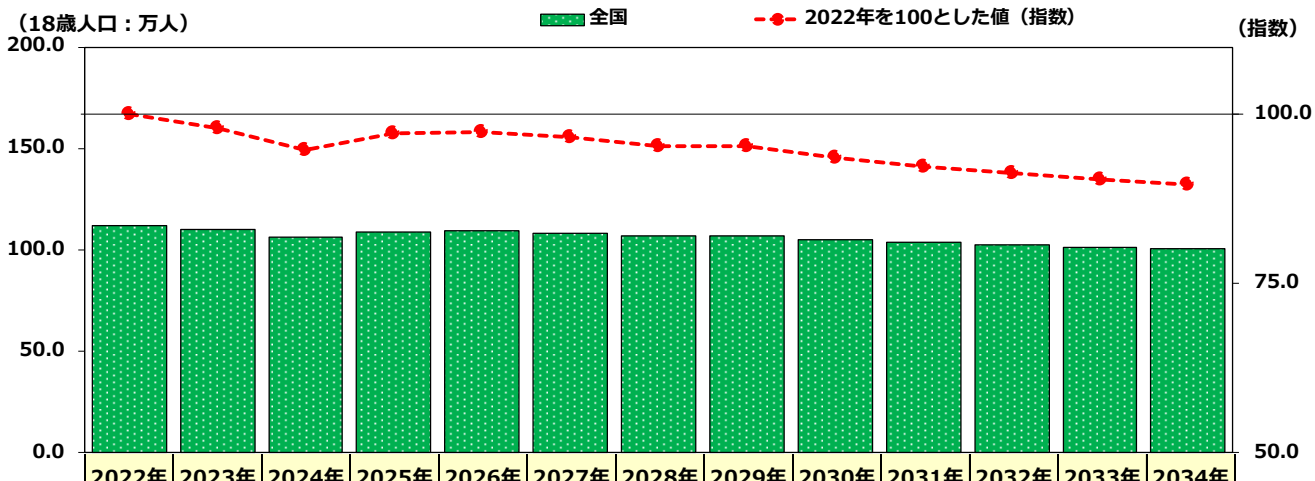
■2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

① 2022年～2024年：3年連続減少（112.1万人から106.3万人、5.8万人減少）。
特に2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。

② 2025年～2027年：2025年に109.1万人と2024年106.3万人に対し2.8万人増加に転じ、
2026年は109.3万人で横ばい、2027年は108.4万人と微減が続く。

③ 2028年～2034年：2028年は106.8万人と2027年108.4万人に対し再び1.6万人減少し、
2034年は100.6万人となる。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全体	人数 （万人）	112.1	109.7	106.3	109.1	109.3	108.4	106.8	106.9	105.0	103.5	102.4	101.4	100.6
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7

① ② ③

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

リクルート進学総研

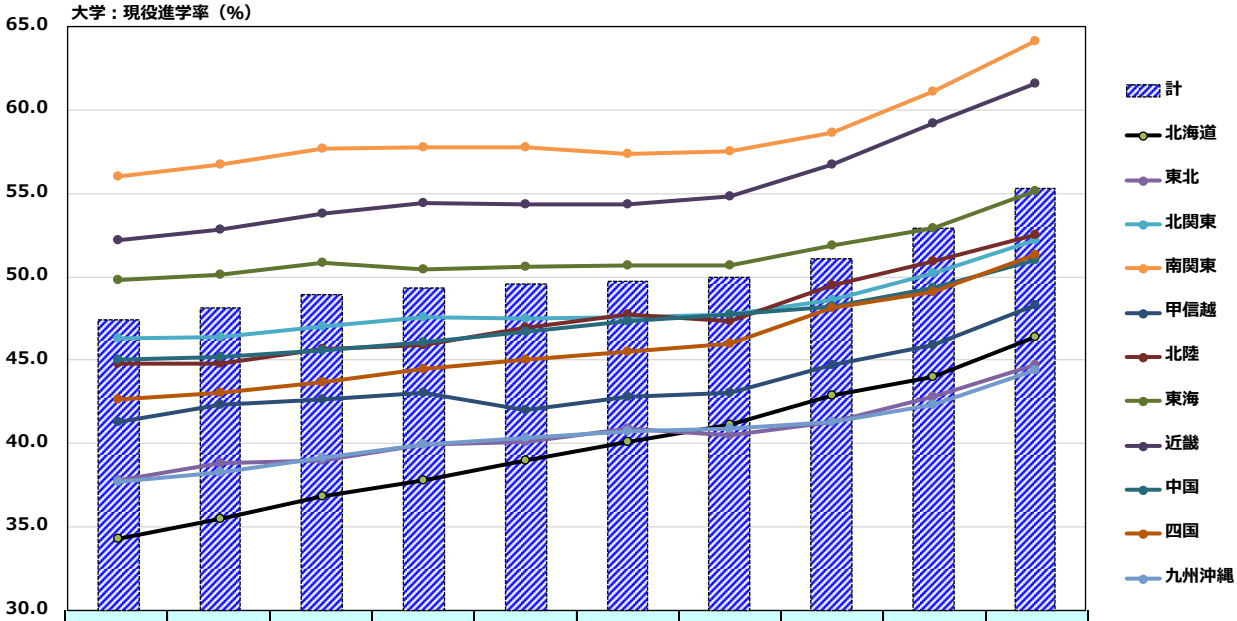
大学進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022年）

■2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）

・全体の大学進学率は2013年47.4%→2022年55.3%と、10年間で7.9ポイント上昇。
2019年から50%台の進学率となり、2022年には55%を超えた。
2016～2018年の3年間は横ばいのトレンド（49.3%→49.7%）。

・上昇が大きいのは、1位 北海道（135.3）、2位 四国（120.4）、3位 東北（118.3）。※注
・上昇が小さいのは、1位 東海（110.6）、2位 北関東（112.7）、3位 中国（113.3）。※注
・2022年進学率が高いのは、1位 南関東（64.1%）、2位 近畿（61.6%）、3位 東海（55.1%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
計	進学率	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9	55.3
	指数	100.0	101.5	103.2	104.0	104.6	104.9	105.5	107.8	111.6	116.7
北海道	進学率	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0	46.4
	指数	100.0	103.5	107.3	110.2	113.7	116.9	119.8	125.1	128.3	135.3
東北	進学率	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8	44.7
	指数	100.0	102.6	103.2	105.6	106.1	108.2	107.1	109.3	113.2	118.3
北関東	進学率	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2	52.2
	指数	100.0	100.2	101.5	102.8	102.6	102.8	103.0	105.0	108.4	112.7
南関東	進学率	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1	64.1
	指数	100.0	101.3	103.0	103.2	103.2	102.5	102.7	104.6	109.1	114.5
甲信越	進学率	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9	48.3
	指数	100.0	102.4	103.1	104.1	101.7	103.6	104.1	108.2	111.1	116.9
北陸	進学率	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9	52.5
	指数	100.0	100.0	102.0	102.5	104.7	106.5	105.6	110.5	113.6	117.2
東海	進学率	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9	55.1
	指数	100.0	100.6	102.0	101.2	101.6	101.8	101.8	104.2	106.2	110.6
近畿	進学率	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2	61.6
	指数	100.0	101.1	103.1	104.2	104.0	104.0	105.0	108.6	113.4	118.0
中国	進学率	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3	51.0
	指数	100.0	100.4	101.3	102.4	103.8	105.1	106.0	107.1	109.6	113.3
四国	進学率	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1	51.3
	指数	100.0	100.9	102.6	104.5	105.6	106.8	108.0	112.9	115.3	120.4
九州沖縄	進学率	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3	44.4
	指数	100.0	101.6	103.7	105.8	106.9	108.0	108.5	109.5	112.2	117.8

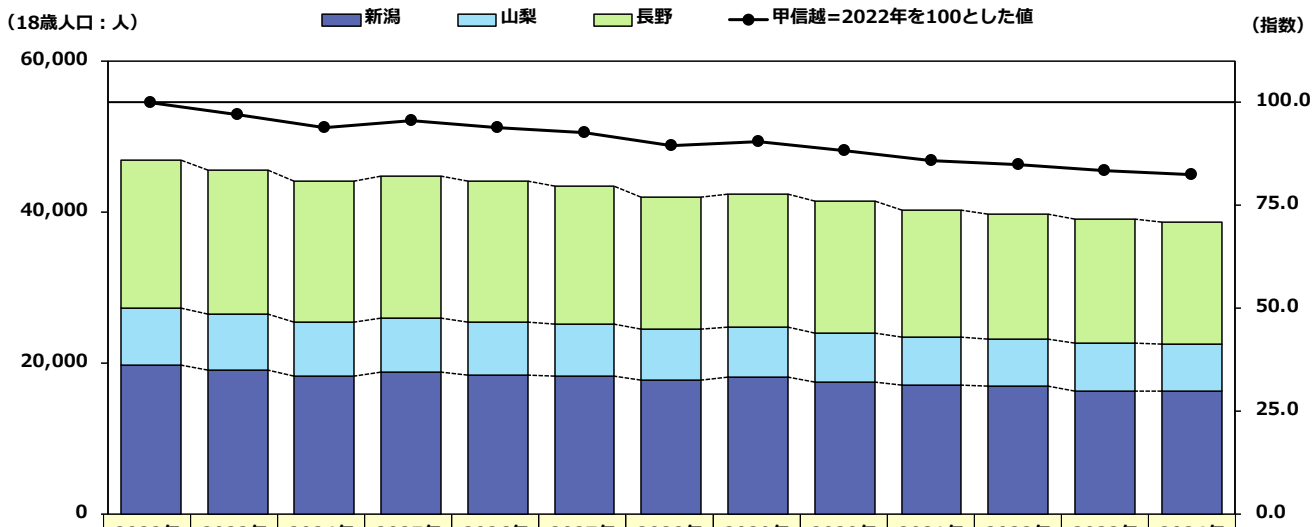
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（全体：甲信越：2022～2034年）

資料4

■2022年46,907人→2034年38,628人（8,279人減少）

・甲信越エリアは8,279人・17.6%減少し、全国の減少率10.3%を7.3ポイント上回る。
・2024年に44,069人まで減少し、翌2025年に719人増加するが、翌2026年から2028年まで減少が続く。2029年に微増するものの、翌2030年以降は再び減少傾向。
・減少率が高いのは、長野県（2022年比較18.0%減少）。
・減少数が多いのも、長野県（2022年19,630人→2034年16,101人、3,529人減少）。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
甲信越	人数	46,907	45,536	44,069	44,788	44,075	43,470	42,033	42,422	41,416	40,263	39,768	39,150	38,628
	指数	100.0	97.1	93.9	95.5	94.0	92.7	89.6	90.4	88.3	85.8	84.8	83.5	82.4
新潟	人数	19,716	19,148	18,346	18,856	18,442	18,328	17,808	18,145	17,529	17,148	16,979	16,356	16,278
	指数	100.0	97.1	93.1	95.6	93.5	93.0	90.3	92.0	88.9	87.0	86.1	83.0	82.6
山梨	人数	7,561	7,319	7,158	7,099	6,983	6,879	6,702	6,640	6,502	6,304	6,205	6,241	6,249
	指数	100.0	96.8	94.7	93.9	92.4	91.0	88.6	87.8	86.0	83.4	82.1	82.5	82.6
長野	人数	19,630	19,069	18,565	18,833	18,650	18,263	17,523	17,637	17,385	16,811	16,584	16,553	16,101
	指数	100.0	97.1	94.6	95.9	95.0	93.0	89.3	89.8	88.6	85.6	84.5	84.3	82.0

全国	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

リクルート進学総研

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2013～2022年）

			2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
新潟	卒業者数		21,640	20,091	20,434	20,059	20,013	19,463	19,093	18,854	17,659	17,631
	進学者数	大学	8,691	8,444	8,677	8,525	8,173	8,186	8,152	8,408	7,937	8,316
		短期大学	1,046	993	946	920	928	862	826	783	728	655
		専門学校	6,053	5,410	5,310	5,068	5,210	4,983	4,868	4,794	4,869	4,717
	進学率（現役）	大学	40.2	42.0	42.5	42.5	40.8	42.1	42.7	44.6	44.9	47.2
		短期大学	4.8	4.9	4.6	4.6	4.6	4.4	4.3	4.2	4.1	3.7
		専門学校	28.0	26.9	26.0	25.3	26.0	25.6	25.5	25.4	27.6	26.8
山梨	卒業者数		9,026	8,691	8,549	8,595	8,229	8,341	8,010	7,888	7,727	7,541
	進学者数	大学	4,630	4,437	4,351	4,337	4,255	4,328	4,038	4,071	4,137	4,149
		短期大学	546	500	521	502	425	439	400	401	374	333
		専門学校	1,525	1,466	1,453	1,562	1,441	1,353	1,365	1,316	1,387	1,464
	進学率（現役）	大学	51.3	51.1	50.9	50.5	51.7	51.9	50.4	51.6	53.5	55.0
		短期大学	6.0	5.8	6.1	5.8	5.2	5.3	5.0	5.1	4.8	4.4
		専門学校	16.9	16.9	17.0	18.2	17.5	16.2	17.0	16.7	18.0	19.4
長野	卒業者数		19,867	18,887	18,887	18,988	18,974	18,923	18,539	18,585	18,064	17,478
	進学者数	大学	7,559	7,279	7,352	7,628	7,393	7,486	7,428	7,791	7,878	8,122
		短期大学	1,917	1,736	1,713	1,675	1,743	1,549	1,396	1,359	1,297	1,220
		専門学校	4,552	4,224	4,197	4,040	3,946	4,023	4,057	4,057	3,945	3,674
	進学率（現役）	大学	38.0	38.5	38.9	40.2	39.0	39.6	40.1	41.9	43.6	46.5
		短期大学	9.6	9.2	9.1	8.8	9.2	8.2	7.5	7.3	7.2	7.0
		専門学校	22.9	22.4	22.2	21.3	20.8	21.3	21.9	21.8	21.8	21.0

※データ元：文部科学省「学校基本調査」
・卒業者数　　：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）
・進学者数　　：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数
・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業者数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）
※専門学校＝専修学校専門課程

資料5：新潟県及び近隣県における大学への現役進学者数及び進学率

県名	2018(平成30)年度		2019(平成31)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度		2022(令和4)年度		5か年平均	
	進学者数	進学率	進学者数	進学率	進学者数	進学率	進学者数	進学率	進学者数	進学率	進学者数	進学率
宮城県	8,942	45.0%	8,850	45.1%	8,807	45.5%	8,869	46.8%	9,194	49.5%	8,932	46.4%
山形県	3,865	38.9%	3,736	37.9%	3,912	40.0%	3,821	40.7%	3,924	43.6%	3,852	40.2%
福島県	6,760	39.8%	6,669	39.6%	6,559	39.8%	6,566	41.6%	6,519	42.8%	6,615	40.7%
群馬県	8,146	47.0.％	8,039	46.9%	8,378	48.8%	8,266	50.1%	8,679	52.7%	8,302	49.6%
新潟県	8,186	42.1%	8,152	42.7%	8,408	44.6%	7,937	44.9%	8,316	47.2%	8,200	44.3%
長野県	7,486	39.6%	7,428	40.1%	7,791	41.9%	7,878	43.6%	8,122	46.5%	7,741	42.3%
富山県	4,078	44.4%	4,048	44.3%	4,351	47.3%	4,145	47.5%	4,167	48.9%	4,158	46.5%
石川県	5,038	48.6%	5,014	48.0%	5,221	50.1%	5,100	51.7%	5,405	54.1%	5,156	50.5%
平均	6,563	42.6%	6,492	43.1%	6,678	44.8%	6,573	45.9%	6,791	48.2%	6,619	44.9%

出所：「リクルート進学総研マーケットリポート2022　Vol.112　2023年2月号」より

資料６

１．書類等の題名

『学生の確保の見通し等を記載した書類』資料６（11 ページ）

「4 年生大学への進学率と 18 歳人口の推移」

２．出典

武庫川女子大学　教育研究所　女子大学統計・大学基礎統計

３．引用範囲

https://kyoken.mukogawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/12/23_12_13.pdf

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

資料7

〇出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位５都道府県）※直近年度

	都道府県名	人　　数	構成比
1	新潟県	3,700人	55.8%
2	福島県	324人	4.9%
3	山形県	312人	4.7%
4	長野県	307人	4.6%
5	秋田県	203人	3.1%
	全　　体	6,633人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	新潟県	99.11%	99.42%	97.47%
2				

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	保健系学部（大学）	99.97%	99.28%	96.79%
2	家政学（大学）	94.11%	95.28%	89.01%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

資料8：過去5年間の健康栄養学科における入学者数

本学健康栄養学科 過去5年間の上位5県及びその他の入学者数及び平均・割合

都道府県	平成31（2019）	令和2（2020）	令和3（2021）	令和4（2022）	令和5（2023）	5年間計	5年間平均	割合	80名に換算
新潟県	35名	34名	33名	33名	35名	170名	34名	78.0%	62名
福島県	1名	4名	0名	1名	1名	7名	1名	3.2%	3名
山形県	0名	1名	1名	2名	2名	6名	1名	2.8%	2名
長野県	1名	0名	1名	3名	1名	6名	1名	2.8%	2名
富山県	0名	2名	1名	1名	1名	5名	1名	2.3%	2名
その他都道府県	6名	2名	8名	4名	4名	24名	5名	11.0%	9名
合　計	43名	43名	44名	44名	44名	218名	44名	100.0%	80名
その他都道府県 内訳	青森県1・宮城県1 茨城県2・群馬県1 その他1	石川県1・その他1	北海道1・青森県1 岩手県2・石川県1 その他3	栃木県2・石川県1 その他1	秋田県1・茨城県1 山梨県1・静岡県1	※高校コードにて都道府県を判別しているため、高卒認定者など「その他」が発生			

資料9：2021（令和3）年度～2023（令和5）年度 県内大学入学定員充足率

出所：各大学のホームページ等での公表情報をもとに新潟医療福祉大学にて作成

区分	大学名	2021（令和3）年度			2022（令和4）年度			2023（令和5）年度			3か年平均充足率		
		入学定員	入学者数	入学定員充足率	入学定員	入学者数	入学定員充足率	入学定員	入学者数	入学定員充足率	入学定員	入学者数	入学定員充足率
国立	新潟大学	2,227	2,289	102.78%	2,233	2,285	102.33%	2,240	2,289	102.19%	2,233	2,288	102.43%
	長岡技術科学大学	80	89	111.25%	80	91	113.75%	80	86	107.50%	80	89	110.83%
	上越教育大学	160	164	102.50%	160	166	103.75%	160	169	105.63%	160	166	103.96%
公立	新潟県立大学	360	394	109.44%	360	381	105.83%	360	372	103.33%	360	382	106.20%
	新潟県立看護大学	95	94	98.95%	95	95	100.00%	95	93	97.89%	95	94	98.95%
	長岡造形大学	230	256	111.30%	230	254	110.43%	230	259	112.61%	230	256	111.45%
	三条市立大学	80	82	102.50%	80	82	102.50%	80	86	107.50%	80	83	104.17%
私立	日本歯科大学	70	58	82.86%	70	67	95.71%	70	46	65.71%	70	57	81.43%
	新潟薬科大学	360	277	76.94%	360	217	60.28%	435	380	87.36%	385	291	75.67%
	新潟産業大学	140	116	82.86%	140	96	68.57%	140	63	45.00%	140	92	65.48%
	敬和学園大学	180	177	98.33%	180	166	92.22%	180	169	93.89%	180	171	94.81%
	新潟国際情報大学	250	318	127.20%	250	322	128.80%	250	325	130.00%	250	322	128.67%
	新潟経営大学	170	118	69.41%	170	126	74.12%	170	195	114.71%	170	146	86.08%
	新潟工科大学	200	177	88.50%	200	175	87.50%	200	132	66.00%	200	161	80.67%
	新潟青陵大学	230	240	104.35%	230	245	106.52%	230	251	109.13%	230	245	106.67%
	新潟医療福祉大学	1,142	1,187	103.94%	1,142	1,230	107.71%	1,182	1,197	101.27%	1,155	1,205	104.27%
	長岡大学	100	98	98.00%	125	125	100.00%	125	117	93.60%	117	113	97.14%
	新潟リハビリテーション大学	75	48	64.00%	75	65	86.67%	75	41	54.67%	75	51	68.44%
	新潟食料農業大学	180	166	92.22%	180	171	95.00%	180	157	87.22%	180	165	91.48%
	長岡崇徳大学	80	74	92.50%	80	76	95.00%	80	44	55.00%	80	65	80.83%
	開志専門職大学	240	168	70.00%	240	206	85.83%	240	159	66.25%	240	178	74.03%
全体		6,649	6,590	99.11%	6,680	6,641	99.42%	6,802	6,630	97.47%	6,710	6,620	98.66%

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-1

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　理学療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　　均
総合型選抜	募集人数		33人	35人	35人	37人	37人	35人
	延べ人数	志願者数	155人	271人	191人	228人	200人	209人
		受験者数	153人	270人	185人	226人	200人	207人
		合格者数	47人	60人	67人	72人	83人	66人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	19人	17人	22人	24人	18人
	実人数	志願者数	155人	271人	191人	228人	200人	209人
		受験者数	153人	270人	185人	226人	200人	207人
		合格者数	47人	60人	67人	72人	83人	66人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	19人	17人	22人	24人	18人
	入学者数		41人	41人	50人	50人	59人	48人
学校推薦型選抜	募集人数		24人	24人	24人	24人	24人	24人
	延べ人数	志願者数	59人	72人	58人	70人	47人	61人
		受験者数	59人	72人	58人	69人	47人	61人
		合格者数	28人	43人	37人	42人	36人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	5人	6人	5人	4人
	実人数	志願者数	59人	72人	58人	70人	47人	61人
		受験者数	59人	72人	58人	69人	47人	61人
		合格者数	28人	43人	37人	42人	36人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	5人	6人	5人	4人
	入学者数		28人	38人	32人	36人	31人	33人
一般選抜	募集人数		48人	47人	47人	45人	45人	46人
	延べ人数	志願者数	317人	309人	228人	286人	168人	262人
		受験者数	304人	298人	221人	280人	164人	253人
		合格者数	103人	127人	83人	133人	85人	106人
		うち追加合格者数	14人	44人	21人	63人	0人	28人
		辞退者数	51人	89人	52人	97人	50人	68人
	実人数	志願者数	216人	207人	172人	201人	115人	182人
		受験者数	206人	198人	167人	195人	111人	175人
		合格者数	103人	127人	83人	133人	85人	106人
		うち追加合格者数	14人	44人	21人	63人	0人	28人
		辞退者数	51人	89人	31人	97人	50人	64人
	入学者数		52人	38人	52人	36人	35人	43人
共通テスト利用入試	募集人数		13人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		受験者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		合格者数	63人	82人	53人	82人	93人	75人
		うち追加合格者数	5人	22人	6人	36人	8人	15人
		辞退者数	49人	64人	48人	74人	76人	62人
	実人数	志願者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		受験者数	158人	130人	154人	165人	122人	146人
		合格者数	63人	82人	53人	82人	93人	75人
		うち追加合格者数	5人	22人	6人	36人	8人	15人
		辞退者数	49人	64人	48人	74人	76人	62人
	入学者数		14人	18人	5人	8人	17人	12人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人	2人	0人	1人
		受験者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人	2人	0人	1人
		受験者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	1人	1人	0人	0人
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	689人	782人	632人	751人	537人	678人
		受験者数	674人	770人	619人	741人	533人	667人
		合格者数	241人	312人	241人	330人	297人	284人
		うち追加合格者数	19人	66人	27人	99人	8人	44人
		辞退者数	106人	177人	122人	199人	155人	152人
	実人数	志願者数	588人	680人	576人	666人	484人	599人
		受験者数	576人	670人	565人	656人	480人	589人
		合格者数	241人	312人	241人	330人	297人	284人
		うち追加合格者数	19人	66人	27人	99人	8人	44人
		辞退者数	106人	177人	101人	199人	155人	148人
	入学者数		135人	135人	140人	131人	142人	137人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.13	1.13	1.17	1.09	1.18	1.14
歩留率	0.56	0.43	0.58	0.40	0.48	0.49

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-2

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		12人	13人	15人	15人	15人	14人
	延べ人数	志願者数	31人	42人	29人	47人	42人	38人
		受験者数	31人	40人	27人	46人	42人	37人
		合格者数	13人	23人	20人	30人	31人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	13人	9人	13人	12人	10人
	実人数	志願者数	31人	42人	29人	47人	42人	38人
		受験者数	31人	40人	27人	46人	42人	37人
		合格者数	13人	23人	20人	30人	31人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	13人	9人	13人	12人	10人
	入学者数		9人	10人	11人	17人	19人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		14人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		受験者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		合格者数	15人	17人	18人	20人	16人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	2人	4人	2人
	実人数	志願者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		受験者数	17人	19人	19人	23人	17人	19人
		合格者数	15人	17人	18人	20人	16人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	2人	4人	2人
	入学者数		15人	17人	16人	18人	12人	16人
一般選抜	募集人数		19人	19人	17人	17人	17人	18人
	延べ人数	志願者数	358人	351人	261人	250人	174人	279人
		受験者数	355人	336人	256人	244人	169人	272人
		合格者数	91人	110人	114人	53人	45人	83人
		うち追加合格者数	41人	57人	40人	6人	0人	29人
		辞退者数	70人	93人	94人	44人	33人	67人
	実人数	志願者数	247人	239人	193人	196人	103人	196人
		受験者数	245人	234人	189人	192人	99人	192人
		合格者数	91人	110人	114人	53人	45人	83人
		うち追加合格者数	41人	57人	40人	6人	0人	29人
		辞退者数	70人	93人	94人	44人	33人	67人
	入学者数		21人	17人	20人	9人	12人	16人
共通テスト利用入試	募集人数		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		受験者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		合格者数	51人	36人	57人	34人	36人	43人
		うち追加合格者数	31人	11人	19人	0人	0人	12人
		辞退者数	47人	30人	53人	27人	33人	38人
	実人数	志願者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		受験者数	55人	42人	60人	68人	36人	52人
		合格者数	51人	36人	57人	34人	36人	43人
		うち追加合格者数	31人	11人	19人	0人	0人	12人
		辞退者数	47人	30人	53人	27人	33人	38人
	入学者数		4人	6人	4人	7人	3人	5人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	461人	454人	369人	388人	269人	388人
		受験者数	458人	437人	362人	381人	264人	380人
		合格者数	170人	186人	209人	137人	128人	166人
		うち追加合格者数	72人	68人	59人	6人	0人	41人
		辞退者数	121人	136人	158人	86人	82人	117人
	実人数	志願者数	350人	342人	301人	334人	198人	305人
		受験者数	348人	335人	295人	329人	194人	300人
		合格者数	170人	186人	209人	137人	128人	166人
		うち追加合格者数	72人	68人	59人	6人	0人	41人
		辞退者数	121人	136人	158人	86人	82人	117人
	入学者数		49人	50人	51人	51人	46人	49人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50
入学定員充足率	0.98	1.00	1.02	1.02	0.92	0.99
歩留率	0.29	0.27	0.24	0.37	0.36	0.31

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-3

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　言語聴覚学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		7人	11人	11人	11人	11人	10人
	延べ人数	志願者数	25人	53人	31人	34人	30人	35人
		受験者数	24人	51人	31人	30人	30人	33人
		合格者数	12人	18人	14人	19人	20人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	3人	6人	4人	4人
	実人数	志願者数	25人	53人	31人	34人	30人	35人
		受験者数	24人	51人	31人	30人	30人	33人
		合格者数	12人	18人	14人	19人	20人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	5人	3人	6人	4人	4人
	入学者数		12人	13人	11人	13人	16人	13人
学校推薦型選抜	募集人数		13人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	15人	22人	19人	13人	6人	15人
		受験者数	15人	22人	19人	12人	6人	15人
		合格者数	14人	19人	17人	12人	6人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	15人	22人	19人	13人	6人	15人
		受験者数	15人	22人	19人	12人	6人	15人
		合格者数	14人	19人	17人	12人	6人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		13人	19人	17人	12人	6人	13人
一般選抜	募集人数		14人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	93人	91人	87人	85人	48人	81人
		受験者数	90人	91人	86人	82人	47人	79人
		合格者数	34人	18人	31人	35人	13人	26人
		うち追加合格者数	3人	0人	4人	1人	0人	2人
		辞退者数	18人	7人	22人	23人	10人	16人
	実人数	志願者数	68人	68人	61人	63人	33人	59人
		受験者数	62人	68人	60人	60人	32人	56人
		合格者数	34人	18人	31人	35人	13人	26人
		うち追加合格者数	3人	0人	4人	1人	0人	2人
		辞退者数	18人	7人	22人	23人	10人	16人
	入学者数		16人	11人	9人	12人	3人	10人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		受験者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		合格者数	28人	22人	19人	25人	18人	22人
		うち追加合格者数	2人	0人	5人	0人	0人	1人
		辞退者数	26人	20人	16人	19人	15人	19人
	実人数	志願者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		受験者数	30人	31人	25人	25人	19人	26人
		合格者数	28人	22人	19人	25人	18人	22人
		うち追加合格者数	2人	0人	5人	0人	0人	1人
		辞退者数	26人	20人	16人	19人	15人	19人
	入学者数		2人	2人	3人	6人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	163人	197人	162人	157人	103人	156人
		受験者数	159人	195人	161人	149人	102人	153人
		合格者数	88人	77人	81人	91人	57人	79人
		うち追加合格者数	5人	0人	9人	1人	0人	3人
		辞退者数	45人	32人	41人	48人	29人	39人
	実人数	志願者数	138人	174人	136人	135人	88人	134人
		受験者数	131人	172人	135人	127人	87人	130人
		合格者数	88人	77人	81人	91人	57人	79人
		うち追加合格者数	5人	0人	9人	1人	0人	3人
		辞退者数	45人	32人	41人	48人	29人	39人
	入学者数		43人	45人	40人	43人	28人	40人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.08	1.13	1.00	1.08	0.70	1.00
歩留率	0.49	0.58	0.49	0.47	0.49	0.51

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-4

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　義肢装具自立支援学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	23人	47人	54人	47人	42人	43人
		受験者数	23人	45人	53人	47人	36人	41人
		合格者数	19人	31人	32人	39人	34人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	11人	11人	16人	15人	11人
	実人数	志願者数	23人	47人	54人	47人	42人	43人
		受験者数	23人	45人	53人	47人	36人	41人
		合格者数	19人	31人	32人	39人	34人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	11人	11人	16人	15人	11人
	入学者数		18人	20人	21人	23人	19人	20人
学校推薦型選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	9人	10人	17人	13人	12人	12人
		受験者数	9人	10人	16人	13人	12人	12人
		合格者数	9人	9人	14人	13人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	9人	10人	17人	13人	12人	12人
		受験者数	9人	10人	16人	13人	12人	12人
		合格者数	9人	9人	14人	13人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		9人	9人	14人	13人	11人	11人
一般選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	55人	78人	62人	46人	27人	54人
		受験者数	54人	78人	61人	45人	26人	53人
		合格者数	29人	29人	34人	26人	11人	26人
		うち追加合格者数	1人	0人	20人	0人	0人	4人
		辞退者数	18人	14人	27人	15人	7人	16人
	実人数	志願者数	41人	57人	43人	34人	19人	39人
		受験者数	40人	57人	42人	33人	18人	38人
		合格者数	29人	29人	34人	26人	11人	26人
		うち追加合格者数	1人	0人	20人	0人	0人	4人
		辞退者数	18人	14人	27人	15人	7人	16人
	入学者数		11人	15人	7人	11人	4人	10人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		受験者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		合格者数	16人	14人	21人	13人	8人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	6人	0人	0人	1人
		辞退者数	15人	13人	18人	12人	6人	13人
	実人数	志願者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		受験者数	17人	23人	21人	13人	8人	16人
		合格者数	16人	14人	21人	13人	8人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	6人	0人	0人	1人
		辞退者数	15人	13人	18人	12人	6人	13人
	入学者数		1人	1人	3人	1人	2人	2人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	104人	158人	154人	119人	89人	125人
		受験者数	103人	156人	151人	118人	82人	122人
		合格者数	73人	83人	101人	91人	65人	83人
		うち追加合格者数	1人	0人	26人	0人	0人	5人
		辞退者数	34人	38人	56人	43人	29人	40人
	実人数	志願者数	90人	137人	135人	107人	81人	110人
		受験者数	89人	135人	132人	106人	74人	107人
		合格者数	73人	83人	101人	91人	65人	83人
		うち追加合格者数	1人	0人	26人	0人	0人	5人
		辞退者数	34人	38人	56人	43人	29人	40人
	入学者数		39人	45人	45人	48人	36人	43人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	0.98	1.13	1.13	1.20	0.90	1.07
歩留率	0.53	0.54	0.45	0.53	0.55	0.52

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-5

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　リハビリテーション学部　鍼灸健康学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		－	－	－	－	13人	13人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	28人	28人
		受験者数	－	－	－	－	28人	28人
		合格者数	－	－	－	－	28人	28人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	13人	13人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	28人	28人
		受験者数	－	－	－	－	28人	28人
		合格者数	－	－	－	－	28人	28人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	13人	13人
	入学者数		－	－	－	－	15人	15人
学校推薦型選抜	募集人数		－	－	－	－	12人	12人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	7人	7人
		受験者数	－	－	－	－	7人	7人
		合格者数	－	－	－	－	7人	7人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	2人	2人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	7人	7人
		受験者数	－	－	－	－	7人	7人
		合格者数	－	－	－	－	7人	7人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	2人	2人
	入学者数		－	－	－	－	5人	5人
一般選抜	募集人数		－	－	－	－	10人	10人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	7人	7人
		受験者数	－	－	－	－	7人	7人
		合格者数	－	－	－	－	4人	4人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	4人	4人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	5人	5人
		受験者数	－	－	－	－	5人	5人
		合格者数	－	－	－	－	4人	4人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	4人	4人
	入学者数		－	－	－	－	0人	0人
共通テスト利用入試	募集人数		－	－	－	－	4人	4人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	8人	8人
		受験者数	－	－	－	－	8人	8人
		合格者数	－	－	－	－	8人	8人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	5人	5人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	8人	8人
		受験者数	－	－	－	－	8人	8人
		合格者数	－	－	－	－	8人	8人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	5人	5人
	入学者数		－	－	－	－	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		－	－	－	－	1人	1人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	1人	1人
		受験者数	－	－	－	－	1人	1人
		合格者数	－	－	－	－	1人	1人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	1人	1人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	1人	1人
		受験者数	－	－	－	－	1人	1人
		合格者数	－	－	－	－	1人	1人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	1人	1人
	入学者数		－	－	－	－	0人	0人
合計	募集人数		－	－	－	－	40人	40人
	延べ人数	志願者数	－	－	－	－	51人	51人
		受験者数	－	－	－	－	51人	51人
		合格者数	－	－	－	－	48人	48人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	25人	25人
	実人数	志願者数	－	－	－	－	49人	49人
		受験者数	－	－	－	－	49人	49人
		合格者数	－	－	－	－	48人	48人
		うち追加合格者数	－	－	－	－	0人	0人
		辞退者数	－	－	－	－	25人	25人
	入学者数		－	－	－	－	23人	23人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	－	－	－	－	40人	40
入学定員充足率	－	－	－	－	0.58	0.58
歩留率	－	－	－	－	0.48	0.48

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-6

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　臨床技術学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	53人	120人	131人	111人	84人	100人
		受験者数	52人	120人	131人	107人	83人	99人
		合格者数	23人	37人	46人	43人	49人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	12人	15人	15人	20人	13人
	実人数	志願者数	53人	120人	131人	111人	84人	100人
		受験者数	52人	120人	131人	107人	83人	99人
		合格者数	23人	37人	46人	43人	49人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	12人	15人	15人	20人	13人
	入学者数		18人	25人	31人	28人	29人	26人
学校推薦型選抜	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	39人	37人	56人	46人	34人	42人
		受験者数	39人	37人	56人	46人	33人	42人
		合格者数	32人	30人	37人	38人	30人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	3人	4人	1人	2人
	実人数	志願者数	39人	37人	56人	46人	34人	42人
		受験者数	39人	37人	56人	46人	33人	42人
		合格者数	32人	30人	37人	38人	30人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	3人	4人	1人	2人
	入学者数		32人	28人	34人	34人	29人	31人
一般選抜	募集人数		49人	49人	49人	49人	49人	49人
	延べ人数	志願者数	333人	274人	280人	235人	142人	253人
		受験者数	313人	262人	276人	227人	139人	243人
		合格者数	150人	97人	130人	77人	95人	110人
		うち追加合格者数	71人	0人	60人	0人	4人	27人
		辞退者数	105人	57人	103人	47人	56人	74人
	実人数	志願者数	238人	181人	211人	179人	103人	182人
		受験者数	224人	172人	207人	171人	100人	175人
		合格者数	150人	97人	130人	77人	95人	110人
		うち追加合格者数	71人	0人	60人	0人	4人	27人
		辞退者数	105人	57人	103人	47人	56人	74人
	入学者数		45人	40人	27人	30人	39人	36人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	151人	121人	164人	129人	101人	133人
		受験者数	150人	121人	164人	128人	101人	133人
		合格者数	65人	63人	84人	81人	82人	75人
		うち追加合格者数	33人	5人	52人	0人	6人	19人
		辞退者数	60人	56人	73人	69人	70人	66人
	実人数	志願者数	151人	121人	164人	129人	101人	133人
		受験者数	150人	121人	164人	128人	101人	133人
		合格者数	65人	63人	84人	81人	82人	75人
		うち追加合格者数	33人	5人	52人	0人	6人	19人
		辞退者数	60人	56人	73人	69人	70人	66人
	入学者数		5人	7人	11人	12人	12人	9人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		100人	100人	100人	100人	100人	100人
	延べ人数	志願者数	576人	552人	631人	521人	361人	528人
		受験者数	554人	540人	627人	508人	356人	517人
		合格者数	270人	227人	297人	239人	256人	258人
		うち追加合格者数	104人	5人	112人	0人	10人	46人
		辞退者数	170人	127人	194人	135人	147人	155人
	実人数	志願者数	481人	459人	562人	465人	322人	458人
		受験者数	465人	450人	558人	452人	317人	448人
		合格者数	270人	227人	297人	239人	256人	258人
		うち追加合格者数	104人	5人	112人	0人	10人	46人
		辞退者数	170人	127人	194人	135人	147人	155人
	入学者数		100人	100人	103人	104人	109人	103人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100
入学定員充足率	1.00	1.00	1.03	1.04	1.09	1.03
歩留率	0.37	0.44	0.35	0.44	0.43	0.40

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-7

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　視機能科学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	17人	41人	42人	22人	27人	30人
		受験者数	14人	38人	42人	22人	23人	28人
		合格者数	13人	25人	36人	19人	23人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	7人	16人	9人	11人	9人
	実人数	志願者数	17人	41人	42人	22人	27人	30人
		受験者数	14人	38人	42人	22人	23人	28人
		合格者数	13人	25人	36人	19人	23人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	7人	16人	9人	11人	9人
	入学者数		12人	18人	20人	10人	12人	14人
学校推薦型選抜	募集人数		16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		受験者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		合格者数	16人	22人	18人	18人	15人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		受験者数	16人	22人	20人	18人	15人	18人
		合格者数	16人	22人	18人	18人	15人	18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	入学者数		16人	21人	18人	18人	14人	17人
一般選抜	募集人数		12人	12人	12人	12人	12人	12人
	延べ人数	志願者数	165人	133人	121人	120人	88人	125人
		受験者数	165人	130人	117人	117人	87人	123人
		合格者数	74人	65人	54人	54人	26人	55人
		うち追加合格者数	14人	27人	35人	0人	0人	15人
		辞退者数	56人	54人	47人	34人	16人	41人
	実人数	志願者数	118人	98人	83人	91人	59人	90人
		受験者数	118人	95人	79人	88人	58人	88人
		合格者数	74人	65人	54人	54人	26人	55人
		うち追加合格者数	14人	27人	35人	0人	0人	15人
		辞退者数	56人	54人	47人	34人	16人	41人
	入学者数		18人	11人	7人	20人	10人	13人
共通テスト利用入試	募集人数		4人	4人	4人	4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数	33人	21人	26人	23人	13人	23人
		受験者数	33人	21人	26人	23人	12人	23人
		合格者数	31人	20人	25人	23人	12人	22人
		うち追加合格者数	14人	3人	5人	0人	0人	4人
		辞退者数	29人	18人	19人	20人	12人	20人
	実人数	志願者数	33人	21人	26人	23人	13人	23人
		受験者数	33人	21人	26人	23人	12人	23人
		合格者数	31人	20人	25人	23人	12人	22人
		うち追加合格者数	14人	3人	5人	0人	0人	4人
		辞退者数	29人	18人	19人	20人	12人	20人
	入学者数		2人	2人	6人	3人	0人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		50人	50人	50人	50人	50人	50人
	延べ人数	志願者数	231人	217人	209人	183人	143人	197人
		受験者数	228人	211人	205人	180人	137人	192人
		合格者数	134人	132人	133人	114人	76人	118人
		うち追加合格者数	28人	30人	40人	0人	0人	20人
		辞退者数	86人	80人	82人	63人	40人	70人
	実人数	志願者数	184人	182人	171人	154人	114人	161人
		受験者数	181人	176人	167人	151人	108人	157人
		合格者数	134人	132人	133人	114人	76人	118人
		うち追加合格者数	28人	30人	40人	0人	0人	20人
		辞退者数	86人	80人	82人	63人	40人	70人
	入学者数		48人	52人	51人	51人	36人	48人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50
入学定員充足率	0.96	1.04	1.02	1.02	0.72	0.95
歩留率	0.36	0.39	0.38	0.45	0.47	0.41

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-8

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　救急救命学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		19人	19人	19人	19人	19人	19人
	延べ人数	志願者数	57人	91人	77人	105人	126人	91人
		受験者数	55人	90人	72人	105人	122人	89人
		合格者数	21人	26人	25人	29人	34人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	8人	8人	6人	10人	7人
	実人数	志願者数	57人	91人	77人	105人	126人	91人
		受験者数	55人	90人	72人	105人	122人	89人
		合格者数	21人	26人	25人	29人	34人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	8人	8人	6人	10人	7人
	入学者数		18人	18人	17人	23人	24人	20人
学校推薦型選抜	募集人数		13人	13人	13人	13人	13人	13人
	延べ人数	志願者数	31人	33人	45人	54人	43人	41人
		受験者数	30人	22人	44人	54人	43人	39人
		合格者数	25人	27人	26人	30人	28人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	31人	33人	45人	54人	43人	41人
		受験者数	30人	22人	44人	54人	43人	39人
		合格者数	25人	27人	26人	30人	28人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	2人	0人	1人
	入学者数		25人	26人	25人	28人	28人	26人
一般選抜	募集人数		17人	17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数	143人	160人	169人	179人	107人	152人
		受験者数	139人	160人	161人	172人	101人	147人
		合格者数	39人	24人	49人	9人	15人	27人
		うち追加合格者数	16人	10人	31人	0人	0人	11人
		辞退者数	27人	15人	43人	5人	11人	20人
	実人数	志願者数	106人	120人	128人	128人	76人	112人
		受験者数	102人	120人	120人	121人	70人	107人
		合格者数	39人	24人	49人	9人	15人	27人
		うち追加合格者数	16人	10人	31人	0人	0人	11人
		辞退者数	27人	15人	43人	5人	11人	20人
	入学者数		12人	9人	6人	4人	4人	7人
共通テスト利用入試	募集人数		5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数	30人	28人	34人	48人	27人	33人
		受験者数	29人	28人	34人	48人	27人	33人
		合格者数	9人	13人	32人	8人	12人	15人
		うち追加合格者数	0人	4人	15人	0人	0人	4人
		辞退者数	9人	11人	26人	3人	9人	12人
	実人数	志願者数	30人	28人	34人	48人	27人	33人
		受験者数	29人	28人	34人	48人	27人	33人
		合格者数	9人	13人	32人	8人	12人	15人
		うち追加合格者数	0人	4人	15人	0人	0人	4人
		辞退者数	9人	11人	26人	3人	9人	12人
	入学者数		0人	2人	6人	5人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		55人	55人	55人	55人	55人	55人
	延べ人数	志願者数	261人	312人	325人	386人	303人	317人
		受験者数	253人	300人	311人	379人	293人	307人
		合格者数	94人	90人	132人	76人	89人	96人
		うち追加合格者数	16人	14人	46人	0人	0人	15人
		辞退者数	39人	35人	78人	16人	30人	40人
	実人数	志願者数	224人	272人	284人	335人	272人	277人
		受験者数	216人	260人	270人	328人	262人	267人
		合格者数	94人	90人	132人	76人	89人	96人
		うち追加合格者数	16人	14人	46人	0人	0人	15人
		辞退者数	39人	35人	78人	16人	30人	40人
	入学者数		55人	55人	54人	60人	59人	57人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	55人	55人	55人	55人	55人	55
入学定員充足率	1.00	1.00	0.98	1.09	1.07	1.03
歩留率	0.59	0.61	0.41	0.79	0.66	0.61

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-9

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療技術学部　診療放射線学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		21人	21人	21人	21人	21人	21人
	延べ人数	志願者数	61人	152人	156人	82人	94人	109人
		受験者数	61人	152人	155人	80人	94人	108人
		合格者数	25人	29人	40人	41人	53人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	9人	15人	15人	19人	13人
	実人数	志願者数	61人	152人	156人	82人	94人	109人
		受験者数	61人	152人	155人	80人	94人	108人
		合格者数	25人	29人	40人	41人	53人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	9人	15人	15人	19人	13人
	入学者数		20人	20人	25人	26人	34人	25人
学校推薦型選抜	募集人数		16人	16人	16人	16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数	26人	49人	44人	28人	35人	36人
		受験者数	26人	49人	43人	28人	35人	36人
		合格者数	19人	27人	31人	24人	26人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	6人	4人	6人	4人
	実人数	志願者数	26人	49人	44人	28人	35人	36人
		受験者数	26人	49人	43人	28人	35人	36人
		合格者数	19人	27人	31人	24人	26人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	6人	4人	6人	4人
	入学者数		18人	25人	25人	20人	20人	22人
一般選抜	募集人数		43人	43人	43人	43人	43人	43人
	延べ人数	志願者数	241人	362人	343人	265人	261人	294人
		受験者数	229人	356人	332人	255人	254人	285人
		合格者数	93人	96人	74人	80人	68人	82人
		うち追加合格者数	15人	13人	15人	0人	0人	9人
		辞退者数	51人	61人	45人	48人	42人	49人
	実人数	志願者数	167人	244人	240人	193人	180人	205人
		受験者数	158人	240人	229人	183人	173人	197人
		合格者数	93人	96人	74人	80人	68人	82人
		うち追加合格者数	15人	13人	15人	0人	0人	9人
		辞退者数	51人	61人	45人	48人	42人	49人
	入学者数		42人	35人	29人	32人	26人	33人
共通テスト利用入試	募集人数		8人	8人	8人	8人	8人	8人
	延べ人数	志願者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		受験者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		合格者数	74人	78人	73人	65人	89人	76人
		うち追加合格者数	24人	26人	18人	0人	0人	14人
		辞退者数	64人	68人	58人	52人	69人	62人
	実人数	志願者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		受験者数	119人	143人	186人	166人	160人	155人
		合格者数	74人	78人	73人	65人	89人	76人
		うち追加合格者数	24人	26人	18人	0人	0人	14人
		辞退者数	64人	68人	58人	52人	69人	62人
	入学者数		10人	10人	15人	13人	20人	14人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人
合計	募集人数		90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	志願者数	447人	706人	730人	541人	550人	595人
		受験者数	435人	700人	717人	529人	543人	585人
		合格者数	211人	230人	219人	210人	236人	221人
		うち追加合格者数	39人	39人	33人	0人	0人	22人
		辞退者数	121人	140人	124人	119人	136人	128人
	実人数	志願者数	373人	588人	627人	469人	469人	505人
		受験者数	364人	584人	614人	457人	462人	496人
		合格者数	211人	230人	219人	210人	236人	221人
		うち追加合格者数	39人	39人	33人	0人	0人	22人
		辞退者数	121人	140人	124人	119人	136人	128人
	入学者数		90人	90人	95人	91人	100人	93人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90
入学定員充足率	1.00	1.00	1.06	1.01	1.11	1.04
歩留率	0.43	0.39	0.43	0.43	0.42	0.42

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-10

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　健康科学部　健康栄養学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		8人	8人	13人	13人	13人	11人
	延べ人数	志願者数	46人	39人	83人	69人	83人	64人
		受験者数	46人	39人	82人	69人	83人	64人
		合格者数	18人	20人	22人	24人	24人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	9人	8人	7人	7人	7人
	実人数	志願者数	46人	39人	83人	69人	83人	64人
		受験者数	46人	39人	82人	69人	83人	64人
		合格者数	18人	20人	22人	24人	24人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	9人	8人	7人	7人	7人
	入学者数		16人	11人	14人	17人	17人	15人
学校推薦型選抜	募集人数		10人	10人	12人	12人	12人	11人
	延べ人数	志願者数	21人	13人	25人	20人	21人	20人
		受験者数	21人	13人	24人	20人	21人	20人
		合格者数	12人	11人	17人	18人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	0人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	21人	13人	25人	20人	21人	20人
		受験者数	21人	13人	24人	20人	21人	20人
		合格者数	12人	11人	17人	18人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	1人	0人	3人	2人	2人
	入学者数		9人	10人	17人	15人	16人	13人
一般選抜	募集人数		17人	17人	12人	12人	12人	14人
	延べ人数	志願者数	205人	182人	190人	170人	111人	172人
		受験者数	196人	177人	184人	165人	108人	166人
		合格者数	43人	80人	18人	21人	16人	36人
		うち追加合格者数	15人	44人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	28人	61人	8人	12人	8人	23人
	実人数	志願者数	150人	127人	135人	128人	83人	125人
		受験者数	142人	124人	129人	123人	80人	120人
		合格者数	43人	80人	18人	21人	16人	36人
		うち追加合格者数	15人	44人	0人	0人	0人	12人
		辞退者数	28人	61人	8人	12人	8人	23人
	入学者数		15人	19人	10人	9人	8人	12人
共通テスト利用入試	募集人数		4人	4人	2人	2人	2人	3人
	延べ人数	志願者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		受験者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		合格者数	20人	39人	11人	15人	17人	20人
		うち追加合格者数	12人	15人	0人	0人	0人	5人
		辞退者数	17人	36人	8人	12人	14人	17人
	実人数	志願者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		受験者数	42人	45人	57人	48人	43人	47人
		合格者数	20人	39人	11人	15人	17人	20人
		うち追加合格者数	12人	15人	0人	0人	0人	5人
		辞退者数	17人	36人	8人	12人	14人	17人
	入学者数		3人	3人	3人	3人	3人	3人
その他の特別選抜	募集人数		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	314人	279人	355人	307人	258人	303人
		受験者数	305人	274人	347人	302人	255人	297人
		合格者数	93人	150人	68人	78人	75人	93人
		うち追加合格者数	27人	59人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	50人	107人	24人	34人	31人	49人
	実人数	志願者数	259人	224人	300人	265人	230人	256人
		受験者数	251人	221人	292人	260人	227人	250人
		合格者数	93人	150人	68人	78人	75人	93人
		うち追加合格者数	27人	59人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	50人	107人	24人	34人	31人	49人
	入学者数		43人	43人	44人	44人	44人	44人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40
入学定員充足率	1.08	1.08	1.10	1.10	1.10	1.09
歩留率	0.46	0.29	0.65	0.56	0.59	0.51

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-11

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　健康科学部　健康スポーツ学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		102人	102人	145人	145人	145人	128人
	延べ人数	志願者数	184人	224人	293人	283人	272人	251人
		受験者数	181人	216人	291人	274人	271人	247人
		合格者数	159人	174人	226人	237人	262人	212人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	20人	36人	43人	52人	31人
	実人数	志願者数	184人	224人	293人	283人	272人	251人
		受験者数	181人	216人	291人	274人	271人	247人
		合格者数	159人	174人	226人	237人	262人	212人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	20人	36人	43人	52人	31人
	入学者数		154人	154人	190人	194人	210人	180人
学校推薦型選抜	募集人数		38人	38人	35人	35人	35人	36人
	延べ人数	志願者数	46人	37人	39人	39人	52人	43人
		受験者数	46人	37人	39人	37人	52人	42人
		合格者数	44人	35人	37人	33人	51人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	46人	37人	39人	39人	52人	43人
		受験者数	46人	37人	39人	37人	52人	42人
		合格者数	44人	35人	37人	33人	51人	40人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	0人	2人	1人	1人
	入学者数		42人	33人	37人	31人	50人	39人
一般選抜	募集人数		45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	184人	151人	195人	141人	152人	165人
		受験者数	177人	147人	191人	138人	152人	161人
		合格者数	36人	62人	90人	82人	54人	65人
		うち追加合格者数	5人	15人	14人	0人	0人	7人
		辞退者数	14人	34人	70人	56人	27人	40人
	実人数	志願者数	139人	110人	135人	108人	110人	120人
		受験者数	134人	106人	131人	105人	110人	117人
		合格者数	36人	62人	90人	82人	54人	65人
		うち追加合格者数	5人	15人	14人	0人	0人	7人
		辞退者数	14人	34人	70人	56人	27人	40人
	入学者数		22人	28人	20人	26人	27人	25人
共通テスト利用入試	募集人数		13人	13人	23人	23人	23人	19人
	延べ人数	志願者数	82人	58人	73人	76人	86人	75人
		受験者数	82人	58人	72人	76人	86人	75人
		合格者数	31人	55人	69人	76人	53人	57人
		うち追加合格者数	17人	32人	8人	0人	0人	11人
		辞退者数	28人	51人	58人	69人	48人	51人
	実人数	志願者数	82人	58人	73人	76人	86人	75人
		受験者数	82人	58人	72人	76人	86人	75人
		合格者数	31人	55人	69人	76人	53人	57人
		うち追加合格者数	17人	32人	8人	0人	0人	11人
		辞退者数	28人	51人	58人	69人	48人	51人
	入学者数		3人	4人	11人	7人	5人	6人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	1人	0人	0人
合計	募集人数		200人	200人	250人	250人	250人	230人
	延べ人数	志願者数	496人	470人	600人	540人	562人	534人
		受験者数	486人	458人	593人	526人	561人	525人
		合格者数	270人	326人	422人	429人	420人	373人
		うち追加合格者数	22人	47人	22人	0人	0人	18人
		辞退者数	49人	107人	164人	170人	128人	124人
	実人数	志願者数	451人	429人	540人	507人	520人	489人
		受験者数	443人	417人	533人	493人	519人	481人
		合格者数	270人	326人	422人	429人	420人	373人
		うち追加合格者数	22人	47人	22人	0人	0人	18人
		辞退者数	49人	107人	164人	170人	128人	124人
	入学者数		221人	219人	258人	259人	292人	250人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	200人	200人	250人	250人	250人	230
入学定員充足率	1.11	1.10	1.03	1.04	1.17	1.09
歩留率	0.82	0.67	0.61	0.60	0.70	0.68

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-12

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　看護学部　看護学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		20人	23人	28人	30人	30人	26人
	延べ人数	志願者数	88人	144人	140人	185人	115人	134人
		受験者数	88人	142人	138人	183人	114人	133人
		合格者数	28人	39人	53人	64人	84人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	11人	11人	18人	32人	16人
	実人数	志願者数	88人	144人	140人	185人	115人	134人
		受験者数	88人	142人	138人	183人	114人	133人
		合格者数	28人	39人	53人	64人	84人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	8人	11人	11人	18人	32人	16人
	入学者数		20人	28人	42人	46人	52人	38人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	25人	25人	25人	26人
	延べ人数	志願者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		受験者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		合格者数	29人	27人	31人	30人	18人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	5人	2人	4人	3人
	実人数	志願者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		受験者数	35人	28人	40人	37人	19人	32人
		合格者数	29人	27人	31人	30人	18人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	3人	5人	2人	4人	3人
	入学者数		28人	24人	26人	28人	14人	24人
一般選抜	募集人数		48人	47人	46人	44人	44人	46人
	延べ人数	志願者数	454人	439人	428人	334人	274人	386人
		受験者数	435人	422人	404人	322人	260人	369人
		合格者数	197人	224人	170人	124人	173人	178人
		うち追加合格者数	74人	85人	52人	0人	66人	55人
		辞退者数	141人	178人	137人	86人	157人	140人
	実人数	志願者数	315人	290人	299人	240人	191人	267人
		受験者数	299人	275人	283人	228人	187人	254人
		合格者数	197人	224人	170人	124人	173人	178人
		うち追加合格者数	74人	85人	52人	0人	66人	55人
		辞退者数	141人	178人	137人	86人	157人	140人
	入学者数		56人	46人	33人	38人	16人	38人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	8人	6人	6人	6人	7人
	延べ人数	志願者数	176人	143人	173人	168人	185人	169人
		受験者数	176人	143人	172人	167人	184人	168人
		合格者数	100人	114人	116人	111人	173人	123人
		うち追加合格者数	58人	30人	46人	0人	87人	44人
		辞退者数	97人	105人	106人	96人	157人	112人
	実人数	志願者数	176人	143人	173人	168人	185人	169人
		受験者数	176人	143人	172人	167人	184人	168人
		合格者数	100人	114人	116人	111人	173人	123人
		うち追加合格者数	58人	30人	46人	0人	87人	44人
		辞退者数	97人	105人	106人	96人	157人	112人
	入学者数		3人	9人	10人	15人	16人	11人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	1人	0人
合計	募集人数		107人	107人	107人	107人	107人	107人
	延べ人数	志願者数	753人	754人	781人	724人	594人	721人
		受験者数	734人	735人	754人	709人	578人	702人
		合格者数	354人	404人	370人	329人	449人	381人
		うち追加合格者数	132人	115人	98人	0人	153人	100人
		辞退者数	247人	297人	259人	202人	350人	271人
	実人数	志願者数	614人	605人	652人	630人	511人	602人
		受験者数	598人	588人	633人	615人	505人	588人
		合格者数	354人	404人	370人	329人	449人	381人
		うち追加合格者数	132人	115人	98人	0人	153人	100人
		辞退者数	247人	297人	259人	202人	350人	271人
	入学者数		107人	107人	111人	127人	99人	110人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	107人	107人	107人	107人	107人	107
入学定員充足率	1.00	1.00	1.04	1.19	0.93	1.03
歩留率	0.30	0.26	0.30	0.39	0.22	0.29

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-13

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　心理・福祉学部　社会福祉学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		28人	28人	33人	33人	33人	31人
	延べ人数	志願者数	48人	84人	28人	44人	46人	50人
		受験者数	41人	74人	27人	40人	44人	45人
		合格者数	39人	62人	27人	39人	43人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	24人	13人	18人	19人	15人
	実人数	志願者数	48人	84人	28人	44人	46人	50人
		受験者数	41人	74人	27人	40人	44人	45人
		合格者数	39人	62人	27人	39人	43人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	24人	13人	18人	19人	15人
	入学者数		38人	38人	14人	21人	24人	27人
学校推薦型選抜	募集人数		40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	60人	59人	63人	54人	39人	55人
		受験者数	60人	59人	63人	54人	38人	55人
		合格者数	58人	58人	63人	54人	38人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	60人	59人	63人	54人	39人	55人
		受験者数	60人	59人	63人	54人	38人	55人
		合格者数	58人	58人	63人	54人	38人	54人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	0人	0人	1人
	入学者数		57人	56人	62人	54人	38人	53人
一般選抜	募集人数		38人	38人	36人	36人	36人	37人
	延べ人数	志願者数	225人	198人	155人	180人	110人	174人
		受験者数	222人	197人	147人	177人	105人	170人
		合格者数	100人	87人	75人	104人	55人	84人
		うち追加合格者数	43人	42人	2人	0人	0人	17人
		辞退者数	76人	68人	45人	71人	39人	60人
	実人数	志願者数	171人	142人	110人	132人	85人	128人
		受験者数	168人	141人	102人	129人	80人	124人
		合格者数	100人	87人	75人	104人	55人	84人
		うち追加合格者数	43人	42人	2人	0人	0人	17人
		辞退者数	76人	68人	45人	71人	39人	60人
	入学者数		24人	19人	30人	33人	16人	24人
共通テスト利用入試	募集人数		12人	12人	9人	9人	9人	10人
	延べ人数	志願者数	114人	80人	61人	98人	101人	91人
		受験者数	114人	79人	61人	98人	100人	90人
		合格者数	84人	78人	59人	96人	100人	83人
		うち追加合格者数	32人	51人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	73人	66人	54人	80人	87人	72人
	実人数	志願者数	114人	80人	61人	98人	101人	91人
		受験者数	114人	79人	61人	98人	100人	90人
		合格者数	84人	78人	59人	96人	100人	83人
		うち追加合格者数	32人	51人	0人	0人	0人	17人
		辞退者数	73人	66人	54人	80人	87人	72人
	入学者数		11人	12人	5人	16人	13人	11人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		120人	120人	120人	120人	120人	120人
	延べ人数	志願者数	447人	421人	308人	376人	296人	370人
		受験者数	437人	409人	299人	369人	287人	360人
		合格者数	281人	285人	225人	293人	236人	264人
		うち追加合格者数	75人	93人	2人	0人	0人	34人
		辞退者数	151人	160人	114人	169人	145人	148人
	実人数	志願者数	393人	365人	263人	328人	271人	324人
		受験者数	383人	353人	254人	321人	262人	315人
		合格者数	281人	285人	225人	293人	236人	264人
		うち追加合格者数	75人	93人	2人	0人	0人	34人
		辞退者数	151人	160人	114人	169人	145人	148人
	入学者数		130人	125人	111人	124人	91人	116人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.08	1.04	0.93	1.03	0.76	0.97
歩留率	0.46	0.44	0.49	0.42	0.39	0.44

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間） 資料10-14

大学学部学科等名：新潟医療福祉大学　医療経営管理学部　医療情報管理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		19人	19人	19人	19人	19人	19人
	延べ人数	志願者数	23人	56人	28人	62人	50人	44人
		受験者数	19人	52人	26人	58人	45人	40人
		合格者数	19人	37人	22人	52人	44人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	15人	8人	22人	20人	13人
	実人数	志願者数	23人	56人	28人	62人	50人	44人
		受験者数	19人	52人	26人	58人	45人	40人
		合格者数	19人	37人	22人	52人	44人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	15人	8人	22人	20人	13人
	入学者数		17人	22人	14人	30人	24人	21人
学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	27人	27人	27人	27人
	延べ人数	志願者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		受験者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		合格者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	2人	1人	1人
	実人数	志願者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		受験者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		合格者数	35人	41人	48人	50人	41人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	2人	1人	1人
	入学者数		35人	41人	47人	48人	40人	42人
一般選抜	募集人数		22人	22人	22人	22人	22人	22人
	延べ人数	志願者数	132人	174人	151人	178人	92人	145人
		受験者数	128人	169人	148人	174人	90人	142人
		合格者数	67人	74人	75人	26人	43人	57人
		うち追加合格者数	15人	37人	20人	0人	1人	15人
		辞退者数	43人	57人	61人	15人	25人	40人
	実人数	志願者数	103人	126人	109人	139人	69人	109人
		受験者数	100人	122人	106人	135人	67人	106人
		合格者数	67人	74人	75人	26人	43人	57人
		うち追加合格者数	15人	37人	20人	0人	1人	15人
		辞退者数	43人	57人	61人	15人	25人	40人
	入学者数		24人	17人	14人	11人	18人	17人
共通テスト利用入試	募集人数		10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数	61人	44人	65人	77人	52人	60人
		受験者数	60人	44人	63人	77人	52人	59人
		合格者数	59人	39人	63人	36人	52人	50人
		うち追加合格者数	16人	7人	27人	0人	0人	10人
		辞退者数	46人	33人	54人	28人	42人	41人
	実人数	志願者数	61人	44人	65人	77人	52人	60人
		受験者数	60人	44人	63人	77人	52人	59人
		合格者数	59人	39人	63人	36人	52人	50人
		うち追加合格者数	16人	7人	27人	0人	0人	10人
		辞退者数	46人	33人	54人	28人	42人	41人
	入学者数		13人	6人	9人	8人	10人	9人
その他の特別選抜	募集人数		2人	2人	2人	2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人数		80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数	251人	315人	292人	367人	235人	292人
		受験者数	242人	306人	285人	359人	228人	284人
		合格者数	180人	191人	208人	164人	180人	185人
		うち追加合格者数	31人	44人	47人	0人	1人	25人
		辞退者数	91人	105人	124人	67人	88人	95人
	実人数	志願者数	222人	267人	250人	328人	212人	256人
		受験者数	214人	259人	243人	320人	205人	248人
		合格者数	180人	191人	208人	164人	180人	185人
		うち追加合格者数	31人	44人	47人	0人	1人	25人
		辞退者数	91人	105人	124人	67人	88人	95人
	入学者数		89人	86人	84人	97人	92人	90人

２．入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平　均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入学定員充足率	1.11	1.08	1.05	1.21	1.15	1.12
歩留率	0.49	0.45	0.40	0.59	0.51	0.49

（備考）
その他の特別選抜は、社会人等特別選抜が該当。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

資料11

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：健康科学部健康栄養学科のオープンキャンパス（3月～2月）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	316人	237人	①取組概要（目標：参加者等総数220名） WEBオープンキャンパスにて、学科紹介・施設紹介・模擬授業・個別相談等を実施（R4：11回、R5：11回） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 R7の目標は、参加者等総数330人（過去2年間の目標の1.5倍）、受験対象者数195人（受験対象者率59.1%）、受験者数87.8人（受験率45%）、入学者数46.4人（入学率23.8%）の見込み。
うち受験対象者数(b)	188人	139人	
うち受験者数(c)	83人	64人	
うち入学者数(d)	38人	38人	
（受験率 c/b）	44.1%	46.0%	
（入学率 d/b）	20.2%	27.3%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：健康科学部健康栄養学科の資料請求

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	1579人	914人	①取組概要（目標：参加者等総数1,000名） 本学HPおよび進学業者雑誌・WEBサイトを通じた資料請求 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 R7の目標は、参加者等総数1500人（過去2年間の目標の1.5倍）、受験対象者数873人（受験対象者率58.2%）、受験者数77.7人（受験率8.9%）、入学者数34.9人（入学率4%）の見込み。
うち受験対象者数(b)	929人	541人	
うち受験者数(c)	92人	43人	
うち入学者数(d)	40人	20人	
（受験率 c/b）	9.9%	7.9%	
（入学率 d/b）	4.3%	3.7%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

資料12：健康栄養学科定員増　年間学生募集広報計画

	2024年1月			2024年2月			2024年3月			2024年4月			2024年5月			2024年6月			2024年7月			2024年8月			2024年9月			2024年10月			2024年11月			2024年12月			2025年1月			2025年2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
新設申請手続関連								★健康栄養学科収容定員増の学則変更認可申請 →										認可																										
								★関東信越厚生局 管理栄養士・栄養士養成施設に係る内容変更承認申請																																		
入試																									総合型A・B方式						総合型C・D方式、学校推薦型						一般選抜、共通テスト利用選抜					
オープンキャンパス									来場型					来場型			来場型			来場型		来場型							来場型													
									WEB型					WEB型			WEB型			WEB型		WEB型				WEB型			WEB型			WEB型			WEB型		WEB型			WEB型		
大学ホームページ			●特設サイト公開（随時内容更新）																																							
進路情報誌 進学サイト			●全媒体への情報掲載（随時内容更新） →																																							
						●マイナビ進学WEB 「新しい学部・学科」				●テレメール 「新設学部バナー」				●ライセンス 「学べることから見つける大学探しBOOK」																	●テレメール 「願書請求INDEX」			●テレメールスマホ 「エリア指定バナー」								
						●リクルートWEB 「バナー企画」				●さんぽう 「学びのすすめ」				●マナビジョンWEB 「トップページバナー」						●ベスト進学ネット 「請求確定時表示広告」																						
大学公式SNS			●LINE、X、Instagram、Facebook、TikTokでの情報発信（随時） →																																							
本学リストDM								●第1弾												●第2弾												●第3弾										
業者リストDM								●第1弾												●第2弾												●第3弾										
高校訪問							●県内(全校)、県外(重点校)						●県内(全校)、県外(重点校)						●県内(全校)、県外(重点校)							●県内(全校)、県外(重点校)									●県内(全校)、県外(重点校)								
高校教員対象 イベント																●高校教員対象WEB説明会 ●高校教員対象オープンキャンパス																										
進路相談会	継続的に実施 →																																									
出張講義	継続的に実施 →																																									

資料13：本学及び競合校の選抜区分とスケジュール　※2024（令和6）年度入学者選抜を参照

出所：各大学のホームページ等での公表情報をもとに新潟医療福祉大学にて作成

新潟医療福祉大学　健康科学部　健康栄養学科

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間	試験会場	備考
総合型選抜A方式（主体性重視型）	2023年8月1日（火）～2023年9月7日（木）	第1次選抜9月23日（土） 第2次選抜10月14日（土）	2023年11月1日（木）	2023年11月1日（木）～2023年11月10日（金）	新潟医療福祉大学	
総合型選抜B方式（基礎教養重視型）	2023年8月1日（火）～2023年9月7日（木）	2023年9月23日（土）	2023年11月1日（木）	2023年11月1日（木）～2023年11月10日（金）	新潟医療福祉大学	
総合型選抜C方式（スポーツ重視型）前期日程	－	－	－	－	－	健康栄養学科の実施なし
総合型選抜C方式（スポーツ重視型）後期日程	－	－	－	－	－	健康栄養学科の実施なし
総合型選抜D方式（基礎学力重視型）	2023年10月1日（日）～2023年11月9日（木）	2023年11月25日（土）	2023年12月6日（水）	2023年12月6日（水）～2023年12月18日（月）	新潟医療福祉大学	
学校推薦型選抜（公募制）前期日程	2023年10月1日（日）～2023年11月9日（木）	2023年11月25日（土）	2023年12月6日（水）	2023年12月6日（水）～2023年12月18日（月）	新潟医療福祉大学	
学校推薦型選抜（公募制）後期日程	－	－	－	－	－	健康栄養学科の実施なし
学校推薦型選抜（指定校制）	2023年10月1日（日）～2023年11月7日（火）	2023年11月18日（木）	2023年12月6日（水）	2023年12月6日（水）～2023年12月18日（月）	新潟医療福祉大学	
社会人等特別選抜	2023年10月1日（日）～2023年11月9日（木）	2023年11月25日（土）	2023年12月6日（水）	2023年12月6日（水）～2023年12月18日（月）	新潟医療福祉大学	
大学入学共通テスト利用選抜（前期日程）	2023年12月18日（月）～2024年1月22日（月）	－	2024年2月16日（金）	2024年2月16日（金）～2024年3月3日（日）	－	共通テストの成績のみで選抜
大学入学共通テスト利用選抜（後期日程）	－	－	－	－	－	健康栄養学科の実施なし
一般選抜（前期日程）	2023年12月18日（月）～2024年1月15日（月）	2024年2月1日（木） 2024年2月2日（金）	2024年2月16日（金）	2024年2月16日（金）～2024年3月3日（日）	全国8会場	新潟・東京・郡山・高崎・ 長野・富山・鶴岡・仙台の8会場
一般選抜（後期日程）	2024年2月5日（月）～2024年2月19日（月）	2024年2月29日（木）	2024年3月8日（金）	2024年3月8日（金）～2024年3月20日（水）	全国6会場	新潟・東京・郡山・長野・ 鶴岡・仙台の6会場

新潟県立大学　人間生活学部　健康栄養学科

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間	試験会場	備考
総合型選抜	－	－	－	－	－	健康栄養学科の実施なし
学校推薦型選抜	2023年11月1日（水）～2023年11月6日（月）	2023年11月18日（土）	2023年12月1日（金）	2023年12月4日（月）～2023年12月8日（金）	新潟県立大学	
海外帰国生特別選抜	2023年11月1日（水）～2023年11月6日（月）	2023年11月18日（土）	2023年12月1日（金）	2023年12月4日（月）～2023年12月8日（金）	新潟県立大学	
外国人留学生特別選抜	2023年11月1日（水）～2023年11月6日（月）	2023年11月18日（土）	2023年12月1日（金）	2023年12月4日（月）～2023年12月8日（金）	新潟県立大学	
一般選抜A日程	2024年1月10日（水）～2024年1月18日（木）	2024年2月3日（土）	2024年2月15日（木）	2024年2月16日（金）～2024年2月22日（木）	新潟県立大学	
一般選抜B日程	2024年1月15日（月）～2024年1月24日（水）	2024年2月18日（日）	2024年3月4日（月）	2024年3月5日（火）～2024年3月12日（火）	全国2会場	新潟・東京の2会場
一般選抜C日程	2024年2月13日（火）～2024年2月20日（火）	2024年3月14日（木）	2024年3月20日（水）	2024年3月21日（木）～2024年3月27日（水）	新潟県立大学	

資料14：競合校並びに学生募集地域の他大学における学生納付金一覧

出所：各大学のホームページ等での公表情報をもとに新潟医療福祉大学にて作成

対象	設立区分	所在地	大学名	学部	学科	出身地	入学金	授業料	施設設備金	実験実習費	教育充実費	初年度納入額
本学	**私立**	**新潟県**	**新潟医療福祉大学**	**健康科学部**	**健康栄養学科**	**県内・県外問わず**	**350,000**	**1,000,000**	**350,000**	**150,000**	**－**	**1,850,000**
競合校	公立	新潟県	新潟県立大学	人間生活学部	健康栄養学科	県内出身者	282,000	535,800	－	－	－	817,800
						県外出身者	564,000	535,800	－	－	－	1,099,800
学生募集地域内の大学	公立	山形県	山形県立米沢栄養大学	健康栄養学部	健康栄養学科	県内出身者	282,000	535,800	－	－	－	817,800
						県外出身者	564,000	535,800	－	－	－	1,099,800
		長野県	長野県立大学	健康発達学部	食健康学科	県内出身者	141,000	535,800	－	－	－	676,800
						県外出身者	423,000	535,800	－	－	－	958,800
	私立	福島県	郡山女子大学	家政学部	食物栄養学科	県内・県外問わず	250,000	762,000	127,000	－	234,000	1,373,000
		長野県	松本大学	人間健康学部	健康栄養学科	県内・県外問わず	250,000	800,000	350,000	100,000	－	1,500,000

参考：本学の他学科の学生納付金

対象	設立区分	所在地	大学名	学部	学科	出身地	入学金	授業料	施設設備金	実験実習費	教育充実費	初年度納入額
本学	私立	新潟県	新潟医療福祉大学	リハビリテーション学部	理学療法学科	県内・県外問わず	350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				リハビリテーション学部	作業療法学科		350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				リハビリテーション学部	言語聴覚学科		350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				リハビリテーション学部	義肢装具自立支援学科		350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				リハビリテーション学部	鍼灸健康学科		350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				医療技術学部	臨床技術学科		350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				医療技術学部	視機能科学科		350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				医療技術学部	救急救命学科		350,000	1,000,000	350,000	150,000	－	1,850,000
				医療技術学部	診療放射線学科		300,000	1,100,000	400,000	150,000	－	1,950,000
				健康科学部	健康スポーツ学科		250,000	850,000	350,000	50,000	－	1,500,000
				看護学部	看護学科		300,000	1,100,000	300,000	250,000	－	1,950,000
				心理・福祉学部	社会福祉学科		250,000	830,000	280,000	40,000	－	1,400,000
				心理・福祉学部	心理健康学科		250,000	830,000	280,000	40,000	－	1,400,000
				医療経営管理学部	医療情報管理学科		280,000	800,000	200,000	50,000	－	1,330,000

資料15

一般社団法人
日本臨床栄養協会
認定

「保健機能食品やサプリメントの専門家」

NR・サプリメントアドバイザー目指してみませんか？

第11回試験日	2023年12月3日（日）	全国7会場予定
試験方法	五肢択一式の学科試験	出題問題数90問

在学中に
資格取得が可能

学生会員の費用
優遇措置あり

通信教育は
スマートフォンからも
聴講可能

就職活動で
幅を広げるチャンス

会員には
協会誌年4回発送

一般社団法人日本臨床栄養協会事務局
〒153-0044
東京都目黒区大橋２丁目16番28号パインヒルズ601
TEL：03-3467-0446　FAX：03-3467-0447
メール：ojsaa2001@zpost.plala.or.jp

NR・サプリメントアドバイザーとは？（裏面へ）

HPはこちら↓

NR・サプリメントアドバイザーとは？

※NR ＝ Nutrition Representative　栄養情報担当者

＜役割＞

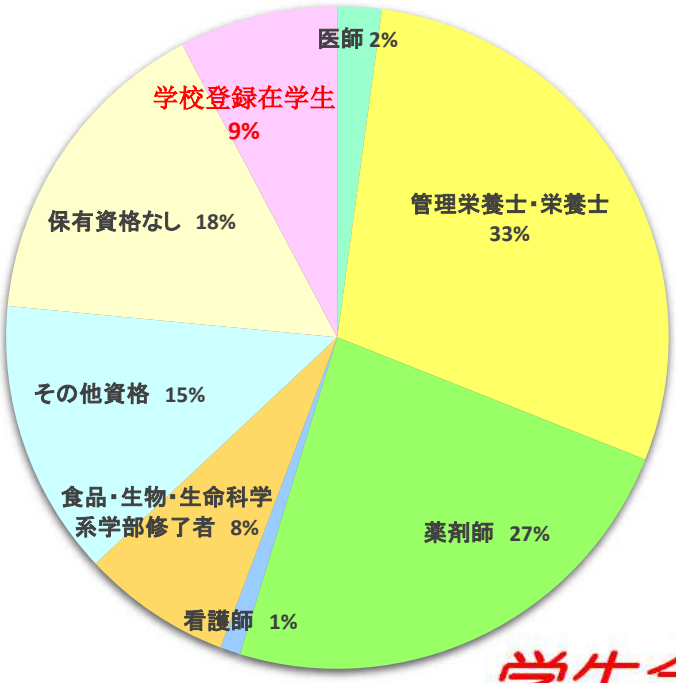
消費者に対して保健機能食品、サプリメントについて、専門的観点から個人の栄養状態を評価し、適切にアドバイスする。

＜職域＞

①保健機能食品等の販売店舗や通販の販売企画等
②保健機能食品等の製造・販売会社のお客様相談室等
③保健センター、病院・診療所、薬局等の保健・医療機関
④消費者センター等の消費者相談機関
⑤地域における食生活改善活動の場

資格取得学習のメリット

資格取得者構成比(%) 2022年11月現在



◎管理栄養士と薬剤師で資格取得者の6割を占めている！

◎学校のカリキュラムと重複する内容も多く予習復習になる！

◎インターネットによる通信教育でスマートフォンからも聴講可能！

◎学校のカリキュラム以外の応用的な内容で就職活動の選択の幅も広がる！

学生会員の特典

◎在学中に資格取得ができる！
◎就職選択の幅を広げるチャンスとなる！
◎学生会員時は費用の優遇措置がある！
　通常75,300円＊1かかるところ、学生会員は24,400円＊2で受験できる！

＊１内訳）入会金1,000円、年会費8,000円、通信教育51,000円、受験料15,300円
＊２内訳）入会金なし、年会費4,000円、通信教育5,100円、受験料15,300円

昨年は410名の学生会員様が受験されました☆

資料16：2021（令和3）～2023（令和5）年度　本学及び競合校の入学志願状況等

出所：各大学のホームページ等での公表情報をもとに新潟医療福祉大学にて作成

	2021（令和3）年度		2022（令和4）年度		2023（令和5）年度		3年間平均	
	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科	新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科	新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科	新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科	新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科
入学定員	40名	40名	40名	40名	40名	40名	40名	40名
志願者数	355名	276名	307名	329名	258名	262名	307名	289名
受験者数	347名	232名	302名	273名	255名	211名	301名	239名
合格者数	68名	72名	78名	69名	75名	67名	74名	69名
入学者数	44名	42名	44名	46名	44名	40名	44名	43名
入学定員充足率	1.10倍	1.05倍	1.10倍	1.15倍	1.10倍	1.00倍	1.10倍	1.07倍

資料17：競合校並びに学生募集地域の他大学における入試状況

出所：各大学のホームページ等での公表情報をもとに新潟医療福祉大学にて作成

所在地	大学名	学部学科	入学定員(A)	2021(令和3)年度					2022(令和4)年度					2023(令和5)年度					3か年平均				
				志願者数	受験者数	合格者数	入学者数(B)	定員充足率(B)/(A)	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数(B)	定員充足率(B)/(A)	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数(B)	定員充足率(B)/(A)	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数(B)	定員充足率(B)/(A)
参　考	新潟医療福祉大学	健康科学部 健康栄養学科	40	355	347	68	44	1.10	307	302	78	44	1.10	258	255	75	44	1.10	307	301	74	44	1.10
新潟県	新潟県立大学	人間生活学部 健康栄養学科	40	276	232	72	42	1.05	329	273	69	46	1.15	262	211	67	40	1.00	289	239	69	43	1.07
山形県	山形県立米沢栄養大学	健康栄養学部 健康栄養学科	42	159	103	48	45	1.07	147	95	50	45	1.07	130	97	48	43	1.02	145	98	49	44	1.06
福島県	郡山女子大学	家政学部 食物栄養学科	80	102	102	－	79	0.99	97	96	67	63	0.79	94	94	76	60	0.75	98	97	72	67	0.84
長野県	松本大学	人間健康学部 健康栄養学科	70	174	169	112	77	1.10	169	165	121	77	1.10	147	132	105	72	1.03	163	155	113	75	1.08
	長野県立大学	健康発達学部 食健康学科	30	155	104	35	30	1.00	156	104	34	32	1.07	165	107	34	32	1.07	159	105	34	31	1.04

資料18：留め置き調査の対象高等学校一覧

NO	県名	高校コード	高校名	NO	県名	高校コード	高校名
1	新潟	15102F	新潟県立新潟中央高等学校	55	新潟	15508A	加茂暁星高等学校
2	新潟	15103D	新潟県立新潟南高等学校	56	新潟	15509J	新発田中央高等学校
3	新潟	15104B	新潟県立新潟江南高等学校	57	新潟	15510B	新潟産業大学附属高等学校
4	新潟	15105A	新潟県立新潟西高等学校	58	新潟	15511A	新潟清心女子高等学校
5	新潟	15109C	新潟県立新潟商業高等学校	59	新潟	15512J	敬和学園高等学校
6	新潟	15110G	新潟県立新潟向陽高等学校	60	新潟	15513G	関根学園高等学校
7	新潟	15112C	新潟県立巻高等学校	61	新潟	15514E	新潟第一高等学校
8	新潟	15113A	新潟県立巻総合高等学校	62	新潟	15516A	日本文理高等学校
9	新潟	15118B	新潟県立新発田高等学校	63	新潟	15517K	開志学園高等学校
10	新潟	15120D	新潟県立新発田農業高等学校	64	山形	06103E	山形県立山形西高等学校
11	新潟	15122A	新潟県立村上高等学校	65	山形	06104C	山形県立山形北高等学校
12	新潟	15123J	新潟県立村上桜ケ丘高等学校	66	山形	06106K	山形県立山形中央高等学校
13	新潟	15129H	新潟県立新津高等学校	67	山形	06128A	山形県立米沢東高等学校
14	新潟	15132H	新潟県立五泉高等学校	68	山形	06139F	山形県立鶴岡南高等学校
15	新潟	15135B	新潟県立長岡高等学校	69	山形	06140K	山形県立鶴岡北高等学校
16	新潟	15136A	新潟県立長岡大手高等学校	70	山形	06149C	山形県立酒田東高等学校
17	新潟	15138G	新潟県立長岡農業高等学校	71	山形	06150G	山形県立酒田西高等学校
18	新潟	15140J	新潟県立長岡商業高等学校	72	山形	06163J	山形県立酒田光陵高等学校
19	新潟	15141G	新潟県立見附高等学校	73	山形	06503A	日本大学山形高等学校
20	新潟	15144A	新潟県立三条高等学校	74	山形	06507C	東海大学山形高等学校
21	新潟	15145K	新潟県立三条東高等学校	75	山形	06510C	米沢中央高等学校
22	新潟	15149B	新潟県立加茂高等学校	76	山形	06513H	鶴岡東高等学校
23	新潟	15151D	新潟県立小千谷高等学校	77	福島	07103A	福島県立福島西高等学校
24	新潟	15154J	新潟県立小出高等学校	78	福島	07117A	福島県立郡山東高等学校
25	新潟	15155G	新潟県立六日町高等学校	79	福島	07120A	福島県立須賀川桐陽高等学校
26	新潟	15162K	新潟県立柏崎高等学校	80	福島	07133B	福島県立葵高等学校
27	新潟	15163H	新潟県立柏崎常盤高等学校	81	福島	07138C	福島県立喜多方高等学校
28	新潟	15164F	新潟県立柏崎総合高等学校	82	福島	07157K	福島県立いわき湯本高等学校
29	新潟	15168J	新潟県立高田高等学校	83	福島	07169C	福島県立相馬高等学校
30	新潟	15169G	新潟県立高田北城高等学校	84	福島	07172C	福島県立原町高等学校
31	新潟	15171J	新潟県立高田農業高等学校	85	福島	07189H	福島県立福島南高等学校
32	新潟	15174C	新潟県立新井高等学校	86	福島	07509E	尚志高等学校
33	新潟	15181F	新潟県立糸魚川高等学校	87	福島	07512E	石川高等学校
34	新潟	15184A	新潟県立佐渡高等学校	88	富山	16102A	富山県立入善高等学校
35	新潟	15185J	新潟県立羽茂高等学校	89	富山	16103K	富山県立桜井高等学校
36	新潟	15193K	新潟市立万代高等学校	90	富山	16107B	富山県立滑川高等学校
37	新潟	15198A	新潟県立新潟東高等学校	91	富山	16110B	富山県立雄山高等学校
38	新潟	15199J	新潟県立新津南高等学校	92	富山	16111A	富山県立富山北部高等学校
39	新潟	15202B	新潟県立新潟北高等学校	93	富山	16121H	富山県立八尾高等学校
40	新潟	15203A	新潟県立分水高等学校	94	富山	16145E	富山県立呉羽高等学校
41	新潟	15204J	新潟県立新発田南高等学校	95	富山	16150A	富山県立南砺福野高等学校
42	新潟	15205G	新潟県立新発田商業高等学校	96	富山	16504C	富山第一高等学校
43	新潟	15207C	新潟県立長岡向陵高等学校	97	長野	20109A	長野県須坂高等学校
44	新潟	15209K	新潟県立国際情報高等学校	98	長野	20112A	長野県長野吉田高等学校
45	新潟	15210C	新潟県立村上中等教育学校	99	長野	20114G	長野県長野西高等学校
46	新潟	15211A	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	100	長野	20116C	長野県長野東高等学校
47	新潟	15218J	新潟県立直江津中等教育学校	101	長野	20128G	長野県上田染谷丘高等学校
48	新潟	15219G	新潟県立佐渡中等教育学校	102	長野	20138D	長野県岩村田高等学校
49	新潟	15220A	新潟市立高志中等教育学校	103	長野	20147C	長野県諏訪二葉高等学校
50	新潟	15501C	新潟明訓高等学校	104	長野	20156B	長野県伊那弥生ケ丘高等学校
51	新潟	15502A	新潟青陵高等学校	105	長野	20174A	長野県松本美須々ケ丘高等学校
52	新潟	15503K	北越高等学校	106	長野	20176G	長野県松本蟻ケ崎高等学校
53	新潟	15504H	中越高等学校	107	長野	20501A	松商学園高等学校
54	新潟	15505F	帝京長岡高等学校				

新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）に関するアンケート

新潟医療福祉大学では2025年（令和7年）4月より、「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員を増やすことを計画しています。
このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、新潟医療福祉大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
また、回答いただいた内容が、高校生のみなさんの本学への入学に影響を及ぼすことは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

1. 回答は、**あてはまる番号 に「○」印**をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で濃く書いてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
   特に、**「○」印は、番号丸枠からはみ出さないように**つけてください。

ここに○印をつけてください
○ 食物学

ID 60
この欄には記入しないでください

良い記入例	悪い記入例			
○ 食物学 ② 栄養学	① 食物学 ② 栄養学	① 食物学 ② 栄養学	○ 食物学 ② 栄養学	① 食物学 ② 栄養学

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別（1つに○）	① 男性　② 女性　③ 回答しない
学年（1つに○）	① 1年生　② 2年生　③ 3年生 ※中等教育学校に在籍されている方は、高等学校の学年に換算した場合に該当するものをお選びください。
在籍している高校名	高校所在地［　　］都・道・府・県 ① 国立　② 公立　③ 私立　（←1つに○）［　　］高等学校
所属クラス（1つに○）	① 文系クラス（文系コース）　③ コース選択はない ② 理系クラス（理系コース）　④ その他

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1 あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している（希望している）進路すべてに○をつけてください。（複数選択可）

① 大学　③ 専門職大学　⑤ 専門学校
② 短期大学　④ 専門職短期大学　⑥ 就職
⑦ その他

Q2 Q1で①～④を選択した方に質問です。（※Q1で①～④を選択しなかった方は、Q3に進んでください。）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している（希望している）設置者すべてに○をつけてください。（複数選択可）

① 私立　② 国立　③ 公立

Q3 ここからは**全員**にお聞きします。
高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。（複数選択可）
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

① 食物学（管理栄養士養成課程,健康栄養学,食健康科学など）
② その他栄養学（健康スポーツ栄養学,運動栄養学など）
③ 保健（栄養学,臨床栄養学,保健栄養学など）
④ 保健（医学,歯学,薬学,看護学など）
⑤ 家政学,被服学,住居学,児童学
⑥ 理学・工学（数学,化学,物理工学など）
⑦ 農学（農学,林学,水産学など）
⑧ 人文科学（文学,史学,哲学など）
⑨ 社会科学（法学,商学,社会学など）
⑩ その他
⑪ まだ決めていない

◆新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」についてお聞きします。

新潟医療福祉大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2025年（令和7年）4月に、「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員を増やすことを計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q 4 新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例　○○である	→	①	●	③	④
A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④
B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④
C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④
D. 健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④

Q 5 あなたは、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員が増員された場合、受験を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

① 第一志望として受験する
② 第二志望として受験する
③ 第三志望以降として受験する
④ 受験しない （→Q7にお進みください。）

Q 6 **Q5で①～③（受験する）を選択した方**に質問です。
新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

① 入学する　② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する　③ 入学しない

Q 7 あなたは過去に新潟医療福祉大学のオープンキャンパス、または在籍高校で、本紙と同じアンケートに回答したことがありますか。

① 同じアンケートに回答したことはない　② 同じアンケートに回答したことがある

＊＊＊ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。＊＊＊

看護・医療・リハビリ・栄養・スポーツ・福祉の総合大学
新潟医療福祉大学

資料20

「医療・福祉」「スポーツ」等、
あらゆるフィールドで
人々の健康をサポートできる
管理栄養士をめざします。

2025年4月
入学定員増
構想中

健康科学部

健康栄養学科

入学定員
40名→80名予定

養成する人物像

「医療・福祉」「学校・行政」「スポーツ」「企業」等、あらゆるフィールドで
活躍できる管理栄養士を養成することを設置理念としています。

基本方針1 科学的知識を基に論理的に思考・判断し発信できる管理栄養士の養成

基本方針2 対象者に共感し、個人や集団に対応する解決策を提案できる管理栄養士の養成

基本方針3 多職種と連携しながら自らが向上していく管理栄養士の養成

アドミッション・ポリシー

科学的知識と技術を活用する力
Science & Art

高等学校卒業相当の英語・国語・数学・生物・化学など、入学者選抜試験にて出題する教科・科目の基礎学力を有する。

チームワークとリーダーシップ
Teamwork & Leadership

自分の意見を論理的に表現し、相手にわかりやすく表現するとともに、他者と協調し、主体的に物事を成し遂げる能力を有する。

対象者を支援する力
Empowerment

学習や課外活動に対して主体的に行動するとともに、人との関わりを大切にし、円滑な人間関係を築くうえで必要な優しさ・協調性・他者を理解しようとする態度を有する。

問題を解決する力
Problem-solving

ある事象に対してさまざまな視点から物事を考え、自身で解決方法を考え、解決に向け行動する能力を有する。

自己実現意欲
Self-realization

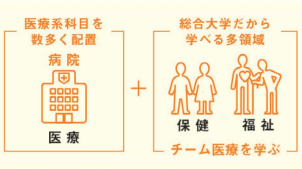
健康の維持・増進、病気の予防・治療、虚弱・介護予防に、管理栄養士として「食」の面から貢献したいという意欲を有する。

学びの特色

栄養（食）を通して「チーム医療」に貢献できる管理栄養士を育成！
「医療・福祉」「学校・行政」「スポーツ」「企業・食品開発」など、あらゆるフィールドで活躍できるスキルを修得

1 「チーム医療」で活躍できる

「医学系科目」を数多く配置し、医療系学科の学生とともに**「チーム医療」で活躍できる管理栄養士の養成**



2 「福祉・介護」にも対応

急速に進む高齢化社会において**医療・福祉・介護に対して一体的に対応できる管理栄養士の養成**

3 スポーツ栄養に強い

プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等と連携し、**アスリートを栄養サポートする管理栄養士の養成**

4 食品・商品開発も担う

健康の維持・増進に大切な**食品開発**、ライフステージや疾病・疾患に合わせた**商品開発を担う管理栄養士の養成**

※構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

取得可能な資格

- 管理栄養士（国家資格）
- 栄養士
- 栄養教諭一種免許
- フードスペシャリスト（日本フードスペシャリスト協会認定資格）
- NR・サプリメントアドバイザー（日本臨床栄養協会認定資格）

卒業後に全員が栄養士を取得

管理栄養士受験資格 ／ 栄養士 ／ 栄養教諭一種免許（選択） ／ フードスペシャリスト ／ NR・サプリメントアドバイザー

フードスペシャリスト・NR・サプリメントアドバイザー：付加資格

広がる活動の場

学生納付金

入学金	授業料	施設設備金	実験実習料	初年度合計
350,000円	1,000,000円	350,000円	150,000円	1,850,000円

卒業後の活躍の場

- 病院等の医療機関
- 福祉施設（高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設等）
- スポーツ分野（プロスポーツチーム、民間スポーツクラブ、スポーツ関連企業等）
- 小学校・中学校
- 行政（保健所、保健センター、市役所等）
- 企業（食品企業、製薬関連企業、給食会社等）
- 大学等の教育・研究機関

類似する管理栄養士養成施設

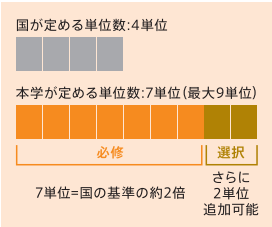
【新潟県】**新潟県立大学**　人間生活学部 健康栄養学科
【新潟県】**北陸食育フードカレッジ**　管理栄養士学科 ※専門学校
【山形県】**山形県立米沢栄養大学**　健康栄養学部 健康栄養学科
【福島県】**郡山女子大学**　家政学部 食物栄養学科
【長野県】**長野県立大学**　健康発達学部 食健康学科
【長野県】**松本大学**　人間健康学部 健康栄養学科

スケールメリットを活かした育成・サポート体制

本学は病院や福祉・介護施設の他、プロスポーツ団体や一般企業と連携・協力関係を持つ全国でも数少ない大学です。併設する大学院を含め、スケールメリットを活かして他の大学では実現困難な育成・サポート体制を確立しています。

臨地実習科目の充実

本学では幅広いネットワークを活かして、国が定める実習科目の約2倍（7単位）、希望者は最大9単位の実習科目を履修・取得可能なカリキュラムを実現し、即戦力として活躍できる管理栄養士を養成しています。（臨床栄養学実習に加え、介護栄養学実習・公衆栄養学実習・給食経営管理実習があります。）



栄養サポートに関する研究力の強化

2021年3月、アルビレックス新潟・アルビレックス新潟レディース・新潟リハビリテーション病院と本学の間で連携協定を締結しました。今後は4者連携を軸に、以下を重点テーマとして研究を推進します。
【テーマ】女性アスリートの栄養状態と月経周期や睡眠の関係 ／ 女性アスリートと一般女性の食と睡眠比較 ／ アスリートの補食摂取状況　等

栄養ケアセミナールーム（仮称）の設置

定員増に伴い、栄養ケアセミナールーム（仮称）の設置を予定しています。本施設を利用し、本学の強化指定クラブやアルビレックスの選手、地域住民等を招いた栄養セミナーや栄養相談等を計画中です。地域と連携し、スポーツ分野や健康維持の栄養指導等によるスポーツ栄養学の深化を図り、全世代に対する栄養サポート体制を確立します。

写真はイメージです

大学院まで一貫して「スポーツ栄養」を学ぶ

2023年4月に本学大学院修士課程にスポーツ栄養学コースを新設し、学部から大学院まで一貫して「スポーツ栄養」を学ぶことができる環境を実現しました。これにより、健康栄養学科での学びと専門性を大学院でさらに深め、スポーツ現場での多職種連携をより高度に実践する人材を養成します。

CLOSE UP

管理栄養士国家試験合格率

学生一人ひとりの弱点・苦手分野を個別サポートし、全国トップクラスの合格率を達成！

全国平均 56.6%

本学 92.7% 達成！

合格者数38名／受験者数41名
（2022年度実績）

就職内定率

実践力重視の教育や複数資格の取得などにより、就職内定率100%を達成！

100% 達成！

内定者数39名／就職希望者数39名
（2023年3月卒業生実績）

看護・医療・リハビリ・栄養・スポーツ・福祉の総合大学
新潟医療福祉大学

［所在地］〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地
［ URL ］https://www.nuhw.ac.jp/

アクセス

近隣県の主要駅から新潟駅までの所要時間
- 「米沢駅」より3時間10分
- 「郡山駅」より3時間
- 「長野駅」より2時間30分
- 「富山駅」より3時間30分

新潟駅から電車をご利用の場合
JR白新線「豊栄駅」下車、北口より無料スクールバスで約20分。

新潟駅から路線バスをご利用の場合
新潟駅万代口バスターミナルから、9番のりば空港・松浜線「新潟医療福祉大学行き」乗車、「新潟医療福祉大学」下車、または「太郎代浜行き」乗車、「新潟医療福祉大学入口」下車すぐ。

お問い合わせ先　TEL.025-257-4455(代)　FAX.025-257-4456

リハビリテーション学部
理学療法学科／作業療法学科／言語聴覚学科／義肢装具自立支援学科／鍼灸健康学科

医療技術学部
臨床技術学科／視機能科学科／救急救命学科／診療放射線学科

健康科学部
健康栄養学科／健康スポーツ学科

看護学部
看護学科

心理・福祉学部
社会福祉学科／心理健康学科

医療経営管理学部
医療情報管理学科

※構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

資料21：2023（令和5）年度健康栄養学科入学者に対するアンケート

1. 本学健康栄養学科の志望度について

本学の志望度	第一志望	第二志望	第三志望以下	こだわりなし	未回答	合計
回答数	38	3	0	2	1	44
割　合	86.4%	6.8%	0.0%	4.5%	2.3%	100.0%

2. 志望大学決定時期について

決定時期	高1の春	高1の夏	高1の秋	高1の冬	高2の春	高2の夏	高2の秋	高2の冬	高3の春	高3の夏	高3の秋	高3の冬	未回答	合計
回答数	0	1	0	1	1	4	4	5	11	11	1	4	1	44
割　合	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	9.1%	9.1%	11.4%	25.0%	25.0%	2.3%	9.1%	2.3%	100.0%

25.0%　　75.0%

3. 第一志望と回答した学生が志望大学を決定した時期について

決定時期	高1の春	高1の夏	高1の秋	高1の冬	高2の春	高2の夏	高2の秋	高2の冬	高3の春	高3の夏	高3の秋	高3の冬	合計
回答数	0	1	0	1	1	4	4	5	10	10	1	1	38
割　合	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	10.5%	10.5%	13.2%	26.3%	26.3%	2.6%	2.6%	100.0%

28.9%　　71.1%

新潟医療福祉大学
「健康科学部　健康栄養学科」
入学定員増に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

令和6年1月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

高校生対象

調査概要

1. 調査目的

2025年4月入学定員増予定の新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査	
		調査①	調査②
調査対象		高校2年生	高校2年生
調査エリア		山形県、福島県、新潟県、富山県、長野県	青森県、秋田県、山形県、福島県、群馬県、千葉県、東京都、新潟県、長野県
調査方法		高校留め置き調査	OC参加者・イベント配布、接触者調査
調査対象数	依頼数	16,965名（107校）	218名
	有効回収数	11,654名（103校） 有効回収率：68.7％	71名 有効回収率：32.6％
調査時期		2023年9月7日（木）～2023年11月6日（月）	2023年8月5日（土）～2023年12月25日（月）
調査実施機関		株式会社　進研アド	

※重複してアンケートに回答していないかを聞く質問を設け、「同じアンケートに回答したことがある」と回答した人は集計から除外している。各調査回答者の重複はない。

3. 調査項目

高校生対象調査
・性別 ・学年 ・高校種別 ・高校所在地 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度 ・新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験意向 ・新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への入学意向 ・アンケート回答の有無

入学意向調査　調査結果

※報告書内の表中の％の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体（11,725名）

回答者の属性

回答者の属性

※本調査は、新潟医療福祉大学の「健康科学部　健康栄養学科」に対する需要を確認するための調査として設計。以下2種類の調査を実施して、合計11,725名の有効な回答を得た。

①高校留め置き調査

②OC参加者・イベント配布、接触者調査

※各調査とも、重複してアンケートに回答していないかを聞く質問を設け、「同じアンケートに回答したことがある」と回答した人は集計から除外している。そのため、①高校留め置き調査、②OC参加者・イベント配布、接触者調査で回答した高校生の間に回答者の重複はない。

- 調査対象者別の回答者数は、①高校留め置き調査が11,654名、②OC参加者・イベント配布、接触者調査が71名である。回答者全体に占める割合は、①高校留め置き調査が99.4%、②OC参加者・イベント配布、接触者調査が0.6%である。
- 回答者の性別は「男性」が45.2%、「女性」が52.2%である。
- 回答者の学年は「2年生」が100.0%である。
- 回答者の高校種別は「公立」が75.0%、「私立」が25.0%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、新潟医療福祉大学の所在地である「新潟県」が58.1%を占め、最も多い。次に「長野県」が13.2%、「山形県」が10.0%と続く。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス（理系コース）」が38.4%で最も多い。次に「文系クラス（文系コース）」が37.2%、「コース選択はない」が12.8%と続く。

高校生対象

回答者の属性

■調査対象

上段:% 下段:件数(名)	標本数	留め置き調査	OC参加者／接触者
全体	11,725	99.4 11,654	0.6 71

■性別

上段:% 下段:件数(名)	標本数	男性	女性	回答しない	無回答
全体	11,725	45.2 5,305	52.2 6,115	1.5 174	1.1 131

■学年

上段:% 下段:件数(名)	標本数	1年生	2年生	3年生	無回答
全体	11,725	0.0 0	100.0 11,725	0.0 0	0.0 0

回答者の属性

■高校種別

上段:% 下段:件数(名)	標本数	国立	公立	私立	無回答
全体	11,725	0.0 0	75.0 8,794	25.0 2,931	0.0 0

■高校所在地

上段:% 下段:件数(名)	標本数	青森県	秋田県	山形県	福島県	群馬県	千葉県	東京都	新潟県	富山県	長野県	無回答
全体	11,725	0.0 1	0.0 1	10.0 1,170	9.4 1,100	0.0 4	0.0 1	0.0 1	58.1 6,817	9.2 1,080	13.2 1,550	0.0 0

■所属クラス

上段:% 下段:件数(名)	標本数	文系クラス(文系コース)	理系クラス(理系コース)	コース選択はない	その他	無回答
全体	11,725	37.2 4,367	38.4 4,502	12.8 1,498	7.9 931	3.6 427

高校卒業後の希望進路

高校卒業後の希望進路

- 回答者のうち、今後「大学」に進学することを検討・希望している人は78.5%。以下、「専門学校」に進学が20.0%、「短期大学」に進学が7.2%と続く。「専門職大学」に進学は4.0%が、「専門職短期大学」に進学は0.8%がそれぞれ興味を示している。
- 高校卒業後の希望進路として「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した人に、設置者ごとの進学希望を複数回答で聴取した。その結果、新潟医療福祉大学の該当する「私立」への進学を希望する人は47.6%、「国立」が59.4%、「公立」が42.7%であった。

■高校卒業後の進路

Q1. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。現在検討している（希望している）進路すべてに○をつけてください。（複数選択可）

上段：% 下段：件数（名）	標本数	大学	短期大学	専門職大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
全体	11,725	78.5 9,209	7.2 841	4.0 474	0.8 90	20.0 2,345	7.1 835	1.4 170	1.0 116

※「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した9,681名を抽出

■希望する大学等の区分（設置者）

Q2. **Q1で①～④を選択した方**に質問です。（※Q1で①～④を選択しなかった方は、Q3に進んでください。）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。現在検討している（希望している）設置者すべてに○をつけてください。（複数選択可）

上段：% 下段：件数（名）	標本数	私立	国立	公立	無回答
全体	9,681	47.6 4,606	59.4 5,750	42.7 4,135	0.8 81

興味のある学問分野

興味のある学問分野

- 回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「その他」を除き「保健（医学，歯学，薬学，看護学など）」が22.3％で最も高い。次いで、「理学・工学（数学，化学，物理工学など）」が18.3％と続く。
- 「健康科学部　健康栄養学科」の学びと関連する学問分野への関心は、「食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）」が7.3％、「その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）」が7.2％、「保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）」が7.2％である。

- 回答者のうち、私立大学進学希望者に限定すると、興味のある学問分野は「保健（医学，歯学，薬学，看護学など）」が23.2％で最も高い。次いで、「その他」を除き「社会科学（法学，商学，社会学など）」が21.1％と続く。
- また、私立大学進学希望者の「健康科学部　健康栄養学科」の学びと関連する学問分野への関心は、「食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）」が8.5％、「その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）」が11.2％、「保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）」が9.6％である。

＜私立大学進学希望者＞
① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「私立」への進学を希望。

興味のある学問分野

■興味のある学問分野

Q3. ここからは**全員**にお聞きします。高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。（複数選択可）
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

上段：% 下段：件数（名）	標本数	食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）	その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）	保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）	保健（医学，歯学，薬学，看護学など）	家政学，被服学，住居学，児童学	理学・工学（数学，化学，物理工学など）
全体	11,725	7.3 856	7.2 846	7.2 842	22.3 2,615	6.2 731	18.3 2,142

上段：% 下段：件数（名）	標本数	農学（農学，林学，水産学など）	人文科学（文学，史学，哲学など）	社会科学（法学，商学，社会学など）	その他	まだ決めていない	無回答
全体	11,725	5.1 601	13.7 1,603	17.0 1,997	23.3 2,727	10.8 1,266	0.5 63

＜私立大学進学希望者ベース＞

上段：% 下段：件数（名）	標本数	食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）	その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）	保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）	保健（医学，歯学，薬学，看護学など）	家政学，被服学，住居学，児童学	理学・工学（数学，化学，物理工学など）
私立大学 進学希望者	4,280	8.5 362	11.2 481	9.6 413	23.2 994	6.4 276	12.8 548

上段：% 下段：件数（名）	標本数	農学（農学，林学，水産学など）	人文科学（文学，史学，哲学など）	社会科学（法学，商学，社会学など）	その他	まだ決めていない	無回答
私立大学 進学希望者	4,280	3.6 153	15.9 682	21.1 901	22.9 979	11.1 476	0.1 3

※%の母数は、私立大学進学希望者（4,280名）

高校生対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「私立」への進学を希望。
③ Q3で、「健康科学部　健康栄養学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）、
その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）、
保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）のいずれかに興味あり）

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験・入学意向

- 上記の①～③の条件すべてに合致する回答者（健康科学部　健康栄養学科のターゲット層該当者）は、891名である。

- ターゲット層該当者の、「健康科学部　健康栄養学科」への受験意向、入学意向をみると、

◇「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は81名

◇「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は16名

◇「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は9名

上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、106名

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員が増員された場合、受験を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

Q6. **Q5で①～③(受験する)を選択した方**に質問です。新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

上段：% 下段：件数（名）		入学意向			
		入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	入学意向あり・合計
受験意向	第一志望	0.7 81	0.02 2	0.02 2	0.7 83
	第二志望	0.1 16	0.5 55	0.01 1	0.6 71
	第三志望以降	0.1 9	1.4 162	0.1 13	1.5 171
	受験意向あり・合計	0.9 106	1.9 219	0.1 16	2.8 325
受験しない		4.6 543			

※%の母数は、回答者全体（11,725名）

高校生対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

【健康科学部　健康栄養学科　ターゲット層】
下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 891名（回答者全体の7.6%）

① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
② Q2で「私立」への進学を希望。
③ Q3で、「健康科学部　健康栄養学科」の学びと関連する学問分野への興味あり
（食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）、その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）、保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）のいずれかに興味あり）

- ターゲット層における「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している」（91.6%）。次に高いのは「A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している」（90.2%）である。

- ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人（第一志望者）における「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度（※）をみると、最も高いのは「C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している」（96.3%）。次に高いのは「A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している」（91.4%）である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

Q4. 新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

特色A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している

特色B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している

特色C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している

特色D. 健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している

上段：% 下段：件数（名）	標本数	特色A	特色B	特色C	特色D
ターゲット層	891	90.2 804	87.9 783	91.6 816	87.5 780
第一志望者	81	91.4 74	90.1 73	96.3 78	90.1 73
第二志望者	16	100.0 16	100.0 16	93.8 15	93.8 15
第三志望者以降	9	88.9 8	100.0 9	100.0 9	88.9 8
入学する・合計	106	92.5 98	92.5 98	96.2 102	90.6 96

※第一志望者、第二志望者、第三志望者以降：
ターゲット層（大学進学希望×私立×関連学問分野興味あり）該当者のうち、
新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」を各志望順位で「受験する」かつ「入学する」と回答した人

※%は魅力度（＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値）

巻末資料　調査票

高校生対象

調査票

新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）に関するアンケート

新潟医療福祉大学では2025年（令和7年）4月より、「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員を増やすことを計画しています。
このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、新潟医療福祉大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
また、回答いただいた内容が、高校生のみなさんの本学への入学に影響を及ぼすことは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※　**このアンケートや同封した資料に記載されている「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。**

記入要領

1．回答は、**あてはまる番号に「○」印**をつけてください。
2．この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3．記入は、必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で濃く書いてください。
4．下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
　特に、**「○」印は、番号丸枠からはみ出さないように**つけてください。

ここに○印をつけてください　→　○ 食物学

ID 60
この欄には記入しないでください

良い記入例	悪い記入例			
○ 食物学 ② 栄養学	① 食物学 栄養学	① 食物学 ② 栄養学	○ 食物学 ② 栄養学	① 食物学 ② 栄養学

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別（1つに○）	① 男性　② 女性　③ 回答しない
学年（1つに○）	① 1年生　② 2年生　③ 3年生 ※中等教育学校に在籍されている方は、高等学校の学年に換算した場合に該当するものをお選びください。
在籍している高校名	高校所在地［　　］都・道・府・県 ① 国立　② 公立　③ 私立　（←1つに○）［　　］高等学校
所属クラス（1つに○）	① 文系クラス（文系コース）　③ コース選択はない ② 理系クラス（理系コース）　④ その他

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q 1　あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している（希望している）進路すべてに○をつけてください。（複数選択可）

① 大学　③ 専門職大学　⑤ 専門学校
② 短期大学　④ 専門職短期大学　⑥ 就職
⑦ その他

Q 2　**Q１で①～④を選択した方**に質問です。（※Q１で①～④を選択しなかった方は、Q３に進んでください。）
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している（希望している）設置者すべてに○をつけてください。（複数選択可）

① 私立　② 国立　③ 公立

Q 3　ここからは**全員**にお聞きします。
高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。（複数選択可）
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

① 食物学（管理栄養士養成課程,健康栄養学,食健康科学など）
② その他栄養学（健康スポーツ栄養学,運動栄養学など）
③ 保健（栄養学,臨床栄養学,保健栄養学など）
④ 保健（医学,歯学,薬学,看護学など）
⑤ 家政学,被服学,住居学,児童学
⑥ 理学・工学（数学,化学,物理工学など）
⑦ 農学（農学,林学,水産学など）
⑧ 人文科学（文学,史学,哲学など）
⑨ 社会科学（法学,商学,社会学など）
⑩ その他
⑪ まだ決めていない

高校生対象

調査票

◆新潟医療福祉大学 「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」についてお聞きします。

新潟医療福祉大学では、現在高校２年生のみなさんが大学生となる２０２５年（令和７年）４月に、「健康科学部 健康栄養学科」 の入学定員を増やすことを計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q４ 新潟医療福祉大学 「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例　○○である	→	①	○	③	④
A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養(食)を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④
B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④
C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④
D. 健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している	→	①	②	③	④

Q５ あなたは、新潟医療福祉大学 「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員が増員された場合、受験を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より１つ選択してください。

① 第一志望として受験する
② 第二志望として受験する
③ 第三志望以降として受験する
④ 受験しない （→Q7にお進みください。）

Q６ **Q５で①～③（受験する）を選択した方**に質問です。
新潟医療福祉大学 「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より１つ選択してください。

① 入学する　② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する　③ 入学しない

Q７ あなたは過去に新潟医療福祉大学のオープンキャンパス、または在籍高校で、本紙と同じアンケートに回答したことがありますか。

① 同じアンケートに回答したことはない　② 同じアンケートに回答したことがある

＊ ＊ ＊ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ＊ ＊ ＊

新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）に関するアンケート

新潟医療福祉大学では2025年（令和7年）4月より、「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員増を計画しています。
このアンケートは人事採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴施設・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。
（あてはまる番号1つに○）

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴施設・貴団体の本部所在地について、都道府県名をお教えください。

本部所在地 [　　] 都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴施設・貴団体の業種について、ご回答ください。（あてはまる番号1つに○）

1. 医療
2. 福祉
3. 公務
4. スポーツ施設
5. 食品製造業
6. 派遣業・業務委託・アウトソーシング
7. 保育所・幼稚園
8. 教育・教育関連業
9. フードサービス事業
10. サービス業
11. 飲食店・宿泊業
12. 農・林・漁・鉱業
13. 建設業
14. 電気・ガス・熱供給・水道業
15. 情報通信業
16. 卸売・小売業
17. 金融・保険業
18. その他

Q4. 貴社・貴施設・貴団体の従業員数（正規社員・職員）について、ご回答ください。（あてはまる番号1つに○）

1. 50名未満
2. 50名～100名未満
3. 100名～500名未満
4. 500名～1,000名未満
5. 1,000名～5,000名未満
6. 5,000名以上

Q5. 貴社・貴施設・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えください。
（あてはまる番号1つに○）

1. 0名
2. 1名～5名未満
3. 5名～10名未満
4. 10名～20名未満
5. 20名～30名未満
6. 30名～50名未満
7. 50名～100名未満
8. 100名以上

Q6. 貴社・貴施設・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 増やす
2. 昨年度並み
3. 減らす
4. 未定

裏面へ続く→

Q7. 貴社・貴施設・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 食物学（管理栄養士養成課程,健康栄養学,食健康科学など）
2. その他栄養学（健康スポーツ栄養学,運動栄養学など）
3. 保健（栄養学,臨床栄養学,保健栄養学など）
4. 保健（医学,歯学,薬学,看護学など）
5. 家政学,被服学,住居学,児童学
6. 理学・工学（数学,化学,物理工学など）
7. 農学（農学,林学,水産学など）
8. 人文科学（文学,史学,哲学など）
9. 社会科学（法学,商学,社会学など）
10. その他
11. 学んだ学問分野にはこだわらない

新潟医療福祉大学では、2025年（令和7年）4月に、「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員増を計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料（リーフレット）をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」には、以下のような特色があります。
貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.　○○である。	→	1	(2)	3	4
A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4
B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4
C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4
D. 健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）は、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 必要だと思う
2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）では、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 採用したいと思う
2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 1名
2. 2名
3. 3名
4. 4名
5. 5名～9名
6. 10名以上

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

新潟医療福祉大学
「健康科学部　健康栄養学科」
入学定員増に関するニーズ調査
結果報告書

【企業対象調査】

令和6年1月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業対象

調査概要

1. 調査目的

2025年4月入学定員増を予定している新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に関して、企業からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	700社
	回収数（回収率）	224社（32.0％）
調査時期		2023年9月6日（水）～2023年10月13日（金）
調査実施機関		株式会社　進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・人事採用への関与度 ・本社所在地 ・業種 ・正規社員・職員の従業員数 ・正規社員・職員の平均採用人数 ・本年度の採用予定数 ・採用したい学問分野 ・新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度 ・新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の社会的必要性 ・新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向 ・新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

採用意向調査　調査結果

※報告書内の表中の％の母数は、
特に断りがない場合、回答企業全体（224企業）

企業対象

回答企業（回答者）の属性、採用状況等

回答企業（回答者）の属性

※本調査は、新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。新潟医療福祉大学の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、224企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は22.3％、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が56.3％であり、採用や選考にかかわっている人事担当者から意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社（本部）所在地は、新潟医療福祉大学の本部所在地である「新潟県」が17.0％と最も多く、次いで「東京都」が13.4％、「長野県」が7.1％と続く。
- 回答企業の業種としては「医療」が37.5％で最も多い。次いで「福祉」が24.6％、「公務」が10.7％と続く。
- 回答企業の正規社員・職員の従業員数は、「100名～500名未満」が39.3％と最も多く、次いで「1,000名～5,000名未満」が22.8％、「500名～1,000名未満」が18.3％と多い。100名以上の比較的規模が大きい企業が8割以上を占める。

回答企業の採用状況（過去3か年平均）／本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員・職員の採用人数は「100名以上」が19.6％と最も多く、次いで「5名～10名未満」が17.4％、「10名～20名未満」「50名～100名未満」がともに14.7％と続く。毎年正規社員・職員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が57.6％と最も多く、次いで「増やす」が31.3％である。回答企業の多くで昨年度以上の採用が予定されている模様である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聞いたところ、「健康科学部　健康栄養学科」の学びと関連する「食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）」が60.3％で最も多い。次いで「保健（医学，歯学，薬学，看護学など）」が38.8％、「保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）」が25.4％と続く。

企業対象

回答企業（回答者）の属性、採用状況等

■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。（あてはまる番号1つに○）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	採用の決裁権があり、選考にかかわっている	採用の決裁権はないが、選考にかかわっている	採用時にはかかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある	無回答
全体	224	22.3 50	56.3 126	18.8 42	2.7 6

■本社（本部）所在地

Q2. 貴社・貴施設・貴団体の本部所在地について、都道府県名をお教えください。

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
全体	224	0.9 2	0.9 2	1.8 4	1.8 4	0.9 2	5.4 12	4.9 11	0.9 2	1.8 4	4.9 11	5.4 12	5.4 12	13.4 30

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県
全体	224	4.5 10	17.0 38	3.1 7	1.3 3	0.9 2	0.9 2	7.1 16	0.4 1	3.6 8	1.3 3	0.4 1	2.7 6	0.9 2

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	奈良県	和歌山県	鳥取県	広島県	山口県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	沖縄県	無回答
全体	224	0.4 1	0.4 1	0.4 1	0.9 2	0.9 2	0.4 1	0.4 1	2.2 5	0.4 1	0.4 1	0.4 1	0.0 0

■業種

Q3. 貴社・貴施設・貴団体の業種について、ご回答ください。（あてはまる番号1つに○）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	医療	福祉	公務	スポーツ施設	食品製造業	派遣業・業務委託・アウトソーシング	保育所・幼稚園	教育・教育関連業	フードサービス事業	サービス業
全体	224	37.5 84	24.6 55	10.7 24	0.0 0	4.5 10	0.4 1	7.1 16	0.0 0	9.8 22	1.3 3

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	飲食店・宿泊業	農・林・漁・鉱業	建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	卸売・小売業	金融・保険業	その他	無回答
全体	224	0.9 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	2.7 6	0.0 0	0.4 1	0.0 0

企業対象

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■正規社員・職員の従業員数

Q4. 貴社・貴施設・貴団体の従業員数(正規社員・職員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	50名未満	50名～100名未満	100名～500名未満	500名～1,000名未満	1,000名～5,000名未満	5,000名以上	無回答
全体	224	4.9 11	6.3 14	39.3 88	18.3 41	22.8 51	8.0 18	0.4 1

■正規社員・職員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴施設・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えください。
(あてはまる番号1つに○)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	0名	1名～5名未満	5名～10名未満	10名～20名未満	20名～30名未満	30名～50名未満	50名～100名未満	100名以上	無回答
全体	224	0.0 0	13.4 30	17.4 39	14.7 33	9.8 22	10.3 23	14.7 33	19.6 44	0.0 0

■本年度の採用予定数

Q6. 貴社・貴施設・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

上段:% 下段:件数(企業)	標本数	増やす	昨年度並み	減らす	未定	無回答
全体	224	31.3 70	57.6 129	4.5 10	6.7 15	0.0 0

採用したい学問分野

■採用したい学問分野

Q7. 貴社・貴施設・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
（あてはまる番号すべてに○）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）	その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）	保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）	保健（医学，歯学，薬学，看護学など）	家政学，被服学，住居学，児童学	理学・工学（数学，化学，物理工学など）
全体	224	60.3 135	12.5 28	25.4 57	38.8 87	8.0 18	4.9 11

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	農学（農学，林学，水産学など）	人文科学（文学，史学，哲学など）	社会科学（法学，商学，社会学など）	その他	学んだ学問分野にはこだわらない	無回答
全体	224	4.5 10	4.0 9	12.9 29	8.9 20	20.5 46	0.4 1

企業対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

- 「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度（※）は、4項目中3項目で7割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している」で95.5％である。同項目は「とても魅力を感じる」の割合も55.8％で最も高い。次いで、「A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している」が92.4％と続く。

- 回答者のうち、採用意向企業に限定した場合も「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度（※）は、4項目中3項目で7割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、全体と同じく「B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している」で96.1％である。同項目は、「とても魅力を感じる」の割合も60.6％で最も高く、全体でのスコアと比べてもより高い割合となっている。次いで、「A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している」が94.6％と続く。

＜採用意向企業＞
Q10で「採用したいと思う」と回答した企業

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

企業対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の特色に対する魅力度

Q8. 新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」には、以下のような特色があります。
貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

特色A. 本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養（食）を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している

特色B. 病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している

特色C. プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している

特色D. 健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	魅力度（※）	無回答
特色A	224	41.1 92	51.3 115	6.7 15	0.9 2	92.4 207	0.0 0
特色B	224	55.8 125	39.7 89	4.0 9	0.4 1	95.5 214	0.0 0
特色C	224	12.1 27	45.1 101	36.6 82	6.3 14	57.1 128	0.0 0
特色D	224	21.9 49	48.7 109	25.0 56	4.0 9	70.5 158	0.4 1

＜採用意向企業ベース＞

特色A	203	45.3 92	49.3 100	4.9 10	0.5 1	94.6 192	0.0 0
特色B	203	60.6 123	35.5 72	3.9 8	0.0 0	96.1 195	0.0 0
特色C	203	13.3 27	45.8 93	35.5 72	5.4 11	59.1 120	0.0 0
特色D	203	24.1 49	49.3 100	23.6 48	2.5 5	73.4 149	0.5 1

※%の母数は、採用意向企業（203企業）

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

企業対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の社会的必要性／採用意向／採用想定人数

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の社会的必要性

- 「健康科学部　健康栄養学科」について「必要だと思う」と回答した企業は92.4%（207企業）であり、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科と捉えていることがうかがえる。

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生の採用意向／毎年の採用想定人数

- 「健康科学部　健康栄養学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業は90.6%（203企業）であり、予定している入学定員80名を上回る数の採用意向企業がみられた。
- 「健康科学部　健康栄養学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業へ、「健康科学部　健康栄養学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は332名で、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。
  このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の社会的必要性／採用意向／採用想定人数

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）は、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	必要だと思う	必要だと思わない	無回答
全体	224	92.4 207	5.4 12	2.2 5

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向

Q10.貴社・貴施設・貴団体（ご回答者）では、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

上段：% 下段：件数（企業）	標本数	採用したいと思う	採用したいと思わない	無回答
全体	224	90.6 203	8.0 18	1.3 3

「採用したいと思う」と答えた203企業のみ抽出

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

Q11.Q10で「1．採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（あてはまる番号1つに○）

	標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上		年間の採用想定人数を示した企業数・計および採用想定人数・計（※）
全体	203	%	51.7%	18.7%	10.8%	0.0%	3.4%	2.5%		
		企業数	105	38	22	0	7	5	⇒	177
		名	105	76	66	0	35	50		332

※%の母数は、「健康科学部　健康栄養学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（203企業）

※ 毎年の採用想定人数・計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の採用意向/採用想定人数＜属性別＞

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

◇業種別

- 「健康科学部　健康栄養学科」卒業生の採用想定人数・合計が最も多かった「フードサービス事業」の採用意向は、100.0％（22企業中、**22企業**）。採用想定人数の合計は**92名**。第2位の「医療」の採用意向は、95.2％（84企業中、**80企業**）。採用想定人数の合計は**88名**であり、「フードサービス事業」または「医療」だけでも入学定員80名を上回る採用意向があった。第3位が「福祉」で採用意向は89.1％（55企業中、**49企業**）。採用想定人数の合計は**71名**。第4位が「食品製造業」で採用意向は90.0％　（10企業中、**9企業**）。採用想定人数の合計は**18名**。第5位が「保育所・幼稚園」で81.3％（16企業中、**13企業**）。採用想定人数の合計は**17名**。

上記のように多くの業種で採用意向がみられることから、幅広い分野での期待がうかがえる。

◇本年度の採用予定数別

- 本年度の採用を「増やす」予定の企業からの採用意向は、94.3％（70企業中、**66企業**）。採用想定人数の合計は**132名**で、予定している入学定員数を上回っている。本年度の採用が「昨年度並み」予定の企業からの採用意向は、93.0％（129企業、**120企業**）。採用想定人数の合計は**188名**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

◇社会的必要性別

- 新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」が社会的に「必要だと思う」と回答した企業からの採用意向は92.8％（207企業、**192企業**）。採用想定人数の合計は**321人**で、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。

企業対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の採用意向／採用想定人数＜属性別＞

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

＜属性別＞

上段：% 下段：件数（企業）		標本数	採用 したいと思う	採用想定 人数・合計
全体		224	90.6 203	332名
業種別	医療	84	95.2 80	88名
	福祉	55	89.1 49	71名
	公務	24	70.8 17	11名
	食品製造業	10	90.0 9	18名
	派遣業・業務委託・アウトソーシング	1	100.0 1	3名
	保育所・幼稚園	16	81.3 13	17名
	フードサービス事業	22	100.0 22	92名
	サービス業	3	100.0 3	13名
	飲食店・宿泊業	2	100.0 2	4名
	卸売・小売業	6	100.0 6	14名
	その他	1	100.0 1	1名
本年度の採用予定数別	増やす	70	94.3 66	132名
	昨年度並み	129	93.0 120	188名
	減らす	10	60.0 6	4名
	未定	15	73.3 11	8名
社会的必要性別	必要だと思う	207	92.8 192	321名
	必要だと思わない	12	58.3 7	9名

※ 採用想定人数・合計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出

巻末資料　調査票

企業対象

調査票

新潟医療福祉大学 健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）に関するアンケート

新潟医療福祉大学では2025年（令和7年）4月より、「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員増を計画しています。
このアンケートは人事採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※ このアンケートや同封した資料に記載されている「健康科学部 健康栄養学科（入学定員増を構想中）」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴施設・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。
（あてはまる番号1つに○）

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴施設・貴団体の本部所在地について、都道府県名をお教えください。

本部所在地 [　　] 都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴施設・貴団体の業種について、ご回答ください。（あてはまる番号1つに○）

1. 医療
2. 福祉
3. 公務
4. スポーツ施設
5. 食品製造業
6. 派遣業・業務委託・アウトソーシング
7. 保育所・幼稚園
8. 教育・教育関連業
9. フードサービス事業
10. サービス業
11. 飲食店・宿泊業
12. 農・林・漁・鉱業
13. 建設業
14. 電気・ガス・熱供給・水道業
15. 情報通信業
16. 卸売・小売業
17. 金融・保険業
18. その他

Q4. 貴社・貴施設・貴団体の従業員数（正規社員・職員）について、ご回答ください。（あてはまる番号1つに○）

1. 50名未満
2. 50名～100名未満
3. 100名～500名未満
4. 500名～1,000名未満
5. 1,000名～5,000名未満
6. 5,000名以上

Q5. 貴社・貴施設・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えください。
（あてはまる番号1つに○）

1. 0名
2. 1名～5名未満
3. 5名～10名未満
4. 10名～20名未満
5. 20名～30名未満
6. 30名～50名未満
7. 50名～100名未満
8. 100名以上

Q6. 貴社・貴施設・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 増やす
2. 昨年度並み
3. 減らす
4. 未定

裏面へ続く→

企業対象

調査票

Q7. 貴社・貴施設・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 食物学(管理栄養士養成課程,健康栄養学,食健康科学など)
2. その他栄養学(健康スポーツ栄養学,運動栄養学など)
3. 保健(栄養学,臨床栄養学,保健栄養学など)
4. 保健(医学,歯学,薬学,看護学など)
5. 家政学,被服学,住居学,児童学
6. 理学・工学(数学,化学,物理工学など)
7. 農学(農学,林学,水産学など)
8. 人文科学(文学,史学,哲学など)
9. 社会科学(法学,商学,社会学など)
10. その他
11. 学んだ学問分野にはこだわらない

新潟医療福祉大学では、2025年(令和7年)4月に、「健康科学部 健康栄養学科」の入学定員増を計画しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料(リーフレット)をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科(入学定員増を構想中)」には、以下のような特色があります。
貴社・貴施設・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	○○である。	→	1	(2)	3	4
A.	本学に設置されている数多くの医療系学科に在籍する学生とともに学ぶことで、卒業後に栄養(食)を通して「チーム医療」で活躍できる管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4
B.	病院や福祉・介護施設との連携における臨地実習科目を通して、高齢化の進む社会において必要となる「医療・福祉・介護」に対して一体的に対応できる管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4
C.	プロスポーツ選手を輩出している本学の強化指定クラブやアルビレックス新潟、同レディース等のプロスポーツ団体と連携し、アスリートを栄養サポートする「スポーツ栄養」に強い管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4
D.	健康の維持・増進に大切な「食品開発」、ライフステージや疾病・疾患に合わせた「商品開発」を担う管理栄養士を養成している	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴施設・貴団体(ご回答者)は、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科(入学定員増を構想中)」は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う
2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴施設・貴団体(ご回答者)では、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科(入学定員増を構想中)」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用したいと思う
2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、新潟医療福祉大学「健康科学部 健康栄養学科(入学定員増を構想中)」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1名
2. 2名
3. 3名
4. 4名
5. 5名～9名
6. 10名以上

企業対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の採用意向/採用想定人数＜学問分野別＞

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜学問分野別＞

※新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

＜採用したい学問分野別＞

上段：% 下段：件数（企業）		標本数	採用 したいと思う	採用想定 人数・合計（※1）
全体	全体	224	90.6 203	332名
	食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）	135	99.3 134	250名
	その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）	28	100.0 28	54名
	保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）	57	94.7 54	90名
	保健（医学，歯学，薬学，看護学など）	87	88.5 77	85名
	家政学，被服学，住居学，児童学	18	94.4 17	21名
	理学・工学（数学，化学，物理工学など）	11	90.9 10	9名
	農学（農学，林学，水産学など）	10	100.0 10	12名
	人文科学（文学，史学，哲学など）	9	100.0 9	7名
	社会科学（法学，商学，社会学など）	29	96.6 28	27名
	その他	20	85.0 17	30名
	学んだ学問分野にはこだわらない	46	84.8 39	53名

※1　採用想定人数・合計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」入学定員増に関するニーズ調査結果報告書【企業対象調査】（令和6年1月　株式会社　進研アド）から作成

企業対象

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」の採用意向/採用想定人数＜学問分野別＞

■新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜学問分野別＞

※新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

＜【「健康科学部 健康栄養学科」の特色4項目すべてに魅力を感じた企業のみ】採用したい学問分野別＞

上段：% 下段：件数（企業）		標本数	採用したいと思う	採用想定人数・合計（※1）
特色すべてに魅力を感じた企業のみ（※2）	全体	121	94.2 114	203名
	食物学（管理栄養士養成課程，健康栄養学，食健康科学など）	78	98.7 77	155名
	その他栄養学（健康スポーツ栄養学，運動栄養学など）	18	100.0 18	36名
	保健（栄養学，臨床栄養学，保健栄養学など）	29	96.6 28	49名
	保健（医学，歯学，薬学，看護学など）	36	94.4 34	41名
	家政学，被服学，住居学，児童学	7	100.0 7	10名
	理学・工学（数学，化学，物理工学など）	6	100.0 6	7名
	農学（農学，林学，水産学など）	9	100.0 9	12名
	人文科学（文学，史学，哲学など）	5	100.0 5	5名
	社会科学（法学，商学，社会学など）	13	100.0 13	15名
	その他	13	92.3 12	22名
	学んだ学問分野にはこだわらない	29	86.2 25	33名

※1　採用想定人数・合計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名　を代入し合計値を算出
※2　「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合算

新潟医療福祉大学「健康科学部　健康栄養学科」入学定員増に関するニーズ調査結果報告書【企業対象調査】（令和6年1月　株式会社　進研アド）から作成

資料26：入学定員80名程度の近隣他大学の教員数

出所：各大学のホームページ等での公表情報をもとに新潟医療福祉大学にて作成

都道府県	大学	学部	学科	入学定員	教員人数	職位				
						教授	准教授	講師	助教	助手
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科学部	健康栄養学科	80名	25名	6名	2名	5名	7名	5名
岩手県	盛岡大学	栄養科学部	栄養科学科	80名	14名	4名	3名	3名	4名	7名
宮城県	仙台白百合女子大学	人間学部	健康栄養学科	80名	10名	5名	4名	1名	記載なし	記載なし
宮城県	尚絅学院大学	健康栄養学群	健康栄養学類	80名	13名	8名	5名	記載なし	記載なし	記載なし
福島県	郡山女子大学	家政学部	食物栄養学科	80名	17名	7名	7名	2名	1名	4名
茨城県	茨城キリスト教大学	生活科学部	食物健康科学科	80名	16名	8名	4名	3名	1名	記載なし
茨城県	常磐大学	人間科学部	健康栄養学科	80名	17名	7名	9名	記載なし	1名	記載なし
群馬県	高崎健康福祉大学	健康福祉学部	健康栄養学科	80名	23名	10名	6名	4名	3名	5名
埼玉県	人間総合科学大学	人間科学部	健康栄養学科	80名	21名	9名	3名	3名	6名	記載なし
埼玉県	淑徳大学	看護栄養学部	栄養学科	80名	11名	5名	5名	1名	記載なし	記載なし
石川県	金沢学院大学	栄養学部	栄養学科	80名	13名	10名	3名	記載なし	記載なし	記載なし

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　員　名　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 （千円）	現　職 （就任年月）
―	学長	ニシザワ　マサトヨ 西澤　正豊 ＜令和2年4月＞		博士 （医学）		新潟医療福祉大学学長 （令和2年4月～令和8年3月）